

# FM TOWNS

FUJITSU FM SERIES PERSONAL COMPUTER

# アプリケーション ディクショナリ

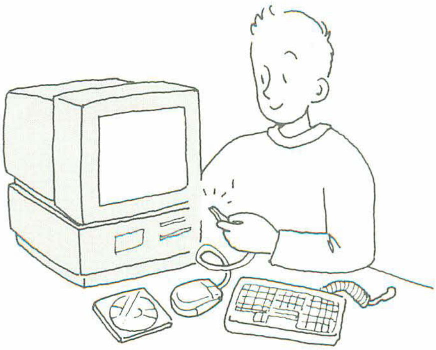
**Townsシステムソフトウェア V2.1**

FUJITSU

# マニュアルの読みかた

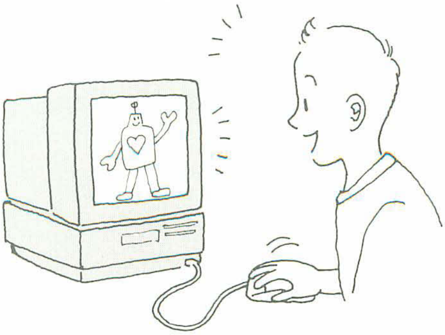
## 1 まずは、『FM TOWNS GUIDE』でつなげよう！

『FM TOWNS GUIDE』を読みながら、FM TOWNSをつなぎましょう。CD-ROMをセットして、電源を入れてみて、TownsMENUの画面が表示されれば、準備OK。



## 2 さあ、『FM TOWNS スタートガイド』でLet's begin！

『FM TOWNS スタートガイド』を読みながら、FM TOWNSを使ってみましょう。Townsシステムソフトウェアに入っている楽しいソフトウエアや、FM TOWNSを勉強するためのソフトウエアの使いかたが書いてあります。遊びながらFM TOWNSの使いかたを覚えましょう。

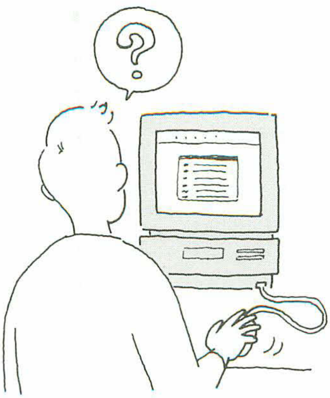


勉強ソフト

- Townsアドベンチャー
- TownsGEAR入門
- キーボードの使いかた
- キーボード練習

## 3 わからないときは取り合えず…オンラインヘルプ

FM TOWNSを使っていて操作がわからなくなったら、画面の右上にある ? （ヘルプボタン）を左クリックしてください。ヘルプウィンドウが表示され、操作の説明が表示されます。



※アプリケーションによっては、オンラインヘルプが付いていないものもあります。

## 4 知りたいときに、知りたいところを読んでください。

**『ディクショナリをお読みになる前に』**
Townsシステムソフトウェア V2.1 L30以降で追加・変更になった機能について説明しています。また、3冊のディクショナリの目次を合わせた「総合目次」から、説明しているマニュアルのページを探すことができます。
“➡『ディクショナリをお読みになる前に』”の記載があったら、対応する箇所と併せてお読みください。

**『TownsMENU ディクショナリ』**
TownsMENUの使いかた、FM TOWNSを使いこなすための情報、文字の入力のしかたのまとめ、Townsデータライブラリのデータ一覧など、Townsシステムソフトウェアや別売のアプリケーションを使っているときに共通となる説明をまとめています。

**『アプリケーション ディクショナリ』**
Townsシステムソフトウェアに付いている、アプリケーションの使いかたを説明しています。

**『TownsGEAR ディクショナリ』**
TownsGEARの使いかた、TownsGEARに入っているイメージエディタなどの使いかたについて説明しています。

市販のビデオソフト、レーザーディスク、音楽CDあるいはテレビ・ラジオ放送された映像作品・音楽作品などは著作権法により保護されています。
本製品によりこれらを編集、加工したものは、家庭内で使用いただく場合を除き、権利者に無断で使用することはできません。

FM TOWNS

FUJITSU FM SERIES PERSONAL COMPUTER

# アプリケーション ディクショナリ



## ごあいさつ

このたびは、弊社の製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

まだ『FMTOWNS スタートガイド』を読んでいない方は、このマニュアルを読む前に『FMTOWNS スタートガイド』をお読みください。

この『アプリケーション ディクショナリ』は、Townsシステムソフトウェアにアイテムとして収められているアプリケーションをお使いになるときにご利用ください。

アプリケーションごとに使いかたを説明していますので、わからないことがあったときに、目次、目的別索引、語句索引などで必要なページを探してお読みください。

本書が皆様のお役に立つことを願っております。

1994年2月

# 本書の読みかた

## ◇説明の探しかた

知りたい説明を探すには、次のような方法があります。

### ●目　次

本文中に出てくるすべての見出しのタイトルをページ順に並べています。また、コラムがあるときは、そのタイトルも記載しています。

### ●目的別索引

やりたいこと（作業の目的）が５０音順に並んでいる索引です。作業の目的に対応する機能名、それを説明しているページがわかります。たとえば、フロッピィディスクを初期化したいときは、「フロッピィディスクを初期化する」で引くと、［ディスク］メニューの［初期化］などの機能名や、操作方法を説明しているページがわかります。

### ●語句索引

FMＴＯＷＮＳで使う機能名や用語が、５０音順に並んでいる索引です。機能名や用語について説明しているページがわかります。

### ●インデックス

本書を横から見ると、“インデックス（区切りを示す印）”が付いているのがわかります。インデックスは節単位に区切ってあり、インデックスの横に節タイトルを記載しています。インデックスを頼りにパラパラとめくりながら説明しているページを探すことができます。

この他、用語の意味を知りたいときは、「TownsMENUディクショナリ 付録１ 用語集」をご覧ください。

## ◇本書の構成

本書は、次のような構成になっています。辞書（ディクショナリ）として、必要なときに、必要なところを引いてお読みください。

| タイトル | 説明しているアプリケーション |
| --- | --- |
| 第１章　テキスト編集 | テキスト編集の使いかたについて説明しています。 |
| 第２章　TownsStaff | ＣＤ辞書検索とテキスト印刷の使いかたを説明しています。予定表と電卓の使いかたは、「TownsMENU ディクショナリ 第２章 1.サイドワークの操作」を参照してください。 |
| 第３章　ポストカード | ポストカードの住所録、葉書作成、補助機能の使いかたを説明しています。 |
| 第４章　ツール | アイコン編集、外字編集、スプライト編集、テレビユーティリティ、ビデオユーティリティ、ＨＤインストール、ＨＤリフォームの使いかたを説明しています。<br>コントロールパネルとメニュー色設定の使いかたは、「Towns MENUディクショナリ 第２章 1.サイドワークの操作」を参照してください。 |
| 第５章　ｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ | ＣＤプレーヤー、ＥＵＰプレーヤー、MUSIC WORLD、数字並べの使いかたを説明しています。 |
| 第６章　設　定 | ハードコピーの設定、サイドワークのON/OFF、タブレットのON/OFF、フルカラーのON/OFF、システム設定、サウンドメッセージの設定、データ起動の設定、ビデオモードのON/OFFの使いかたを説明しています。 |
| 付　録 | Townsシステムソフトウェアのアプリケーションを使っているときに表示されるメッセージについて、その原因と対処の方法を説明しています。 |

# ◇表記上の約束

キーボードの操作(ショートカットキー)
※"+"は左側のキーを押しながら右側のキーを押すことを意味します。

住所録

タイトル ── ●住所録

メニューの操作 ── ●[ᴾᴹTOWNS]⇨[住所録]　　　　●CTRL + ESC ⇨ A

「ポストカード」で作成した住所録を、検索して表示することができます。また、別売のモデム、またはモデムカードがセットされていれば、相手先に自動的に電話をかけることもできます。

参照先 ── ●➡「アプリケーション ディクショナリ 第3章 ポストカード」

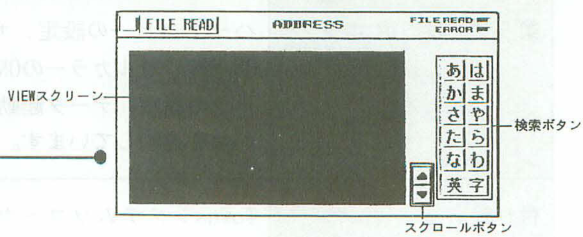
※ ここでは、2つの見出しに分けて説明していることを示します。 ── ●●各部の名称と役割
●住所録データファイルを読み込む

操作を始める前の確認事項 ── ●**確 認**　「住所録」を起動する前に、「ポストカード」で2種類の住所録データファイル(拡張子はLMDとLMI)を作成してください。CD-ROMから起動するときはフロッピィディスクに、ハードディスクから起動するときは、起動するドライブのTS_TOOLディレクトリの中に「LA.LMD」というファイル名で作ります。
なお、最初に読み込むファイル名を変更することもできます。その場合は、[設定]アイテムの[システム設定]でパラメータを変更してください。

必ず読んでほしい注意事項 ── ●**注意**
住所録を起動後、データファイルが入っているフロッピィディスクの抜き差しは行わないでください。

見出し ── ●**各部の名称と役割**

画面例 ── ●




□(終了ボタン)……住所録を終了して画面上からウィンドウを消します。
VIEWスクリーン…………名前と電話番号の一覧が表示されます。
スクロールボタン………VIEWスクリーンのデータをスクロールします。

ページ ── ●56

見出し

第２章　TownsMENUの使いかた

章タイトル

検索ボタン………………［あ］～［わ］［英字］の各ボタンで名前を検索します。
［FILE READ］…………住所録のデータファイルを読み込みます。
FILE READランプ………データファイルを検索中、緑色に点灯します。
ERRORランプ……………ファイル読み込みなどでエラーになったとき、赤色に点灯します。

1　サイドワークの操作

インデックス
（節タイトル）

## 住所録データファイルを読み込む

住所録のデータファイルが複数あるときに、新しいデータファイルを読み込んで表示させることができます。

操作手順

※
［　］は、ボタン名、メニュー名、アイテム名など、左クリックして選ぶ項目を示します。

1 ［FILE READ］を左クリックします。
住所録データファイルを指定するためのファイルウィンドウが表示されます。
ここで表示されるのは［ポストカード］の［住所録］で作成したファイル（拡張子がLMD）です。

アドバイス
「ポストカード」でファイル名にコメントが付けられているときは、ファイル名の右側にコメントが表示されます。
➡「アプリケーション ディクショナリ 第３章 ポストカード」

操作するときに参考となる情報




画面例

2 読み込むファイルを選び、［実行］を左クリックします。

コラム
インデックスファイルとデータベースファイル
住所録のデータファイルには、インデックスファイル（拡張子がLMI）とデータベースファイル（拡張子がLMD）の２種類があり、２つのファイル名は同じです。インデックスファイルには住所録の名前のデータが、データベースファイルにはその他の詳細データが入っています。
この２つのファイルは、必ず同じディレクトリに入れておきます。

知っておくと便利な情報

57

ページ



# CONTENTS



## 第1章 テキスト編集

# 第2章 TownsStaff

## 第3章 ポストカード

## 第4章 ツール

# 第5章 エンターテイメント

## 第6章 設定

## 第7章 コマンドモード

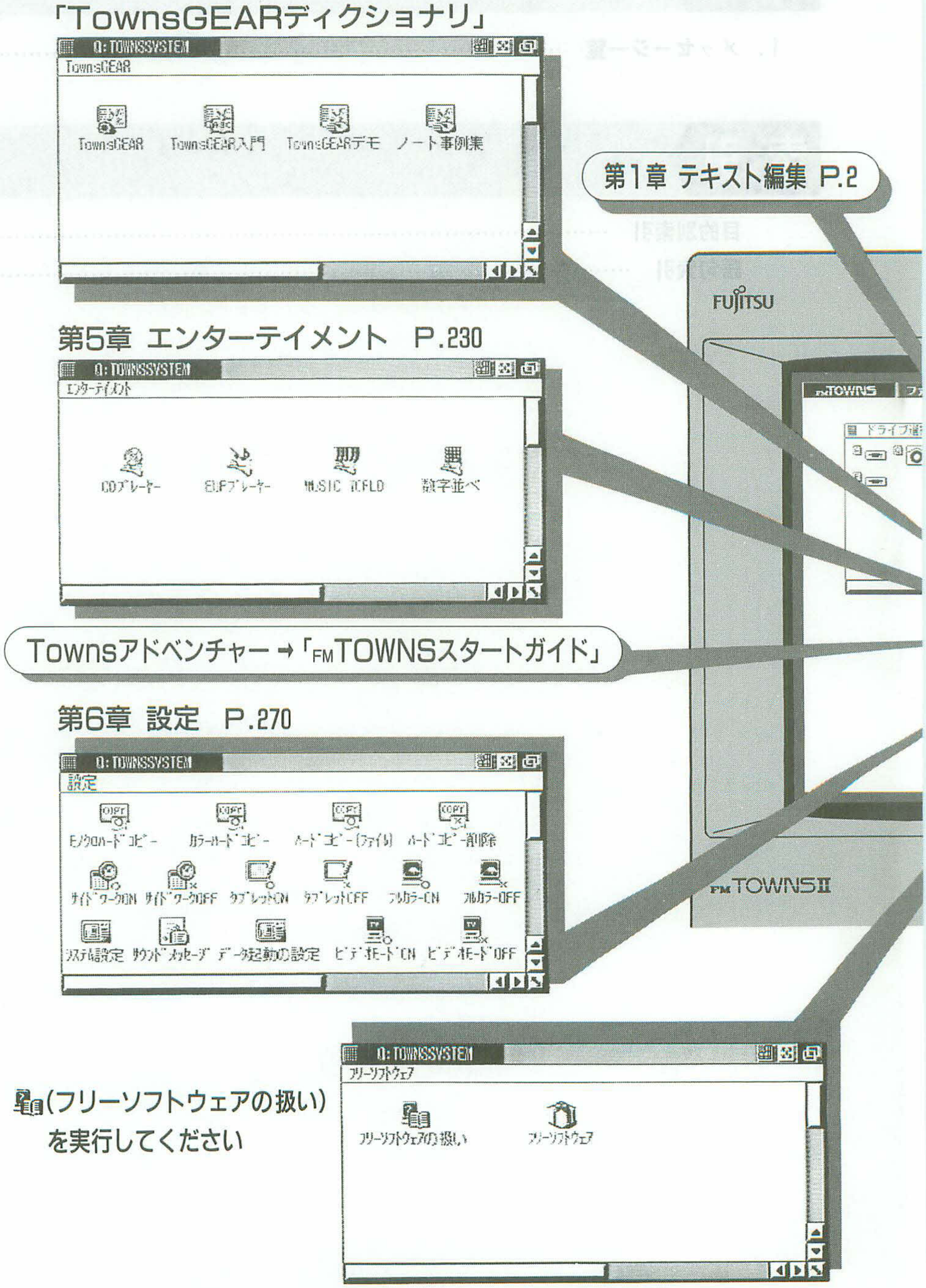
# 付録

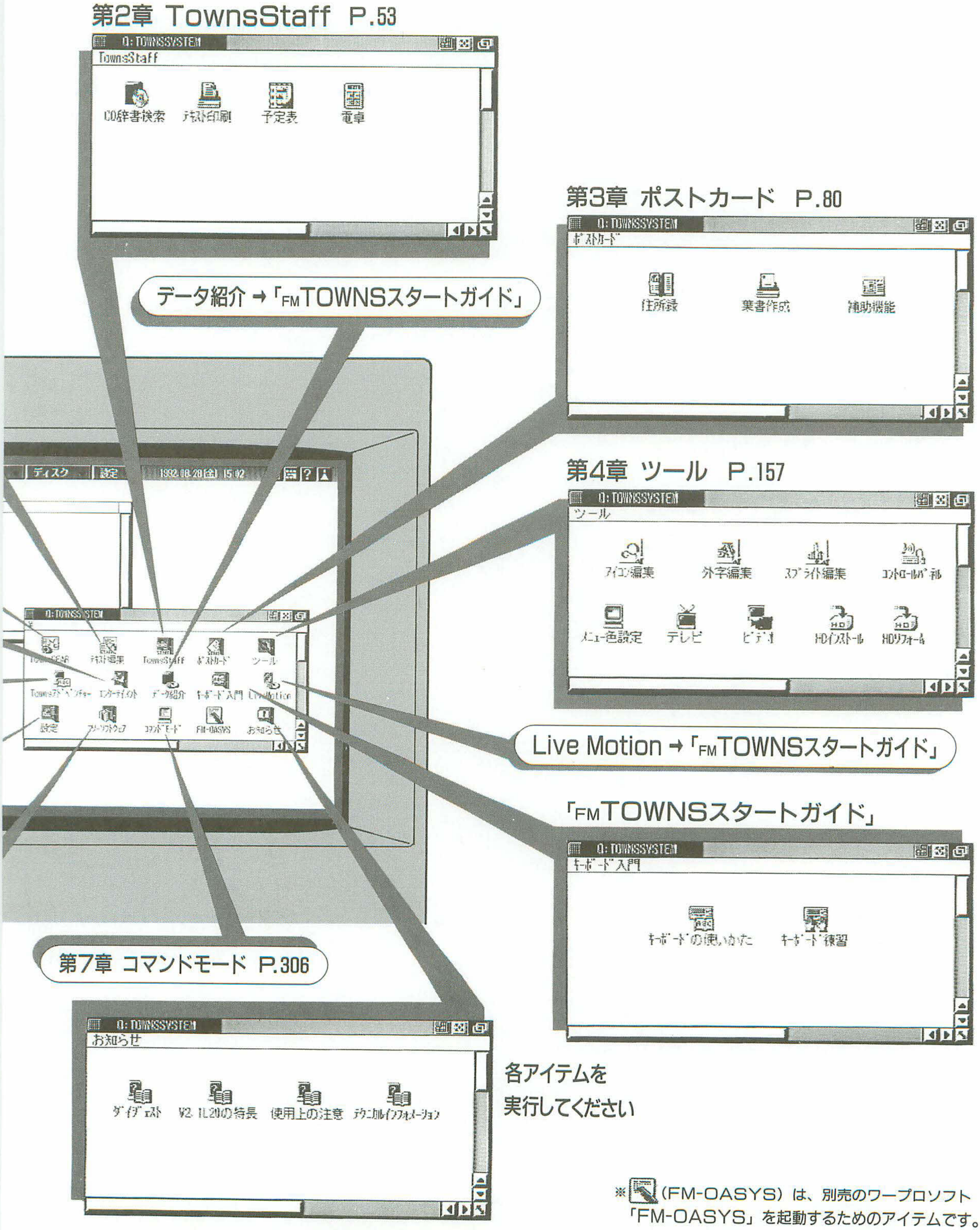


# 索引

# Townsシステムソフトウェアのアイテム一覧

Townsシステムソフトウェアのコンピュータ CD-ROMに登録されているアイテムについて、どのマニュアルで説明しているかをまとめています。






各アイテムを
実行してください

※(FM-OASYS)は、別売のワープロソフト「FM-OASYS」を起動するためのアイテムです。

# 第1章 テキスト編集



**注意**

TownsMENUからメニューを選んだり、アイテムを実行するときは、Townsパッドのボタンを押さないように気をつけてください。FM TOWNSが正しく動作しないことがあります。

# 1 テキスト編集とは

テキスト編集は、MS-DOSのテキストファイル(拡張子がBAT、TXT、DOCなど)やプログラムのソースファイル(拡張子がC、H、ASMなど)を作成、編集するためのソフトウェアです。
テキスト編集を使えば、専用のワープロソフトなどが無くても、簡単な文書を作成することができます。また、CD-ROM辞書を検索するためのCD辞書検索機能を呼び出し、検索結果を文書の中に取り込むこともできます。

## 起動する

**注意**

Townsシステムソフトウェアを CD-ROMから起動しているときは、ドライブAまたはドライブBにフロッピィディスクをセットしてから、テキスト編集を起動してください。フロッピィディスクをセットしていないとテキスト編集が起動しないことがあります。

1. (テキスト編集)を実行します。
   テキスト編集の画面になり、ファイルウィンドウが表示されます。

2. 編集するファイルを選び、[開く]を左クリックします。
   テキスト編集の画面になり、左上に編集中のファイル名が表示されます。
   編集するファイルを選ばずに起動した場合には、ファイル名の代わりに「名称未設定」と表示されます。

**アドバイス**

●キーボードを使ってファイル名を入力することもできます。
●ファイルウィンドウの「*.DOC」「*.TXT」「*.BAT」を指定することで、その拡張子が付いたファイルだけをファイルウィンドウに表示することができます。
●新しくテキストを作成するときは、ファイル名を入力するか、ファイルを選ばずに［開く］を左クリックしてください。ファイルを選ばずに［開く］を左クリックしたときは、ファイル名がないまま編集状態になりますので、ファイルを保存するときにファイル名を指定してください。

## 終了する

**1** （終了ボタン）を選びます。

編集途中のテキストがないときは、テキスト編集が終了してTownsMENUに戻ります。
テキストを編集した後に保存せずに （終了ボタン）を選んだときには、確認のウィンドウが表示されます。

［保存］
編集したテキストを保存して、テキスト編集を終了します。
編集を始める際にファイル名を付けていないとき（名称未設定のとき）には、保存するファイル名を指定するためのファイルウィンドウが表示されます。

［保存しない］
編集したテキストを保存せずに、テキスト編集を終了します。

［編集に戻る］
テキスト編集を終了せずに、テキスト編集の画面に戻ります。

コラム

**テキストファイルの実行について**

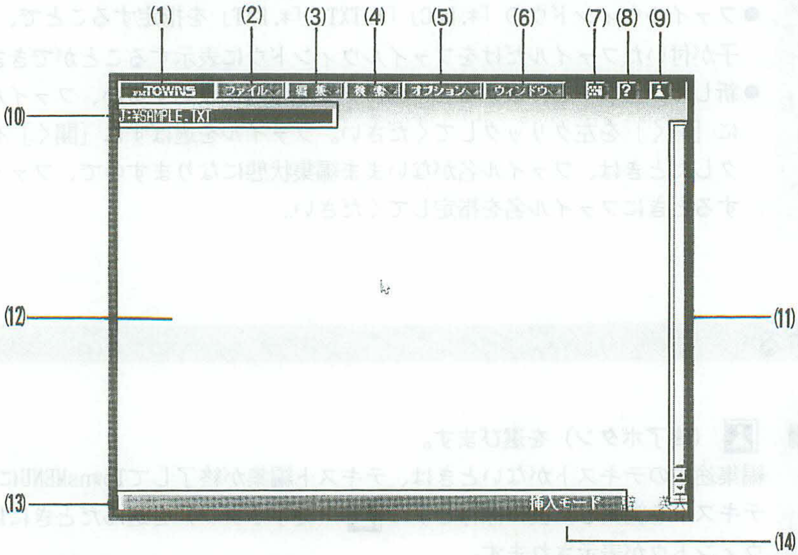
Townsシステムソフトウェアでは、TownsMENUのファイル表示ウィンドウに表示されているファイルの一覧から、拡張子がTXTやDEFのファイルを実行すると、自動的にテキスト編集が起動して、指定したファイルを編集できる状態になります。

**環境変数の設定について**

テキスト編集を使う場合、環境変数を設定しておくと、メモリの容量不足を防ぐことができます。

➡「環境変数設定について」（P.49）

# 各部の名称と役割




## (1)［FM TOWNS］メニュー

サイドワーク機能を使うときに選びます。

➡サイドワーク機能については、「TownsMENU ディクショナリ 第2章 1.サイドワークの操作」をご覧ください。

## (2)［ファイル］メニュー

テキストファイルを読み込んだり、保存するときに選びます。

## (3)［編集］メニュー

テキストを編集するときに選びます。

## (4)［検索］メニュー

編集中のテキストから、文字を検索したり、置換するときなどに選びます。

## (5)［オプション］メニュー

テキスト編集に関する設定をするときに選びます。

## (6)［ウィンドウ］メニュー

編集画面の大きさを変えたり、編集対象のテキストを変更するときなどに選びます。

## (7)ソフトウェアキーボード表示ボタン

ソフトウェアキーボードを表示するときに選びます。

## ⑻ヘルプボタン

オンラインヘルプを表示するときに選びます。

## ⑼終了ボタン

テキスト編集を終了するときに選びます。

## ⑽編集ファイル名

編集中のテキストファイルのファイル名が表示されます。

## ⑾スクロールバー

編集画面をスクロールするときに選びます。

## ⑿編集画面

テキストを編集するところです。

## ⒀情報表示行

カーソルがある行と桁やカーソル位置にある文字のコードなどが表示されます。

## ⒁編集モードの表示

現在の編集モードが表示されます。

テキスト編集には、カーソル位置に文字を挿入する「挿入モード」と、カーソル位置以降の文字を上書きする「上書きモード」があります。

編集モードの切り換えは、［挿入］キーで行います。

# 2 テキストを編集する

ここでは、テキストを編集するときのマウスやキーボードの操作について説明します。

## マウスとキーボードの操作

テキストを編集するときは、マウスとキーボードを使います。基本的な操作はマウスの左クリックとドラッグ、キーボードのカーソル移動キーと [実行] キーです。
これらの操作で、ほとんどの機能を使うことができます。

| | 操作 | 主な使用例 |
|---|---|---|
| マウス | 左クリック | メニューの選択（オープン、同名保存・クローズ）<br>テキスト指定範囲の取消 |
| マウス | ドラッグ | モード別テキスト範囲指定 |
| キーボード | [PF 1] ～ [PF 5] | メニューの選択 |
| キーボード | カーソル移動キー | サブメニューからの機能選択<br>モード別テキスト範囲指定 |
| キーボード | [実行] | ウィンドウ内の太線で囲まれているボタンの選択 |
| キーボード | [ESC]<br>[取消] | テキスト指定範囲の取消、罫線モードの取消、メニュー表示の取消 |
| キーボード | その他のキー | 定義ファイルで割り当てられているキー |

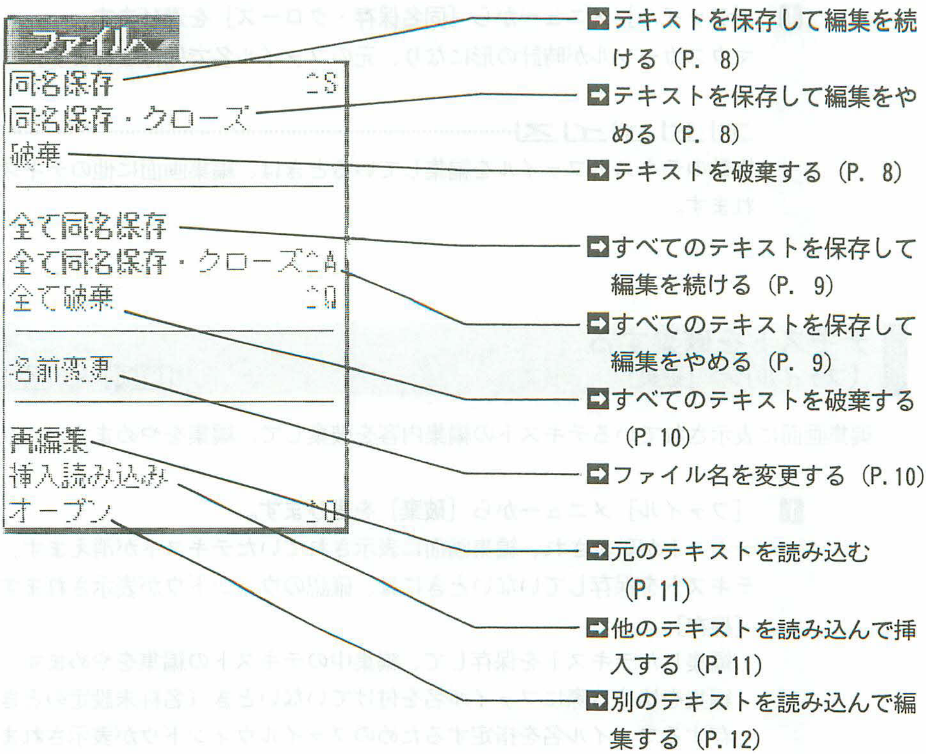
『ディクショナリをお読みになる前に』



# [ファイル] メニューを使う

PF 1

[ファイル] メニューは、ファイルの読み込みや保存など、ファイルに対する操作を集めたメニューです。




**アドバイス**

メニュー名の横に「^S」などと表示されているものは、「 CTRL キーと SHIFT キーを押しながら S キーを押す」とメニューを選択できることを示します。

## テキストを保存して編集を続ける

[ファイル] ⇨ [同名保存]　CTRL + K + S

編集中のテキストを保存し、引き続き同じテキストの編集を続けます。

1. [ファイル] メニューから [同名保存] を選びます。
マウスカーソルが時計の形になり、元のファイル名で保存されます。

## テキストを保存して編集をやめる

[ファイル] ⇨ [同名保存・クローズ]　CTRL + K + D

編集中のテキストを保存し、そのテキストの編集をやめます。

1. [ファイル] メニューから [同名保存・クローズ] を選びます。
マウスカーソルが時計の形になり、元のファイル名で保存されます。

**アドバイス**

複数のテキストファイルを編集しているときは、編集画面に他のテキストが表示されます。

## テキストを破棄する

[ファイル] ⇨ [破棄]　CTRL + K + Q

編集画面に表示されているテキストの編集内容を破棄して、編集をやめます。

1. [ファイル] メニューから [破棄] を選びます。
テキストが破棄され、編集画面に表示されていたテキストが消えます。
テキストを保存していないときには、確認のウィンドウが表示されます。

[保存]
編集したテキストを保存して、編集中のテキストの編集をやめます。
編集を始める際にファイル名を付けていないとき（名称未設定のとき）には、保存するファイル名を指定するためのファイルウィンドウが表示されます。

[保存しない]
編集したテキストを保存せずに、編集中のテキストの編集をやめます。

[編集に戻る]
編集中のテキストを破棄せずに、編集を続けます。

**アドバイス**

複数のテキストファイルを編集しているときは、編集画面に他のテキストが表示されます。

## すべてのテキストを保存して編集を続ける

［ファイル］⇨［全て同名保存］　CTRL + K + S

複数のテキストを同時に編集しているときに、そのすべてのテキストを保存し、編集を続けます。

1. ［ファイル］メニューから［全て同名保存］を選びます。
   マウスカーソルが時計の形になり、すべてのテキストが元のファイル名で保存されます。

**アドバイス**

名称未設定のファイルがあるときは、保存するファイル名を指定するためのファイルウィンドウが表示されます。

## すべてのテキストを保存して編集をやめる

［ファイル］⇨［全て同名保存・クローズ］　CTRL + K + X

複数のテキストを同時に編集しているときに、そのすべてのテキストを保存し、全ての編集をやめます。

1. ［ファイル］メニューから［全て同名保存・クローズ］を選びます。
   マウスカーソルが時計の形になり、すべてのテキストが元のファイル名で保存されます。

**アドバイス**

名称未設定のファイルがあるときは、保存するファイル名を指定するためのファイルウィンドウが表示されます。

## すべてのテキストを破棄する

［ファイル］⇨［全て破棄］　CTRL + K + Z

複数のテキストを同時に編集しているときに、そのすべてのテキストの編集内容を破棄します。

1. ［ファイル］メニューから［全て破棄］を選びます。
テキストが破棄され、編集画面に表示されていたテキストが消えます。
1つでもテキストに変更があった場合には、確認のメッセージが表示されます。
［保存］
編集したすべてのテキストを保存して、テキストの編集をやめます。
編集を始める際にファイル名を付けていないとき（名称未設定のとき）には、保存するファイル名を指定するためのファイルウィンドウが表示されます。
［保存しない］
編集したすべてのテキストを保存せずに、テキストの編集をやめます。
［編集に戻る］
編集中のテキストを破棄せずに、編集画面に戻ります。

## ファイル名を変更する

［ファイル］⇨［名前変更］　CTRL + K + E

編集中のテキストのファイル名を変更します。
ファイル名を変更して保存したいときには、ファイル名を変更したあとで［ファイル］メニューから［同名保存］を選んでください。
なお、ファイル名を変更しても元のファイルは残ります。

1. ［ファイル］メニューから［名前変更］を選びます。
名前を変更するためのファイルウィンドウが表示されます。
2. 新しいファイル名を入力して、［変更］を左クリックします。
ファイル名が変更されます。
同名のファイルが存在する場合は、確認のウィンドウが表示されます。
［強行］
ファイル名を変更します。同名で存在していたファイルは消えてしまいます。
［取消］
ファイル名の変更を中止します。

## 元のテキストを読み込む
［ファイル］⇨［再編集］

編集画面に表示されているテキストの元になっているテキストファイルを、もう一度読み込みます。

編集画面に表示されているテキストが、読み込んだ直後から変更されていない場合には、［再編集］を選ぶことができません。

**1** ［ファイル］メニューから［再編集］を選びます。
確認のウィンドウが表示されます。

［強行］
現在編集中のテキストを破棄し、もう一度元のテキストファイルを読み込みます。

［取消］
元のテキストファイルの読み込みを中止します。

## 他のテキストを読み込んで挿入する
［ファイル］⇨［挿入読み込み］　CTRL ＋ K ＋ R

編集中のテキストに、他のテキストを挿入します。

テキストの最初や最後に他のテキストを挿入することで、複数のテキストをつなぎ合わせることもできます。

**1** 他のテキストを挿入する位置にカーソルを移動します。

**2** ［ファイル］メニューから［挿入読み込み］を選びます。
挿入するテキストファイルを選ぶためのファイルウィンドウが表示されます。

**3** 挿入するテキストファイルを選び、［挿入］を左クリックします。
選んだテキストファイルが、カーソル位置に挿入されます。

## 別のテキストを読み込んで編集する
［ファイル］⇨［オープン］

別のテキストファイルを読み込んで、編集画面に表示します。

**1** ［ファイル］メニューから［オープン］を選びます。
読み込むファイルを指定するためのファイルウィンドウが表示されます。

**2** 読み込むファイルを選び、［開く］を左クリックします。
選んだファイルが読み込まれ、画面に表示されます。

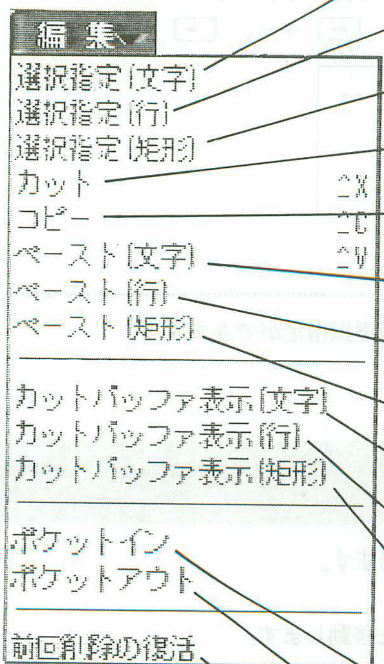
**アドバイス**

- テキストを編集中に別のファイルをオープンすると、それまで編集していたテキストはいったん編集画面から消え、オープンしたファイルが編集の対象になります。複数のファイルを同時にオープンしているときには、［ウィンドウ］メニューの［編集テキストの変更］で編集の対象となるファイルを選ぶことができます。
- 読み込むファイルを選ぶ変わりに、ファイル名を入力して［開く］を左クリックすると、新しくファイルを作ることができます。

# [編集] メニューを使う

PF 2

[編集] メニューは、テキストの一部をカットしたり、それを他の部分にペーストするなど、テキストの編集を行うための操作を集めたメニューです。
編集を行うときには、テキストを“文字列”“行”“矩形”の3つの単位で扱うことができます。




➡文字単位で選択する（P. 14）
➡行単位で選択する（P. 14）
➡矩形で選択する（P. 15）
➡テキストの一部分をカットする（P. 16）
➡テキストの一部分をコピーする（P. 17）
➡文字カットバッファの内容をペーストする（P. 17）
➡行カットバッファの内容をペーストする（P. 17）
➡矩形カットバッファの内容をペーストする（P. 18）
➡文字カットバッファの内容を表示する（P. 19）
➡行カットバッファの内容を表示する（P. 19）
➡矩形カットバッファの内容を表示する（P. 19）
➡テキストの一部分をポケットに複写する（P. 20）
➡ポケットの内容をカーソル位置に複写する（P. 20）
➡直前に削除した内容を復活する（P. 20）

## 文字単位で選択する

[編集] ⇨ [選択指定〔文字〕]　SHIFT + PF 6

カットやコピー、ポケットインのための範囲を文字単位で指定します。

1. 範囲指定を開始する文字位置にカーソルを合わせます。
2. [編集] メニューから [選択指定〔文字〕] を選びます。
   カーソル位置の文字が反転表示され、情報表示行に「文字範囲選択中」と表示されます。
   SHIFT + PF 6 キーでも文字選択ができます。
3. 範囲の終わりとなる文字位置にカーソルを合わせます。
   マウス：キーボードの SHIFT キーを押しながらドラッグ
   　　　　キーボードの SHIFT キーを押しながら左クリック
   キーボード：↑ キー、↓ キー、← キー、→ キー

```
ABCDEFGH↓
IJKLMNOPQRSTUV↓
あいうえお↓
```

**アドバイス**

マウスをドラッグしても文字単位の選択指定ができます。

## 行単位で選択する

[編集] ⇨ [選択指定〔行〕]　PF 6

カットやコピーのための範囲を行単位で指定します。

1. 範囲指定を開始する行にカーソルを移動します。
2. [編集] メニューから [選択指定〔行〕] を選びます。
   カーソル位置の文字が反転表示され、情報表示行に「行範囲選択中」と表示されます。
   PF 6 キーでも行選択ができます。

**3** 範囲の終わりとなる行までカーソルを移動します。

マウス：キーボードの [SHIFT] キーを押しながらドラッグ

キーボードの [SHIFT] キーを押しながら左クリック

ｷｰﾎﾞｰﾄﾞ ： [↑] キー、 [↓] キー

```
ABCDEFGH↓
IJKLMNOPQRSTUV↓
あいうえお↓
```

## 矩形で選択する

［編集］⇨［選択指定〔矩形〕］ [CTRL] ＋ [PF 6]

カットやコピーのための範囲を矩形で指定します。

**1** 範囲指定を開始する文字にカーソルを合わせます。

**2** ［編集］メニューから［選択指定〔矩形〕］を選びます。

カーソル位置の文字が反転表示され、情報表示行に「矩形範囲選択中」と表示されます。

[CTRL] ＋ [PF 6] キーでも矩形選択ができます。

**3** 範囲の終わりとなる文字、行までカーソルを移動します。

マウス：キーボードの [SHIFT] キーを押しながらドラッグまたは左クリック

ｷｰﾎﾞｰﾄﾞ ： [↑] キー、 [↓] キー、 [←] キー、 [→] キー

```
ABCDEFGH↓
IJKLMNOPQRSTUV↓
あいうえお↓
```

## テキストの一部分をカットする

[編集] ⇨ [カット]　SHIFT ＋ PF 7

指定された範囲のテキストをカットバッファに移します。

**確 認**　カットをする前に、範囲を選択しておく必要があります。

1. [編集] メニューから [カット] を選びます。
選択されていた範囲がカットバッファに移ります。
カットした範囲が文字または行の場合は、そのテキストはカットされ、詰められます。

[選択指定] メニューの説明中で使用している例の指定範囲をカットした場合は、次のようになります。

選択指定〔文字〕

```
ABCDEFGH↓
IJ|STUV↓
あいうえお↓
```

選択指定〔行〕

```
|あいうえお↓
かきくけこ↓
    ⋮
```

選択指定〔矩形〕
(上書きモード)

```
AB_     ↓
IJ      QRSTUV↓
あいうえお↓
```

選択指定〔矩形〕
(挿入モード)

```
AB|↓
IJQRSTUV↓
あいうえお↓
```

矩形指定の場合、編集モードの設定によって動作が異なります。

## テキストの一部分をコピーする

［編集］⇨［コピー］　SHIFT ＋ PF 8

指定された範囲のテキストをカットバッファに複写します。

**確認**　複写をする前に、範囲を選択しておく必要があります。

1. ［編集］メニューから［コピー］を選びます。
   選択されていた範囲がカットバッファに複写されます。

## 文字カットバッファの内容をペーストする

［編集］⇨［ペースト〔文字〕］　SHIFT ＋ PF 9

文字カットバッファの内容をカーソル位置の前にペーストします。

1. ペーストしたい位置にカーソルを合わせます。
2. ［編集］メニューから［ペースト〔文字〕］を選びます。
   カーソル位置の前に、文字カットバッファの内容がペーストされます。

## 行カットバッファの内容をペーストする

［編集］⇨［ペースト〔行〕］　PF 9

行カットバッファの内容をカーソル位置の前の行にペーストします。

1. ペーストしたい位置の後ろの行にカーソルを移動します。
2. ［編集］メニューから［ペースト〔行〕］を選びます。
   カーソル位置の前の行に、行カットバッファの内容がペーストされます。

## 矩形カットバッファの内容をペーストする

［編集］⇨［ペースト〔矩形〕］ CTRL + PF 9

矩形カットバッファの内容をカーソル位置にペーストします。

1. ペーストしたい位置にカーソルを移動します。

2. ［編集］メニューから［ペースト〔矩形〕］を選びます。
カーソル位置に、矩形カットバッファの内容がペーストされます。
編集モードによって、動作が異なります。

ペースト前の状態

```
ABCDEFGH
IJKLMNOPQRSTUV
あいうえお
```

ペーストするテキスト

```
@@@@
@@@@
@@@@
```

ペースト後の状態
（挿入モード）

```
AB@@@@CDEFGH↓
IJ@@@@KLMNOPQRSTUV↓
あ@@@@いうえお↓
```

ペースト後の状態
（上書きモード）

```
AB@@@@GH↓
IJ@@@@OPQRSTUV↓
あ@@@@えお↓
```

## 文字カットバッファの内容を表示する
［編集］⇨［カットバッファ表示〔文字〕］

文字カットバッファの内容を表示します。
表示されるのは、直前に［カット］または［コピー］した内容の先頭27行分です。

1. **［編集］メニューから［カットバッファ表示〔文字〕］を選びます。**
   「文字カットバッファの内容確認」ウィンドウが表示されます。
2. **内容を確認して［編集に戻る］を左クリックします。**
   編集画面に戻ります。

## 行カットバッファの内容を表示する
［編集］⇨［カットバッファ表示〔行〕］

行カットバッファの内容を表示します。
表示されるのは、直前に［カット］または［コピー］した内容の先頭27行分です。

1. **［編集］メニューから［カットバッファ表示〔行〕］を選びます。**
   「行カットバッファの内容確認」ウィンドウが表示されます。
2. **内容を確認して［編集に戻る］を左クリックします。**
   編集画面に戻ります。

## 矩形カットバッファの内容を表示する
［編集］⇨［カットバッファ表示〔矩形〕］

矩形カットバッファの内容を表示します。
表示されるのは、直前に［カット］または［コピー］した内容の先頭27行分です。

1. **［編集］メニューから［カットバッファ表示〔矩形〕］を選びます。**
   「矩形カットバッファの内容確認」ウィンドウが表示されます。
2. **内容を確認して［編集に戻る］を左クリックします。**
   編集画面に戻ります。

## テキストの一部分をポケットに複写する
[編集] ⇨ [ポケットイン]

選択されている文字列をポケットに複写します。
ポケットに複写することにより、その文字列を他のアプリケーションにもって行くことができます。

1. 範囲を選択する
2. [編集] メニューから [ポケットイン] を選びます。
   選んだ範囲がポケットに複写されます。

## ポケットの内容をカーソル位置に複写する
[編集] ⇨ [ポケットアウト]

ポケットに入っているテキストを、カーソル位置に複写します。
他のアプリケーションなどで [ポケットイン] の操作を行い、ポケットにテキストのデータが入っている場合だけ使うことができます。

1. ポケットの内容を複写したい位置にカーソルを移動します。
2. [編集] メニューから [ポケットアウト] を選びます。
   カーソル位置に、ポケットの内容が複写されます。

**アドバイス**

ポケットの内容は、次に [ポケットイン] を行うまで有効です。
[ポケットアウト] を行っても、ポケットの内容は消えませんので、何回でも [ポケットアウト] をすることができます。

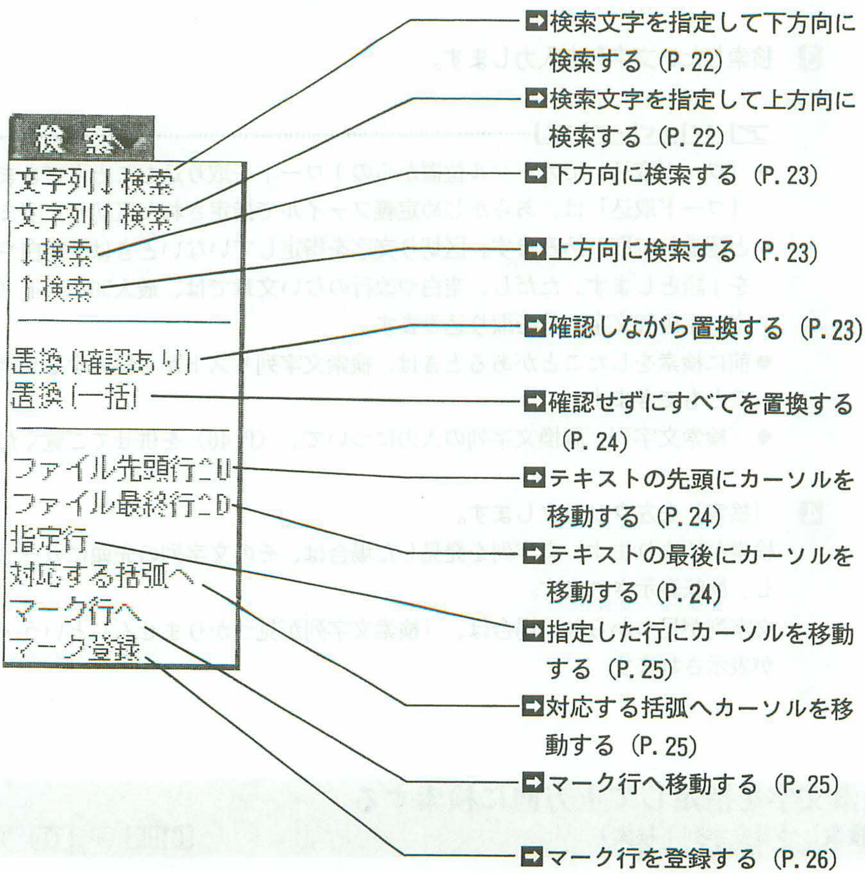
## 直前に削除した内容を復活する
[編集] ⇨ [前回削除の復活]　　CTRL + Q + U

直前に削除を行った内容を復活します。文字単位、行単位、矩形単位で範囲を指定して削除を行った場合は、その範囲が復活されます。
削除 キーや 後退 キーで削除を行った場合は、連続してキーを押して削除した分が復活します。例えば 削除 キーを3回押して、3文字削除した直後に [前回削除の復活] を3回選ぶと、その3文字が復活します。

# ［検索］メニューを使う

PF 3

編集中の文書から指定した文字を検索したり、置換したりするための操作を集めたメニューです。



## 検索文字を指定して下方向に検索する

［検索］⇨［文字列↓検索］　CTRL ＋ Q ＋ F

文字列を下方向に検索します。
検索する範囲は、カーソル位置からファイルの末尾までです。

1 検索を始める位置にカーソルを移動します。

2 ［検索］メニューから［文字列↓検索］を選びます。
「↓検索文字列」ウィンドウが表示されます。

3 検索したい文字列を入力します。

**アドバイス**

- ［ワード取込］でカーソル位置からの１ワードを取り込むこともできます。
［ワード取込］は、あらかじめ定義ファイルで指定された区切り文字までを１語と認識して取り込みます。区切り文字を指定していないときは、空白や改行までを１語とします。ただし、空白や改行のない文章では、最大50バイト（全角25文字、半角50文字）分を取り込みます。
- 前に検索をしたことがあるときは、検索文字列リストから検索する文字列を選ぶこともできます。
- 「検索文字列／置換文字列の入力について」（P. 46）を併せてご覧ください。

4 ［検索］を左クリックします。
検索が始まります。文字列を発見した場合は、その文字列の先頭にカーソルが移動し、反転表示されます。
文字列が見つからない場合は、「検索文字列が見つかりません」というメッセージが表示されます。

## 検索文字を指定して上方向に検索する

［検索］⇨［文字列↑検索］　CTRL ＋ Q ＋ B

文字列を上方向に検索します。
検索する範囲は、カーソル位置からファイルの先頭までです。
検索の方法は［文字列↓検索］と同じです。

## 下方向に検索する

[検索] ⇨ [↓検索]　　CTRL ＋ N

[文字列↓検索]、[文字列↑検索]、[置換〔確認あり〕]、[置換〔一括〕]で最後に指定した文字列を、カーソル位置からファイルの末尾までの範囲で検索します。

## 上方向に検索する

[検索] ⇨ [↑検索]　　CTRL ＋ P

[文字列↓検索]、[文字列↑検索]、[置換〔確認あり〕]、[置換〔一括〕]で最後に指定した文字列を、カーソル位置からファイルの先頭までの範囲で検索します。

## 確認しながら置換する

[検索] ⇨ [置換〔確認あり〕]

文字列を置換します。置換の対象文字列が見つかると、置換するか確認しながら置換します。置換の対象は、カーソル位置からファイルの末尾までです。

1. 置換を始める位置にカーソルを移動します。

2. [検索] メニューから [置換〔確認あり〕] を選びます。
「検索／置換文字列の入力」ウィンドウが表示されます。

3. 検索文字列と置換文字列を入力します。

**アドバイス**

- [ワード取込] でカーソル位置からの1ワードを取り込むこともできます。
[ワード取込] は、あらかじめ定義ファイルで指定された区切り文字までを1語と認識して取り込みます。区切り文字を指定していないときは、空白や改行までを1語とします。ただし、空白や改行のない文章では、最大50バイト（全角25文字、半角50文字）分を取り込みます。
- 前に検索をしたことがあるときは、検索文字列リストから検索する文字列を選ぶこともできます。
- 「検索文字列／置換文字列の入力について」（P. 46）を併せてご覧ください。

**4** ［置換］を左クリックします。
置換が始まります。文字列を発見した場合は、その文字列が反転表示され、確認のウィンドウが表示されます。

［置換］（ 実行 キーでも同じ）
反転表示されている文字列の置換を行い、次の文字列を検索します。

［スキップ］（ 空白 キーでも同じ）
反転表示されている文字列の置換を行わずに、次の文字列を検索します。

［中止］（ 取消 キーでも同じ）
置換を中止し、編集画面に戻ります。

文字列が見つからない場合は、「検索文字列が見つかりません」というメッセージが表示されます。

## 確認せずにすべてを置換する

［検索］⇨［置換〔一括〕］

文字列を置換します。置換の対象文字列が見つかると、確認をせずにすべての文字列を置換します。置換の対象は、カーソル位置からファイルの末尾までです。
操作は［置換〔確認あり〕］とほぼ同じですが、確認のウィンドウは表示されずに、すべての文字列が置換されます。

## テキストの先頭にカーソルを移動する

［検索］⇨［ファイル先頭行］ CTRL ＋ R

編集中のテキストの先頭行にカーソルを移動します。

## テキストの最後にカーソルを移動する

［検索］⇨［ファイル最終行］ CTRL ＋ C

編集中のテキストの最終行にカーソルを移動します。

## 指定した行にカーソルを移動する
［検索］⇨［指定行］

編集中のテキストの指定した行に、カーソルを移動します。

1. ［検索］メニューから［指定行］を選びます。
   「ジャンプ」ウィンドウが表示されます。
2. 移動したい行の番号を入力して、［ジャンプ］を左クリックします。
   指定した行にカーソルが移動します。

## 対応する括弧へカーソルを移動する
［検索］⇨［対応する括弧へ］　CTRL ＋ Q ＋ K

カーソル位置の括弧に対応する括弧を検索して、カーソルを移動します。

1. 括弧の位置にカーソルを合わせます。
2. ［検索］メニューから［対応する括弧へ］を選びます。
   カーソル位置の括弧に対応する括弧の位置に、カーソルが移動します。

## マーク行へ移動する
［検索］⇨［マーク行へ］　CTRL ＋ Q ＋ J

［検索］メニューの［マーク登録］で登録されている行にカーソルを移動し、その行を画面のほぼ中央に表示します。

1. ［検索］メニューから［マーク行へ］を選びます。
   「マーク行にジャンプ」ウィンドウが表示されます。
2. ジャンプ先の行を選んで、［ジャンプ］を左クリックします。
   指定した行にカーソルが移動します。

**アドバイス**

編集中のテキスト以外に設定してあるジャンプ先を選ぶと、そのテキストをオープンして編集画面に表示し、マーク行を画面のほぼ中央に表示します。

## マーク行を登録する

[検索] ⇨ [マーク登録]　　CTRL + Q + I

[検索] メニューの [マーク行へ] でカーソルを移動する先を登録します。
最大10ヵ所まで登録しておけます。

1. 登録したい行にカーソルを移動します。

2. [検索] メニューから [マーク登録] を選びます。
「マーク行の登録」ウィンドウが表示されます。

3. 登録する場所を選び、[登録] を左クリックします。
これで、マーク登録されます。

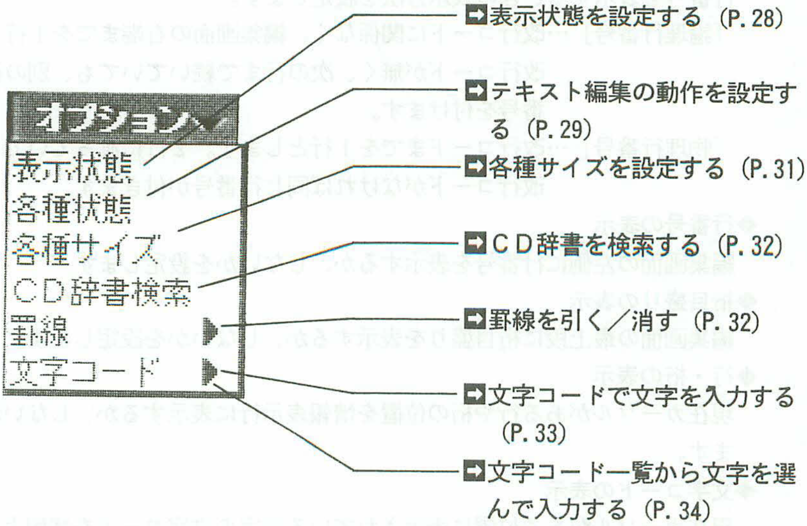
**アドバイス**

- 複数のテキストに対して、[マーク登録] をすることができます。
- マーク登録してあるテキスト編集を終了すると、そのマーク登録は抹消されます。

# ［オプション］メニューを使う

PF 4

［オプション］メニューは、表示状態の変更などを集めたメニューです。編集操作を効率良く行うための設定などを行います。



## 表示状態を設定する
［オプション］⇨［表示状態］

編集画面のいろいろな表示について設定します。

**1** ［オプション］メニューから［表示状態］を選びます。

「表示状態変更」ウィンドウが表示されます。

**2** 項目を設定し、［確認］を左クリックします。

設定した項目が有効になります。

◆行番号表示タイプ

行番号を表示するときの表示方法を設定します。

［論理行番号］…改行コードに関係なく、編集画面の右端までを１行とします。改行コードが無く、次の行まで続いていても、別の行として行番号を付けます。

［物理行番号］…改行コードまでを１行とします。２行に渡っていても、途中に改行コードがなければ同じ行番号が付きます。

◆行番号の表示

編集画面の左側に行番号を表示するか、しないかを設定します。

◆桁目盛りの表示

編集画面の最上段に桁目盛りを表示するか、しないかを設定します。

◆行・桁の表示

現在カーソルがある行や桁の位置を情報表示行に表示するか、しないかを設定します。

◆文字コードの表示

現在カーソルがある位置に表示されている文字の文字コードを情報表示行に表示するか、しないかを設定します。

◆改行記号の表示

改行コードがある場所に、“↓”を表示するか、しないかを設定します。

◆EOF記号の表示

ファイルの終わりを表す記号（ᴱx）を表示するか、しないかを設定します。

◆TAB記号の表示

［タブ］キー（［TAB］キー）により入力されたタブを表示するか、しないかを設定します。

◆全角スペースの表示

全角スペースと半角スペースを区別するために、全角スペースを□で表示するか、しないかを設定します。

**◆カーソル列バーチカルラインの表示**

カーソルのある桁にバーチカルライン（縦棒）を引くか、引かないかを設定します。

**◆カーソル行アンダーラインの表示**

カーソルがある行にアンダーラインを引くか、引かないかを設定します。

## テキスト編集の動作を設定する

［オプション］⇨［各種状態］

カーソルの状態やテキスト編集の動作などを設定します。

**1** ［オプション］メニューから［各種状態］を選びます。

「各種状態変更」ウィンドウが表示されます。

**2** 項目を設定し、［確認］を左クリックします。

設定した項目が有効になります。

**◆カーソル移動：改行記号で**

［止まる］………カーソル移動時に改行マークがあるとカーソルが止まります。

［止まらない］…カーソル移動時に改行マークがあってもカーソルは止まりません。

**◆行端カーソル制御**

［止まる］………編集画面の右端までカーソルが移動すると、カーソルは右端で止まります。

［止まらない］…編集画面の右端までカーソルが移動すると、カーソルは次の行の先頭に移動します。

**◆両画面スクロール**

編集画面を2つに分けて、テキストを編集しているときだけ有効です。

［する］…………両方のテキストを同時にスクロールします。

SHIFT キー＋ ↑ キーで上スクロールします。

SHIFT キー＋ ↓ キーで下スクロールします。

［しない］………片方のテキストだけスクロールします。

**◆ページスクロール動作**

前行 キーと 次行 キーによるスクロールの動作を設定します。

スクロールする行は、1回押すごとに12行です。

［ジャンプ］……すぐに半ページ前または半ページ後を表示します。

［スムース］……半ページ前または半ページ後までスクロールして表示します。

◆オートインデント

⏎キーによる改行時の、カーソルの動作を設定します。

［する］…………改行時に前行の先頭の文字（改行コードを含む）と同じ桁にカーソルが移動します。

［しない］………改行時にカーソルが左端に移動します。

◆文字変換モード

大小変換と全半変換のどちらを行うか設定します。

［大小変換］……大文字を小文字に変換、小文字を大文字に変換します。どちらを行うかは「大文字・小文字変換」の設定で決まります。

［全半変換］……全角文字を半角文字、半角文字を全角文字に変換します。どちらを行うかは「全角・半角変換」の設定で決まります。

**アドバイス**

文字変換の機能は、 CTRL ＋ Q ＋ X キーに割り当てられています。

◆大文字・小文字変換

［大文字に］……小文字を大文字に変換します。

［小文字に］……大文字を小文字に変換します。

◆全角・半角変換

［全角に］………半角文字を全角文字に変換します。

［半角に］………全角文字を半角文字に変換します。

◆検索時の英大文字・小文字

検索時に、英大文字と英小文字を区別するか、しないかを設定します。

［区別］…………大文字と小文字を区別して検索します。

［同一視］………大文字と小文字を区別せずに検索します。

◆バックアップファイルの作成

バックアップファイルを自動的に作成するか、しないかを設定します。

［作成］…………バックアップファイルを自動的に作成します。

［未作成］………バックアップファイルを作成しません。

◆選択開始位置の指定

［編集］メニューの［選択指定］や PF 6 キーによる選択開始位置の指定をするか、しないかを設定します。

［する］にしたときは、［編集］メニューから［選択指定］を選ぶか、または PF 6 キーを押すと選択開始位置を指定する状態になります。選択を始めたい位置までカーソルを移動して 実行 キーを押したあと、範囲を指定します。

［する］…………選択開始位置の指定を有効にします。

［しない］………選択開始位置の指定を無効にします。

## 各種サイズを設定する

［オプション］⇨［各種サイズ］

編集画面でのマージンやタブサイズなどを設定します。

**1** ［オプション］メニューから［各種サイズ］を選びます。

「各種サイズ変更」ウィンドウが表示されます。

**2** 項目を設定し、［確認］を左クリックします。

設定した数値が有効になります。

◆右マージン

編集画面の桁数を設定します。

◆タブサイズ

タブ キー（ TAB キー）を押したときの、タブのサイズを設定します。

◆スクロールマージン

カーソルがどの位置まで進んだらスクロールを開始するか設定します。

例えば“2”に設定したときは、編集画面の最上段から2行目や最下段から2行目にカーソルが進み、さらに ↑ キーや ↓ キーが押されたときにスクロールが始まります。

## CD辞書を検索する
### ［オプション］⇨［CD辞書検索］

CD辞書検索のソフトウェアを呼び出します。
ポケットインやポケットアウトを使うことで、互いに文字列の受け渡しができます。
まず、検索したい語句をテキスト編集の［編集］メニューの［ポケットイン］を使ってポケットに入れます。その後、［オプション］メニューの［CD辞書検索］を選び、CD辞書検索を呼び出します。
CD辞書検索側で検索文字列を入力する状態にした後、［補助］メニューから［ポケットアウト］を選ぶと、テキスト編集でポケットに入れた語句を取り出せます。
検索を実行し、検索結果をテキスト編集に戻すときは、検索結果を範囲指定して［補助］メニューから［ポケットイン］を選びます。
その後、CD辞書検索を終了し、テキスト編集に戻ってから［編集］メニューの［ポケットアウト］を選びます。
CD辞書検索の使いかたは「第2章 1.CD辞書検索」(P.54) をご覧ください。

## 罫線を引く／消す
### ［オプション］⇨［罫線］

編集中のテキストに罫線を引きます。
罫線を引き終わり、文字を入力するときは［罫線モード解除］を選ぶ必要があります。

1. ［オプション］メニューの［罫線］から、罫線の種類を選びます。
   ◆太罫線モード
   太い罫線を引ける状態になります。
   ◆細罫線モード
   細い罫線を引ける状態になります。
   ◆罫線モード解除
   罫線を引く状態を解除し、文字を入力する状態に戻します。

2. [CTRL] キーを押しながらカーソル移動キーを押すことで、罫線を引けます。
   [SHIFT] キーと [CTRL] キーを押しながらカーソル移動キーを押すことで、罫線を消せます。

## 文字コードで文字を入力する
［オプション］⇨［文字コード］⇨［コード入力］

編集画面のカーソル位置に、文字コード（16進）による文字入力を行います。

**1** ［オプション］メニューの［文字コード］から［コード入力］を選びます。
「コード入力」ウィンドウが表示されます。

**2** 文字コードの種類を選び、コードを入力します。




「文字」の横の□に、入力したコードに該当する文字が表示されます。

**アドバイス**

［DOWN］と［UP］を左クリックすることで、□内に表示されている文字の前後のコードの文字を表示することができます。

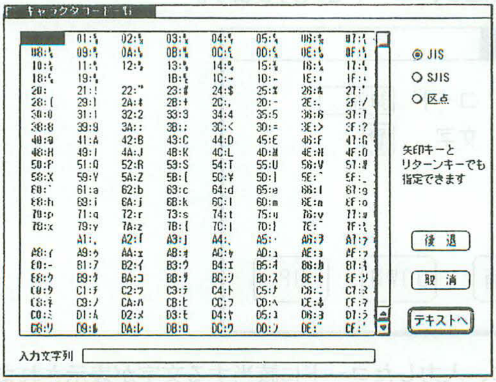
**3** □内の文字をカーソル位置に表示するときは、［入力］を左クリックします。

## 文字コード一覧から文字を選んで入力する

［オプション］⇨［文字コード］⇨［コード一覧］

編集画面のカーソル位置に、コード一覧から選んだ文字を表示します。
同時に複数の文字を表示することができます。

**1** ［オプション］メニューの［文字コード］から［コード一覧］を選びます。
「キャラクタコード一覧」ウィンドウが表示されます。




**アドバイス**

- スクロールバーを使って、コード一覧をスクロールすることができます。
- ［ＪＩＳ］［ＳＪＩＳ］［区点］を左クリックすることで、それぞれのコードを表示することができます。

**2** カーソル位置に表示したい文字を選びます。
必要なら、続けて複数個の文字を選びます。
選んだ文字は、「入力文字列」の入力域に表示されます。

**アドバイス**

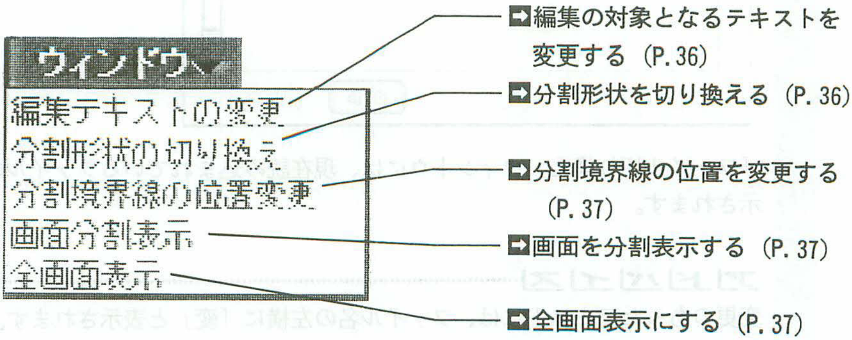
間違えて違う文字を選んでしまったときは、［後退］を左クリックします。
「入力文字列」の入力域に表示されていた文字が１つ消えます。

**3** 文字を選び終わったら、［テキストへ］を左クリックします。
編集画面に戻り、選んだ文字がテキスト中のカーソル位置に表示されます。

# ［ウィンドウ］メニューを使う

PF 5

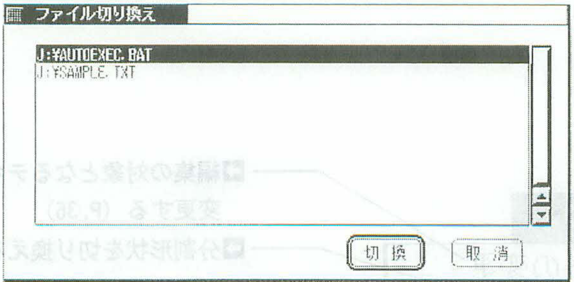
［ウィンドウ］メニューは、編集テキストの変更や編集画面の分割など、画面に関する操作を集めたメニューです。



## 編集の対象となるテキストを変更する
［ウィンドウ］⇨［編集テキストの変更］

複数のファイルを読み込んでいるときに、編集画面に表示されていないテキストを編集画面に表示して編集できるようにします。

**1** ［ウィンドウ］メニューから［編集テキストの変更］を選びます。
「ファイル切り換え」ウィンドウが表示されます。




「ファイル切り換え」ウィンドウには、現在読み込まれているファイルの一覧が表示されます。

**アドバイス**
変更のあったテキストには、ファイル名の左横に「変」と表示されます。

**2** 編集画面に表示したいファイルを選び、［切換］を左クリックします。
編集の対象となるファイルが切り換わり、編集画面に表示されます。

## 分割形状を切り換える
［ウィンドウ］⇨［分割形状の切り換え］

編集画面を分割して、２つのテキストを表示するときの画面の分割形状を変更します。

**1** ［ウィンドウ］メニューから［分割形状の切り換え］を選びます。
「分割形状変更」ウィンドウが表示されます。

**2** 項目を設定して、［確認］を左クリックします。
編集画面が、設定した形状に分割されます。
◆上下
編集画面を上下に分割して、2つのテキストを表示します。
◆左右
編集画面を左右に分割して、2つのテキストを表示します。

## 分割境界線の位置を変更する
［ウィンドウ］⇨［分割境界線の位置変更］

編集画面で2つのテキストを編集しているときに、分割境界線の位置を変更します。

**1** ［ウィンドウ］メニューから［分割境界線の位置変更］を選びます。
境界線の色が変わり、メッセージが表示されます。

**2** ［実行］と［取消］以外の部分をドラッグして、境界線を移動します。
キーボードの場合は、［↑］［↓］キーで移動します。

**3** 位置が決まったら［実行］を左クリックします。
境界線の位置が確定します。

## 画面を分割表示する
［ウィンドウ］⇨［画面分割表示］

2つ以上のテキストを読み込んでいるときに、編集画面を2つに分けて、同時に2つのテキストを表示します。
分割する形状は、［分割形状の切り換え］で設定します。

## 全画面表示にする
［ウィンドウ］⇨［全画面表示］

編集画面を2つに分割しているときに、全画面に戻します。

➡『ディクショナリをお読みになる前に』

# 3 便利な使いかた

ここでは、テキスト編集をさらに使いやすくするための、便利な機能について説明します。
ここで説明するのは次の項目です。

- 定義ファイルについて➡（P. 39）
  キーに対する機能の割り当てや、テキスト編集を起動したときの状態を定義するための“定義ファイル”について説明します。

- 検索文字列／置換文字列の入力について➡（P. 46）
  検索や置換を行うときの文字列の入力方法について、便利な方法を説明します。

- カーソル制御について➡（P. 47）
  改行記号の位置や、行端でのカーソルの動作などについて説明します。

- 文字変換モードについて➡（P. 48）
  ［オプション］メニューの［各種状態］で設定する、文字変換モードについて説明します。

- 環境変数設定について➡（P. 49）
  テキスト編集を使う上での、環境変数について説明します。

# 定義ファイルについて

定義ファイル（EDIT.DEF）は、キーに対する機能の割り当てや、テキスト編集を起動したときの状態などを定義するファイルです。「¥T_TOOL」ディレクトリの中にあります。

機能をキーに割り当てる“キー定義部”と、エディタの状態を定義する“オプション定義部”から構成されます。



## オプション定義部

オプション定義部では、編集モードの変更や行番号表示の変更など、テキスト編集の動作状態や画面の表示状態、テキストの1語制御を行う場合の区切り記号などを定義します。
テキスト編集の状態などは、テキスト編集を起動したあとに［オプション］メニューの［表示状態］や［各種状態］で変更することも可能ですが、定義ファイルに定義しておくことで、必ず定義した状態で起動するようになります。

| | 機能／意味 | 初期値 |
|---|---|---|
| LT | 行番号表示タイプの変更 | 論理行番号 |
| LD | 行番号表示 | OFF |
| CG | 桁位置表示 | OFF |
| LC | カーソル位置の行／桁位置表示 | OFF |
| CC | カーソル位置の文字コード表示 | OFF |
| L | 改行文字表示 | ON |
| E | ファイル末尾記号表示 | ON |
| T | TAB記号表示 | OFF |
| Z | 全角スペースマーク表示 | OFF |
| S | 画面分割状態 | 全画面 |
| ST | 画面分割形状変更 | 上下 |
| V | カーソル列バーチカルライン表示 | OFF |
| U | カーソル行アンダーライン表示 | OFF |
| F | 改行位置でのカーソル移動 | 止まる |
| CS | 行端でのカーソル移動 | 止まらない |
| D | 画面分割表示状態での2画面同時スクロール | OFF |

| | 機能／意味 | 初期値 |
|---|---|---|
| PS | ページスクロール | スムース |
| I | オートインデント | OFF |
| CMn | 文字変換モード選択 | 大小変換 |
| C1 | 大文字／小文字変換選択（大小変換の場合） | 大文字変換 |
| C2 | 半角／全角変換選択（全半変換の場合） | 半角変換 |
| UL | 検索時の英大文字／小文字区別 | 区別しない |
| SS | 選択開始位置指定 | 指定しない |
| O | 編集モード選択 | 挿入 |
| R | 編集ファイル読み込みモード | 随時読み込み |
| BF | バックアップファイル作成 | 作成する |
| Mn | 右マージンの桁数をnにする | 78 |
| Hn | タブの移動数をnにする | 4 |
| DLMT | 区切り文字を指定する | |
| DLMS | ワードジャンプにおいてデリミタコードをスキップする | |
| SPAS | ワードジャンプにおいて空白文字をスキップする | |

オプション定義は、“;”を“-”または“/”に置き換えると、現在の設定が変更されます。
“Mn”と“Hn”は、数値も指定します。その数値が、右マージン桁数とタブ移動数として設定されます。
“DLMT”は、1語（ワード）の区切り文字を指定します。このとき、区切り文字は、1行に続けて記述してください。

## ワード境界とする文字種別の定義

次の文字列を指定することで、それぞれの文字種別境界をワード境界にします。
何も指定しない場合は、文字種別境界はありません。

| | |
|---|---|
| WB_CNTROL_CHAR | 制御記号 |
| WB_H_ALPH_NUM | 半角英数字 |
| WB_H_KIGO | 半角記号 |
| WB_H_KANA | 半角カタカナ |
| WB_F_ALPH_NUM | 全角英数字 |
| WB_F_KIGO | 全角記号 |
| WB_F_HIRA | 全角ひらがな |
| WB_F_KANA | 全角カタカナ |
| WB_F_GREEK | 全角ギリシャ文字 |
| WB_F_RUSSIAN | 全角ロシア文字 |
| WB_F_RULED | 全角罫線 |
| WB_F_KANJI | 全角漢字 |
| WB_F_ETC | 全角その他 |
| WB_H_ETC | 半角その他 |

## ファイル拡張子の指定

特定の拡張子が付いたファイルだけを、ファイルウィンドウに表示するように設定します。
使用頻度の高いものを指定しておくと便利です。初期値は、ドキュメントの整理がしやすいように「＊.DOC」「＊.TXT」「＊.BAT」の３つを指定してあります。
プログラムを作成するときは、「＊.C」「＊.H」「＊.ASM」などを設定すると便利です。
定義ファイルの中の次の行を書き換えることで、設定を変更できます。

```
-WC1*.DOC
-WC2*.TXT
-WC3*.BAT
```

## キー定義部

[PF 1] キーから [PF 5] キーにメニューの機能が割り当てられているように、他のキーにもいろいろな機能が割り当てられています。
キー定義部を変更することにより、キーにいろいろな機能を割り当てることができます。

> **注意**
> [PF 1] キーから [PF 5] キーは、変更できません。

### ◆キー定義部の初期値

初期値で設定されているのは、次の機能です。

| キー | 機能 | 機能番号 | キー | 機能 | 機能番号 |
|---|---|---|---|---|---|
| PF 1 | ［ファイル］メニュー | | CTRL+A | 1語左 | 75 |
| PF 2 | ［編集］メニュー | | CTRL+C | ファイル最終行へ | 63 |
| PF 3 | ［検索］メニュー | | CTRL+D | 1文字右 | 74 |
| PF 4 | ［オプション］メニュー | | CTRL+E | 1行上 | 71 |
| PF 5 | ［ウィンドウ］メニュー | | CTRL+F | 1語右 | 76 |
| PF 6 | 行選択開始 | 32 | CTRL+G | ［DEL］1文字削除 | 3 |
| PF 7 | カット | 34 | CTRL+H | ［BS］1文字戻し削除 | 4 |
| PF 8 | コピー | 35 | CTRL+I | ［TAB］キー処理 | 8 |
| PF 9 | 行ペースト | 38 | CTRL+J | ［CR］キー処理 | 7 |
| PF10 | 行選択範囲クリア | 36 | CTRL+K+D | 同名保存・クローズ | 12 |
| PF12 | テキスト編集の終了 | 143 | CTRL+K+E | ファイル名の変更 | 20 |
| SHIFT+PF 6 | 文字選択開始 | 31 | CTRL+K+Q | 破棄 | 14 |
| SHIFT+PF 7 | カット | 34 | CTRL+K+R | 挿入読み込み | 21 |
| SHIFT+PF 8 | コピー | 35 | CTRL+K+S | 同名保存 | 13 |
| SHIFT+PF 9 | 文字ペースト | 37 | CTRL+K+X | 全ファイル同名保存・クローズ | 16 |
| SHIFT+PF10 | 文字選択範囲クリア | 36 | CTRL+K+Z | 全ファイル破棄 | 18 |
| CTRL+PF6 | 矩形選択開始 | 33 | CTRL+L | 1語検索ワード取り込み | 57 |
| CTRL+PF7 | カット | 34 | CTRL+M | ［CR］キー処理 | 7 |
| CTRL+PF8 | コピー | 35 | CTRL+N | ↓検索 | 53 |
| CTRL+PF9 | 矩形ペースト | 39 | | | |
| CTRL+PF10 | 矩形選択範囲クリア | 36 | | | |

| キー | 機能 | 機能番号 | キー | 機能 | 機能番号 |
|---|---|---|---|---|---|
| CTRL+O | 改行記号の表示切り換え | 106 | CTRL+U | 削除文字列の復活 | 89 |
| CTRL+P | ↑検索 | 54 | CTRL+V | 削除文字の復活 | 88 |
| CTRL+Q+B | 文字列↑検索 | 52 | CTRL+W | 高速スクロールアップ | 79 |
| CTRL+Q+D | 論理行末へ | 78 | CTRL+X | １行下 | 72 |
| CTRL+Q+F | 文字列↓検索 | 51 | CTRL+Y | カーソル位置の１行削除（論理行） | 94 |
| CTRL+Q+I | 行マーク登録 | 69 | CTRL+Z | 高速スクロールダウン | 80 |
| CTRL+Q+J | マーク行へ | 68 | 挿入 | 編集モード変更 | 6 |
| CTRL+Q+K | 対応括弧の検索 | 64 | 前行 | 半画面スクロールアップ | 83 |
| CTRL+Q+S | 論理行頭へ | 77 | 次行 | 半画面スクロールダウン | 84 |
| CTRL+Q+U | 前回削除の復活 | 9 | SHIFT+削除 | １語削除 | 91 |
| CTRL+Q+V | 論理行頭からカーソル位置まで削除 | 93 | SHIFT+挿入 | 行２重化（論理行） | 90 |
| CTRL+Q+X | 文字変換 | 65 | SHIFT+HOME | 編集ファイル変更（回転） | 24 |
| CTRL+Q+Y | 文字変換（大文字・小文字変換） | 66 | SHIFT+前行 | １画面スクロールアップ | 81 |
| CTRL+Q+Z | 文字変換（全角・半角変換） | 67 | SHIFT+次行 | １画面スクロールダウン | 82 |
| CTRL+R | ファイル先頭行へ | 62 | CTRL+挿入 | ファイル先頭行 | 62 |
| CTRL+S | １文字左 | 73 | | | |
| CTRL+T | カーソル位置から行末までの削除（論理行） | 92 | | | |

◆機能定義番号

キーに機能を割り当てるときに、定義ファイルのキー定義部に書く機能定義番号の一覧です。

| 機能番号 | 機　能 | 機能番号 | 機　能 |
|---|---|---|---|
| 0 | 動作なし | 33 | 矩形選択開始 |
| 3 | [削除] キー処理 | 34 | カット |
| 4 | [後退] キー処理 | 35 | コピー |
| 5 | [ESC] キー処理 | 36 | 選択範囲クリア |
| 6 | [挿入] キー処理 | 37 | 文字ペースト |
| 7 | [↵] キー処理 | 38 | 行ペースト |
| 8 | [TAB] キー処理 | 39 | 矩形ペースト |
| 9 | 前回削除の復活 | 41 | 行カットバッファの表示 |
| 11 | オープン | 42 | 文字カットバッファの表示 |
| 12 | 同名保存・クローズ | 43 | 矩形カットバッファの表示 |
| 13 | 同名保存 | 45 | 太罫線モード設定 |
| 14 | 破棄 | 46 | 細罫線モード設定 |
| 15 | 再編集 | 47 | 罫線モード解除 |
| 16 | 全ファイル同名保存・クローズ | 51 | 文字列↓検索 |
| 17 | 全ファイル同名保存 | 52 | 文字列↑検索 |
| 18 | 全ファイル破棄 | 53 | ↓検索 |
| 19 | 全ファイルの再編集 | 54 | ↑検索 |
| 20 | ファイル名の変更 | 55 | 置換［確認あり］ |
| 21 | 挿入読み込み | 56 | 置換［一括］ |
| 22 | 編集ファイル変更（選択） | 57 | 検索ワード取り込み |
| 23 | 編集ファイル変更（順次） | 61 | 指定行番号へ |
| 24 | 編集ファイル変更（切換 [HOME] キー） | 62 | ファイル先頭行へ |
|  |  | 63 | ファイル最終行へ |
| 25 | 画面分割表示（ウィンドウオープン） | 64 | 対応括弧の検索 |
|  |  | 65 | 文字変換 |
| 26 | 全画面表示（ウィンドウクローズ） | 66 | 文字変換［大／小］ |
|  |  | 67 | 文字変換［全／半］ |
| 27 | 分割境界線の位置変更 | 68 | マーク行へジャンプ |
| 28 | 分割形状の変更 | 69 | マーク行登録 |
| 31 | 文字列選択開始 | 71 | 1行上 |
| 32 | 行選択開始 | 72 | 1行下 |

| 機能番号 | 機能 | 機能番号 | 機能 |
|---|---|---|---|
| 73 | 1文字左 | 104 | 行／桁位置表示変更 |
| 74 | 1文字右 | 105 | 文字コード表示変更 |
| 75 | 1語左 | 106 | 改行記号表示変更 |
| 76 | 1語右 | 107 | TAB記号表示変更 |
| 77 | 論理行頭へ | 108 | EOF記号表示変更 |
| 78 | 論理行末へ | 109 | 全角スペース表示変更 |
| 79 | 高速スクロールアップ | 110 | カーソル列バーチカルライン表示変更 |
| 80 | 高速スクロールダウン | 111 | カーソル行アンダーライン表示変更 |
| 81 | 1画面スクロールアップ | 112 | フリーカーソルモード変更 |
| 82 | 1画面スクロールダウン | 113 | 行端カーソル制御変更 |
| 83 | 半画面スクロールアップ | 114 | 両画面スクロール動作変更 |
| 84 | 半画面スクロールダウン | 115 | ページスクロール動作変更 |
| 88 | 削除文字の復活 | 122 | コード入力 |
| 89 | 削除文字列の復活 | 123 | コード表一覧 |
| 90 | 行2重化（論理行） | 124 | 子プロセス起動：CD辞書検索 |
| 91 | カーソル位置の1語削除 | 130 | 罫線引き（上） |
| 92 | カーソル位置から行末まで削除（論理行） | 131 | 罫線引き（下） |
| 93 | 行頭からカーソル位置まで削除（論理行） | 132 | 罫線引き（左） |
| 94 | カーソル位置の1行削除（論理行） | 133 | 罫線引き（右） |
| 95 | カーソル位置から行末まで削除（物理行） | 134 | 罫線消し（上） |
| 96 | 行頭からカーソル位置まで削除（物理行） | 135 | 罫線消し（下） |
| 97 | カーソル位置の1行削除（物理行） | 136 | 罫線消し（左） |
| 101 | 行番号表示タイプ変更 | 137 | 罫線消し（右） |
| 102 | 行番号表示変更 | 140 | 「表示状態変更」ウィンドウ |
| 103 | 桁目盛り表示変更 | 141 | 「各種状態変更」ウィンドウ |
| | | 142 | 「各種サイズ変更」ウィンドウ |
| | | 143 | テキスト編集の終了 |
| | | 144 | ポケットイン |
| | | 145 | ポケットアウト |

# 検索文字列／置換文字列の入力について

ここでは、検索文字列と置換文字列の入力について、便利な方法を説明します。

## 指定できる文字

検索文字列（置換文字列）には、ワイルドカード(*や?)を指定することができます。
例えば、Aで始まり、Cで終わる文字列を検索（置換）する場合に、次のように入力することができます。

```
A*C または A?C
```

A*C ：Aで始まって、Cで終わる、文字数の決まっていない文字列を検索（置換）する
A?C ：?を1文字分と見なすので、Aで始まってCで終わる3文字の文字列を検索（置換）する

## 検索時の特殊な記号

*記号や?記号を通常の文字として検索（置換）したい場合は、次のように入力します。

```
A¥*C または A¥?C
```

*や?の前に¥記号を付けることで、これらの記号を通常の文字として扱うことができます。
また、¥記号を通常の文字として検索するときも、¥記号の前に¥記号を付けてください。

## 文字列カットバッファの文字列

検索文字列や置換文字列を入力する状態で、［文字ペースト］の機能が割り当てられたキーを押すと、文字カットバッファ内の文字列が、検索文字列の入力域または置換文字列の入力域に表示されます。

**アドバイス**

SHIFT＋＃＋＃といった、キーを2つ押すものにこの機能を割り当てた場合は使えません。

# カーソル制御について

改行記号位置や、行端でのカーソルの動作制御について説明します。

カーソルの動作の設定は、［オプション］メニューの［各種状態］の中にある「カーソル移動：改行記号で」と「行端カーソル制御」の２つで行います。

この２つの設定の関係について表にまとめました。

| | | 改行記号位置 | |
|---|---|---|---|
| | | 止まる | 止まらない |
| 行端カーソル制御 | 止まる | 改行記号：↓記号でカーソルは止まり、[→] キーを押しても次行へ移動しない | 改行記号：↓記号でカーソルは止まらずに [→] キーで↓記号以降に移動する |
| | | 行端：左右行端でカーソルは止まり、[←] キーと [→] キーを押しても前行、次行へ移動しない | 行端：左右行端でカーソルは止まり、[←] キーと [→] キーを押しても前行、次行へ移動しない |
| | 止まらない | 改行記号：↓記号でカーソルは止まり、[→] キーを押すと次行へ移動する | 改行記号：↓記号でカーソルは止まらずに、[→] キーで↓記号以降に移動する |
| | | 行端：左右行端でカーソルは止まらずに、[←] キーと [→] キーを押すと前行、次行へ移動する | 行端：左右行端でカーソルは止まらずに、[←] キーと [→] キーを押すと前行、次行へ移動する |

**アドバイス**

- 行右端は、論理行の右端（右マージン数）を指します。
- 行左端は、論理行の左端を指し、行番号は含まれません。

# 文字変換モードについて

文字変換には、次の4種類があります。

これらは、［オプション］メニューの［各種状態］の中にある「文字変換モード」と「大文字・小文字変換」、「全角・半角変換」で設定します。

CTRL ＋ Q ＋ X キーを押すと、指定したモードに従って文字変換を行います。

◆小文字→大文字変換
英字を小文字から大文字に変換します。

◆大文字→小文字変換
英字を大文字から小文字に変換します。

◆全角→半角変換
英字、数字、記号を全角から半角に変換します。

◆半角→全角変換
英字、数字、記号を半角から全角に変換します。

<table>
<tr><th>変換操作</th><th>文字変換<br>モード</th><th>大文字・<br>小文字変換</th><th>全角・<br>半角変換</th></tr>
<tr><td>小文字→大文字変換</td><td rowspan="2">大小変換</td><td>大文字に</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>大文字→小文字変換</td><td>小文字に</td></tr>
<tr><td>半角→全角変換</td><td rowspan="2">全半変換</td><td rowspan="2"></td><td>全角に</td></tr>
<tr><td>全角→半角変換</td><td>半角に</td></tr>
</table>

# 環境変数設定について



テキスト編集に関する環境変数に“EDITWORK”があります。

EDITWORKは、編集時の作業ファイルを作成するパスを指定するための環境変数です。最大５個の作業ファイルを使用することがありますので、空き領域などを考慮してください。

環境変数は、AUTOEXEC.BATファイルの中で指定します。

たとえば、作業ファイルをドライブＥのサブディレクトリ“TMP”に作成する場合は、AUTOEXEC.BATファイルに次の１行を追加します（ただし、あらかじめドライブＥにTMPディレクトリを作成しておく必要があります）。

```
SET EDITWORK = E:¥TMP
```

- E: ── 作業ファイルを作成するドライブ
- ¥TMP ── 作業ファイルを作成するディレクトリ

# 第2章

# TownsStaff



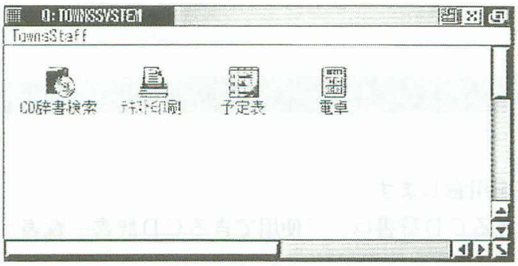


**注意**

TownsMENUからメニューを選んだり、アイテムを実行するときは、Townsパッドのボタンを押さないように気をつけてください。FMＴＯＷＮＳが正しく動作しないことがあります。

# TownsStaffについて

Townsシステムソフトウェアを起動し、アイテム表示ウィンドウから (TownsStaff) を選ぶと、次のようなアイテム表示ウィンドウが表示されます。




TownsStaffのアイテム表示ウィンドウには、次の4つのソフトウェアがアイテムとして登録されています。それぞれの使いかたは、参照先をご覧ください。


ＣＤ辞書検索………➡ (P. 54)
テキスト印刷………➡ (P. 72)
予定表………………➡「TownsMENUﾃﾞｨｸｼｮﾅﾘ 第２章 1.ｻｲﾄﾞﾜｰｸｱﾌﾟﾘの操作」
電卓…………………➡「TownsMENUﾃﾞｨｸｼｮﾅﾘ 第２章 1.ｻｲﾄﾞﾜｰｸｱﾌﾟﾘの操作」

『ディクショナリをお読みになる前に』

# 1 ＣＤ辞書検索を使う

ＣＤ辞書検索では、EPWING規約に基づいたCD-ROM辞書に収められている内容を検索し、参照することができます。
ここでは、ＣＤ辞書検索の操作方法について説明します。

## 起動する

**確認** ＣＤ辞書を用意します。

使用できるＣＤ辞書は、「使用できるＣＤ辞書一覧表」(P.69）を参照してください。

1. （TownsStaff）を実行します。
   TownsStaffのアイテム表示ウィンドウが表示されます。

2. （ＣＤ辞書検索）を実行します。
   「ＣＤ辞書ディスクをセットしてください」というメッセージが表示されます。

3. ＣＤ辞書ディスクをCD-ROMドライブにセットし、［確認］を左クリックします。
   ＣＤ辞書内に複数の書籍が存在するときは、「書籍選択」ウィンドウが表示されます。書籍が１つのときは、「著作権表示」ウィンドウが表示されます。

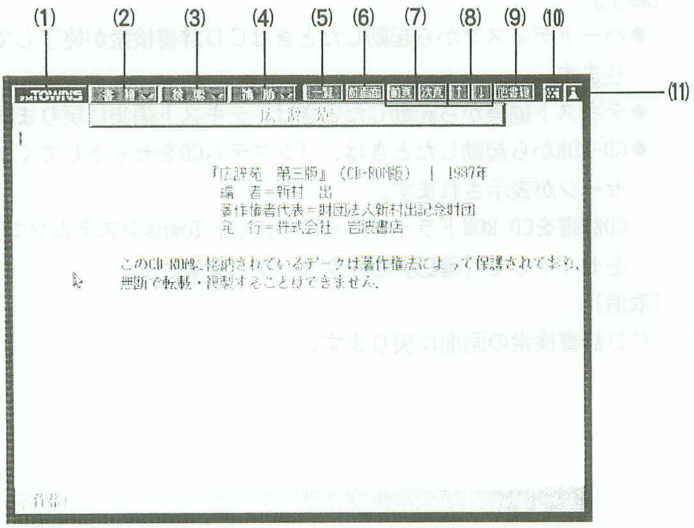
   **アドバイス**
   テキスト編集を使っているときに、［オプション］メニューの［ＣＤ辞書検索］を選んで起動することもできます。

## 終了する

1. (終了ボタン)を左クリックします。
「CD辞書検索を終了します」というメッセージが表示されます。
[終了]
●ハードディスクから起動したときはCD辞書検索が終了して、TownsMENUに戻ります。
●テキスト編集から起動したときは、テキスト編集に戻ります。
●CD-ROMから起動したときは、「システムCDをセットしてください」というメッセージが表示されます。
CD辞書をCD-ROMドライブから取り出し、TownsシステムソフトウェアのCD-ROMをセットして[確認]を左クリックします。
[取消]
CD辞書検索の画面に戻ります。

# 各部の名称と役割

ここでは、CD辞書検索の各部の名称と役割を説明します。



## (1)[FM TOWNS]メニュー

サイドワーク機能を使うときに選びます。

➡サイドワーク機能については「TownsMENU ディクショナリ 第2章 1.サイドワークの操作」をご覧ください。

## (2)［書籍］メニュー

メニュー画面、画像メニュー、著作権画面、書籍選択、CD交換の各メニューを使うときに選びます。

## (3)［検索］メニュー

CD辞書の検索を行うときに選びます。

## (4)［補助］メニュー

文書保存、図版保存（画像保存）、文章印刷、図版印刷（画像印刷）、ポケットイン（ポケットに追加）、ポケットアウト、ポケットクリア、表示モード設定を使うときに選びます。

## (5)一覧ボタン

直前に行った検索の結果を一覧表示するときに選びます。
検索を1度以上行っているときに選べます。

## (6)前画面ボタン

前に表示した画面を表示するときに選びます。

## (7)前頁ボタン／次頁ボタン

前のページや次のページを表示するときに選びます。

## (8)↑ボタン／↓ボタン

1行だけ上スクロール、または下スクロールするときに選びます。

## (9)他書籍（自書籍）ボタン

［他書籍］ボタンは、直前の検索語句を他書籍で検索し、その検索結果を表示するときに選びます。
［自書籍］ボタンは、他書籍参照中に検索語句を元の書籍（自書籍）で再び検索し、その検索結果を表示するときに選びます。

**アドバイス**

- ［他書籍］ボタンは、入力語検索、または関連語検索の直後だけ選べます。
- 検索結果が複数のときは、検索結果一覧から選択します。
- 他書籍ボタンは、三省堂ワードハンターCD-ROMの「ニューセンチュリー英和・新クラウン和英辞典」と「デイリーコンサンス英和・和英辞典」で利用できます。

## (10)ソフトウェアキーボード表示ボタン

ソフトウェアキーボードを表示するときに選びます。

## (11)終了ボタン

CD辞書検索を終了するときに選べます。

## 本文中に表示されるボタン

検索結果の内容に3種類のボタンが表示されます。それぞれのボタンを左クリックするとボタンの示している動作が行われます。

（参照ボタン）…　参照先、または画像を表示します。

（音声ボタン）…　CD辞書に用意されている音声が鳴ります。

色（色ボタン）……　CD辞書に用意されている色見本を表示します。
色ボタンは「広辞苑CD-ROM」で利用できます。

# ＣＤ辞書を検索する

ここでは、ＣＤ辞書の検索方法を説明します。
検索の方法は、５種類あります。ＣＤ辞書および書籍により、実際使用できる検索の種類は異なります。

## 語句を入力して検索する

［検索］⇨［入力語検索］

項目の見出し語句を入力して検索します。

**1** ［検索］メニューから［入力語検索］を選びます。
「入力語検索」ウィンドウが表示されます。




**2** 検索する語句を入力し、［検索］を左クリックします。
- 検索結果が１つしかないときは、検索結果が表示されます。
- 検索結果が複数あるときは、「検索結果一覧」ウィンドウが表示されます。**3**の操作を行ってください。

**アドバイス**

検索語句の入力には、３種類の方法があります。
- キーボード入力
  キーボードから入力します。
- ログ一覧からの入力
  ［ログ］を選び、ログ一覧から検索条件を選びます。
- ポケットからの入力
  ［補助］メニューの［ポケットアウト］を選びます。
  ポケット内にテキストデータがあれば、検索語句として入力されます。

**アドバイス**

入力語検索には、3つの方法があります。

●語句の完全一致

入力語句の前後に指定文字（「～」や「－」）を付けない。

（例：スキー ⇨ スキー）

●検索語句の前方一致

入力語句のあとに「～」、または「－」を付けると、入力した語句が先頭にある単語を検索します。

（例：スキー～ ⇨ スキーヤー、スキーウェアなど）

●検索語句の後方一致

入力語句のまえに「～」、または「－」を付けると、入力した語句が後方にある単語を検索します。

（例：～スキー ⇨ スキー、チャイコフ・スキーなど）

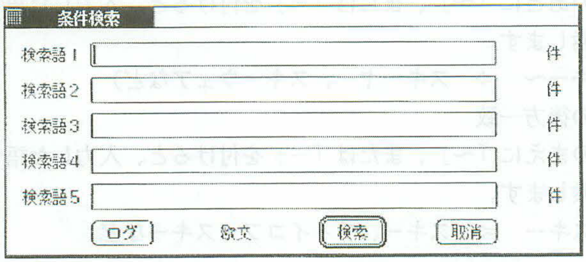
3 検索結果一覧から検索したい語句を選びます。

検索結果が表示されます。

## 条件語句を入力して検索する
［検索］⇨［条件検索］

項目の内容に含まれている語句を複数指定して検索します。

**1** ［検索］メニューから［条件検索］を選びます。
「条件検索」ウィンドウが表示されます。




**2** 検索する語句を入力し、［検索］を左クリックします。
- 検索結果が１つしかないときは、検索結果が表示されます。
- 検索結果が複数あるときは、「検索結果一覧」ウィンドウが表示されます。
  **3**の操作をおこなってください。

**アドバイス**
検索語句の入力には、３種類の方法があります。項目の内容に含まれている語句を５個まで入力できます。
- キーボード入力
  キーボードから入力します。
- ログ一覧からの入力
  ［ログ］を選び、ログ一覧から検索条件を選びます。検索語句として入力されます。
- ポケットからの入力
  ［補助］メニューの［ポケットアウト］を選びます。
  ポケット内にテキストデータがあれば、検索語句として入力されます。

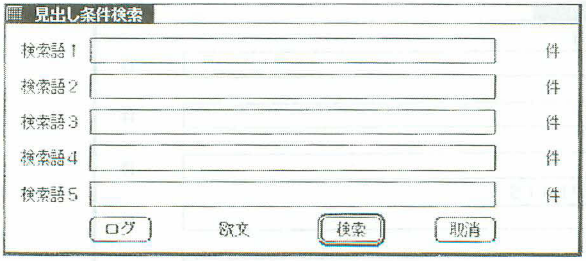
**3** 検索結果一覧から検索したい語句を選びます。
検索結果が表示されます。

## 見出しの条件を入力して検索する

［検索］⇨［見出し条件検索］

項目の見出しに含まれている語句を複数指定して検索します。

**1** ［検索］メニューから［見出し条件検索］を選びます。
「見出し条件検索」ウィンドウが表示されます。




**2** 検索する語句を入力し、［検索］を左クリックします。

- 検索結果が１つしかないときは、検索結果が表示されます。
- 検索結果が複数あるときは、「検索結果一覧」ウィンドウが表示されます。
  **3**の操作をおこなってください。

**アドバイス**

検索語句の入力には、３種類の方法があります。項目の見出しに含まれている語句を５個まで入力できます。

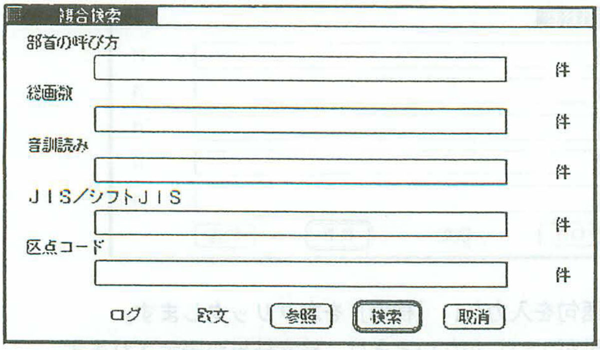
- キーボード入力
  キーボードから入力します。
- ログ一覧からの入力
  ［ログ］を選び、ログ一覧から検索条件を選びます。検索語句として入力されます。
- ポケットからの入力
  ［補助］メニューの［ポケットアウト］を選びます。
  ポケット内にテキストデータがあれば、検索語句として入力されます。

**3** 検索結果一覧から検索したい語句を選びます。
検索結果が表示されます。

## 複数の条件語句を入力して検索する
［検索］⇨［複合検索］

書籍内にあらかじめ用意されている複数の検索条件を組み合わせて検索します。

**1** ［検索］メニューから［複合検索］を選びます。
「複合検索」ウィンドウが表示されます。




**2** 検索する語句を入力し、［検索］を左クリックします。
●検索結果が１つしかないときは、検索結果が表示されます。
●検索結果が複数あるときは、「検索結果一覧」ウィンドウが表示されます。
**3**の操作をおこなってください。

**アドバイス**

検索語句の入力には、４種類の方法があります。検索語句を５個まで入力できます。
●キーボード入力
キーボードから入力します。
●ログ一覧からの入力
［ログ］を選び、ログ一覧から検索条件を選びます。検索語句として入力されます。
●参照語句一覧からの入力
［参照］を選び、参照語句一覧から検索条件を選びます。
●ポケットからの入力
［補助］メニューの［ポケットアウト］を選びます。
ポケット内にテキストデータがあれば、検索語句として入力されます。

**3** 検索結果一覧から検索したい語句を選びます。
検索結果が表示されます。

## 関連語句を選択して検索する

[検索] ⇨ [関連語検索]

検索結果の項目内で選択した語句を検索します。

**確認**
- 検索条件は、項目見出しに対しての検索条件とします。
- 選択語句は先頭から最大40文字までが入力できます（41文字以降は無視されます）。

**1** 検索したい語句を範囲指定します。

**アドバイス**

関連語句の選択には、2種類の方法があります。

- マウスによる選択
  マウスで選択したい語句をドラッグして、範囲を指定します。
- キーボードによる選択
  語句の先頭にカーソルを移動し、⏎キーを押します。次に語句の末尾にカーソルを移動し、⏎キーを押します。

**2** [検索] メニューから [関連語検索] を選びます。

- 検索結果が1つしかないときは、検索結果が表示されます。
- 検索結果が複数あるときは、「検索結果一覧」ウィンドウが表示されます。3の操作をおこなってください。

**3** 検索結果一覧から検索したい語句を選びます。

検索結果が表示されます。

# [書籍] メニューを使う

メニュー画面、画像メニュー、著作権画面、書籍選択、ＣＤ交換に付いて説明します。

**確 認**　ＣＤ辞書および書籍が各項目に対応していないと選ぶことができません。

## ＣＤ辞書の目次を見る
[書籍] ⇨ [メニュー画面]

ＣＤ辞書の目次を表示します。

1. **[書籍] メニューから [メニュー画面] を選びます。**
   ＣＤ辞書の目次が表示されます。
2. **該当項目を選びます。**
   該当項目の目次、または本文が表示されます。

## 画像の目次を見る
[書籍] ⇨ [画像メニュー]

画像の目次を表示します。

1. **[書籍] メニューから [画像メニュー] を選びます。**
   ＣＤ辞書の画像による目次が表示されます。
2. **該当項目の ➡ を左クリックします。**
   画像、または本文が表示されます。

## CD辞書の著作権を見る
[書籍] ⇨ [著作権画面]

ＣＤ辞書、または書籍の著作権を表示します。

**アドバイス**

著作権表示ファイルがない場合は、デフォルトの著作権画面を表示します。

**1** [書籍] メニューから [著作権画面] を選びます。
著作権が表示されます。

## 書籍を選ぶ
[書籍] ⇨ [書籍選択]

検索する書籍を選びます。

**確認**　ＣＤ辞書内に複数の書籍が存在するときだけ使用できます。
書籍が１つのときは使用できません。

**1** [書籍] メニューから [書籍選択] を選びます。
ＣＤ辞書の書籍タイトル一覧が表示されます。

**2** 検索する書籍を選びます。
選んだ書籍の著作権が表示されます。

## CD辞書を交換する
[書籍] ⇨ [ＣＤ交換]

ＣＤ辞書を交換します。

**1** [書籍] メニューから [ＣＤ交換] を選びます。
「ＣＤ辞書ディスクをセットしてください」というメッセージが表示されます。

**2** ＣＤ辞書を交換し、[確認] を左クリックします。
ＣＤ辞書内に複数の書籍が存在するときは、「書籍選択」ウィンドウが表示されます。
書籍が１つのときは、著作権が表示されます。

# 検索結果を利用する

## 検索結果の文章をディスクに保存する

［補助］⇨［文章保存］

文章をファイルとしてディスクに保存する方法を説明します。

**1** 保存する項目にカーソルを移動します。

**2** ［補助］メニューから［文章保存］を選びます。
ファイルウィンドウが表示されます。

**3** 保存するドライブを選びます。

**4** ファイル名を入力し、［実行］を左クリックします。
項目内の全文章（テキストデータ）が保存されます。

**アドバイス**

項目の一部を保存したい場合は、保存したい部分を範囲指定して、［補助］メニューから［文章保存］を選びます。

**注意**

外字（全角・半角）は、それぞれ特定の文字（〓、░（$fe））に置換します。

## 検索結果の図版（画像）をディスクに保存する

［補助］⇨［図版保存］（［画像保存］）

図版（画像）をファイルとしてディスクに保存する方法を説明します。

**1** 図版のある項目にカーソルを移動します。
（画像の場合は、枠内に表示しているイメージが対象になります。）

**2** ［補助］メニューから［図版保存］（［画像保存］）を選びます。
ファイルウィンドウが表示されます。

3. 保存するドライブを選びます。

4. ファイル名を入力し、［実行］を左クリックします。
図版（画像）データが保存されます。

**アドバイス**
ファイル名の拡張子を省略すると、“TIF”が付きます。
“TIF”以外の拡張子を指定した場合は、拡張子は強制的に“TIF”になります。

## 文章や図版（画像）を印刷する

［補助］⇨［文書印刷］または［図版印刷］（［画像印刷］）

検索結果の文章、または図版（画像）を印刷します。

1. 文章、または図版の場合は、印刷する項目にカーソルを移動します。
（画像の場合は、枠内に表示しているイメージが対象になります。）

2. ［補助］メニューから［文書印刷］、または［図版印刷］（［画像印刷］）を選びます。
文章、または図版（画像）が印刷されます。

## 検索結果をポケットに取り込む／追加する

［補助］⇨［ポケットイン］（［ポケットに追加］）

1. ポケットに取り込みたい検索結果を範囲指定します。
指定した範囲が反転表示されます。

**2** ［補助］メニューから［ポケットイン］（［ポケットに追加］）を選びます。
範囲指定した文章がポケットに保存されます。

**アドバイス**
1度ポケットインをすると、次からは［ポケットに追加］と表示されます。
［ポケットに追加］のときは、ポケットに取り込んである内容に追加されていきます。
ポケットの内容を消したいときは、［ポケットクリア］を選びます。

この後、CD辞書検索を終了し、他のアプリケーションを起動してポケットアウトすることで、この情報を取り出せます。

## ポケットの内容をクリアする
［補助］⇨［ポケットクリア］

**1** ［補助］メニューから［ポケットクリア］を選びます。
ポケットに取り込まれている内容が削除されます。
これまでに、ポケットに取り込んだ検索結果を消す時に使用します。

## 表示する情報を設定する
［補助］⇨［表示モード］

表示する情報を選びます。

**1** ［補助］メニューから［表示モード設定］を選びます。
「表示モード設定」ウィンドウが表示されます。

**2** 項目を設定して［設定］を左クリックします。
◆外字の表示
外字の表示をするか、しないかを選びます。
◆図版の表示
図版の表示をするか、しないかを選びます。
◆検索結果の表示
検索結果の項目表示を本文順にするか、検索順にするかを選びます。
本文順にすると、検索した項目の前後をそのままの順序で表示します。また、検索順にすると、検索した項目のみを検索した順序で画面上で結合して表示します。

『ディクショナリをお読みになる前に』



# 使用できるCD辞書一覧表

## １２cmCD辞書

・広辞苑ＣＤ－ＲＯＭ　(B289CD01)
・現代用語の基礎知識’89年版ＣＤ－ＲＯＭ　(B289CD02)
・現代用語の基礎知識’90年版ＣＤ－ＲＯＭ　(B289CD06)
・現代用語の基礎知識’91年版ＣＤ－ＲＯＭ　(B289CD09)
・角川類語新辞典ＣＤ－ＲＯＭ　(B289CD03)
・最新医学大辞典ＣＤ－ＲＯＭ　(B289CD04)
・ニューセンチュリー英和・新クラウン和英辞典ＣＤ－ＲＯＭ　(B289CD05)
・三省堂ワードハンターＣＤ－ＲＯＭ　(B289CD07)

## 電子ブック（国内版）

| | |
|---|---|
| ・広辞苑　電子ブック版 | ㈱　岩波書店 |
| ・平成３年版　岩波コンパクト六法 | ㈱　岩波書店 |
| ・ピルブック　ver.2.1 | ㈱　薬業時報社 |
| ・ピルブック　ver.3.1 | ㈱　薬業時報社 |
| ・CDWord　英・仏・独・日　4か国語辞典 | ㈱　三修社 |
| ・CDWord　英・独・日　最新科学技術用語辞典 | ㈱　三修社 |
| ・模範六法1991年　平成３年版　電子ブック版 | ㈱　三修社 |
| ・日英仏辞典 | ㈱　三修社 |
| ・日英西辞典 | ㈱　三修社 |
| ・日米ことわざ・慣用句辞典 | ㈱　三修社 |
| ・朝日新聞　天声人語・社説 | ㈱　紀伊國屋書店，日外アソシエーツ㈱ |
| ・海外ビジネスガイド（アジアI） | ㈱　紀伊國屋書店，日外アソシエーツ㈱ |
| ・海外ビジネスガイド（北米） | ㈱　紀伊國屋書店，日外アソシエーツ㈱ |
| ・キーパースン（文芸・学術・社会） | ㈱　紀伊國屋書店，日外アソシエーツ㈱ |
| ・キーパースン（ビジネス・経済・政治） | ㈱　紀伊國屋書店，日外アソシエーツ㈱ |
| ・ザ・プロ野球 | ㈱　紀伊國屋書店，日外アソシエーツ㈱ |
| ・コンピュータ用語辞典 | ㈱　紀伊國屋書店，日外アソシエーツ㈱ |
| ・25万語　医学用語大辞典 | ㈱　紀伊國屋書店，日外アソシエーツ㈱ |
| ・EB科学技術用語大辞典 | ㈱　紀伊國屋書店，日外アソシエーツ㈱ |
| ・ことわざ名言の泉 | ㈱　小学館 |
| ・百人一首 | ㈱　小学館 |
| ・東京おいしい店ガイド’90～’91 | ㈱　講談社 |

使用できるＣＤ辞書一覧表

| | |
|---|---|
| ・名言は力なり | ㈱　講談社 |
| ・日経企業ファイル［91年上期版］ | 日本経済新聞社 |
| ・日経企業ファイル［92年版］ | 日本経済新聞社 |
| ・経済英語　英和・和英活用辞典 | 日本経済新聞社 |
| ・CDジャーナル　CDジャズブック<91年版> | ㈱　音楽出版社 |
| ・CDジャーナル　CDポピュラーブック<91年版>洋楽編 | ㈱　音楽出版社 |
| ・CDジャーナル　CDポピュラーブック<91年版>日本編 | ㈱　音楽出版社 |
| ・CDジャーナル　CDクラシックブック<91年版> | ㈱　音楽出版社 |
| ・CDジャーナル　LDデータブック | ㈱　音楽出版社 |
| ・現代用語の基礎知識 1990 年版 | ㈱　自由国民社 |
| ・現代用語の基礎知識 1991 年版 | ㈱　自由国民社 |
| ・電子ブック版　大辞林 | ㈱　三省堂 |
| ・模範六法1992年　平成４年版　電子ブック版 | ㈱　三省堂 |
| ・ホーム・クリニック［家庭の医学］ | ㈱　主婦の友社 |
| ・研究社　新英和・和英中辞典　電子ブック版 | ㈱　研究社 |
| ・あのうたこのうた3333曲 | ㈱　CBSソニー |
| ・最新医学大辞典 | 医歯薬出版㈱ |
| ・ぴあ CINEMA CLUB | ぴあ㈱ |
| ・旅蔵 | ㈳　日本観光協会 |
| ・旅蔵　PART 2 | ㈳　日本観光協会 |
| ・海外生活英会話マニュアル | ㈱　朝日出版社 |
| ・全国ゴルフ場ガイド | ㈱　ゴルフダイジェスト社 |
| ・本の探偵　書誌情報検索ソフト | ㈱　メディアパル |
| ・ＪＴＢ宿泊情報 | 日本交通公社 |
| ・聖書　電子ブック版 | 日本聖書刊行会 |
| ・漢和字典　漢字源 | ㈱　学習研究社 |
| ・13の画架　ダ・ヴィンチ殺人事件 | ㈱　世界文化社 |
| ・ブリタニカ小項目事典 | ㈱　TBS ブリタニカ |
| ・起きてから寝るまで表現550 | ㈱　アルク |
| ・1000語レベル英会話 | ㈱　旺文社 |
| ・2000語レベル英会話 | ㈱　旺文社 |
| ・3000語レベル英会話 | ㈱　旺文社 |
| ・英語会話表現辞典 | ㈱　旺文社 |

## 制限事項

(1) 著作権の関係で取扱できないもの

・きょうの料理500品　　日本放送協会

(2) 著作権の関係で引用・印刷できないもの

| | |
|---|---|
| ・あのうたこのうた3333曲 | 引用・印刷禁止 |
| ・ぴあ CINEMA CLUB | 引用・印刷禁止 |
| ・漢和字典　漢字源 | 引用禁止 |
| ・ブリタニカ小項目事典 | 引用・印刷禁止 |
| ・名言は力なり | 一部引用禁止 |

・その他、タイトル自身で引用・印刷を禁止しているもの

(3) FMTOWNSモデル1/2/1F/2F/1H/2Hで読めないもの

| | |
|---|---|
| ・ホーム・クリニック［家庭の医学］ | ㈱　主婦の友社 |
| ・海外ビジネスガイド(北米) | ㈱　紀伊國屋書店，日外アソシエーツ㈱ |
| ・ザ・プロ野球 | ㈱　紀伊國屋書店，日外アソシエーツ㈱ |
| ・東京おいしい店ガイド '90〜'91 | ㈱　講談社 |

# 2 テキスト印刷を使う

テキスト印刷は、テキスト編集で作成した文書やテキストファイルを印刷するためのソフトウェアです。
印刷するときに、いろいろな書式が設定できます。また、内容を確認したい場合には、画面に内容を表示することもできます。

## 起動する

1. （TownsStaff）を実行します。
TownsStaffのアイテム表示ウィンドウが表示されます。

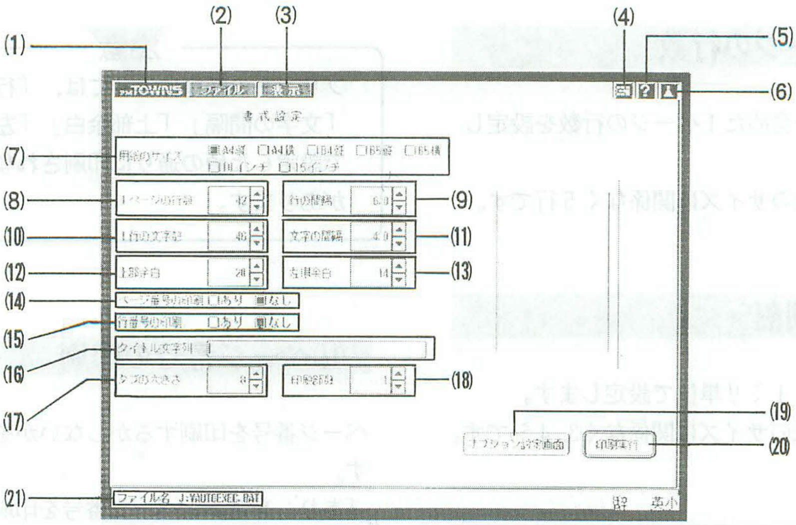
2. （テキスト印刷）を実行します。
書式設定画面になり、ファイルウィンドウが表示されます。

## 終了する

1. （終了ボタン）を左クリックします。
TownsMENUに戻ります。

# 各部の名称と役割（書式設定）

ここでは、書式設定画面の各部の名称と役割を説明します。




## (1)［FM TOWNS］メニュー

サイドワーク機能を使うときに選びます。

➡サイドワーク機能については「TownsMENU ディクショナリ 第2章 1.サイドワークの操作」をご覧ください。

## (2)［ファイル］メニュー

印刷したいファイルを読み込むときに選びます。

## (3)［表示］メニュー

ファイルの内容を表示し、確認するときに選びます。

## (4)ソフトウェアキーボード表示ボタン

ソフトウェアキーボードを表示するときに選びます。

## (5)ヘルプボタン

オンラインヘルプを表示するときに選びます。

## (6)終了ボタン

テキスト印刷を終了するときに選びます。

**注意**

ファイルウィンドウが表示されているときは、終了することができません。

## ⑺用紙のサイズ

印刷する用紙のサイズを選びます。

## ⑻１ページの行数

タイトル行を含めた１ページの行数を設定します。
最小値は用紙のサイズに関係なく５行です。

## ⑼行の間隔

行の間隔を0．１ミリ単位で設定します。
最小値は用紙のサイズに関係なく3．4ミリです。

## ⑽１行の文字数

１行の文字数を設定します。
最小値は用紙のサイズに関係なく５行です。

## ⑾文字の間隔

文字の中央から、となりの文字の中央までの長さを0．１ミリ単位で設定します。
最小値は用紙のサイズに関係なく4．0ミリです。

## ⑿上部余白

用紙の上端から１行目の上端までの長さを１ミリ単位で設定します。

## ⒀左側余白

用紙の左端から１桁目の左端までの長さを１ミリ単位で設定します。

**注意**

プリンタの種類によっては、「行の間隔」「文字の間隔」「上部余白」「左側余白」で設定した値の通りに印刷されないことがあります。

## ⒁ページ番号の印刷

ページ番号を印刷するかしないかを設定します。
「あり」を選ぶとページ番号を印刷します。
「なし」を選ぶとページ番号を印刷しません。
ページ番号を印刷すると、印刷される本文の行数が「１ページの行数」で設定した値よりも２行少なくなります。

## ⒂行番号の印刷

行番号を印刷するかしないかを設定します。
「あり」を選ぶと行番号を印刷します。
「なし」を選ぶと行番号を印刷しません。
行番号を印刷すると、印刷される本文の文字数が「１行の文字数」で設定した値よりも６文字少なくなります。

## ⒃タイトル文字列

各ページの第1行目に印刷するタイトルを設定します。入力できる文字数は、半角文字で40文字分です。
タイトル文字列を設定すると「1ページの行数」で設定した行数よりも実際に印刷される行数は2行少なくなります。本文は3行目から印刷されます。

## ⒄タブの大きさ

設定した数の倍数の位置にタブストップ位置を設定します。
行中にタブ設定してあれば、その次のタブストップ位置に行頭を進めます。
最小値は4、最大値は16です。

## ⒅印刷部数

印刷部数を設定します。
最小値は1、最大値は99です。

## ⒆オプション設定画面

プリンタに関する設定をするときに選びます。オプション設定画面を選ぶと、オプション設定画面が表示されます。

## ⒇印刷実行

読み込んだファイルを印刷するときに選びます。印刷実行を選ぶと、選択したファイルの内容が印刷されます。

**アドバイス**

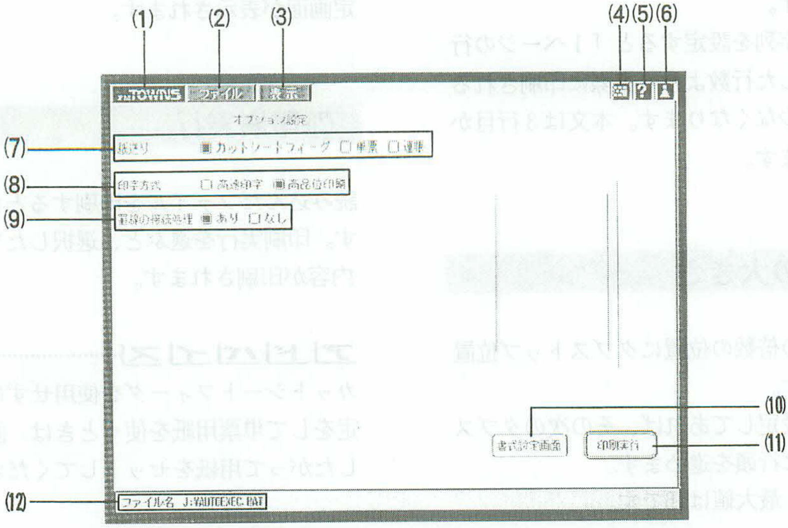
カットシートフィーダを使用せずに、単票指定をして単票用紙を使うときは、画面表示にしたがって用紙をセットしてください。

## ㉑ファイル名

選択したファイル名が表示されます。

# 各部の名称と役割（オプション設定）

ここでは、オプション設定画面の各部の名称を役割を説明します。




## (1)［FM TOWNS］メニュー

サイドワーク機能を使うときに選びます。

➡サイドワーク機能については「TownsMENU ディクショナリ 第2章 1.サイドワークの操作」をご覧ください。

## (2)［ファイル］メニュー

印刷したいファイルを読み込むときに選びます。

## (3)［表示］メニュー

ファイルを内容を表示し、確認するときに選びます。

## (4)ソフトウェアキーボード表示ボタン

ソフトウェアキーボードを表示するときに選びます。

## (5)ヘルプボタン

オンラインヘルプを表示するときに選びます。

## (6)終了ボタン

テキスト印刷を終了するときに選びます。

**注意**

ファイルウィンドウが表示されているときは、終了することができません。

## ⑺紙送り

カットシートフィーダ、単票、連帳のいずれかを選びます。

**確 認**　プリンタの用紙供給方式がどれに該当するのか確認してください。

## ⑻印字方式

高速印字、高品位印刷のいずれかを選びます。

**アドバイス**

高速印字は、高品位印刷にくらべて速く印刷できます。
高品位印刷は、高速印字にくらべて文字がきれいに印刷できます。

## ⑼罫線の接続処理

罫線の接続処理を行います。
「あり」を選ぶと印刷時に罫線が切れずに印刷されます。
「なし」を選ぶと縦の罫線が切れて印刷されます。

## ⑽書式設定画面

書式に関する設定をするときに選びます。
書式設定画面を選ぶと、書式設定画面が表示されます。

## ⑾印刷実行

読み込んだファイルを印刷するときに選びます。印刷実行を選ぶと、選択したファイルの内容が印刷されます。

**アドバイス**

カットシートフィーダを使用せずに、単票指定をして単票用紙を使うときは、画面表示にしたがって用紙をセットしてください。

## ⑿ファイル名

選択したファイル名が表示されます。

# テキスト印刷の基本操作

ここでは、テキスト印刷の基本的な操作手順を説明します。

**確 認** プリンタを接続し、用紙をセットしてください。
プリンタがオンラインの状態になっているかを確認してください。

1. **テキスト印刷を起動します。**
   ファイルウィンドウが表示されます。

2. **印刷するファイルを選び、［実行］を左クリックします。**
   ファイルウィンドウが消え、書式設定画面になります。

3. **［表示］メニューを選びます。**
   印刷のために読み込んだファイルの内容が表示されます。

4. **［印刷］メニューを選ぶと書式設定画面に戻ります。**

5. **印刷の書式を設定します。**
   ➡「各部の名称と役割（書式設定）」(P. 73)

6. **［オプション設定画面］を左クリックして、プリンタのオプションを設定します。**
   ➡「各部の名称と役割（オプション設定）」(P. 76)

7. **［印刷実行］を左クリックします。**

**注意**

- 内容表示画面に表示されているファイルの内容は変更できません。
- 一度［表示］メニューを指定すると、設定したオプションや書式の内容が無効になります。

**アドバイス**

印刷が終わり他のファイルを印刷するときは、［ファイル］メニューを選び、印刷したいファイルを選びます。

# 第3章

# ポストカード



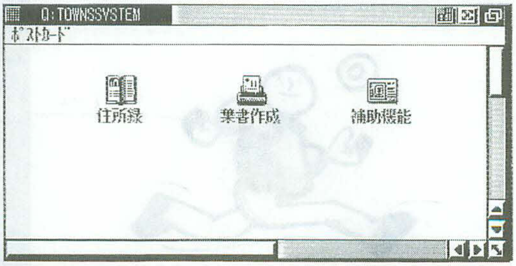


**注意**

TownsMENUからメニューを選んだり、アイテムを実行するときは、Townsパッドのボタンを押さないように気をつけてください。FM TOWNSが正しく動作しないことがあります。

# ポストカードについて

Townsシステムソフトウェアを起動し、アイテム表示ウィンドウから （ポストカード）を選ぶと、次のようなアイテム表示ウィンドウが表示されます。




ポストカードのアイテム表示ウィンドウには、次の３個のソフトウェアがアイテムとして登録されています。それぞれの使いかたは、以下の参照先をご覧ください。

住所録……………………………➡（P.81）
葉書作成…………………………➡（P.123）
補助機能…………………………➡（P.145）

**アドバイス**

- CD-ROMから起動する場合は、ドライブＡにフロッピィディスクをセットしてください。［補助機能］で環境設定をしてから、住所録、葉書作成を実行してください。
  ➡環境設定については、「［環境設定］メニューを使う」(P.147)
- ハードディスクから起動する場合は、HDインストールを使ってポストカードをハードディスクに複写したあと、次のようにアイテムを変更してください。
  (1)「補助機能」アイテムを実行し、［環境設定］メニューを選んで環境を設定します。
  ➡環境設定につていは「［環境設定］メニューを使う」(P.147)をご覧ください。
  (2)環境を環境ファイル（拡張子はLME）として保存し、「補助機能」を終了します。
  (3)住所録、葉書作成、補助機能の各アイテムに、環境ファイルの名前をパラメータとして登録します。
  TownsMENUのアイテム表示ウィンドウで各アイテムを選び、［ファイル］メニューの［アイテム管理］から［登録／変更］を選びます。
  「アイテム登録／変更」ウィンドウが表示されるので、パラメータの欄に(2)で保存した環境ファイルの名前を入力します。
  ➡アイテムの変更については「TownsMENUディクショナリ」をご覧ください。
- 文字入力は、キーボードより行ってください。

# 1 住所録を使う

住所録は、住所録を作成したり、住所録の変更、検索、並べ替え、印刷などができます。
住所録の最大登録件数は約3万2千件、しかも5個のファイルを同時に編集できます。

## 起動する

1. （ポストカード）を実行します。
ポストカードのアイテム表示ウィンドウが表示されます。

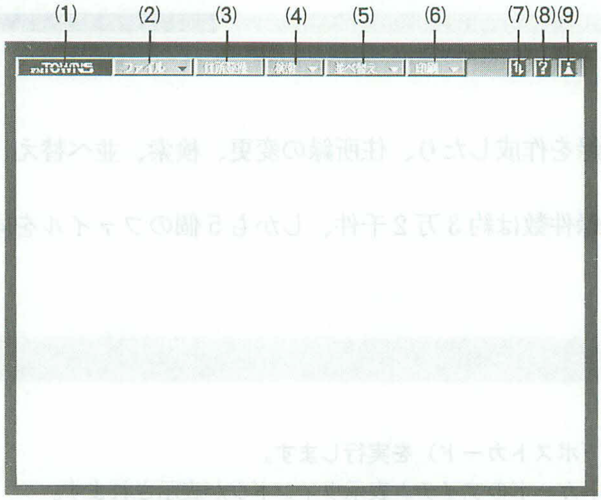
2. （住所録）を実行します。
住所録作成画面になります。

## 終了する

1. （終了）を選びます。
住所録が終了し、TownsMENUに戻ります。

# 各部の名称と役割

ここでは、住所録の各部の名称と役割を説明します。




## (1)［FM TOWNS］メニュー

サイドワーク機能を使うときに選びます。

➡サイドワーク機能については「TownsMENU ディクショナリ 第2章 1.サイドワークの操作」をご覧ください。

## (2)［ファイル］メニュー

住所録の新規作成や読み込み、ファイル中のデータの並べ替え、保存をするときに選びます。

## (3)［住所登録］メニュー

住所録にデータを登録するときに選びます。

## (4)［検索］メニュー

住所録に登録されているデータの中から、検索を行うときに選びます。

## (5)［並べ替え］メニュー

データの順番を50音順、郵便番号順などに並べ替えるときに選びます。

## (6)［印刷］メニュー

住所一覧、宛名などを印刷するときに選びます。

### (7)住所録切り換えボタン

住所録作成画面で2つ以上の住所録ファイルを読み込んでいるときに、このボタンを選ぶと住所録ファイルを切り換えることができます。

### (8)ヘルプボタン

オンラインヘルプを表示するときに選びます。

### (9)終了ボタン

住所録を終了するときに選びます。

# 住所録一覧の操作

住所録一覧の操作方法と各部の名称を説明します。




## (1)ファイル名表示部

ファイル名表示部を左クリックすると、「ファイル名」ウィンドウが表示されます。
ここでは、住所録ファイルのコメントの新規入力、または変更ができます。

## (2)◎

ここは、［住所登録］メニューで入力したマークが表示されます。

## (3)表示切り換えボタン

を左クリックすると、住所録一覧に表示する内容を変更するためのメニューが表示されます。

## 個人住所録一覧

マーク、名前、ふりがな、電話番号、郵便番号、住所が表示されます。

## 会社住所録一覧

マーク、会社の名前、ふりがな、電話番号
郵便番号、住所が表示されます。

## 個人データ一覧

マーク、個人の名前、ふりがな、性別、血液型、生年月日、家族、メモが表示されます。

## 名刺データ一覧

マーク、個人の名前、会社名、部署、役職、会社の電話番号が表示されます。

## 受発信簿一覧

マーク、名前、1番目の枠に付けたマーク、日付、分類、備考、返信の有無、2番目の枠に付けたマーク、日付、分類、備考、返信の有無が表示されます。

# 住所録の基本操作

ここでは、住所録の一連の操作方法を説明します。

**1** ［ポストカード］を選び、［住所録］を実行します。
住所録作成画面が表示されます。

**2** ［ファイル］メニューから［新規作成］を選びます。
「新規作成」ウィンドウが表示されます。

**3** ファイルを保存するドライブを選び、［新規］を左クリックします。
「ファイル名」ウィンドウが表示されます。

**4** ファイル名とコメントを入力し、［設定］を左クリックします。
住所録一覧が表示されます。

**5** ［住所登録］メニューを左クリックします。
「登録カード」ウィンドウが表示されます。

**6** 各項目に情報を入力し、［登録］を左クリックします。
登録した情報が消え、新しい情報が登録できるようになります。

**アドバイス**
1回の操作では、1つの情報しか登録できませんので、登録する情報がいくつもある場合は、**6**の操作を繰り返し行ってください。

**7** ［一覧画面］を左クリックします。
住所録一覧が表示されます。

**8** 登録した住所録データを50音順に並べ替えます。
［並べ替え］メニューから［名前（50音順）］を選びます。
登録した住所録データがふりがなの「あいうえお」順に並べ替わります。

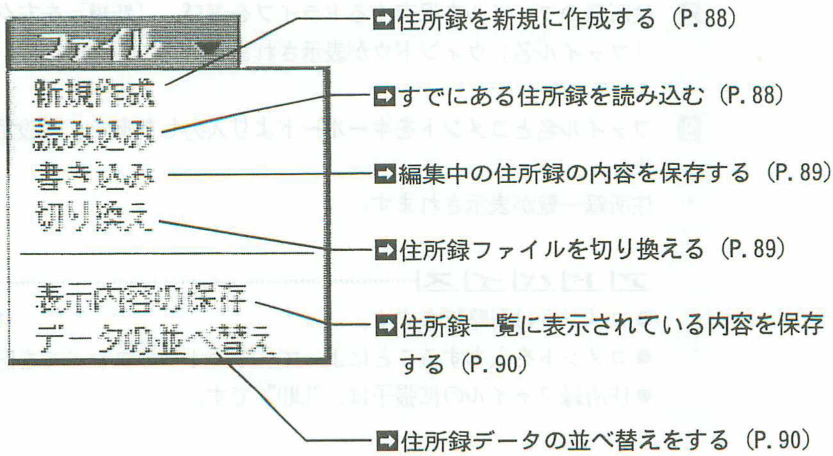
**9** 登録した住所録データを印刷します。
［印刷］メニューから［住所一覧表］を選びます。
「印刷書式設定」ウィンドウが表示されます。

⑩ 印刷書式設定の項目を全て選び、［印刷開始］を左クリックします。
印刷が開始します。

➡各メニューの詳細については、各メニューの説明をご覧ください。
［ファイル］メニュー（P. 87）
［住所登録］メニュー（P. 93）
［検索］メニュー　（P. 100）
［並べ替え］メニュー（P. 106）
［印刷］メニュー　（P. 110）

# ［ファイル］メニューを使う

［ファイル］メニューは、ファイルの読み込みや保存など、ファイルに対する操作を集めたメニューです。



## 住所録を新規に作成する
[ファイル] ⇨ [新規作成]

新たに住所録ファイルを作成し、住所録の新規作成を行います。

**1** **[ファイル] メニューから [新規作成] を選びます。**
ファイルウィンドウが表示されます。

**2** **住所録のファイルを保存するドライブを選び、[新規] を左クリックします。**
「ファイル名」ウィンドウが表示されます。

**3** **ファイル名とコメントをキーボードより入力したあと、[設定] を左クリックします。**
住所録一覧が表示されます。

**アドバイス**
- コメントは省略できます。
- コメントを入力することによって、1つ1つのファイルを区別しやすくなります。
- 住所録ファイルの拡張子は、“LMD” です。

このあとは、データを一件ずつ登録していきます。
詳しくは、「[住所登録] メニューを使う」(P.93) をご覧ください。

## すでにある住所録を読み込む
[ファイル] ⇨ [読み込み]

すでにある住所録ファイルからデータを読み込みます。最大5つまでの住所録ファイルを読み込むことができます。なお、編集中の住所録ファイルは読み込むことはできません。

**1** **[ファイル] メニューから [読み込み] を選びます。**
ファイルウィンドウが表示されます。

**2** **読み込む住所録ファイルを選び、[実行] を左クリックします。**
住所録一覧が表示されます。

**アドバイス**
複数の住所録ファイルを読み込むと、住所録一覧が上下2段に表示されます。
[ファイル] メニューの [切り換え] で表示を切り換えることができます。

## 編集中の住所録の内容を保存する
［ファイル］⇨［書き込み］

編集中の住所録のデータを保存します。

1. ［ファイル］メニューから［書き込み］を選びます。
確認のメッセージが表示されます。

2. ［実行］を左クリックします。
住所録のデータが保存されて住所録一覧が消えます。
ただし、複数の住所録ファイルを表示している場合は、指定した住所録一覧だけが消えます。

**アドバイス**

複数の住所録ファイルを読み込んでいる場合は、保存したい住所録に切り換えてから［書き込み］を選んでください。

## 住所録ファイルを切り換える
［ファイル］⇨［切り換え］

複数の住所録ファイルを読み込んでいるときに、画面に表示する住所録ファイルを切り換えます。

1. ［ファイル］メニューから［切り換え］を選びます。
「切り換え」ウィンドウが表示されます。

2. 表示する住所録ファイルを選び、［実行］を左クリックします。
選んだファイルの住所録一覧が表示されます。

## 住所録一覧に表示されている内容を別のファイル名で保存する
［ファイル］⇨［表示内容の保存］

検索や並べ替えをした住所録の結果を別のファイル名で保存するときに使います。

**注意**

同じファイル名での保存はできません。

1. ［ファイル］メニューから［表示内容の保存］を選びます。
   ファイルウィンドウが表示されます。

2. ［新規］を左クリックし、ファイル名を入力したあと［設定］を左クリックします。
   住所録一覧に表示されている住所録のデータが保存されます。
   ➡別のファイル名で保存する方法は、「住所録を新規に作成する」（P. 88）をご覧ください。

**アドバイス**

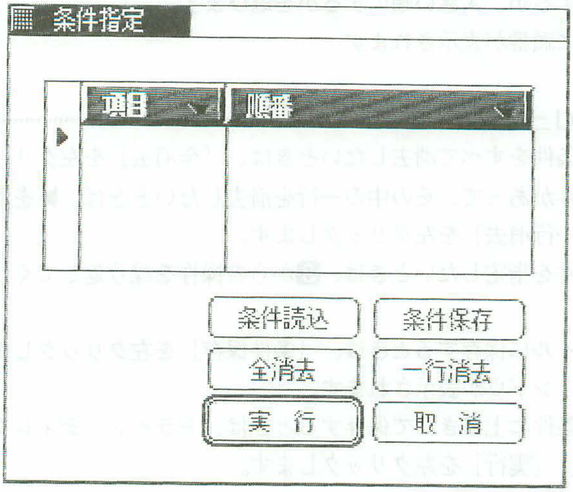
- 複数の住所録ファイルを読み込んでいる場合は、保存したい住所録に切り換えてから［表示内容の保存］を選んでください。
- 住所録ファイルを保存しても住所録一覧は消えないので、再度、住所録の検索、並べ替えなどができます。
- 同じ住所録データを別のファイル名で保存したいときにも使えます。

## 住所録データの並べ替えをする
［ファイル］⇨［データの並べ替え］

住所録のデータを、画面に表示せずに並べ替えます。

1. ［ファイル］メニューから［データの並べ替え］を選びます。
   「データ並べ替え」ウィンドウが表示されます。

2. ファイル名を指定して、［実行］を左クリックします。
   住所録データの検索が終わると、「条件指定」ウィンドウが表示されます。




**3** 条件を入力する行を左クリックします。
▶のある行が入力できる行です。

**アドバイス**
すでにある条件を使うときは、［条件読込］を左クリックします。
「条件読込」ウィンドウが表示されますので、条件ファイルを選んで［実行］を左クリックします。
並べ替え条件ファイルの拡張子は、“LMT”です。

**4** ［項目］メニューを左クリックします。
サブメニューが表示されます。

**5** 並べ替えをするための条件項目を選びます。
住所録一覧のうち、ここで指定した項目が並べ替えの対象になります。
▶のある行に項目が表示されます。

**6** ［順番］メニューを左クリックします。
サブメニューが表示されます。

**7** 小さい順にするか、大きい順にするかを選びます。
▶のある行に順番が表示されます。

**アドバイス**

- 指定した条件をすべて消去したいときは、［全消去］を左クリックします。
- 数行の条件があって、その中の一行を消去したいときは、▶を消去したい行に移動して［一行消去］を左クリックします。
- 複数の条件を指定したいときは、**3**からの操作を繰り返してください。

**8** 条件をファイルに保存するときは、［条件保存］を左クリックします。
ファイルウィンドウが表示されます。
すでにある条件に上書きして保存するときは、ドライブ、ディレクトリ、ファイル名を選んで、［実行］を左クリックします。
「指定ファイルに上書きします。」というメッセージが表示されますので、［実行］を選びます。
新規に条件を保存するときは、［新規］を左クリックして、ファイル名とコメントを入力します。

**アドバイス**

- 並べ替え条件ファイルの拡張子は、"LMT"です。
- 拡張子は、入力時に省略できます。

**9** ［実行］を左クリックします。
住所録データが指定した条件で並べ替わり、住所録一覧に戻ります。

**コラム**

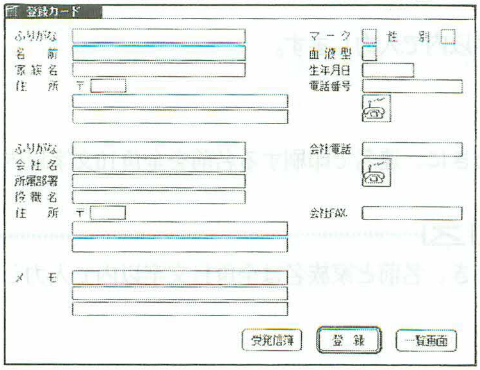
データの並べ替え中にメッセージが表示されていますので、データが数百件もあるときに何かの理由で中断したいときは、［中断］を左クリックしてください。

# ［住所登録］メニューを使う

［住所登録］メニューは、住所や名前、電話など、住所録に登録するデータを入力するためのメニューです。

「住所録一覧」が表示されているときだけ、選ぶことができます。

［住所登録］メニューを選ぶと「登録カード」ウィンドウが表示されます。




ここでは、［住所登録］メニューを次の4つに分けて説明します。

- 住所録にデータを登録する
- 住所録に登録してあるデータを更新する
- 住所録に登録してあるデータを削除する
- 受発信簿を記入する

## 住所録にデータを登録する

**確認**　データの入力は、キーボードから行ってください。

**1**　［住所登録］メニューを選びます。
「登録カード」ウィンドウが表示されます。

**2**　各項目を入力し、［登録］を左クリックします。
次のデータを登録する状態になります。

**アドバイス**

- ⏎ キーを押すと、次の項目の入力に移ります。
- 「住所録一覧」に戻るときは、[一覧画面] を左クリックします。
- 受発信簿を見たいときは、[受発信簿] を左クリックします。

◆ふりがな

名前のふりがなを全角16文字以内で入力します。

◆名前

名前を全角16文字以内で入力します。

◆家族名

宛名印刷をするときに、連名で印刷する名前を全角16文字以内で入力します。

**アドバイス**

宛名印刷をするとき、名前と家族名は全角11文字以内で入力してください。

◆郵便番号

郵便番号を半角 6 文字以内で入力します。

**アドバイス**

郵便番号辞書による郵便番号の入力について

住所の入力域に住所を入力して [実行] キーを押すと、郵便番号辞書のウィンドウが表示されます。その中から、住所に該当する郵便番号を左クリックすると、郵便番号の入力域に自動的に郵便番号が入力されます。

住所の入力は一部分だけでもかまいません。この場合、たくさんの郵便番号と群名、市名などの中から選んでいくことで、最終的には該当する郵便番号にたどりつくことができます。

◆住所

住所を全角40文字以内で入力します。

**アドバイス**

郵便番号辞書による住所の入力について

郵便番号の入力域に郵便番号を入力して [実行] キーを押すと、郵便番号辞書のウィンドウが表示され、郵便番号に該当する住所が表示されます。その中から、住所を左クリックすると、住所の入力域に自動的に住所が入力されます。

◆マーク

住所録に登録した人を区別するためにマークを全角1文字で入力します。

アドバイス

例えば、学校の友人を「学」、会社の友人を「会」、親戚を「親」などとマークを付けて区別することもできます。

マークを付けて区別することにより、［データの並べ替え］、［条件検索］、［受発信簿検索］での検索が効果的に行えます。

◆性別

性別を全角1文字で入力します。

アドバイス

性別の入力には、以下のような方法があります。

「おす」と入力して、 変換 キーを押すと「♂」のマークが表示されます。

「めす」と入力して、 変換 キーを押すと「♀」のマークが表示されます。

◆血液型

血液型を半角2文字以内で入力します。

◆生年月日

生年月日を半角9文字以内で入力します。

生年月日は以下のように入力します。

- 日付は半角文字9文字で入力します。

  例 昭和40年（1965年）1月1日は以下のように入力します。

  ・S40/1/1　・S40/01/01　・S40/ 1/ 1　・'65/1/1

- 年号には、M(明治)、T(大正)、S(昭和)、H(平成)を大文字または小文字で指定します。

  また、'に続けて2ケタの数字を入力することで、西暦で入力することもできます。

  例 S62 '92 など

  年号を省略したときは、平成になります。

- 年、月、日は1文字でもかまいません。

  省略したときは、先頭より0、1、1が入ります。

  ただし、検索条件の上限のときは99、12、31が入ります。

- 年、月、日の区切りは半角の／です。

◆電話番号

電話番号を半角18文字以内で入力します。

局番の区切りには、スペース、-（ハイフン）、（　）などが使えます。会社などで、外線確立番号（外線をかけるときに最初に回す番号）が必要なときは、先頭に入力してください。例えば、“0，×××...”と入力します（0は、外線確立番号の例です）。

電話番号の下にある を左クリックすると、その電話番号に自動で電話をかけることができます。自動で電話をかけるには、別売のモデムまたはモデムカードを接続し、補助機能の［環境設定］メニューで「回線種類」を設定する必要があります。

◆ふりがな（会社），会社名

会社名のふりがなと会社名を全角16文字以内で入力します。宛名印刷されるのは、会社名のうちの11文字です。

◆所属部署

所属部署を全角16文字以内で入力します。

◆役職名

役職名を全角16文字以内で入力します。

◆住所（会社）

会社の住所を全角40文字以内で入力します。

◆会社電話

会社の電話番号を半角18文字以内で入力します。

◆会社FAX

会社のFAX番号を半角18文字以内で入力します。

◆メモ

覚書きなどに使用します。最大文字数は、全角60文字です。

**アドバイス**

メモに書いた内容は、サイドワークの住所録を経由して、他のソフトウェアで利用することができます。例えば、メモにパソコン通信のIDを書いておきます。別売のTownsVNETでパソコン通信をしているときにサイドワークの住所録を呼び出し、メモに書かれているIDを送信することができます。

➡サイドワークの住所録については「TownsMENUディクショナリ 第2章 1.サイドワークの操作」をご覧ください。

## 住所録に登録してあるデータを更新する

1. 「住所録一覧」に表示されているデータの中から、更新するデータをダブルクリックします。
   「登録カード」ウィンドウが表示され、データの内容が表示されます。
2. データを更新します。
3. ［登録］を左クリックします。
   確認のメッセージが表示されます。
4. ［実行］を左クリックします。
   データが更新され、住所録一覧に戻ります。

## 住所録に登録してあるデータを削除する

1. 「住所録一覧」に表示されているデータの中から、削除するデータをダブルクリックします。
   「登録カード」ウィンドウが表示され、データの内容が表示されます。
2. ［削除］を左クリックします。
   確認のメッセージが表示されます。
3. ［実行］を左クリックします。
   データが削除され、住所録一覧に戻ります。

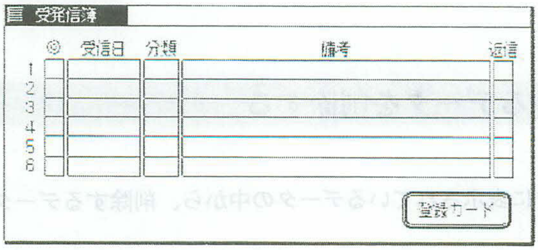
## 受発信簿を記入する

住所録に登録した人に対して、手紙の受発信の記録を書き込みます。
受発信簿の内容を検索の対象にすることもできます。たとえば、1992年に年賀状を送ってきた相手の宛先だけを選びだして、1993年用の宛名を印刷する、というようなことができます。

**1** 「住所一覧表」に表示されているデータの中から、受発信簿を記入する相手を選び、ダブルクリックします。
「登録カード」ウィンドウが表示され、データの内容が表示されます。

**2** [受発信簿] を左クリックします。
「受発信簿」ウィンドウが表示されます。

**3** 必要項目を入力します。




◆◎
受発信簿に登録する項目を区別するためにマークを全角1文字で入力します。

◆受信日
手紙などを受け取った日を半角9文字以内で入力します。
受信日は以下のように入力します。
- 日付は半角文字9文字で入力します。
  例　昭和40年（1965年）1月1日は以下のように入力します。
  ・S40/1/1　・S40/01/01　・S40/ 1/ 1　・'65/1/1
- 年号には、M(明治)、T(大正)、S(昭和)、H(平成) を大文字または小文字で指定します。また、' に続けて2ケタの数字を入力することで、西暦で入力することもできます。
  例　S62　'92　など
  年号を省略したときは、平成になります。

- 年、月、日は1文字でもかまいません。
  省略したときは、先頭より0、1、1が入ります。
  ただし、検索条件の上限のときは99、12、31が入ります。
- 年、月、日の区切りは半角の／です。

◆分類
手紙などの分類を入力します。例えば、祝賀、引越、結婚など。

◆備考
内容の要点や参考になることを入力します。

◆返信
手紙など、送られてきたものに対して返信をしたか、しないかを入力します。

**アドバイス**
- 入力した内容は検索の対象になります。意味を持たせた文字列や記号をマークとして使うと、データを検索するときに便利です。
- 全角文字と半角文字は別の扱いになります。

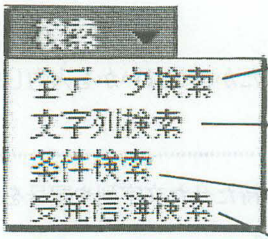
**4** ［登録カード］を左クリックします。
「登録カード」ウィンドウに戻ります。

**5** ［登録］を左クリックします。
住所録一覧に戻ります。

**アドバイス**
受発信簿に入力した内容を住所録データとして保存しておくには、［ファイル］メニューから［書き込み］を選びます。

# [検索] メニューを使う

[検索] メニューは、住所録データの検索を行うためのメニューです。




➡すべてのデータを検索する (P. 101)
➡文字を入力して検索する (P. 101)
➡条件を指定して検索する (P. 102)
➡受発信簿を検索する (P. 104)

## すべてのデータを検索する
［検索］⇨［全データ検索］

編集対象になっているをすべてのデータを表示します。

1. ［検索］メニューから［全データ検索］を選びます。
編集対象になっているデータがすべて表示されます。

## 文字を入力して検索する
［検索］⇨［文字列検索］

検索対象になる文字を入力して、該当する文字が入っているデータだけを表示します。

1. ［検索］メニューから［文字列検索］を選びます。
「文字列検索」ウィンドウが表示されます。

2. 検索する文字を入力し、［実行］を左クリックします。
検索結果が表示されます。

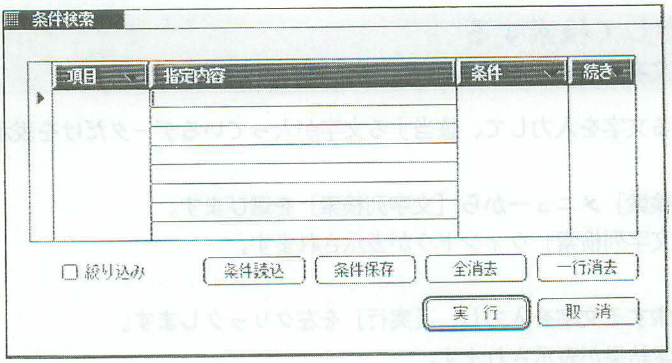
**アドバイス**

絞り込みを行うときは、［絞り込み］を左クリックして■にします。
［絞り込み］は、一度検索された内容を対象に、その中から検索します。

## 条件を指定して検索する
［検索］⇨［条件検索］

条件を指定して内容を検索します。
条件検索は、１つ以上の条件を指定し、その条件に該当するデータを検索します。
複数の条件をつなぐためには、［続き］メニューの「かつ」か「または」を使います。

**1** ［検索］メニューから［条件検索］を選びます。
「条件検索」ウィンドウが表示されます。




**2** 検索する項目を決めます。
［項目］メニューを左クリックすると、サブメニューが表示されます。
サブメニューには、住所録の大項目が表示されるので、検索の対象にする大項目を左クリックします。
次に、小項目が表示されますので、検索の対象にする小項目を左クリックします。
▶のある行に、選んだ項目が表示されます。

**3** 検索する文字や記号を入力します。
「指定内容」の欄に、**2**で決めた項目から検索する文字や記号を入力します。

**4** 検索の条件を決めます。

［条件］メニューを左クリックすると、サブメニューが表示されます。

サブメニューには、**3**の「指定内容」をどのように検索するかの条件が表示されるので、条件を左クリックします。

**アドバイス**

複数の検索条件を指定する

複数の条件を満たすデータを検索するときは、次のようにします。

**1**〜**4**の操作の後に、他の検索条件との関係を決めます。

「続き」メニューを左クリックして、次に指定する検索条件との関係を決めます。

その後、次の行を左クリックし、**2**からの操作を繰り返して次の検索条件を指定します。

**5** 条件の指定が終わったら、［実行］を左クリックします。

住所録一覧に検索結果が表示されます。

**アドバイス**

「条件検索」ウィンドウのボタン

- ●条件読込
  保存してある条件ファイルを読み込みます。
- ●条件保存
  条件検索で入力した条件をファイルに保存します。
- ●全消去
  入力した条件をすべて消去します。
- ●一行消去
  ▶のある行の条件を消去します。

**アドバイス**

条件検索で使うファイルの拡張子は、“LMS”です。

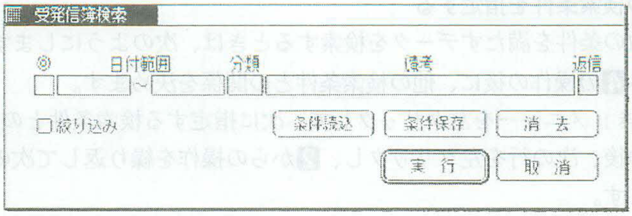
➡絞り込みについては、「文字を入力して検索する」(P. 101)

## 受発信簿を検索する
[検索] ⇨ [受発信簿検索]

受発信簿の内容を検索します。

**1** [検索] メニューから [受発信簿検索] を選びます。

「受発信簿検索」ウィンドウが表示されます。




**アドバイス**

「受発信簿検索」ウィンドウのボタン

- 条件読込
  保存してある条件ファイルを読み込みます。
- 条件保存
  入力した条件を保存します。
- 消去
  入力した条件を消します。

**2** 検索対象になる最初の日付と最後の日付をの範囲を入力します。

日付範囲は、生年月日または手紙などを受け取った日付を入力します。

**アドバイス**

- 日付は半角文字9文字で入力します。
  例　昭和40年（1965年）1月1日は以下のように入力します。
  ・S40/1/1　・S40/01/01　・S40/ 1/ 1　・'65/1/1
- 年号には、M(明治)、T(大正)、S(昭和)、H(平成) を大文字または小文字で指定します。また、' に続けて2ケタの数字を入力することで、西暦で入力することもできます。
  例　S62　'92　など
  年号を省略したときは、平成になります。
- 年、月、日は1文字でもかまいません。
  省略したときは、先頭より0、1、1が入ります。
  ただし、検索条件の上限のときは99、12、31が入ります。
- 年、月、日の区切りは半角の／です。

**3** 分類欄に入力してある文字や記号を入力します。

**4** 備考欄に入力してある内容を入力します。

**5** 返信欄に入力してある文字や記号を入力します。

**6** 絞り込みを行うときは、［絞り込み］を左クリックします。

［絞り込み］は、一度検索された内容を対象に、またその中から検索をします。
設定した条件をファイルに保存する場合は、［条件保存］を左クリックし、ファイルを保存するドライブ、ディレクトリ、ファイル名を入力し、［実行］を左クリックします。
「受発信簿検索」ウィンドウに戻ります。

**アドバイス**

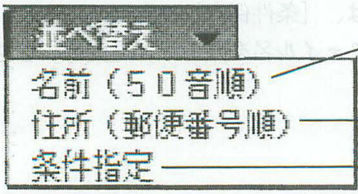
受発信簿検索で使う検索条件のファイルの拡張子は、“LMM”です。

**7** ［実行］を左クリックします。

受発信簿検索が行われます。
検索条件に合った住所録データが、住所録一覧に表示されます。

# [並べ替え] メニューを使う

住所録に登録されているデータを、指定した順序に並べ替えるときに使うメニューです。




➡名前を50音順に並べ替える（P.107）

➡住所を郵便番号順に並べ替える（P.107）

➡条件を指定して並べ替える（P.108）

## 名前を50音順に並べ替える

［並べ替え］⇨［名前（50音順）］

個人のデータの「ふりがな」の項目を対象にして、50音順に名前を並べ替えます。

1 ［並べ替え］メニューから［名前（50音順）］を選びます。
個人のデータの「ふりがな」の項目を元にして、50音順に名前を並べ替えて表示されます。

## 住所を郵便番号順に並べ替える

［並べ替え］⇨［住所（郵便番号順）］

個人データの「郵便番号」が小さい順に並べ替えます。

1 ［並べ替え］メニューから［住所（郵便番号順）］を選びます。
個人のデータの「郵便番号」を元にして、小さい順に並べ替えて表示されます。

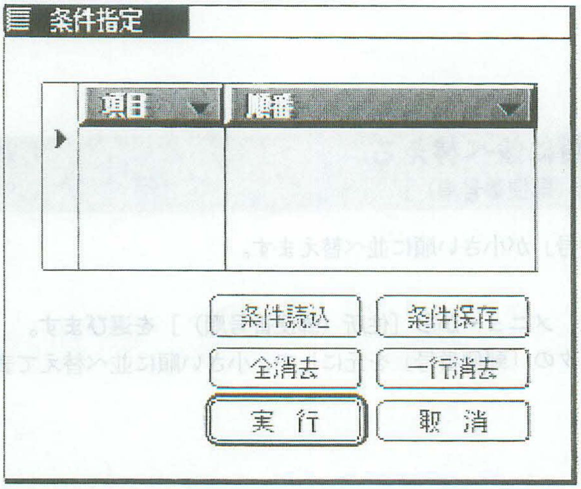
## 条件を指定して並べ替える

[並べ替え] ⇨ [条件指定]

条件を指定して住所録一覧、データ一覧、受発信簿一覧などを並べ替えます。

**1** [並べ替え] メニューから [条件指定] を選びます。

「条件指定」ウィンドウが表示されます。




**アドバイス**

「条件指定」ウィンドウのボタン

- ●条件読込
  保存してある条件ファイルを読み込みます。
- ●条件保存
  入力した条件を保存します。
- ●全消去
  入力した条件をすべて消します。
- ●一行消去
  ▶のある行の条件を消します。

**アドバイス**

並べ替え条件のファイルの拡張子は"LMT"です。

**2** 条件を入力する行を左クリックし、[項目] メニューを左クリックします。

サブメニューが表示されます。

**3** 並べ替えをするための条件項目を選びます。
▶のある行に項目が表示されます。

**4** ［順番］メニューを左クリックします。
サブメニューが表示されます。

**5** 小さい順か、大きい順かを選びます。
▶のある行に順番が表示されます。

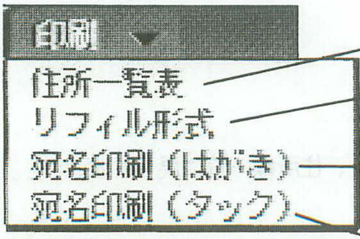
**6** ［実行］を左クリックします。
住所録データが指定した条件で並べ替わり、住所録一覧に戻ります。

コラム

データの並べ替え中にメッセージが表示されていますので、データが数百件もあるときに何かの理由で中断したいときは、［中断］を左クリックしてください。

# [印刷] メニューを使う

住所録に登録されているデータや検索したデータを指定した書式で印刷するためのメニューです。




➡住所一覧表を印刷する（P. 111）
➡リフィル形式で印刷する（P. 114）
➡葉書に宛名を印刷する（P. 117）
➡タックシールに宛名を印刷する（P. 120）

## 住所一覧表を印刷する
［印刷］→［住所一覧表］

作成した住所録をいろいろな形式で印刷します。

1. ［印刷］メニューから［住所一覧表］を選びます。
「一覧印刷書式設定」ウィンドウが表示されます。

2. 項目を設定して、［印刷開始］を左クリックします。
印刷が開始されます。
印刷が終了すると、「一覧印刷書式設定」ウィンドウに戻ります。

**アドバイス**

● ［レイアウト］を左クリックすると、印刷されるレイアウトが表示されます。
●印刷形式選択では、例を載せて説明しています。

**◆プリンタ選択**
プリンタの種類を選びます。
［FM-PRINTER］…ＦＭシリーズのプリンタを設定します。
［ESC/PJ84］……ESC/Pの規約に合わせて作られたプリンタを設定します。

**◆用紙選択**
印刷する用紙を選びます。
［A4縦置］……A4の単票用紙を使うように設定します。
［10インチ］…10インチ幅の用紙を使うように設定します。

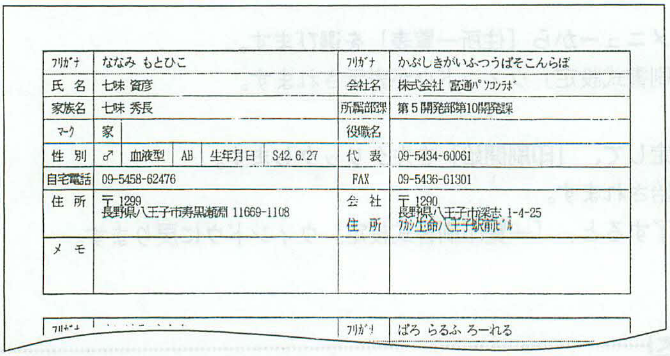
**◆用紙吸入方法**
用紙の吸入方法を選びます。
［ﾌｨｰﾀﾞ吸入］……カットシートフィーダを使って、用紙を自動吸入します。
［手差し吸入］…紙を１枚１枚、手で差し込みます。

**◆印刷書体選択**
印刷するときの、文字の種類を選びます。
［標準書体］……普通の文字で印刷します。
［明朝体］………明朝体で印刷します。
［ゴシック体］…ゴシック体で印刷します。
［丸文字体］……丸文字体で印刷します。
［教科書体］……教科書体で印刷します。
［毛筆書体］……毛筆書体で印刷します。

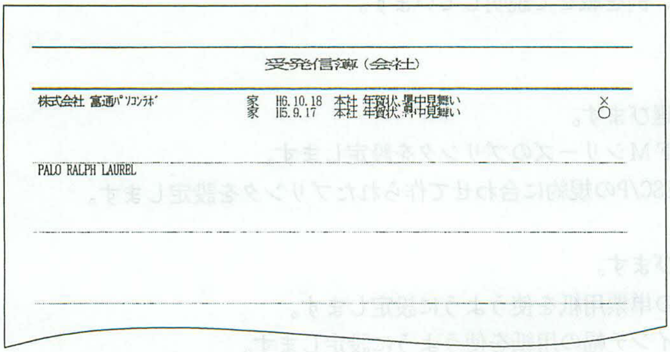
◆印刷形式選択

印刷する形式を選びます。

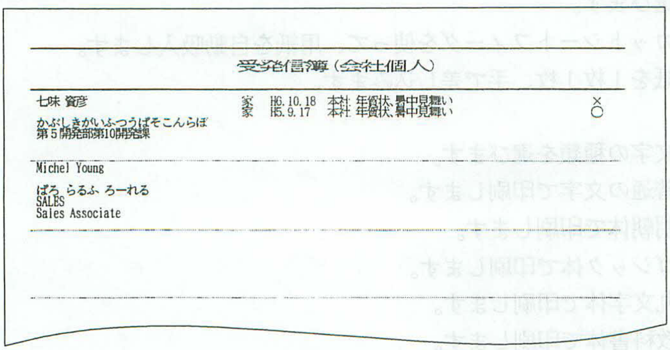
[一覧表] …住所録の一覧を印刷します。




[会社受発信簿] …会社単位の受発信簿を印刷します。



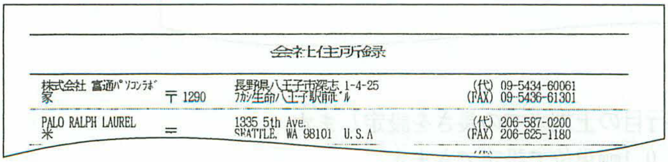

[会個受発信簿] …会社および個人の受発信簿を印刷します。



［個人受発信簿］…個人単位の受発信簿を印刷します。




［会社住所録］…会社の住所録を印刷します。



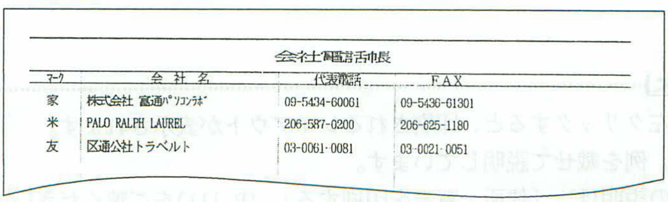

［会（個）住所録］…会社および個人の住所録を印刷します。




［自宅住所録］…自宅の住所録を印刷します。

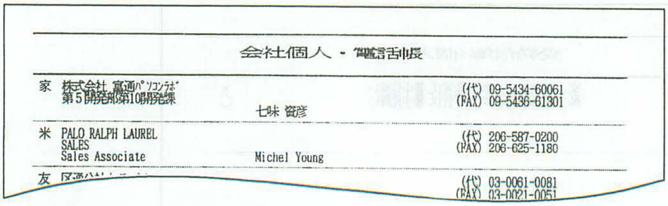



［会社電話帳］…会社の電話一覧を印刷します。



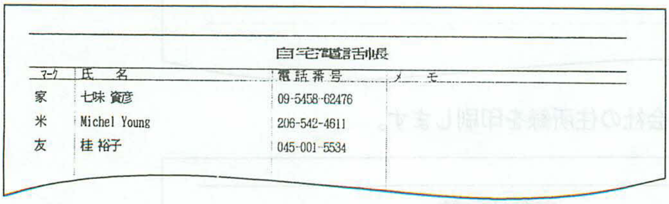

| マーク | 会社名 | 代表電話 | FAX |
|---|---|---|---|
| 家 | 株式会社 富通ﾊﾟｿｺﾝﾗﾎﾞ | 09-5434-60061 | 09-5436-61301 |
| 米 | PALO RALPH LAUREL | 206-587-0200 | 206-625-1180 |
| 友 | 区通公社トラベルト | 03-0061-0081 | 03-0021-0051 |

［会（個）電話帳］…会社および個人の電話一覧を印刷します。


会社個人・電話帳

| | | | |
|---|---|---|---|
| 家 | 株式会社 富通パソコンラボ<br>第5開発部第10開発課 | 七味 資彦 | (代) 09-5434-60061<br>(FAX) 09-5436-61301 |
| 米 | PALO RALPH LAUREL<br>SALES<br>Sales Associate | Michel Young | (代) 206-587-0200<br>(FAX) 206-625-1180 |
| 友 | | | (代) 03-0061-0081<br>(FAX) 03-0021-0051 |

［自宅電話帳］…自宅の電話一覧を印刷します。


自宅電話帳

| マーク | 氏名 | 電話番号 | メモ |
|---|---|---|---|
| 家 | 七味 資彦 | 09-5458-62476 | |
| 米 | Michel Young | 206-542-4611 | |
| 友 | 桂 裕子 | 045-001-5534 | |

◆**上部印刷位置**

用紙の上端から一行目の上端までの長さを設定します。

0～148mmの間で、0.1mm単位で設定できます。

◆**左部印刷位置**

用紙の左端から一文字目の左端までの長さを設定します。

0～148mmの間で、0.1mm単位で設定できます。

## リフィル形式で印刷する
［印刷］→［リフィル形式］

作成した住所録を切り取り線付きのリフィル形式で印刷します。

1. ［印刷］メニューから［リフィル形式］を選びます。
   「リフィル印刷書式設定」ウィンドウが表示されます。
2. 項目を設定して、［印刷開始］を左クリックします。
   印刷が開始されます。

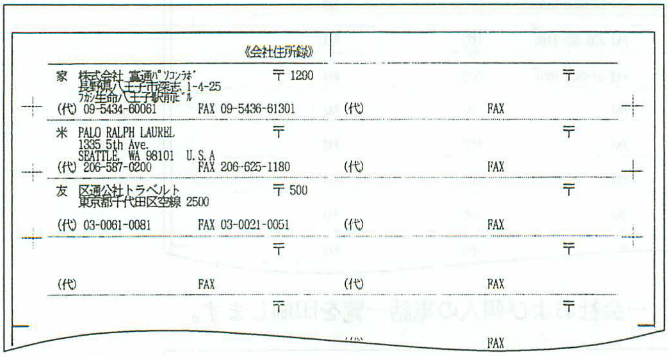
**アドバイス**

● ［レイアウト］を左クリックすると、印刷されるレイアウトが表示されます。
●印刷形式選択では、例を載せて説明しています。
●印刷形式選択以外の説明は、「住所一覧表を印刷する」（P.111)をご覧ください。

◆印刷形式選択

印刷する一覧表を選びます。

［会社住所録］…会社の住所録を印刷します。

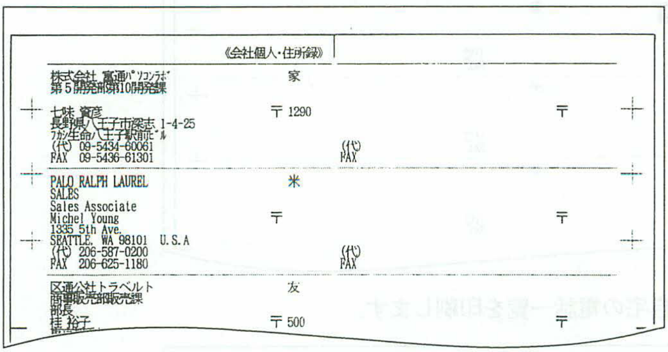

《会社住所録》

家　株式会社 富通パソコンラボ　〒1290
長野県八王子市深志 1-4-25
フカシ生命八王子駅前ビル
(代) 09-5434-60061　FAX 09-5436-61301　(代)　FAX

米　PALO RALPH LAUREL　〒
1335 5th Ave.
SEATTLE, WA 98101　U.S.A
(代) 206-587-0200　FAX 206-625-1180　(代)　FAX

友　区通公社トラベルト　〒500
東京都千代田区空線 2500
(代) 03-0061-0081　FAX 03-0021-0051　(代)　FAX

［会（個）住所録］…会社および個人の住所録を印刷します。

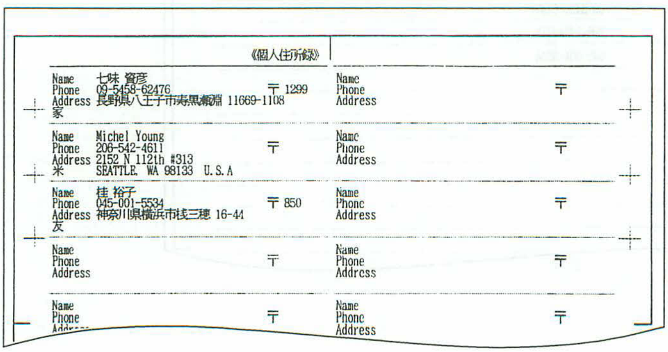

《会社個人・住所録》

株式会社 富通パソコンラボ　家
第5開発部第10開発課
七味 資彦　〒1290
長野県八王子市深志 1-4-25
フカシ生命八王子駅前ビル
(代) 09-5434-60061
FAX 09-5436-61301

PALO RALPH LAUREL　米
SALES
Sales Associate
Michel Young　〒
1335 5th Ave.
SEATTLE, WA 98101　U.S.A
(代) 206-587-0200
FAX 206-625-1180

区通公社トラベルト　友
商事販売部販売課
部長
桂 裕子　〒500

［自宅住所録］…自宅の住所録を印刷します。

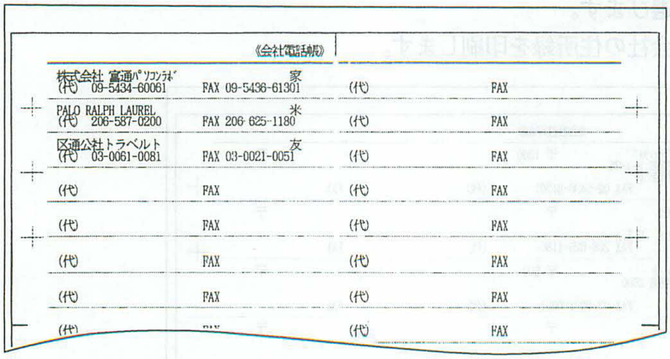

《個人住所録》

Name 七味 資彦
Phone 09-5458-62476　〒1299
Address 長野県八王子市夷黒綱鋼 11669-1108
家

Name Michel Young
Phone 206-542-4611　〒
Address 2152 N 112th #313
米 SEATTLE, WA 98133　U.S.A

Name 桂 裕子
Phone 045-001-5534　〒850
Address 神奈川県横浜市枝三穂 16-44
友

[会社電話帳] …会社の電話一覧を印刷します。


《会社電話帳》

株式会社 富通パソコンラボ 家
(代) 09-5434-60061 FAX 09-5436-61301 (代) FAX

PALO RALPH LAUREL 米
(代) 206-587-0200 FAX 206-625-1180 (代) FAX

区通公社トラベルト 友
(代) 03-0061-0081 FAX 03-0021-0051 (代) FAX

(代) FAX (代) FAX

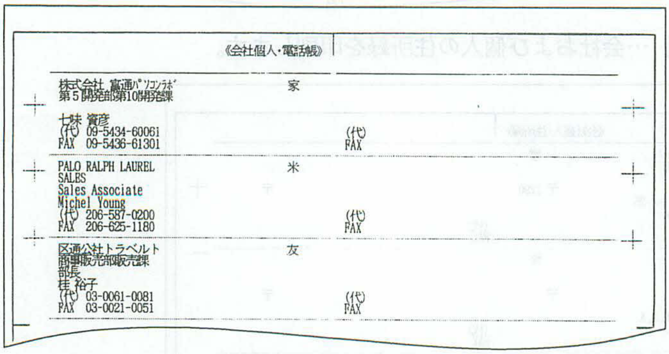
(代) FAX (代) FAX

(代) FAX (代) FAX

(代) FAX (代) FAX

(代) FAX (代) FAX

[会（個）電話帳] …会社および個人の電話一覧を印刷します。

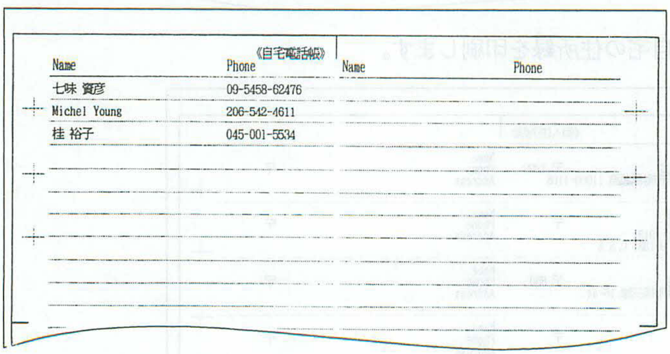

《会社個人・電話帳》

株式会社 富通パソコンラボ 家
第5開発部第10開発課
七味 資彦
(代) 09-5434-60061 (代)
FAX 09-5436-61301 FAX

PALO RALPH LAUREL 米
SALES
Sales Associate
Michel Young
(代) 206-587-0200 (代)
FAX 206-625-1180 FAX

区通公社トラベルト 友
営業販売部販売課
部長
桂 裕子
(代) 03-0061-0081 (代)
FAX 03-0021-0051 FAX

[自宅電話帳] …自宅の電話一覧を印刷します。


《自宅電話帳》

| Name | Phone | Name | Phone |
|---|---|---|---|
| 七味 資彦 | 09-5458-62476 | | |
| Michel Young | 206-542-4611 | | |
| 桂 裕子 | 045-001-5534 | | |

## 葉書に宛名を印刷する

［印刷］→［宛名印刷（はがき）］

作成した住所録を元に葉書に宛名を印刷します。葉書を用意してください。

**1** ［印刷］メニューから［宛名印刷（はがき）］を選びます。
「葉書表面印刷書式設定」ウィンドウが表示されます。

**2** 項目を設定して、［印刷開始］を左クリックします。
印刷が開始されます。
印刷が終了すると、「葉書表面印刷書式設定」ウィンドウに戻ります。

**アドバイス**

- ［レイアウト］を左クリックすると、印刷されるレイアウトが表示されます。
- 印刷形式選択では、例を載せて説明しています。
- ここで説明していない項目は、「住所一覧表を印刷する」 (P. 111)をご覧ください。

**◆用紙選択**

葉書をセットする方向と文字を印刷する方向を選びます。

［ポートレート（縦）］…　葉書を横にセットして、文字を縦書きに印刷します。
［ポートレート（横）］…　葉書を縦にセットして、文字を横書きに印刷します。
［ランドスケープ（横）］…　葉書を横にセットして、文字を横書きに印刷します。

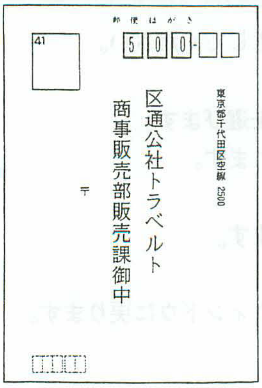
**◆印刷形式選択**

印刷する一覧表を選びます。

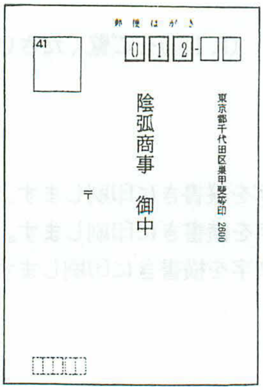
［会社個人宛］…会社の住所と個人名を印刷します。



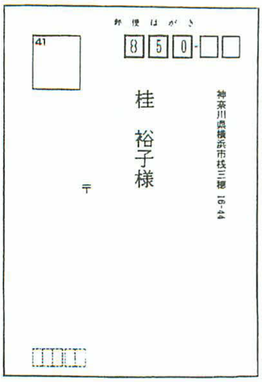
[会社部署宛] …会社の住所と部署名を印刷します。



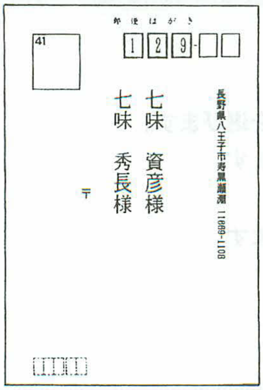

[会社宛] …会社の住所を印刷します。




[自宅宛] …自宅の住所と名前を印刷します。



［自宅宛（連名）］…自宅の住所と連名を印刷します。




### ◆会社（個人）敬称選択

会社名（個人名）に対しての敬称を選びます。

［御中］………〇〇御中と印刷されます。
［様］…………〇〇様と印刷されます。
［殿］…………〇〇殿と印刷されます。
［宛］…………〇〇宛と印刷されます。
［先生］………〇〇先生と印刷されます。
［敬称無し］…〇〇と印刷されます。

### ◆差出人印刷

［印刷する］……差し出し人の名前、住所などを印刷します。
［印刷しない］…差し出し人の名前、住所などを印刷しません。

**アドバイス**

差し出し人の住所などの設定は、補助機能の［環境設定］メニューで設定します。

## タックシールに宛名を印刷する

［印刷］→［宛名印刷（タック）］

タックシールに宛名を印刷します。

**1** ［印刷］メニューから［宛名印刷（タック）］を選びます。
「タック印刷書式設定」ウィンドウが表示されます。

**2** 項目を設定して、［印刷開始］を左クリックします。
印刷が開始されます。

### アドバイス

- ［レイアウト］を左クリックすると、印刷されるレイアウトが表示されます。
- 印刷形式選択では、例を載せて説明しています。
- ここで説明していない項目は、「住所一覧表を印刷する」（P. 111）をご覧ください。

**◆印刷文字方向**

印刷する文字の方向を選びます。

［横書き］…文字を横書きに印刷します。

［縦書き］…文字を縦書きに印刷します。

**◆用紙吸入方法**

用紙の吸入方法を選びます。

［フィーダ吸入］…カットシートフィーダを使って、用紙を自動吸入します。

［手差し吸入］…紙を１枚１枚、手で差し込みます。

［連続用紙］…紙がつながっていて連続的に吸入します。

**◆印刷形式選択**

印刷する一覧表を選びます。

［会社個人宛］…会社の住所と個人名を印刷します。

〒 1290
長野県八王子市深志 1-4-25
ﾌｶｼ生命八王子駅前ﾋﾞﾙ
株式会社 富通ﾊﾟｿｺﾝﾗﾎﾞ 御中
第５開発部第10開発課

七味 資彦 様

〒 500
東京都千代田区空線 2500

区通公社トラベルト 御中
商事販売部販売課
部長
桂 裕子 様

[会社部署宛] …会社の住所と部署名を印刷します。

〒 1290
長野県八王子市深志 1-4-25
ﾌｶｼ生命八王子駅前ﾋﾞﾙ
株式会社 富通ﾊﾟｿｺﾝﾗﾎﾞ
第5開発部第10開発課 御中

〒 500
東京都千代田区空線 2500
区通公社トラベルト
商事販売部販売課 御中

[会社宛] …会社の住所を印刷します。

〒 1290
長野県八王子市深志 1-4-25
ﾌｶｼ生命八王子駅前ﾋﾞﾙ
株式会社 富通ﾊﾟｿｺﾝﾗﾎﾞ 御中

〒 500
東京都千代田区空線 2500
区通公社トラベルト 御中

[自宅宛] …自宅の住所と名前を印刷します。

〒 1299
長野県八王子市寿黒瀬淵 11669-1108
七味 資彦 様

〒 850
神奈川県横浜市桟三穂 16-44
桂 裕子 様

[自宅宛（連名）] …自宅の住所と連名を印刷します。

〒 1299
長野県八王子市寿黒瀬淵 11669-1108
七味　資彦様
七味　秀長様

〒 850
神奈川県横浜市桟三穂 16-44
桂　裕子様

◆印刷位置設定

タックシールの印刷する位置を設定します。

- Ａの設定範囲は、0.1㎜単位で０㎜～100㎜です。
- Ｂの設定範囲は、0.1㎜単位で０㎜～50㎜です。
- Ｃの設定範囲は、0.1㎜単位で79.1㎜～100㎜です。
- Ｄの設定範囲は、0.1㎜単位で34㎜～50㎜です。
- Ｅの設定範囲は、0.1㎜単位で０㎜～10㎜です。
- Ｆの設定範囲は、0.1㎜単位で０㎜～10㎜です。

◆位置読込

保存してある印刷位置を読み込みます。
ファイルウィンドウが表示されますので、ファイルを設定して［実行］を左クリックします。

◆位置保存

設定した印刷位置を保存します。
ファイルウィンドウが表示されますので、ファイルを設定して［実行］を左クリックします。

◆コメント入力

コメントを入力します。

1 ［コメント入力］を左クリックすると、「コメント入力」ウィンドウが表示されます。

2 コメントを入力し、［設定］を左クリックします。
印字位置設定の横にある［　］にコメントが表示されます。

アドバイス

コメントは位置読込／保存のファイルウィンドウのファイル名一覧に表示されますので、コメントを入力しておくと、ファイルを区別しやすくなります。
タックシールの型名などを入力すると便利です。

# 2 葉書作成を使う

葉書作成は、郵便葉書の裏の白い面に、文章やイラストを印刷するためのソフトウェアです。
画面上に、葉書の大きさを示す編集画面が表示されるので、その中に文章やイラストをレイアウトし、最後に印刷します。

## 起動する

1. （ポストカード）を実行します。
ポストカードのアイテム表示ウィンドウが表示されます。

2. （葉書作成）を実行します。
葉書編集画面が表示されます。

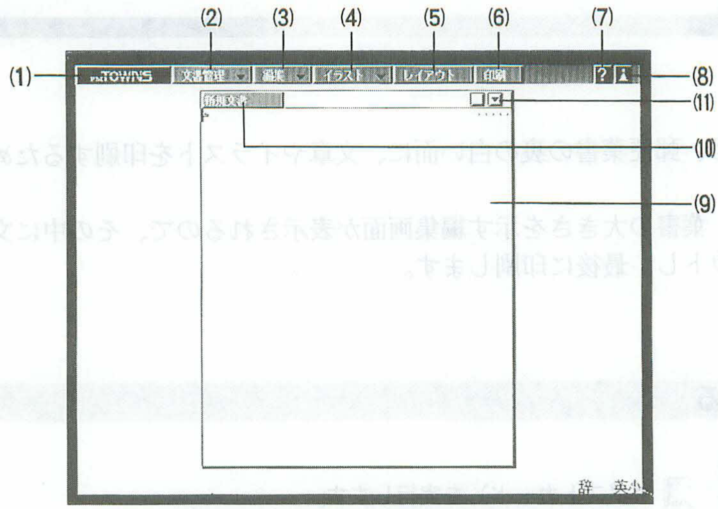
## 終了する

1. （終了ボタン）を左クリックします。
葉書を編集して、内容を保存してある場合は終了を確認するウィンドウが表示されます。
葉書を編集したにもかかわらず、内容を保存していない場合には、保存を確認するメッセージが表示されます。
[はい]…編集した内容を保存します。
[いいえ]…編集した内容を保存しません。

2. [はい]を左クリックします。
葉書作成が終了し、TownsMENUに戻ります。

# 各部の名称と役割

ここでは、葉書作成の各部の名称と役割を説明します。




## (1)[FM TOWNS]メニュー

サイドワーク機能を使うときに選びます。

➡サイドワーク機能については「TownsMENUディクショナリ 第2章 1.サイドワークの操作」をご覧ください。

**アドバイス**

本体の内蔵メモリが2MBのときや空きメモリが少ないときは、葉書作成を起動したあとにサイドワーク機能を使えないことがあります。

## (2)［文書管理］メニュー

葉書ファイルの新規作成や読み込み、保存や削除をするときに選びます。

## (3)［編集］メニュー

文字編集や文字揃え、文字の大きさの変更や文字修飾をするときに選びます。

## (4)［イラスト］メニュー

イラストの読み込みや移動、削除をするときに選びます。

## (5)［レイアウト］メニュー

編集した文書やイラストのレイアウトを見るときに選びます。

### (6)［印刷］メニュー

編集する葉書の向きを変更するときや、作成した葉書を印刷するときに選びます。

### (7)ヘルプボタン

オンラインヘルプを表示するときに選びます。

### (8)終了ボタン

葉書作成を終了するときに選びます。

### (9)編集画面

葉書を編集する場所です。

### (10)表題名

編集中の葉書の表題が表示されます。
左クリックをすると「表題名変更」ウィンドウが表示され表題名の変更ができます。

### (11)上下ボタン

編集画面を上下にスクロールします。

# 葉書作成の基本操作

ここでは、葉書作成の基本的な操作の流れを説明します。

## 縦書きか横書きかを決める

葉書作成では、編集を始める前に葉書を横向きにするか縦向きにするかを決めます。
葉書の向きを決めると、その向きに応じて編集画面の向きが変わります。

1. ［印刷］メニューを選びます。
「印刷書式設定」ウィンドウが表示されます。

2. 用紙吸入方向を選びます。
［横セット］…葉書を横向きに設定します。
［縦セット］…葉書を縦向きに設定します。

3. ［設定終了］を左クリックします。
編集画面の向きが変わります。

## 文章を編集する

まず、文章を入力します。
あとでイラストを入れることを考えながら、文章を入力することをお薦めします。

1. 編集画面内に、キーボードを使って文章を入力します。

2. 入力した文字の大きさを変えたり、網かけや強調などをします。
まず、大きさを変えたり、網をかけたい文字の範囲をドラッグして、反転表示させます。
次に、［編集］メニューから［文字サイズ］や［修飾］を選び、さらに表示されるメニューから、文字の大きさや修飾の種類を選びます。
指定した範囲の文字が、選択した大きさや修飾になります。

## イラストを入れる

文書の入力が終わったらイラストを入れます。イラストは2枚まで入れることができます。

**アドバイス**

- 葉書の大きさをはみだすイラストは、範囲を指定して切り取ることができます。
- イラストの拡張子は、"TIF" です。
- イラストは、Townsシステムソフトウェアの CD-ROMの¥FJ2¥IMG_PSTにあります。

**1** ［イラスト］メニューから［読み込み］を選びます。
ファイルウィンドウが表示されます。

**2** 読み込むファイルを選び、［実行］を左クリックします。
切り取りを確認するウィンドウが表示されます。

**3** ［はい］を左クリックします。
画面にイラストが表示され、マウスカーソルがカッターの形に変わります。

**4** 切り取るイラストの左上から右下までドラッグして範囲を指定します。
範囲の指定が終わると、確認のメッセージが表示されます。

**5** ［はい］を左クリックします。
イラストの大きさを表す枠が編集画面に表示されます。

**6** イラストの枠をドラッグして、イラストを入れたい場所へ移動します。
これで、イラストを入れる操作は終わりです。

**アドバイス**

- 編集画面では、枠のみ表示されてイラストは表示されません。
- 再度、イラストを移動したいときは、[イラスト] メニューから [移動] を選んで、6の操作を行ってください。
- イラストを削除したいときは、[イラスト] メニューから [削除] を選んで、削除したいイラストを左クリックしてください。確認のメッセージが表示されますので、[はい] を左クリックしてください。

## レイアウトを確認する

文章の編集とイラストの配置が終わったら、レイアウトを確認しておきましょう。

1 [レイアウト] メニューを選びます。
「レイアウト」ウィンドウが表示されます。
ここには、いままでに編集したものを印刷した場合に、どのような感じになるかを確認できます。
変更が必要なら、今までの操作を繰り返して編集し直します。

**アドバイス**

「レイアウト」ウィンドウを消すときは、▦ を左クリックします。

# 葉書を印刷する

すべての編集が終わったら、最後に印刷します。

**1** ［印刷］メニューを選びます。
「印刷書式設定」ウィンドウが表示されます。

**2** 項目を設定し、プリンタに葉書をセットしたら、［印刷開始］を左クリックします。
編集した内容が印刷されます。
➡項目の設定については「［印刷］メニューを使う」（P.110)をご覧ください。

## 内容を保存する

必要に応じて、内容を保存しておきます。

**1** ［文書管理］メニューの［保存］から［ポストカード形式］を選びます。
ファイルウィンドウが表示されます。

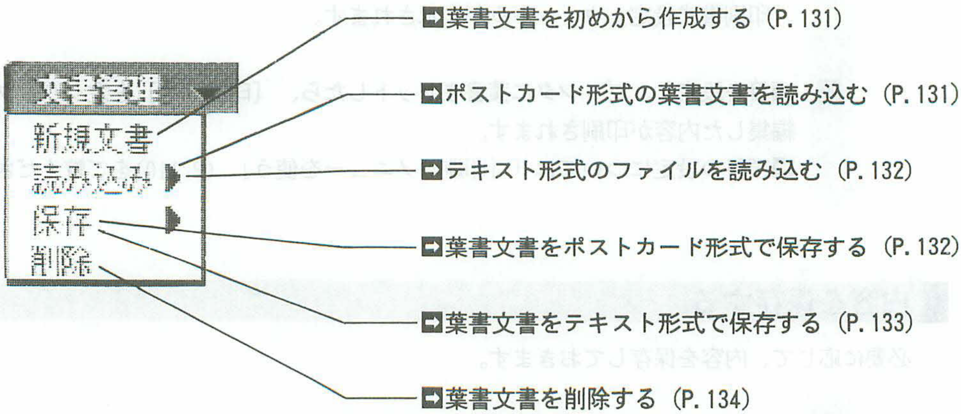
**2** ［新規］を左クリックします。
「ファイル名」ウィンドウが表示されます。

**3** ファイル名と表題名を入力して、［設定］を左クリックします。
「文書を保存しました」というメッセージが表示され、編集画面に戻ります。

**アドバイス**
葉書文書ファイルの拡張子は、“LMW”です。

# [文書管理] メニューを使う

[文書管理] メニューは、ファイルの読み込みや保存など、ファイルに対する操作を集めたメニューです。



## 葉書文書を初めから作成する
［文書管理］⇨［新規文書］

編集画面を消し、新しい葉書文書を作成できる状態にします。

**確認**
- 葉書文書を保存するためのディスクを準備してください。
- ［新規文書］を作成すると、それまで編集している文書を保存するか確認するメッセージが表示されます。保存するときは［はい］を左クリックしてください。

1. ［文書管理］メニューから［新規文書］を選びます。
   確認のメッセージが表示されます。
2. ［実行］または［取消］を選びます。
   ［実行］
   編集画面を消し、新しい葉書文書を作成できる状態にします。
   ［取消］
   編集画面を消すのをやめ、元の葉書文書の編集を続けます。

## ポストカード形式の葉書文書を読み込む
［文書管理］⇨［読み込み］⇨［ポストカード形式］

編集画面に、ポストカード形式の葉書文書を読み込みます。

**確認**
別の葉書文書を読み込むと、それまで編集している文書はなくなります。
必要なら、編集した文書を保存しておいてください。
➡保存の方法は P.132 をご覧ください。

**アドバイス**
TownsシステムソフトウェアV2.1L10のポストカードで作成した文書も読み込めます。

1. ［文書管理］メニューの［読み込み］から［ポストカード形式］を選びます。
   ファイルウィンドウが表示されます。
2. 読み込むファイルを選び、［実行］を左クリックします。
   選んだファイルが読み込まれ、編集画面に内容が表示されます。

## テキスト形式のファイルを読み込む
[文書管理] ⇨ [読み込み] ⇨ [テキスト形式]

編集画面にテキスト形式のファイルを読み込みます。

**確認** 別の葉書文書を読み込むと、それまで編集している文書はなくなります。必要なら、編集した文書を保存しておいてください。
➡保存の方法はP. 133をご覧ください。

**アドバイス**
テキスト編集で作成したファイルも読み込めます。

1. [文書管理] メニューの [読み込み] から [テキスト形式] を選びます。
ファイルウィンドウが表示されます。
2. 読み込むファイルを選び、[実行] を左クリックします。
選んだファイルが読み込まれ、編集画面に内容が表示されます。

## 葉書文書をポストカード形式で保存する
[文書管理] ⇨ [保存] ⇨ [ポストカード形式]

ポストカードで作成、または更新した葉書文書をポストカード形式で保存します。

**アドバイス**
ポストカード形式で保存すると、葉書文書の内容と一緒に文字の修飾やイラストの情報も保存されます。

1. [文書管理] の [保存] から [ポストカード形式] を選びます。
ファイルウィンドウが表示されます。
2. 保存するファイルのドライブ、ディレクトリ、ファイル名を指定して [実行] を左クリックします。
上書きを確認するウィンドウが表示されます。

**アドバイス**

新規ファイルとして保存するには
［新規］を左クリックします。
「ファイル名」ウィンドウが表示されますので、ファイル名と表題名を入力して
［設定］を左クリックします。
●ファイル名は、全角文字で4文字以内です。
●表題名は、全角文字で7文字以内です。
文書編集画面に表示されている内容が、ファイルとして保存されます。

**3** ［はい］または［いいえ］を選びます。

［はい］
指定したファイルに上書きして保存します。
［いいえ］
保存を中止します。

## 葉書文書をテキスト形式で保存する

［文書管理］⇨［保存］⇨［テキスト形式］

ポストカードで作成、または更新した葉書文書をテキスト形式で保存します。

**注意**

テキスト形式で保存すると、文字サイズ、修飾、イラストの情報はなくなります。

**1** ［文書管理］の［保存］から［テキスト形式］を選びます。

ファイルウィンドウが表示されます。

**2** 保存するファイルのドライブ、ディレクトリ、ファイル名を指定して［実行］を左クリックします。

確認のウィンドウが表示されます。

**アドバイス**

新規ファイルとして保存するには
ファイル名を入力して、［実行］を左クリックしてください。
テキストファイルの拡張子は"TXT"です。
文書編集画面に表示されている内容が、テキストファイルとして保存されます。

**3** ［はい］または［いいえ］を選びます。

［はい］
指定したファイルに上書きして保存します。
［いいえ］
保存を中止します。

## 葉書文書を削除する

［文書管理］⇨［削除］

ポストカードで作成したポストカード形式のファイルを削除します。

**注意**

ポストカード形式以外のファイルは、削除できません。

**1** ［文書管理］メニューから［削除］を選びます。

ファイルウィンドウが表示されます。

**2** 削除するファイルを選び、［実行］を左クリックします。

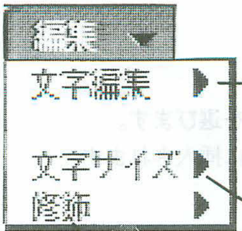
確認のウィンドウが表示されます。

**3** ［はい］または［いいえ］を選びます。

［はい］
指定したファイルを削除します。
［いいえ］
削除を中止します。

# ［編集］メニューを使う

［編集］メニューは、文字のカット&ペーストや文字の大きさ変更など、文字に対する操作を集めたメニューです。




➡文字列を移動する（P. 136）
➡文字列を複写する（P. 136）
➡文字列を削除する（P. 137）
➡文字列をセンタリングする／左寄せする／右寄せする（P. 137）
➡文字の大きさを変える（P. 138）
➡文字を修飾する（P. 138）

## 文字列を移動する
[編集] ⇨ [文字編集] ⇨ [カット] ／ [ペースト]

指定した文字列を移動します。なお、指定した元の文字列は消えてしまいます。

1. 移動する文字列をドラッグして、反転表示させせます。
2. [編集] メニューの [文字編集] から [カット] を選びます。
   1で指定した文字列が画面から消え、一時的にメモリに複写されます。
3. 文字列を挿入したい位置にカーソルを移動します。
4. [編集] メニューの [文字編集] から [ペースト] を選びます。
   メモリ内に複写されていた文字列が、カーソル位置に挿入されます。

**アドバイス**
元の文字列は、次に文字列を [カット] や [コピー] をするまで、メモリ内に保存されていますので、続けて何度でも [ペースト] することができます。

## 文字列を複写する
[編集] ⇨ [文字編集] ⇨ [コピー] ／ [ペースト]

指定した文字列を複写します。なお、指定した元の文字列はそのまま残ります。

1. 複写する文字列をドラッグして、反転表示させせます。
2. [編集] メニューの [文字編集] から [コピー] を選びます。
   1で指定した文字列が一時的にメモリに複写されます。
3. 文字列を挿入したい位置にカーソルを移動します。
4. [編集] メニューの [文字編集] から [ペースト] を選びます。
   メモリ内に複写されていた文字列が、カーソル位置に挿入されます。

**アドバイス**
元の文字列は、次に文字列を [カット] や [コピー] をするまでメモリ内に保存されていますので、続けて何度でも [ペースト] することができます。

## 文字列を削除する
［編集］⇨［文字編集］⇨［カット］

指定した文字列を編集画面から削除します。

1. 削除する文字列をドラッグして、反転表示させせます。

2. ［編集］メニューの［文字編集］から［カット］を選びます。
1で指定した文字列が画面から削除されます。

**アドバイス**
削除を取り消すときは、すぐに［編集］メニューの［文字編集］から［ペースト］を選びます。

## 文字列をセンタリングする／左寄せする／右寄せする
［編集］⇨［割り付け］⇨［中央揃え］／［左寄せ］／［右寄せ］

カーソルのある行の文字を、行の中央、左端、右端に動かします。

1. 対象とする行にカーソルを移動します。

2. ［編集］メニューの［割り付け］を選びます。
次に、割り付けの種類を選びます。
［中央揃え］：文字を行の中央に動かします。
［左寄せ］　：文字を行の左端に動かします。
［右寄せ］　：文字を行の右端に動かします。

## 文字の大きさを変える

[編集] ⇨ [文字サイズ] ⇨ [横倍] ／ [縦倍] ／ [４倍角] ／ [標準]

範囲を指定してある文字の、大きさを変更します。

**1** 大きさを変える文字をドラッグして、反転表示させます。

**2** [編集] メニューの [文字サイズ] を選びます。
次に、文字の大きさを選びます。
[横倍]　：文字の縦方向を２倍の大きさにします。
[縦倍]　：文字の横方向を２倍の大きさにします。
[４倍角]：文字の横方向、縦方向ともに２倍の大きさにします。
[標準]　：元の文字の大きさにします。

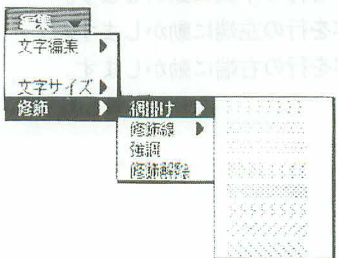
## 文字を修飾する

[編集] ⇨ [修飾] ⇨ [網掛け] ／ [修飾線] ／ [強調] ／ [修飾解除]

範囲を指定してある文字に、修飾を行います。

**1** 修飾を行う文字をドラッグして、反転表示させます。

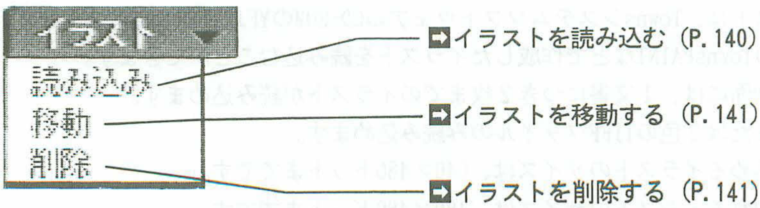
**2** [編集] メニューから [修飾] を選びます。
次に、修飾の種類を選びます。
[網掛け]　：文字に網をかけます。網の種類を選ぶメニューが表示されるので、８つの網の中から選びます。




[修飾線]　：文字に３種類の線を引きます。線の種類を選ぶメニューが表示されるので、線の種類を選びます。
　[上線] …文字の上の方に線を引きます。　例）上線
　[中線] …文字の中央に線を引きます。　例）~~中線~~
　[下線] …文字の下の方に線を引きます。　例）下線
[強調]　：文字を太くして強調します。
[修飾解除]：すでに修飾が行われている文字の修飾を解除します。

# ［イラスト］メニューを使う

［イラスト］メニューは、イラストの読み込みや移動などの、イラストに対する操作を集めたメニューです。



## イラストを読み込む
［イラスト］⇨［読み込み］

イラストを読み込みます。

**アドバイス**

- 葉書の大きさをはみだすイラストは、範囲を指定して切り取ることができます。
- イラストの拡張子は、“TIF”です。
- イラストは、TownsシステムソフトウェアのCD-ROMの¥FJ2¥IMG_PSTにあります。
- 別売のTownsPAINTなどで作成したイラストを読み込むことができます。
- 編集画面には、１文書につき２枚までのイラストが読み込めます。
- 16色または２色のTIFFファイルのみ読み込めます。
- 読み込めるイラストのサイズは、640×480ドットまでです。
- 切り取れるイラストのサイズは、480×480ドットまでです。
- レイアウト機能で表示可能なサイズは、480×480ドットまでです。

**1** **［イラスト］メニューから［読み込み］を選びます。**
ファイルウィンドウが表示されます。

**2** **読み込むファイルを選び、［実行］を左クリックします。**
切り取りを確認するウィンドウが表示されます。

**3** **［はい］を左クリックします。**
マウスカーソルがカッターの形に変わります。
［いいえ］を左クリックしたときは、ファイルウィンドウに戻ります。
再度、**2**から操作を行ってください。

**4** **切り取るイラストの左上から右下までドラッグして範囲を指定します。**
範囲の指定が終わると、確認のメッセージが表示されます。

**5** **［はい］を左クリックします。**
イラストの大きさを表す枠が編集画面に表示されます。
［いいえ］を左クリックすると、イラストの画面に戻ります。再度、**4**から操作を行ってください。

**6** イラストの枠をドラッグして、イラストを入れたい場所へ移動します。
これで、イラストを入れる操作は終わりです。

**アドバイス**

- 編集画面では、枠のみ表示されてイラストは表示されません。
- 文字は、イラストの上にも入力できます。

## イラストを移動する

表示されているイラストを移動します。

**1** ［イラスト］メニューから［移動］を選びます。
マウスカーソルが手の形になります。

**2** 移動したいイラストの枠を、移動したい場所までドラッグします。
イラスト枠が、ドラッグした位置に移動します。

## イラストを削除する

表示されているイラストを削除します。

**1** ［イラスト］メニューから［削除］を選びます。
マウスカーソルが手の形になります。

**2** 削除するイラストの枠を左クリックします。
確認のメッセージが表示されます。

**3** ［実行］を左クリックします。
指定したイラスト枠が、編集画面から消えます。

# ［レイアウト］メニューを使う

［レイアウト］メニューは、編集画面で編集した文書やイラストの配置を、実際の印刷イメージで表示します。

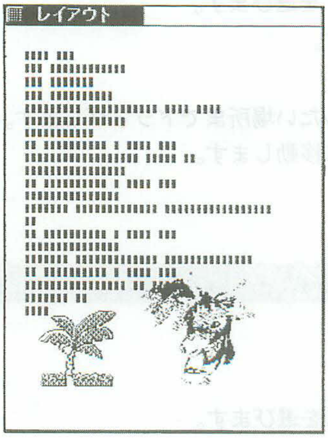
**アドバイス**

［レイアウト］メニューは、「印刷書式設定」ウィンドウの［レイアウト］と同じです。

**1** ［レイアウト］メニューを選びます。

「レイアウト」ウィンドウが表示されます。

表示を終了するには、▦（ウィンドウクローズボタン）を左クリックします。



# [印刷] メニューを使う



[印刷] メニューは、編集画面で編集した文書やイラストなどを、葉書に印刷します。

**1** [印刷] メニューを選びます。

「印刷書式設定」ウィンドウが表示されます。

**2** 項目を設定します。




### ◆プリンタ選択

プリンタの種類を選びます。

[FM-PRINTER] …ＦＭシリーズのプリンタを設定します。

[ESC/P J84 ] …ESC/Pの規約に合わせて作られたプリンタを設定します。

### ◆用紙吸入方法

用紙の吸入方法を選びます。

[ﾌｨｰﾀﾞ吸入] ……カットシートフィーダを使って、用紙を自動吸入します。

[手差し吸入] …紙を１枚１枚、手で差し込みます。

### ◆印刷書体選択

印刷するときの、文字の種類を選びます。

[標準書体] ……普通の文字で印刷します。

[明朝体] ………明朝体で印刷します。

[ゴシック体] …ゴシック体で印刷します。

[丸文字体] ……丸文字体で印刷します。

[教科書体] ……教科書体で印刷します。

[毛筆書体] ……毛筆書体で印刷します。

◆文字間隔設定

印刷時の、文字と文字の間隔を設定します。

設定できるのは、０～11ドットの間です。

文字間隔を設定すると、右横に表示されている桁数が自動的に変わります。

◆行間隔設定

印刷時の、行と行の間隔を設定します。

設定できるのは、０～23ドットの間です。

行間隔を設定すると、右横に表示されている行数が自動的に変わります。

◆上部印刷位置

用紙の上端から一行目の上端までの長さを設定します。

設定できるのは、0.1mm単位で０～148mmの間です。

◆左部印刷位置

用紙の左端から一文字目の左端までの長さを設定します。

設定できるのは、0.1mm単位で０～148mmの間です。

◆印刷文字方向

文字を印刷する方向を設定します。

［横書き］…文字を横書きに印刷します。

［縦書き］…文字を縦書きに印刷します。

◆用紙吸入方向

用紙を吸入するときの用紙の方向を設定します。

［横セット］…葉書を横にセットします。

［縦セット］…葉書を縦にセットします。

◆印字色設定

印刷するときの色を設定します。

［モノクロ］…通常はこちらを選びます。

［カラー］……カラープリンタをお使いの場合で、カラーリボンを装着している場合に選びます。

◆印刷枚数設定

印刷枚数を設定します。

設定できるのは、１～999枚までです。

**3** 項目の設定が終わったら、［印刷実行］を左クリックします。

葉書の印刷が始まります。

しばらくして印刷が終了すると、「印刷書式設定」ウィンドウに戻ります。

**4** ［設定終了］を左クリックすると、編集画面に戻ります。

# 3 補助機能を使う



補助機能では、ポストカードの環境設定、郵便番号辞書や住所録の管理、住所録ファイルの削除、データ変換などを行います。

## 起動する

1. （ポストカード）を実行します。
アイテム表示ウィンドウが表示されます。

2. （補助機能）を実行します。
補助機能の画面になります。

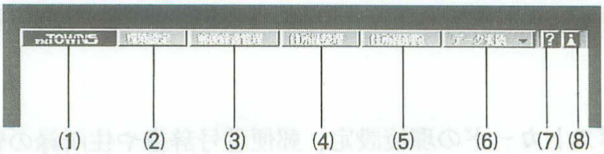
## 終了する

1. （終了）を選びます。
確認のメッセージが表示されます。

2. ［実行］を左クリックします。
補助機能が終了し、TownsMENUに戻ります。

# 各部の名称と役割

ここでは、補助機能の各部の名称と役割を説明します。




## (1)[FM TOWNS]メニュー

サイドワーク機能を使うときに選びます。

➡サイドワーク機能については「TownsMENU ディクショナリ 第2章 1.サイドワークの操作」をご覧ください。

## (2)[環境設定] メニュー

データのパス設定、差し出し人の設定などを行うときに選びます。

## (3)[郵便辞書管理] メニュー

新たに住所、郵便番号を登録できます。
また、必要なくなった住所、郵便番号を削除します。

## (4)[住所録整理] メニュー

住所録で検索の調子が悪いときや住所録の整理を要求するメッセージが表示されたときに選びます。

## (5)[住所録削除] メニュー

住所録ファイルを削除したいときに選びます。

## (6)[データ変換] メニュー

ポストカードのデータをCSVデータに、またはCSVデータをポストカードのデータに変換するときに選びます。

## (7)ヘルプボタン

オンラインヘルプを表示するときに選びます。

## (8)終了ボタン

補助機能を終了するときに選びます。

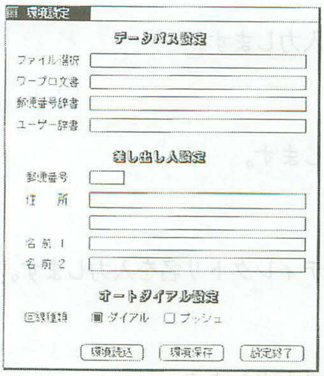
# ［環境設定］メニューを使う

ポストカードで使うファイルのパス名、住所録の宛名印刷の際の差し出し人名、オートダイヤルのダイヤル種別を登録、または修正します。



**アドバイス**

CD-ROMから起動しているときは、必ずドライブAにフロッピィディスクをセットしてください。




ここでは、環境設定を次の2つに分けて説明します。

- 環境設定をする（➡P. 147）
- 環境設定の情報を読み込む（➡P. 149）

## 環境設定をする

データのパスの設定、差し出し人の住所などの設定、電話回線の種類を設定します。

**1** ［環境設定］メニューを左クリックします。
「環境設定」ウィンドウが表示されます。

**2** 項目を設定し、［環境保存］を左クリックします。
ファイルウィンドウが表示されます。

3 ファイル名を入力して、[実行] を左クリックします。
情報が保存され、「環境設定」ウィンドウに戻ります。

4 [設定終了] を左クリックします。
「環境設定」ウィンドウが消えます。

◆ファイル選択
住所録ファイルのあるドライブとディレクトリ名を入力します。

◆ワープロ文書
ワープロ文書を保存するドライブとディレクトリ名を入力します。

◆郵便番号辞書
郵便番号辞書のあるドライブとディレクトリ名を入力します。

◆ユーザー辞書
ユーザー登録用の郵便番号辞書を保存するドライブとディレクトリ名を入力します。

◆郵便番号
差し出し人（印刷で使用する差し出し人）の郵便番号を入力します。

◆住所
差し出し人（印刷で使用する差し出し人）の住所を入力します。

◆名前１、２
差し出し人（印刷で使用する差し出し人）の名前を入力します。
名前２を入力すると、差し出し人を連名にすることができます。

◆回線種類
自動回線接続をダイヤルで行うか、プッシュホンで行うかを設定します。

アドバイス

- 選択されているときは■、選択されていないときは□です。
- 保存したファイルは、アイテム登録をするか、または変更するときに起動パラメータとして、パラメータの欄にファイル名を入力してください。
- ファイルの拡張子は、“LME”です。
- CD-ROMから起動しているときは、ファイルウィンドウが表示されずにドライブAのフロッピィディスクに“USR.LME”というファイル名で保存されます。

## 環境設定の情報を読み込む

以前の環境設定の情報を読み込みます。

1. ［環境設定］メニューを左クリックします。
「環境設定」ウィンドウが表示されます。

2. 項目を設定し、［環境読込］を左クリックします。
ファイル表示ウィンドウが表示されます。

3. ファイル名を入力して、［実行］を左クリックします。
情報が読み込まれて、表示されます。

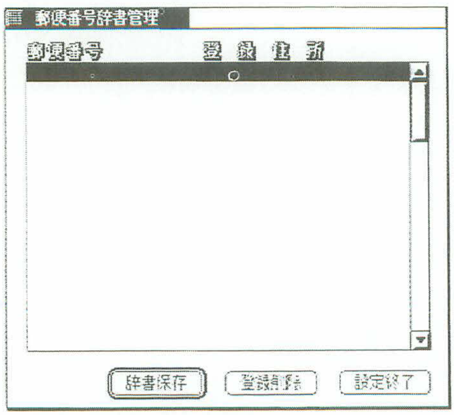
# [郵便辞書管理] メニューを使う

郵便辞書によく使う住所と郵便番号を追加します。また、必要なくなった住所と郵便番号を削除します。

## 住所と郵便番号を追加／変更する

**1** [郵便辞書管理] メニューを左クリックします。
「郵便辞書管理」ウィンドウが表示されます。

**2** 郵便番号と住所を登録、または変更します。
新しく郵便番号と住所を登録する場合は空白の行を、郵便番号と住所を変更する場合は変更する行を左クリックします。
カーソルが点滅しますので、登録する郵便番号を入力して [Enter] キーを押します。
カーソルが住所の欄に移動しますので、登録する住所を入力します。




**アドバイス**
住所録と郵便番号は、最大64件まで登録できます。

**3** [辞書保存] を左クリックします。
追加、または変更した郵便番号と住所が登録されます。

**4** [設定終了] を左クリックします。
補助機能の画面に戻ります。

## 住所と郵便番号を削除する

登録してある住所と郵便番号を削除します。

1. ［郵便辞書管理］メニューを左クリックします。
「郵便辞書管理」ウィンドウが表示されます。

2. 削除する住所と郵便番号の行を左クリックします。

3. ［登録削除］を左クリックします。
確認のメッセージが表示されます。

4. 削除してもよければ［実行］を左クリックします。
住所と郵便番号が削除されます。

5. ［辞書保存］を左クリックします。
郵便番号辞書の内容が保存されます。

6. ［設定終了］を左クリックします。
補助機能の画面に戻ります。

# [住所録整理] メニューを使う

実際のデータの数と件数表示の数が合わなくなったときや、住所録の整理を要求するメッセージが表示されたときに、このメニューを使って住所録の整理を行います。

1. **[住所録整理] メニューを左クリックします。**
   ファイルウィンドウが表示されます。
2. **整理する住所録のドライブ、ディレクトリを選びます。**
3. **整理する住所録ファイルを選び、[実行] を左クリックします。**
   確認のウィンドウが表示されます。
4. **[実行] を左クリックします。**
   住所録の整理が始まります。
   整理が終わると確認のメッセージが表示されます。
5. **[確認] を左クリックします。**
   補助機能の画面に戻ります。

# [住所録削除] メニューを使う

必要なくなった住所録ファイルを削除します。

**注意**

いったん削除した住所録ファイルを再び復元することはできません。
削除するときは、削除してもいい住所録ファイルか確認してから削除してください。

1. [住所録削除] メニューを選びます。
   ファイルウィンドウが表示されます。

2. 削除するファイルを選び、[実行] を左クリックします。
   確認のウィンドウが表示されます。

3. [実行] を左クリックします。
   削除が終わると、メッセージが表示され、補助機能の画面に戻ります。

# [データ変換] メニューを使う

ポストカード形式のデータをCSV形式のデータに変換したり、CSV形式のデータをポストカード形式のデータに変換したりします。

**アドバイス**

- ポストカード形式のデータは、ポストカードで使用するデータ形式のことです。
- CSV形式のデータは、一般のデータベースや文書ファイルで使用するデータ形式のことです。

**1** **[データ変換] メニューから [ポストカード→CSV]、または [CSV→ポストカード] を選びます。**
ファイルウィンドウが表示されます。

**2** **変換元のドライブ名、ディレクトリ名を左クリックします。**
ディレクトリ内のファイル名が表示されます。

**3** **変換元のファイル名を選び、[実行] を左クリックします。**
変換先のファイル名を指定するためのファイルウィンドウが表示されます。

**4** **変換先のドライブ名、ディレクトリ名を左クリックします。**
ディレクトリ内のファイル名が表示されます。

**5** **変換先のファイル名を入力し、[実行] を左クリックします。**
変換が開始されます。
変換が終わると、確認のメッセージが表示され、補助機能の画面に戻ります。

**アドバイス**

- 既存のファイル名に追加、または上書きすることができます。
  **4**で既存のファイル名を選び、[実行] を左クリックします。
  確認のメッセージが表示されます。
  ポストカード形式からCSV形式に変換するときは、[実行] を左クリックしてください。CSV形式からポストカード形式に変換するときは、[追加]、[上書]、[取消] のいずれかを左クリックしてください。

# 第4章

# ツール



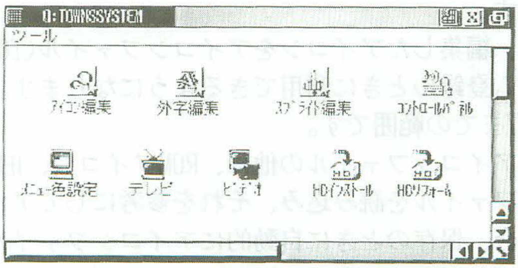


**注意**

TownsMENUからメニューを選んだり、アイテムを実行するときは、Townsパッドのボタンを押さないように気をつけてください。FMTOWNSが正しく動作しないことがあります。

# ツールについて

Townsシステムソフトウェアを起動し、アイテム表示ウィンドウから（ツール）を選ぶと、次のようなアイテム表示ウィンドウが表示されます。




ツールのアイテム表示ウィンドウには、次の９つのソフトウェアがアイテムとして登録されています。それぞれの使いかたは、参照先をご覧ください。

アイコン編集……………………➡(P.158)
スプライト編集…………………➡(P.171)
外字編集…………………………➡(P.179)
テレビ……………………………➡(P.188)
ビデオ……………………………➡(P.191)
ＨＤインストール………………➡(P.215)
ＨＤリフォーム…………………➡(P.226)
コントロールパネル……………➡『TownsMENUﾃﾞｨｸｼｮﾅﾘ 第２章 1.ｻｲﾄﾞﾜｰｸの操作』
メニュー色設定…………………➡『TownsMENUﾃﾞｨｸｼｮﾅﾘ 第２章 1.ｻｲﾄﾞﾜｰｸの操作』

この他に、アイテムとしては登録されていませんが、ファイル表示ウィンドウで特定のファイルを選ぶことによって、自動的に起動されるソフトウェアが３つあります。

イメージ表示……………………➡(P.199)
　拡張子が「TIF」や「JPG」のファイルを選ぶと起動します。
ムービープレーヤー……………➡(P.205)
　拡張子が「MVE」のファイルを選ぶと起動します。
アニメプレーヤー………………➡(P.209)
　拡張子が「MMM」のファイルを選ぶと起動します。

# 1 アイコン編集を使う

アイコン編集は、TownsMENUでアイテム登録をするときに使うための“アイコン”を作成、編集するためのソフトウェアです。
アイコンとは、TownsMENUやアプリケーションなどのウィンドウ内に文字と一緒に表示される絵のことです。
アイコン編集で作成、編集したアイコンをアイコンファイル(TOWNS.ICN)として保存することで、アイテム登録のときに利用できるようになります。利用できるアイコン番号は、1024～32767までの範囲です。
アイコン編集では、アイコンファイルの他に、ROMアイコン、旧GEARアイコン、旧FJデータ、旧アイコンファイルを読み込み、それを参考にしてアイコンを作成することもできます。この場合、保存のときに自動的にアイコンファイルの形式で保存されます。

**アドバイス**

アイコン編集で作成したアイコンをアイテムとして登録するときは、TownsMENUの［ファイル］メニューの［アイテム登録／変更］を使います。詳しくは、「TownsMENUディクショナリ 第2章 2.アイテム／ファイル／ディレクトリの操作」をご覧ください。

## 起動する

**1** （ツール）を実行します。
ツールのアイテム表示ウィンドウが表示されます。

**2** （アイコン編集）を実行します。
アイコン編集の画面になります。

## 終了する

**1** [終了ボタンのアイコン]（終了ボタン）を選びます。

編集途中のアイコンがないときには、アイコン編集が終了してTownsMENUに戻ります。
アイコンを編集したにもかかわらずアイコンファイルに保存していないときには、確認のウィンドウが表示されます。

［保存する］
編集したアイコンをアイコンファイルに保存して、アイコン編集を終了します。
［保存する］を選ぶと、保存するファイル名を指定するためのファイルウィンドウが表示されます。

［保存しない］
編集したアイコンを保存せずに、アイコン編集を終了します。

［編集へ戻る］
アイコン編集を終了せずに、アイコン編集の画面に戻ります。

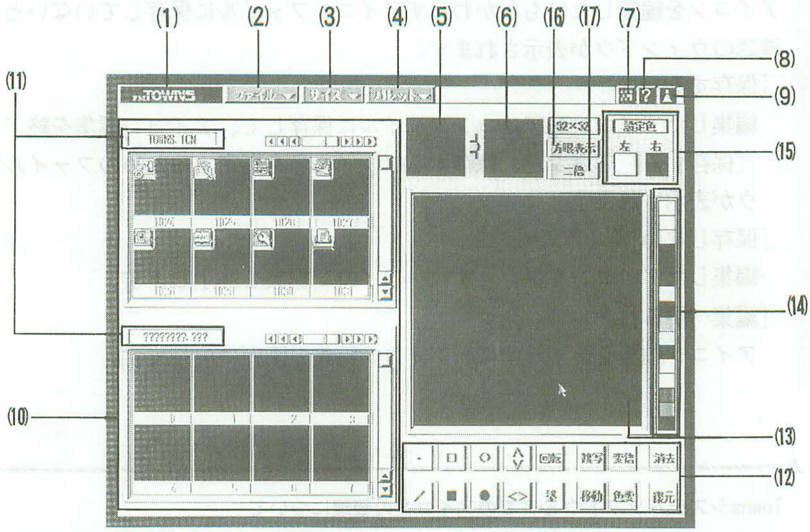
コラム

**Townsシステムソフトウェアでのアイコンの管理について**

Townsシステムソフトウェアでは、アイコンをアイコンファイル（TOWNS.ICN）として管理しています。

# 各部の名称と役割

ここでは、アイコン編集の各部の名称と役割を説明します。



## (1)[FM TOWNS]メニュー

サイドワーク機能を使うときに選びます。

➡サイドワーク機能については、「Towns MENUディクショナリ 第2章 1.サイドワークの操作」をご覧ください。

## (2)[ファイル]メニュー

アイコンファイルの新規作成やアイコンの読み込み、保存をするときに選びます。

## (3)[サイズ]メニュー

編集するアイコンの大きさを設定するときに選びます。

## (4)[パレット]メニュー

アイコン編集で使うパレットを変更するときに選びます。

## (5)編集前アイコン

編集ウィンドウで編集しているアイコンの、編集前の状態が表示されます。

## (6)編集後アイコン

編集ウィンドウで編集しているアイコンが、原寸大で表示されます。

## (7) ソフトウェアキーボード表示ボタン

ソフトウェアキーボードを表示するときに選びます。

## (8)ヘルプボタン

オンラインヘルプを表示するときに選びます。

## (9)終了ボタン

アイコン編集を終了するときに選びます。

## (10)登録済アイコンウィンドウ

現在読み込んでいるアイコンファイルに登録されているアイコンが表示されます。
上と下の2ヵ所に、別々のアイコンファイルを読み込むことができます。
ファイル名の表示部分が緑色になっているものが新規作成、読み込み、保存の対象になります。
スクロールバーを使って、内容をスクロールして見ることができます。

## (11)アイコンファイル名

現在読み込んでいるアイコンファイルのファイル名が表示されます。

## (12)描画ボタン

アイコンを作成、編集するときの描画方法を選びます。

## (13)編集ウィンドウ

アイコンを作成、編集するウィンドウです。

## (14)カラーバー

編集ウィンドウ内で使う色を選びます。
左ボタンと右ボタンに別々の色を設定することができます。選んだ色は、描画色表示エリアに表示されます。

## (15)描画色表示エリア

編集ウィンドウ内で使える色が表示されます。
色の設定は、カラーバーで行います。

## (16)［方眼表示］

編集ウィンドウ内にドット単位で方眼を表示するときに選びます。細かいドットの配置を確認しながら編集するときに便利です。

## (17)表示倍率変更ボタン

編集ウィンドウに表示されているアイコンを、拡大して表示するときに選びます。
設定可能な倍率は次のとおりです。
24ドット　：1倍、2倍
32ドット　：1倍、2倍

# アイコンを作成／編集する

アイコンを作成する大まかな流れは、以下のようになります。

アイコンファイルを読み込む→アイコンを作成、編集する→アイコンを保存する

アイコン編集を起動すると、自動的にアイコンファイル（TOWNS.ICN）が読み込まれます。TOWNS.ICN以外のROMアイコンや旧GEARアイコンなどを参照するときは、編集中に読み込むことができます。

TOWNS.ICNのアイコンを編集したり、追加したりするときは、「アイコンを作成／編集する」（P.164）からお読みください。

## アイコンファイルを読み込む

アイコン編集を起動したときに、自動的にアイコンファイル（TOWNS.ICN）が読み込まれています。これ以外のROMアイコンや旧GEARアイコンなどを読み込むときは、次の操作をします。

**1 アイコンを読み込む、登録済アイコンウィンドウを選びます。**

上または下の登録済アイコンウィンドウのアイコンファイル名の欄を左クリックします。

左クリックした欄が緑色になります。

**2 ［ファイル］メニューから［読み込み］を選びます。**

次に、アイコンファイルの種類を選びます。

アイコンファイル　：アイコン編集で作成したアイコンです。
ROMアイコン　：FMTOWNSの本体内に内蔵しているアイコンです。
旧アイコンファイル：Townsシステムソフトウェア V1.1のTownsMENU用のアイコンです。
旧GEARアイコン　：TownsGEAR V1.1用のアイコンです。
旧FJデータ　：Townsシステムソフトウェア V1.1のデータライブラリのアイコンです。

［ROMアイコン］を選んだときは、すぐにアイコンが読み込まれて登録済アイコンウィンドウに表示されます。

それ以外を選んだときには、ファイルウィンドウが表示されます。

**アドバイス**

アイコンを変更した登録済アイコンウィンドウに、別のアイコンファイルを読み込もうとすると、確認のウィンドウが表示されます。編集中のアイコンを保存するときには［保存する］を、保存しないときは［保存しない］を選んでください。

**3** 読み込むアイコンファイルを選び、［実行］を左クリックします。
アイコンが読み込まれ、登録済アイコンウィンドウに表示されます。

**4** スクロールバーを使って、編集したいアイコンを登録済アイコンウィンドウに表示します。

**5** 編集したいアイコンを登録済アイコンウィンドウから編集ウィンドウへドラッグします。
ドラッグしたアイコンが、編集ウィンドウに表示されます。

**アドバイス**

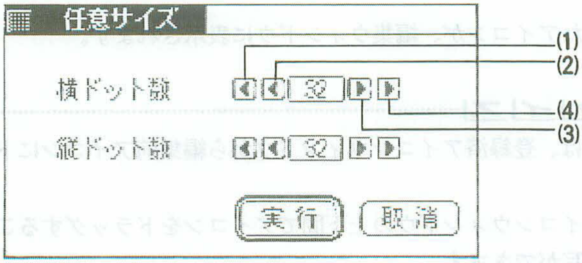
- 5の操作は、登録済アイコンウィンドウから編集前アイコンにドラッグしても同じです。
- 登録済アイコンウィンドウの上下間でアイコンをドラッグすることにより、アイコンの複写ができます。

## アイコンを作成／編集する

アイコンを作成、編集する前に、まずアイコンの大きさを選びます。アイコンの大きさは、24×24ドット、32×32ドット、任意サイズ（最大64×64ドット）の中から選ぶことができます。

**1** ［サイズ］メニューから作成、編集するアイコンの大きさを選びます。

［24×24］と［32×32］を選ぶと、すぐに編集ウィンドウの大きさが変わります。
［任意サイズ］を選ぶと、大きさを決めるためのウィンドウが表示されます。




◆**横ドット数、縦ドット数**

横方向、または縦方向のドット数を決めます。８ドット～64ドットの間で決めます。

(1)［-10］ボタン
　１回押すと、ドット数が10減ります。

(2)［-1］ボタン
　１回押すと、ドット数が１減ります。

(3)［+1］ボタン
　１回押すと、ドット数が１増えます。

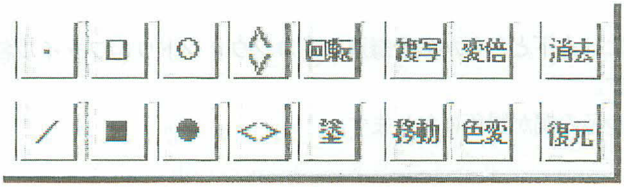
(4)［+10］ボタン
　１回押すと、ドット数が10増えます。

**アドバイス**

アイコン編集を起動したときは、32×32ドットに設定されています。

**2 編集ウィンドウ内でアイコンを編集します。**

描画ボタンで描画方法を選びながら編集します。

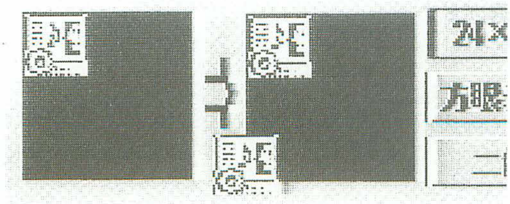



描画方法を選んだあとに編集ウィンドウ内でマウスをクリックしたり、ドラッグしたりすることにより、アイコンを描いていきます。

➡編集機能の説明は、「描画方法を選択する」(P. 167) をご覧ください。

登録済のアイコンを編集、または参照するときは、編集したいアイコンを登録済アイコンウィンドウから編集ウィンドウへドラッグします。

**3 編集後、アイコンを登録済アイコンウィンドウの登録したい位置までドラッグします。**



**注意**

- すでに登録されている位置にドラッグすると、元のアイコンは消えてしまいます。
- 登録済アイコンウィンドウに登録しても、ファイルに保存しないとそれまでの編集内容は消えてしまいます。

**アドバイス**

スクロールバーを使って、登録済アイコンウィンドウのアイコン番号の表示を移動できます。

## アイコンを保存する

アイコンの編集が終わったら、ファイルに保存します。

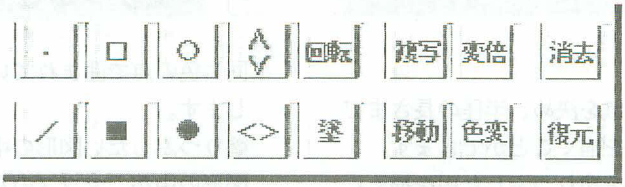
1. 保存したい上下どちらかの登録済アイコンウィンドウのファイル名の欄を左クリックします。
   ファイル名の欄が緑色になります。
2. ［ファイル］メニューから［保存］を選びます。
   ファイルウィンドウが表示されます。
3. 保存するファイル名を入力して［実行］を左クリックします。
   登録済アイコンウィンドウに登録してあるアイコンが、アイコンファイルとして保存されます。

**アドバイス**

- アイコンファイルの拡張子はICNです。
- 新しいアイコンファイルを作成したいときは、［ファイル］メニューから［新規作成］を選びます。

# 描画方法を選択する

アイコンは、編集ウィンドウ内で編集します。
編集をするときには、編集ウィンドウの周りにある編集機能を使います。
編集機能を選んだあとに編集ウィンドウ内でマウスをクリックしたり、ドラッグしたりすることにより、アイコンを描いていきます。
マウスの左ボタンと右ボタンで、2種類の色を使いわけることができます。




## 色

アイコンを描くときの色を選びます。
マウスの左ボタンと右ボタンそれぞれに色を設定することができます。
右上の「設定色」に表示されているのが、現在選ばれている色です。
カラーバーの希望する色の上で左クリック、または右クリックすると、「設定色」が変わります。

**アドバイス**

- カラーバーの一番下にある黒は、画面を重ね合わせたときの透過色として使用することがあるので、アイコンで使用しないことをお勧めします。
- カラーバーの色には、下から0～15の番号が付いています。このうち、1、6、7、8、9、15はTownsMENUの色を変えると変わってしまいますので、アイコンで使用しないことをお勧めします。

## 点

点を描きます。
左クリックまたは右クリックすると点を描くことができます。
また、ドラッグすることで連続した点を描くことができます。

## 線

線を描きます。
線の始点を決め、そのまま終点までドラッグすると線を描くことができます。

## □ ■ 四角

四角形を描きます。
四角形の頂点となる１点を決め、相対する頂点までドラッグすると四角形を描くことができます。■を選ぶと、中を塗りつぶした四角形を描くことができます。

## 回転 回転

指定した四角形の中を時計周りに90度回転させます。
四角形の頂点となる１点を決め、相対する頂点までドラッグすると、その四角形の中にある図形が時計周りに90度回転します。

## ○ ● 円

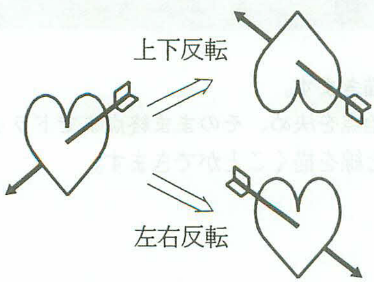
円を描きます。
円の中心となる１点を決め、半径の長さまでドラッグすると円を描くことができます。
●を選ぶと、中を塗りつぶした円を描くことができます。

## 塗 塗りつぶし

同じ色の点で囲まれている中を色で塗りつぶします。
塗りつぶしたい図形の中をクリックします。図形の中が、マウスの左または右ボタンに設定されている色で塗りつぶされます。

## <> 上下反転と左右反転

指定した四角形の中の、上下または左右を入れ換えます。
四角形の頂点となる１点を決め、相対する頂点までドラッグすると、その四角形の中にある図形の上下、または左右が入れ換わります。




## 複写 移動 複写と移動

指定した四角形の中を、別の位置へ複写または移動します。移動した場合には、元の四角形の中にある図形は消えてしまいます。
まず、複写または移動する図形を決めるために、四角形の頂点となる１点を決め、相対する頂点までドラッグします。次に、指定した四角形を複写先または移動先までドラッグします。

## 変倍　変倍複写

指定した四角形の中を、縦横の大きさを変更して複写します。
まず、複写する図形を決めるために、四角形の頂点となる1点を決め、相対する頂点までドラッグします。
次に、複写先の位置と大きさを決めるために、四角形の頂点となる1点を決め、相対する頂点までドラッグします。
初めに決めた四角形の中の図形が、後で決めた四角形の大きさで複写されます。

## 色変　色変換

指定した範囲内の特定の色を別の色にかえます。
まず、変更する色を左ボタンに設定します。
次に変更後の色を右ボタンに設定します。
最後に、色を変える範囲を決めます。四角形の頂点となる1点を決め、あい対する頂点までドラッグします。
指定した四角形の中にある色が変わります。

## 消去　消去

編集ウィンドウの中を消します。

**アドバイス**

間違えて消してしまった場合には、すぐに 復元 復元を選ぶことで、元の状態に戻せます。消したあとに何らかの編集を行ってしまった場合は、復元することができません。

## 復元　復元

直前の描画や編集を取り消します。
元の状態に戻ります。

# TIFFファイルからアイコンを作る

TIFFファイルを読み込んで、その一部分をアイコンにすることができます。
アイコンにできる範囲は、最大で64×64ドットです。

**注意**

編集ウィンドウでアイコンを編集しているときに、[ファイル] メニューから [TIFF選択] を選んでTIFFの取り込みをすると、それまで編集ウィンドウで編集していたアイコンは消えてしまいます。必要なものは、登録済アイコンウィンドウに登録してください。

**1** [ファイル] メニューから [TIFF読み込み] を選びます。
ファイルウィンドウが表示されます。

**2** 読み込むTIFFファイルを選び、[実行] を左クリックします。
選んだTIFFファイルが全画面に表示されます。

**アドバイス**

右クリックすると、読み込むTIFFファイルを選択するためのファイルウィンドウに戻ります。

**3** 取り込む範囲を指定します。
アイコンとして取り込む範囲を四角形で指定します。
四角形の頂点でマウスの左ボタンを押し、そのままドラッグして範囲を指定します。
アイコン編集画面になり、指定した範囲の画像が、編集ウィンドウに表示されます。

**アドバイス**

- 読み込んだTIFFファイルからもう一度アイコンを取り込みたいときは、[TIFF選択] を選びます。[TIFF読み込み] をしていないときは、[TIFF選択] は選べません。
- 読み込むことができるTIFFファイルは、2色と16色のTIFFです。それ以外のファイルは、読み込めません。

# 2 スプライト編集を使う

スプライト編集は、スプライトパターンを作成、編集するためのソフトウェアです。
スプライト編集では、最大64個のスプライトパターンを作成、編集できます。
スプライト編集で編集したスプライトパターンは、ゲームなどで任意の場所に表示させ、素早くスムーズに移動させることができます。
作成、編集したスプライトパターンは、別売のF-BASIC386で利用するためのファイルとして保存することができます。

## 起動する

1. （ツール）を実行します。
ツールのアイテム表示ウィンドウが表示されます。

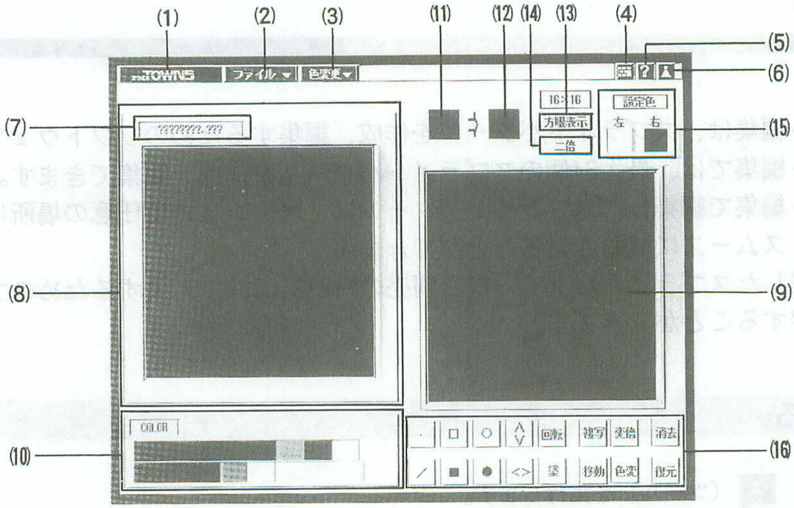
2. （スプライト編集）を実行します。
スプライト編集の画面になりますか。

## 終了する

1. （終了ボタン）を左クリックします。
編集途中のスプライトパターンがないときは、スプライト編集が終了してTownsMENUに戻ります。
スプライトパターンを編集したにもかかわらず、ファイルに保存していないときには、確認のウィンドウが表示されます。
［保存する］
編集したスプライトパターンをファイルに保存して、スプライト編集を終了します。［保存する］を選ぶと、保存するファイル名を指定するためのファイルウィンドウが表示されます。
［保存しない］
編集したスプライトパターンを保存せずにスプライト編集を終了します。
［編集へ戻る］
スプライト編集を終了せずにスプライト編集の画面に戻ります。

# 各部の名称と役割

ここでは、スプライト編集の各部の名称と役割を説明します。




## (1)[FM TOWNS]メニュー

サイドワーク機能を使うときに選びます。

➡サイドワーク機能については、「Towns MENUディクショナリ 第2章 1.サイドワークの操作」をご覧ください。

## (2)［ファイル］メニュー

スプライトファイルの新規作成やスプライトパターンの読み込み、保存をするときに選びます。

## (3)［色変更］メニュー

編集するスプライトパターンのモードを、16色モードまたは32K色モードに設定するときに選びます。

## (4) ソフトウェアキーボード表示ボタン

ソフトウェアキーボードを表示するときに選びます。

## (5)ヘルプボタン

オンラインヘルプを表示するときに選びます。

## (6)終了ボタン

スプライト編集を終了するときに選びます。

## (7)ファイル名

現在読み込んでいるスプライトファイルのファイル名が表示されます。

### (8)登録済スプライトウィンドウ

現在編集中のスプライトファイルに登録されているスプライトパターンが表示されます。

### (9)編集ウィンドウ

スプライトパターンをドット単位で作成、編集するウィンドウです。

### (10)カラーウィンドウ

編集ウィンドウ内で使う色を選びます。
マウスの左ボタン、右ボタンに別々の色を設定することができます。選んだ色は描画色表示エリアに表示されます。

### (11)編集前スプライトパターン

現在編集中のスプライトパターンの編集前の状態が表示されます。

### (12)編集後スプライトパターン

現在編集中のスプライトパターンが原寸大で表示されます。

### (13)［方眼表示］

編集ウィンドウ内にドット単位で方眼を表示するときに選びます。
細かいドットの配置を確認しながら編集する場合に便利です。

### (14)表示倍率変更ボタン

編集ウィンドウに表示されているスプライトパターンを拡大して表示するときに選びます。
設定可能な倍率は1倍と2倍です。

### (15)描画色表示エリア

現在のマウスの左ボタン、右ボタンに割り当てられている色が表示されます。

### (16)描画ボタン

スプライトパターンを作成、編集するときの描画方法を選びます。
➡それぞれの使いかたは「描画方法を選択する」（P. 167）をご覧ください。

# スプライトパターンを作成／編集する

スプライトパターンを作成する大まかな流れは、以下のようになります。

**スプライトパターンの色数を決める→スプライトファイルを読み込む→スプライトパターンを作成、編集する→スプライトパターンを保存する**

作成したスプライトパターンを新しいスプライトファイルとして登録するときは、「スプライトパターンを作成／編集する」(P.176) からお読みください。

## スプライトパターンの色数を決める

スプライトパターンの色数を、16色と32K色の２つから選びます。

**1** ［色変更］メニューから［16色モード］または、［32K色モード］を選びます。

**アドバイス**

- スプライト編集を起動したときは、16色モードになっています。
- ［16色モード］は、あらかじめ決められた16色で描画するときに選びます。［32K色モード］は、青、赤、緑の３色を混ぜ合わせた色で描画するときに選びます。
- スプライトパターンを編集中に［色変更］で色数を変更すると、確認のウィンドウが表示されます。編集中のスプライトパターンを保存するときは［保存する］を、保存しないときは［保存しない］を選んでください。保存しないと、それまでの編集内容は消えてしまいます。

## スプライトファイルを読み込む

スプライトファイルを読み込むのは、以前作成したスプライトパターンを編集するとき、または以前作成したスプライトファイルにスプライトパターンを追加したいときです。

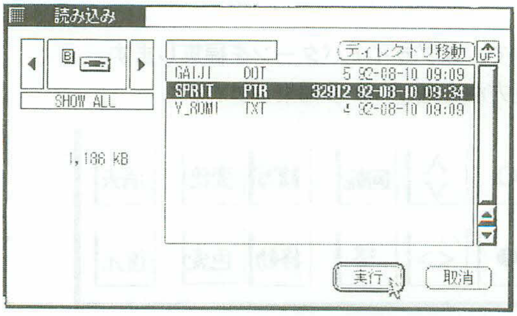
**1** ［ファイル］メニューから［読み込み］を選びます。

読み込むファイルを指定するための、ファイルウィンドウが表示されます。

**アドバイス**

スプライトパターンを編集中に［読み込み］を選ぶと、確認のウィンドウが表示されます。編集中のスプライトパターンを保存するときは［保存する］を、保存しないときは［保存しない］を選んでください。

**2** 読み込むファイルを選び、［実行］を左クリックします。




スプライトパターンが読み込まれ、登録済スプライトウィンドウに表示されます。

**注意**

F-BASIC386形式で保存してあるファイルを読み込むことはできません。

**3** 編集したいスプライトパターンを登録済スプライトウィンドウから編集ウィンドウへドラッグします。

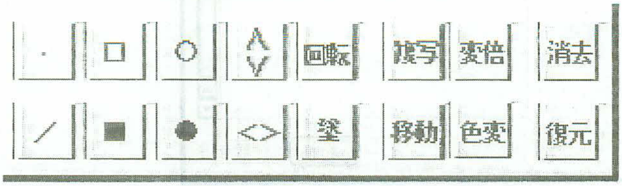
ドラッグしたスプライトパターンが編集ウィンドウに表示されます。

**アドバイス**

- **3**の操作は、登録済スプライトウィンドウから編集前スプライトパターンにドラッグしても同じです。
- 登録済スプライトウィンドウにあるスプライトパターンを他の位置にドラッグすると、スプライトパターンを複写することができます。

## スプライトパターンを作成／編集する

**1** 編集ウィンドウ内で、スプライトパターンを編集します。
描画ボタンで描画方法を選びながら編集します。

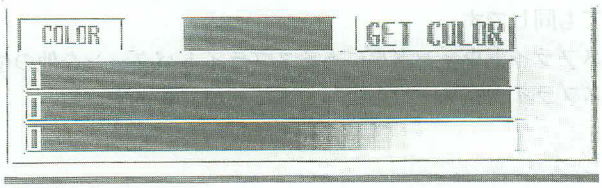



描画方法を選んだあとに編集ウィンドウ内でマウスをクリックしたり、ドラッグしたりすることにより、スプライトパターンを描いていきます。
編集が終了したら、登録済スプライトウィンドウに登録します。
➡編集機能の説明は、「描画方法を選択する」（P.167）をご覧ください。

**アドバイス**

マウスの左右ボタンに割り当てられている色を変更することができます。

● 32K色モードのとき
カラーウィンドウ内の3色のカラーバーをそれぞれ左クリック（右クリック）して色を混ぜ合わせます。

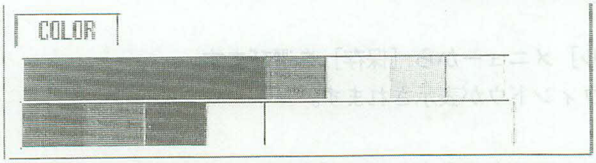



カラーウィンドウの中央上にあるパレットに、3色を混ぜ合わせた色が表示されます。パレットの中を左クリックまたは右クリックすることにより、左ボタン（右ボタン）の描画色を設定することができます。
また、カラーウィンドウ右上の［GET COLOR］を左クリックすると、マウスカーソルの形がスポイトになり、画面上に表示されている色を選ぶことができます。

**アドバイス**

●16色モードのとき

カラーウィンドウの選択したい色にマウスカーソルを移動し、左クリック（右クリック）します。




設定色表示エリアの□が、選択した色になります。

**2** 編集後スプライトパターンを登録済スプライトウィンドウにドラッグします。

ドラッグしたスプライトパターンが、登録済スプライトウィンドウに登録されます。

**注意**

- すでに登録されている位置にドラッグすると、元のスプライトパターンは消えてしまいます。
- 登録済スプライトウィンドウに登録しても、ファイルに保存しないと、それまでの編集内容は消えてしまいます。

## スプライトパターンを保存する

スプライトパターンの編集が終わったら、ファイルに保存します。
保存方法には、スプライト編集形式とF-BASIC386形式の２種類があります。

### ◆スプライト編集形式で保存する

1. ［ファイル］メニューから［保存］を選びます。
   ファイルウィンドウが表示されます。

2. 保存するファイル名を入力して、［実行］を左クリックします。

**アドバイス**

ファイルの拡張子はPTRです。

### ◆F-BASIC386形式で保存する

1. ［ファイル］メニューから［保存（FB386形式）］を選びます。
   ファイルウィンドウが表示されます。

2. ファイル名を指定して、［実行］を左クリックします。

**アドバイス**

- ファイルの拡張子はBASです。
- F-BASIC386形式で保存したファイルは、スプライト編集で読み込めません。
  F-BASIC386形式で保存するときは、同時にスプライト編集形式でも保存しておくことをお勧めします。

**アドバイス**

F-BASIC386形式で保存することにより、別売のF-BASIC386上でスプライトデータを利用することができます。

# 3 外字編集を使う

外字編集は、外字を作成、編集するためのソフトウェアです。
外字とは、標準で用意されている文字以外に、外字管理で登録することにより使えるようになる文字のことです。外字編集で作成した外字は、どんな書体を使用するときでも共通に利用することができます。
最初から外字を作るほかに、既存の文字を元にして作成、編集することもできます。
外字編集で作成した外字群を、外字ファイルに保存することで、外字パターン登録で利用できるようになります。外字は、ドット数によって、16×16、24×24、32×32、48×48、56×56の5種類があります。外字は、区点コードによって識別され、16×16ドットのときは8501～8694まで、その他のときは0801～0994までが割り当てられます。

## 起動する

1. （ツール）を実行します。
   ツールのアイテム表示ウィンドウが表示されます。
2. （外字編集）を実行します。
   外字編集の画面になります。

## 終了する

1. （終了ボタン）を左クリックします。
   編集途中の外字がないときは、外字編集が終了してTownsMENUに戻ります。
   外字を編集したにもかかわらず、ファイルに保存していないときには、確認のウィンドウが表示されます。

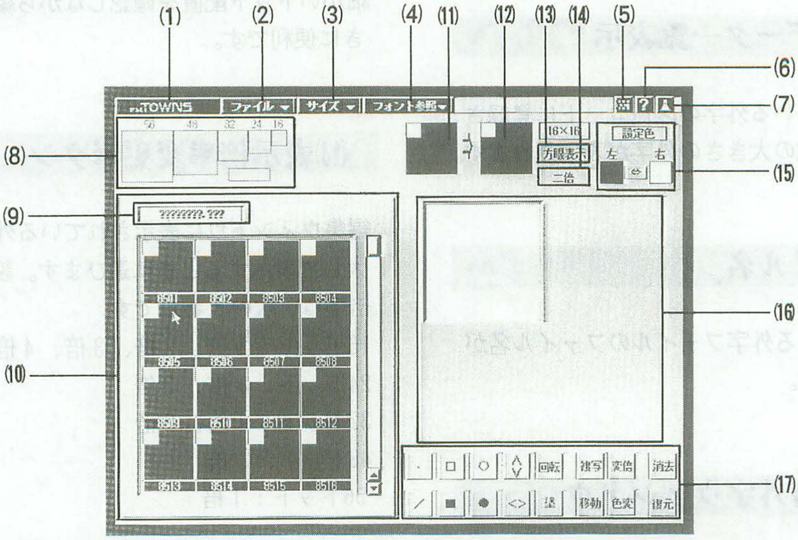
［保存する］
編集した外字をファイルに保存して、外字編集を終了します。［保存する］を選ぶと、保存するファイル名を指定するためのファイルウィンドウが表示されます。
［保存しない］
編集した外字を保存せずに、外字編集を終了します。
［編集へ戻る］
外字編集を終了せずに、外字編集の画面に戻ります。

コラム

- 外字編集で作成した外字を使うには、外字編集を終了したあと、TownsMENUの［設定］メニューから［外字管理］を選びます。そこで外字領域設定および、外字パターン登録を行います。詳しくは、「TownsMENUディクショナリ 第2章 4. システムの設定」をご覧ください。
- Townsシステムソフトウェアで扱う外字ファイルは、MS-DOSで扱う外字ファイルと同一形式です。

# 各部の名称と役割

ここでは、外字編集の各部の名称と役割を説明します。






## (1)［FMTOWNS］メニュー

サイドワーク機能を使うときに選びます。

➡サイドワーク機能については、「Towns MENUディクショナリ 第2章 1.サイドワークの操作」をご覧ください。

## (2)［ファイル］メニュー

外字ファイルの新規作成や外字の読み込み、保存をするときに選びます。

## (3)［サイズ］メニュー

編集する外字の編集サイズを設定したり、外字のドットサイズを変換するときに選びます。

## (4)［フォント参照］メニュー

Townsシステムソフトウェアのデータライブラリに用意されているフォント（文字）を読み込むときに選びます。

## (5) ソフトウェアキーボード表示ボタン

ソフトウェアキーボードを表示するときに選びます。

## (6)ヘルプボタン

オンラインヘルプを表示するときに選びます。

## (7)終了ボタン

外字編集を終了するときに選びます。

## (8)外字データ一覧表示

現在編集している外字の区点コードに登録されている、他の大きさの外字が表示されます。

## (9)ファイル名

読み込んでいる外字ファイルのファイル名が表示されます。

## (10)登録済外字ウィンドウ

現在読み込んでいる外字ファイルに登録されている外字が表示されます。
外字の下には、対応する区点コードが表示されます。

## (11)編集前外字

現在編集中の外字の編集前の状態が表示されます。

## (12)編集後外字

現在編集中の外字が、原寸大で表示されます。

## (13)［方眼表示］

編集ウィンドウ内にドット単位で方眼を表示するときに選びます。
細かいドット配置を確認しながら編集するときに便利です。

## (14)表示倍率変更ボタン

編集ウィンドウに表示されている外字を、拡大して表示するときに選びます。設定可能な倍率は、次のとおりです。

16ドット：1倍、2倍、3倍、4倍
24ドット：1倍、2倍
32ドット：1倍、2倍
48ドット：1倍
56ドット：1倍

## (15)描画色変更ボタン

編集ウィンドウ内でのマウスの左右ボタンに白、黒どちらを割り当てるかを選びます。割り当てを変更したいときは、⏎を左クリックします。

## (16)編集ウィンドウ

外字をドット単位で作成、編集するウィンドウです。

## (17)描画ボタン

外字を作成、編集するときの描画方法を選びます。

➡それぞれの使いかたは「描画方法を選択する」（P.167）をご覧ください。

# 外字を作成/編集する

外字を作成する大まかな流れは、以下のようになります。

外字ファイルを読み込む→外字を作成、編集する→外字を保存する

作成した外字を新しい外字ファイルとして登録するときは、「外字を作成/編集する」(P.184)からお読みください。



## 外字ファイルを読み込む

外字ファイルを読み込むのは、以前作成した外字を編集するときや、以前作成した外字ファイルに外字を追加したいときです。

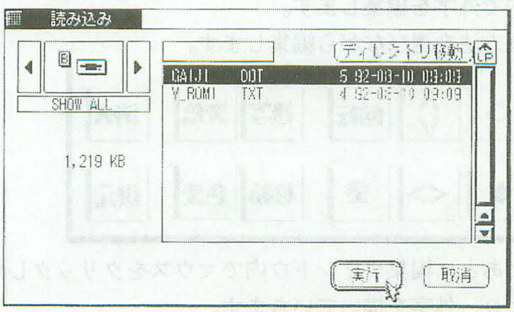
1 [ファイル] メニューから [読み込み] を選びます。

読み込むファイルを指定するための、ファイルウィンドウが表示されます。

**アドバイス**

- 外字を編集中に [読み込み] を選ぶと、確認のウィンドウが表示されます。編集中の外字を保存するときは [保存する] を、保存しないときは [保存しない] を選んでください。
- Townsシステムソフトウェアの CD-ROMの中に、GAIJI.DOTというファイル名でサンプルの外字が登録されています。

2 読み込む外字ファイルを選び、[実行] を左クリックします。




外字が読み込まれ、登録済外字ウィンドウに表示されます。

3 スクロールバーを使って、編集したい外字を登録済外字ウィンドウに表示します。

**4** 編集したい外字を、登録済外字ウィンドウから編集ウィンドウへドラッグします。
ドラッグした外字が、編集ウィンドウに表示されます。

**アドバイス**

- **4**の操作は、登録済外字ウィンドウから編集前外字にドラッグしても同じです。
- 登録済外字ウィンドウにある外字を他の位置にドラッグすると、外字の複写をすることができます。

## 外字を作成／編集する

**1** ［サイズ］メニューから［編集サイズの変更］を選びます。
次に、編集したい外字のサイズを選びます。

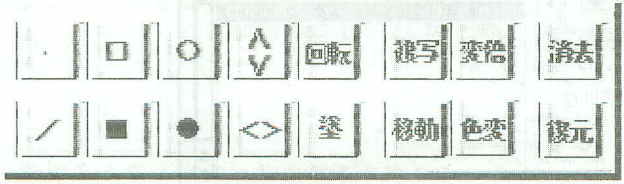
- 16ドット：16×16ドットの外字データを編集します。
- 24ドット：24×24ドットの外字データを編集します
- 32ドット：32×32ドットの外字データを編集します。
- 48ドット：48×48ドットの外字データを編集します。
- 56ドット：56×56ドットの外字データを編集します。

これにより、編集する外字のドットサイズが決まります。

**アドバイス**

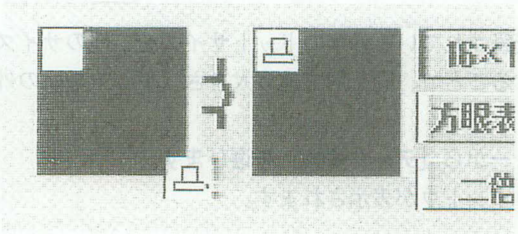
外字編集を起動したときは、16×16ドットに設定されています。

**2** 編集ウィンドウ内で外字を編集します。
描画ボタンで描画方法を選びながら編集します。




描画方法を選んだあとに編集ウィンドウ内でマウスをクリックしたり、ドラッグしたりすることにより、外字を描いていきます。
➡編集機能の説明は、「描画方法を選択する」(P.167)をご覧ください。

**3** 編集後外字を、登録済外字ウィンドウの登録したい区点コードの位置までドラッグします。



**アドバイス**

スクロールバーを使って、登録済外字ウィンドウの区点コードの表示を移動できます。

**注意**

- すでに登録されている位置にドラッグすると、元の外字は消えてしまいます。
- 登録済外字ウィンドウに登録してもファイルに保存しないと、それまでの編集内容は消えてしまいます。

## 外字を保存する

外字の編集が終わったら、ファイルに保存します。

**1** ［ファイル］メニューから［保存］を選びます。
ファイルウィンドウが表示されます。

**2** 保存するファイル名を入力し、［実行］を左クリックします。
登録済外字ウィンドウに登録してある外字が外字ファイルとして保存されます。

**アドバイス**

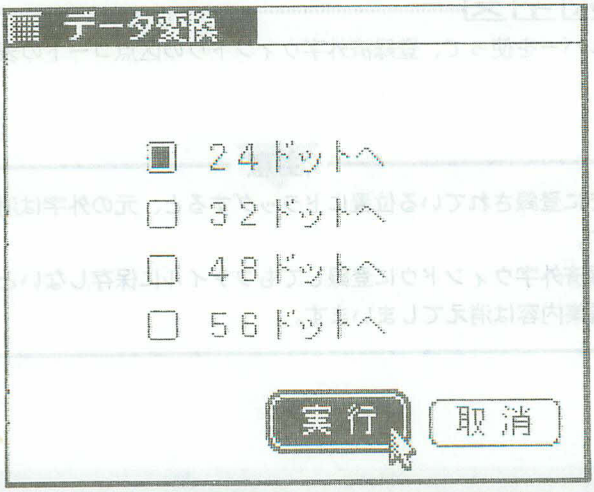
- 外字ファイルの拡張子はDOTです。
- 引き続き新しい外字ファイルを作成するときは、［ファイル］メニューから［新規作成］を選びます。

# 外字のドットサイズを変換する

登録済外字ウィンドウに登録されている外字のドットサイズを、他のサイズに一括して変換することができます。変換することで、同じ形で違う大きさ（ドット数）の外字を作れます。

**1** ［サイズ］メニューから［データ変換］を選びます。
「データ変換」ウィンドウが表示されます。

**2** 変換先のドットサイズを選び、［実行］を左クリックします。




変換された外字が登録済外字ウィンドウに表示されます。

**アドバイス**

変換先の区点コードに外字が１つでも登録されているときには、確認のウィンドウが表示されます。元の外字を消して新たな外字に置き換えるときは［全部］を、変換先にデータの存在しない区点コードだけ変換するときは［一部］を、変換を取り消すときは［編集へ戻る］を選んでください。

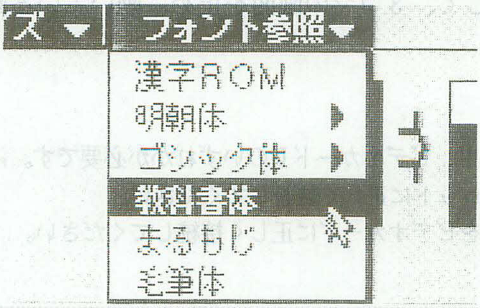
# フォントを参照する

Townsシステムソフトウェアのデータライブラリに用意されているフォント（文字）をもとにして、外字を作成、編集することができます。

参照できるフォントは、漢字ROM、明朝体、ゴシック体、丸文字体、教科書体、毛筆体の6つです。



**1** ［フォント参照］メニューから参照したいフォントの種類を選びます。




フォント（文字）を選ぶためのウィンドウが表示されます。

- ［漢字ROM］　：FM TOWNS本体に内蔵されている漢字ROMのフォントです。（16×16ドット）
- ［明朝体］　：明朝体のフォントです。（24×24ドット、32×32ドット、48×48ドット、60×60ドット）
- ［ゴシック体］：ゴシック体のフォントです。（24×24ドット、32×32ドット、48×48ドット、60×60ドット）
- ［教科書体］　：教科書体のフォントです。（24×24ドット）
- ［まるもじ］　：丸文字体のフォントです。（24×24ドット）
- ［毛筆体］　：毛筆体のフォントです。（48×48ドット）

**2** スクロールバーを使って、参照したい文字を表示します。

**3** 参照したい文字を登録済外字ウィンドウまたは編集ウィンドウまでドラッグします。

**アドバイス**

フォントの下に表示されるコードは、シフトJISコードです。

# 4 テレビユーティリティを使う

テレビユーティリティは、FMTOWNSでビデオの映像を見ることができるソフトウェアです。画面を４つに分割して、３コマの画面を止め、動いている画面と同時に見ることもできます。

**確認**
- 別売のビデオカード、ビデオカードⅡのいずれかが必要です。FMTOWNS本体のビデオカードスロットに正しく装着してください。
- 市販のビデオ機器をビデオカードに正しく接続してください。

**アドバイス**

ビデオ機器の音声出力端子をFMTOWNS本体背面の音声入出力端子のIN側に接続すると、FMTOWNSでボリュームが調節できます。

## 起動する

1. ビデオ機器の電源を入れ、ビデオテープをセットして再生状態にします。
2. （ツール）を実行します。
   ツールのアイテム表示ウィンドウが表示されます。
3. （テレビ）を実行します。
   ビデオ接続確認のウィンドウが表示されます。
4. ［実行］を左クリックします。
   ビデオ映像が表示されます。

## 終了する

**1** 映像が表示されているときに、右クリックします。
終了のウィンドウが表示されます。

**2** ［実行］を左クリックします。
ビデオ映像が終了し、TownsMENUに戻ります。

# テレビユーティリティの基本操作

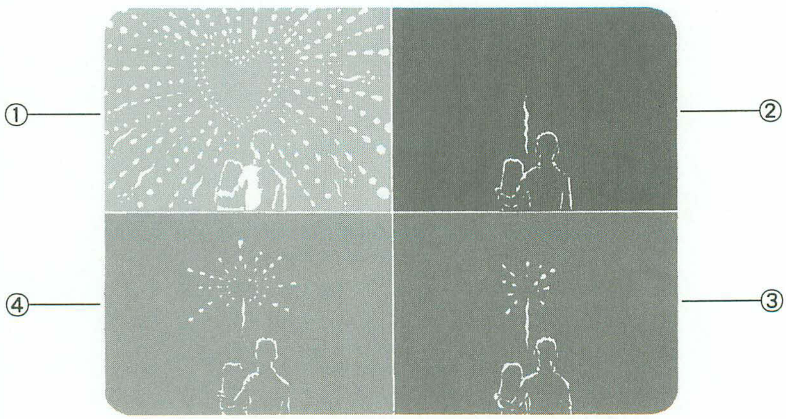
画面を4つに分割し、3コマの画面を止めて、動いている画面と同時に見る方法を説明します。

**1** **テレビユーティリティを起動して、ビデオ映像を表示させます。**

**2** **静止させたい画面が表示されたら、左クリックします。**
画面が4つに分かれて、①にビデオ映像（常に動いている画面）が表示され、②に静止画が表示されます。

**3** **次に、静止させたい画面が表示されたら、左クリックします。**
左クリックしたときの静止画は、今度は③に表示されます。

**4** **さらに、静止させたい画面が表示されたら、左クリックします。**
左クリックしたときの静止画は、今度は④に表示されます。




**5** **左クリックするたびに、静止画は④に表示されます。**
それまで④に表示されていた静止画は③に、③に表示されていた静止画は②に表示されます。

コラム

ビデオ機器をテレビのモードに切り換えると、テレビ番組を見ることができます。

# 5 ビデオユーティリティを使う

ビデオユーティリティは、FMTOWNSでビデオを見たり、ビデオの映像をFMTOWNSに取り込むときに使うソフトウェアです。さらに、取り込んだ画像をディスクに保存し、他のアプリケーションで利用することができます。

**確認**

- 別売のビデオカード、ビデオカードⅡなどが必要です。FMTOWNS本体のビデオカードスロットに正しく装着してください。
- 市販のビデオ機器をビデオカードに正しく接続してください。
- 取り込んだ画像をフロッピィディスクに保存するときは、空き容量が十分にあるフロッピィディスクか、初期化したフロッピィディスクを用意してください。
- 取り込んだ画像をハードディスクに保存するときは、ディスクに十分な空き容量があるか確認してください。

## 起動する

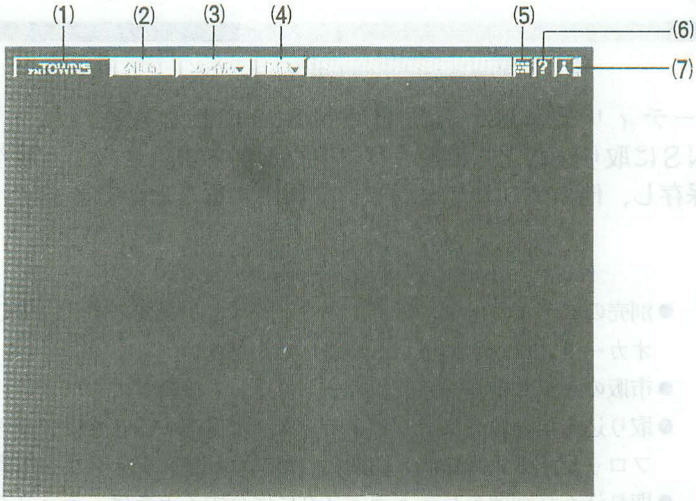
1. （ツール）を実行します。
   ツールのアイテム表示ウィンドウが表示されます。
2. （ビデオ）を実行します。
   ビデオユーティリティの画面になります。

## 終了する

1. （終了ボタン）を左クリックします。
   「ビデオユーティリティの終了」ウィンドウが表示されます。
2. ［実行］を左クリックします。
   ビデオユーティリティが終了し、TownsMENUに戻ります。

# 各部の名称と役割

ここでは、ビデオユーティリティの画面の各部の名称と役割を説明します。




## (1)［FM TOWNS］メニュー

サイドワーク機能を使うときに選びます。

➡サイドワーク機能については「TownsMENU ディクショナリ 第2章 1.サイドワークの操作」をご覧ください。

## (2)［全画面］メニュー

メニューバーを消して、画像の全体を見るときに選びます。
画像を表示しているときにだけ選ぶことができます。
メニューバーを表示するときは、左クリックします。

## (3)［ファイル］メニュー

画像ファイルの読み込みや保存を行うときに選びます。

## (4)［画像］メニュー

画像の取り込みや変換を行うときに選びます。

## (5) ソフトウェアキーボード表示ボタン

ソフトウェアキーボードを表示するときに選びます。

## (6)ヘルプボタン

オンラインヘルプを表示するときに選びます。

## (7)終了ボタン

ビデオユーティリティを終了するときに選びます。

# ビデオユーティリティの基本操作

ビデオテープに録画されている映像を、パソコンの画像として取り込んだり、その画像を保存、表示する方法を説明します。

## ビデオの映像をパソコンの画像として取り込む

ビデオテープに録画されている映像を、パソコンの画像として取り込みます。

1. ビデオ機器の電源を入れ、ビデオテープをセットして再生状態にします。

2. ビデオユーティリティを起動します。

3. ［画像］メニューから［取り込み］を選びます。
   「画像取り込み」ウィンドウが表示されます。

4. 項目を設定します。

◆表示形式

画面に表示する映像の大きさと数、向きを設定します。

1/1 ×1画面…………画面と同じ大きさの映像を1つ表示。
1/1 ×1上下反転……画面と同じ大きさの映像を上下を反転して1つ表示。
1/4 ×1画面…………画面の1/4の大きさの映像を1つ表示。
1/4 ×4画面…………画面の1/4の大きさの映像を4つ表示。
1/4 ×4上下反転……画面の1/4の大きさの映像を4つ表示。下2つを上下反転して表示。

◆画面モード

ビデオから取り込んだ画像を表示するときの、解像度（きめの細かさ）を設定します。

320×240〔3万2千色〕……横320ドット縦240ドットの解像度。
360×240〔3万2千色〕……横360ドット縦240ドットの解像度。
512×480〔3万2千色〕……横512ドット縦480ドットの解像度。

**アドバイス**

画面モードの512×480は、表示形式が1/1×1画面のみ設定できます。

5 ビデオ映像を表示するために、［実行］を左クリックします。

6 取り込みたい映像が表示されたら、左クリックします。
ビデオ映像が静止し、確認のウィンドウが表示されます。

7 現在静止している画像を取り込みたいときは、［実行］を左クリックします。
現在静止している画像を取り込みたくないときは、［取消］を左クリックします。
画像を取り込まずに再び動き始めます。6の操作からやり直してください。

## パソコンの画像を保存する

FMＴＯＷＮＳに取り込んで表示されている画像を、ファイルに保存します。保存したファイルは、TIFF形式のファイルになります。
ここでは、取り込んだ画像が表示されているものとして説明します。

1 保存する範囲を指定するために、［ファイル］メニューから［保存］を選びます。
「保存する範囲を指定してください」というメッセージが表示されます。

**アドバイス**
メッセージはマウスカーソルを動かすと自動的に消えます。

2 保存する範囲の左上の位置でマウスの左ボタンを押します。

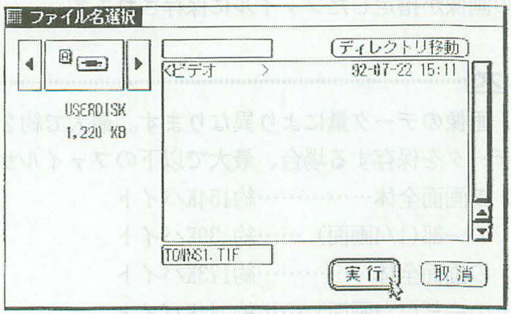
3 マウスの左ボタンを押したまま、保存する範囲の右下の位置までドラッグします。
指定した範囲が四角形の枠で囲まれます。

4 指定した範囲でよければ、左クリックします。
保存する範囲が決まり、「保存」ウィンドウが表示されます。

**アドバイス**
保存する範囲の指定をやり直したいときは、左クリックの代わりに右クリックします。2の操作からやり直してください。

5 保存するファイル名を指定するために、ファイルウィンドウ表示ボタンを左クリックします。
ファイルウィンドウが表示されます。

**6** 保存するドライブを選び、ファイル名を入力して［実行］を左クリックします。




「保存」ウィンドウに戻ります。

**アドバイス**

拡張子は、TIFにしますので、半角8文字以内でファイル名を入力したあと、「.TIF」と入力してください。

**7** 項目を設定します。

◆画像圧縮

- 画像圧縮を行うときには、［する］を左クリックします。
- 画像圧縮を行うと、画像データのサイズが小さくなり、フロッピィディスクやハードディスクを有効に使用できます。
- 圧縮率は、32K色の自然画像で約60％〜70％になります。

**注意**

画像圧縮を行って保存した画像データは、他のアプリケーションで使用できないことがあります。通常は「画像圧縮」を［しない］にします。

8 [実行] を左クリックします。
4で指定した範囲の画像が指定したファイルに保存されます。

アドバイス

- 保存する時間は、画像のデータ量により異なります。最大で約2分かかります。
- TIFF形式の画像データを保存する場合、最大で以下のファイルサイズになります。

| | | |
|---|---|---|
| 320×240(32K色) | の画面全体 | 約154Kバイト |
| | の一部(1/4画面) | 約 39Kバイト |
| 360×240(32K色) | の画面全体 | 約173Kバイト |
| | の一部(1/4画面) | 約 44Kバイト |
| 512×480(32K色) | の画面全体 | 約492Kバイト |
| | の一部(1/4画面) | 約123Kバイト |
| 640×480(16色) | の画面全体 | 約154Kバイト |
| | の一部(1/4画面) | 約 39Kバイト |
| 640×480(256色) | の画面全体 | 約301Kバイト |
| | の一部(1/4画面) | 約 77Kバイト |
| 720×480(256色) | の画面全体 | 約346Kバイト |
| | の一部(1/4画面) | 約 87Kバイト |

## 保存してあるパソコンの画像を読み込む

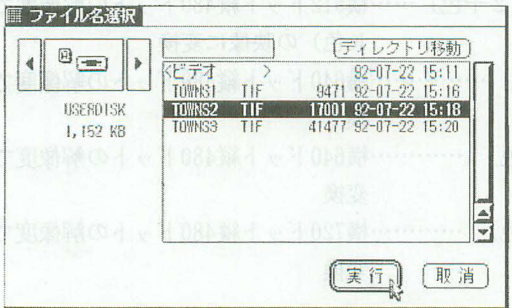
保存してあるパソコンの画像（TIFFファイル）を読み込み、画面に表示します。

**1** ビデオユーティリティを起動します。

**2** ［ファイル］メニューから、［読み込み］を選びます。
「読み込み」ウィンドウが表示されます。

**3** 読み込むファイル名を指定するために、ファイルウィンドウ表示ボタンを左クリックします。
ファイルウィンドウが表示されます。

**4** 読み込むファイルがあるドライブを選び、読み込むファイル（拡張子がTIF）を指定して、［実行］を左クリックします。




「読み込み」ウィンドウに戻ります。

**5** 「読み込み」ウィンドウでファイル名を確認後、［実行］を左クリックします。
指定したファイルが読み込まれ、画像が表示されます。

**アドバイス**

512×480（3万2千色）の画像や、256色の画像を読み込んだときは、「画像データは全画面ボタンを押すと表示できます」というメッセージが表示されます。
［全画面］メニューを左クリックすると画像が表示されます。

# 他の画面モードの画像に変換する

現在表示されている画像を、他の画面モードの画像に変換します。
ここでは、画像が表示されているものとして説明します。

**1** ［画像］メニューから［変換］を選びます。
「画像変換」ウィンドウが表示されます。

**2** 項目を設定します。
◆320×240〔3万2千色〕……横320ドット縦240ドットの解像度で3万2千色（32K色）の映像に変換
◆360×240〔3万2千色〕……横360ドット縦240ドットの解像度で3万2千色（32K色）の映像に変換
◆512×480〔3万2千色〕……横512ドット縦480ドットの解像度で3万2千色（32K色）の映像に変換
◆640×480〔16色〕……………横640ドット縦480ドットの解像度で16色の映像に変換
◆640×480〔256色〕…………横640ドット縦480ドットの解像度で256色の映像に変換
◆720×480〔256色〕…………横720ドット縦480ドットの解像度で256色の映像に変換

**3** ［実行］を左クリックします。
設定した画面モードに変換され、画像が表示されます。

**アドバイス**
- 変換中は、画面には何も表示されません。変換する時間は、最大で約30秒かかります。
- 512×480（3万2千色）の画像や、256色の画像に変換したときは、「画像データは全画面ボタンを押すと表示できます」というメッセージが表示されます。［全画面］ボタンを左クリックすると画像が表示されます。
- 変換した画像を元の画面モードに戻すことはできません。

# 6 イメージファイルを表示する

TIFF形式やJPEG形式で保存されているイメージファイルを画面に表示するには、ファイル表示ウィンドウで、拡張子がTIFまたはJPGのファイルを選択します。
また、画像を表示するだけでなく、その画像の情報（画像形式や画像サイズなど）を表示することもできます。

**アドバイス**

FMＴＯＷＮＳの本体にフルカラーカードが装着されているときは、フルカラーの画像を表示することができます。FMＴＯＷＮＳの本体にフルカラーカードを装着し、「システム設定」でフルカラーカードを［使用する］にしてください。フルカラーカードが装着されていないときにフルカラーの画像を表示しようとしたときには、32K色モードで疑似的に表示されます。

## 起動する

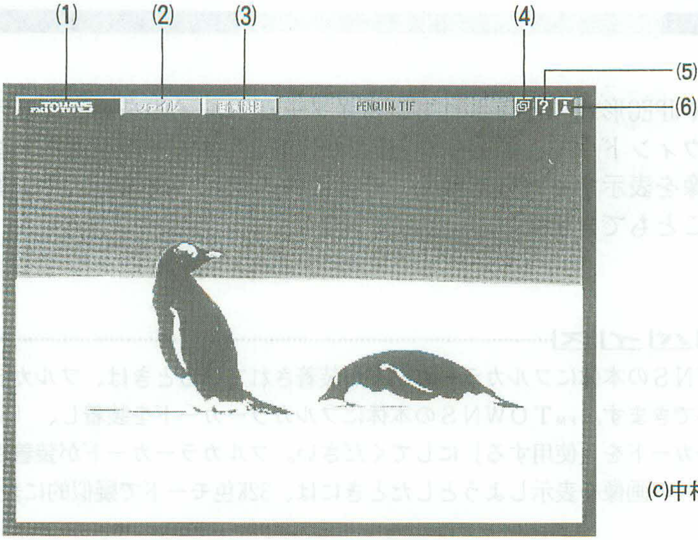
1. TownsMENUのファイル表示ウィンドウを表示します。
2. 読み込むイメージファイル（拡張子がTIFまたはJPG）を選び、［実行］を左クリックします。
   自動的にイメージ表示ツールが起動して、画像が表示されます。

## 終了する

1. メニューバーを表示するために、右クリックします。
   マウスカーソルの位置は、どこにあってもかまいません。
2. （終了ボタン）を左クリックします。
   イメージファイルの表示を終了し、TownsMENUに戻ります。

# 各部の名称と役割

ここでは、イメージ表示ツールの各部の名称と役割を説明します。




(c)中村庸夫　1989

## (1)[FM TOWNS]メニュー

サイドワーク機能を使うときに選びます。
➡サイドワーク機能については、「Towns MENUディクショナリ 第2章 1.サイドワークの操作」をご覧ください。

## (2)［ファイル］メニュー

別のイメージファイルを読み込んで表示するときに選びます。

## (3)［画像情報］メニュー

読み込まれているイメージファイルの画像詳細情報を表示するときに選びます。

## (4)メニューバー消去ボタン

メニューバーを消して、画像の全体を見るときに選びます。

## (5)ヘルプボタン

オンラインヘルプを表示するときに選びます。

## (6)終了ボタン

イメージファイルの表示を終了するときに選びます。

# イメージ表示の基本操作

メニューバーの表示や消去、別のイメージファイルの読み込みや、画像の詳細情報を表示する方法を説明します。

## メニューバーを表示する

イメージファイルを読み込んだ直後や、（メニューバー消去ボタン）でメニューバーを消した後に、メニューバーを表示することができます。

1. メニューバーを表示するために、右クリックします。
マウスカーソルの位置はどこにあってもかまいません。

**アドバイス**

- 画像形式が、256色、320×240ドットを超える32K色のときは、メニューバーが表示されると画像が消えます。
- メモリが十分にない場合、画像を再表示できないことがあります。[ファイル]メニューを使って、もう一度表示したいイメージファイルを選んでください。

## メニューバーを消す

画面上部に表示されているメニューバーを消して、画面全体で画像を見ることができます。

1. メニューバーを消すために、（メニューバー消去ボタン）を左クリックします。
全画面に画像が表示されます。

**アドバイス**

メニューバーやガイドウィンドウ以外の部分を左クリックしても、メニューバーを消すことができます。

## 別のイメージファイルを読み込む

画像が表示されているときに、別の画像を表示する方法を説明します。

**1** メニューバーを表示します。

**2** ファイルウィンドウを表示するために、［ファイル］メニューを左クリックします。

**3** 読み込むイメージファイル（拡張子がTIFまたはJPG）を選び、［実行］を左クリックします。
画像が表示されます。

## 画像情報を表示する

イメージファイルが読み込まれているときに選択できます。現在表示されているイメージファイルの詳しい情報が表示されます。

**1** メニューバーを表示します。

**2** ［画像情報］メニューを左クリックします。
TIFF画像詳細情報のウィンドウまたは、JPEG画像詳細情報のウィンドウが表示されます。



◆パス名

現在表示されているイメージファイルのパス名が表示されます。

◆ファイル名

現在表示されているイメージファイルのファイル名が表示されます。

◆ファイルサイズ

現在表示されているイメージファイルのファイルの大きさがバイト数で表示されます。

◆画像形式

現在表示されているイメージファイルの画像形式（２値、16色、256色、３万２千色、1677万色のいずれか）が表示されます。

◆画像サイズ

現在表示されているイメージファイルの画像の大きさが、ドット（横×縦）で表示されます。

◆圧縮

現在表示されているTIFF画像の圧縮の有無（LZW圧縮または､なし）が表示されます。

◆パレット

現在表示されているTIFF画像のパレットの有無が表示されます。

**アドバイス**

JPEG画像のときは、圧縮とパレットは表示されません。

3 TIFF画像詳細情報のウィンドウまたは、JPEG画像詳細情報のウィンドウを消すときは［確認］を左クリックします。

## 画面を越える大きな画像を表示する

画面より大きなサイズのファイルを読み込んだ場合、メモリが十分に残っていれば、画像をスクロールさせて見ることができます。

1. マウスカーソルを、画面の右端または下端に移動します。
   見えない部分がスクロールして表示されます。

**アドバイス**

十分なメモリがない場合は、画像の一部（左上部分）のみ表示されます。

➡『ディクショナリをお読みになる前に』

# 7 ムービープレーヤーを使う

ムービープレーヤーは、TownsGEARのムービーキャプチャや別売の『LiveMovie』で作成された動画ファイル（拡張子がMVE）を再生するためのソフトウェアです。
Townsシステムソフトウェアの CD-ROMには、デモで使用している動画ファイルが入っています。
動画ファイルは、「¥MVDEMO¥MV_DEMO1¥D_SPORTS」、「¥MVDEMO¥MV_DEMO2¥SMILEDOG」、「¥MVDEMO¥MV_DEMO3¥AYA」にあります。

## 起動する

1 TownsMENUのファイル表示ウィンドウを表示します。

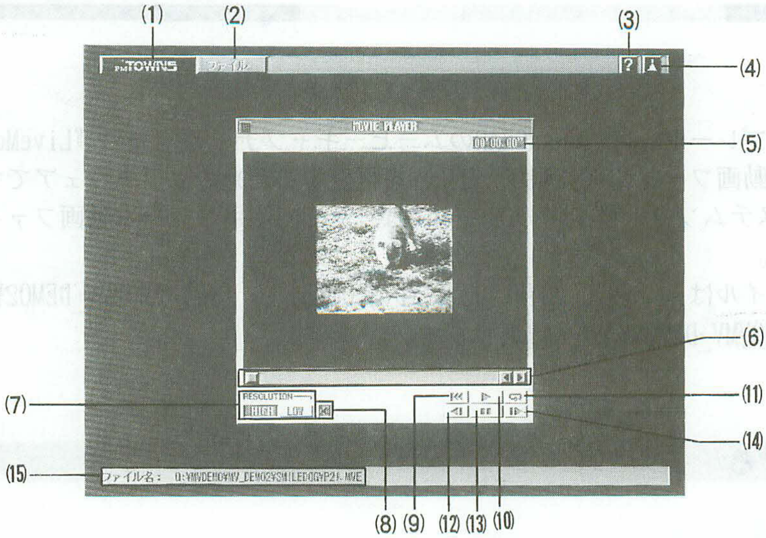
2 再生する動画ファイルを選びます。
ファイル表示ウィンドウから、再生する動画ファイル（拡張子がMVE）をダブルクリックします。
ムービープレーヤーが起動し、選択した動画ファイルが読み込まれ、再生できる状態になります。

## 終了する

1 （終了ボタン）を左クリックします。
ムービープレーヤーが終了してTownsMENUに戻ります。

# 各部の名称と役割

ここでは、ムービープレーヤーの画面の各部の名称と役割を説明します。




## (1)[TOWNS]メニュー

サイドワーク機能を使うときに選びます。

➡サイドワーク機能については、「Towns MENUディクショナリ 第2章 1.サイドワークの操作」をご覧ください。

## (2)［ファイル］メニュー

別の動画ファイルを選択するときに選びます。

## (3)ヘルプボタン

オンラインヘルプを表示するときに選びます。

## (4)終了ボタン

ムービープレーヤーを終了するときに選びます。

## (5)再生時間

再生を始めると、経過時間が表示されます。

## (6)スクロールバー

動画ファイルの全体量（画面量）のうち、現在どの部分を表示しているのかを表します。

スクロールバーの操作により、表示する位置を変えることができます。

また、◀と▶を使って、1コマごとに戻したり、送ったりできます。

## (7)解像度(RESOLUTION)

動画ファイルを再生するときの解像度を選択します。
ムービープレーヤーを起動した直後は、［HIGH］になっています。

［HIGH］…高解像度で表示されます。
［LOW ］…低解像度で表示されます。

## (8)音声スイッチ

音声を出したり、消したりします。
ムービープレーヤーを起動した直後は、音が出る状態になっています。

## (9)巻き戻し

動画ファイルの先頭に戻します。

## (10)再生

動画ファイルを再生します。

## (11)リピート

繰り返し再生します。
リピートを設定してから再生を行うと、停止させるまで何回も再生を繰り返します。

## (12)1コマ戻し

停止状態のときに1コマ戻します。

## (13)一時停止

再生を一時停止します。
もう一度（再生）を左クリックすると再生を再開します。

## (14)1コマ送り

停止状態のときに1コマ進めます。

## (15)ファイル名

読み込んでいる動画ファイルのファイル名が表示されます。

# ムービープレーヤーの基本操作

ここでは、ムービープレーヤーを起動したあとに、表示されている動画ファイルを再生する方法と、別の動画ファイルを再生する方法を説明します。

## 動画ファイルを再生する

**1** **▶（再生）を左クリックします。**
動画ファイルの再生が始まります。再生が終わると最初の状態に戻り、停止します。

## 別の動画ファイルを再生する

別の動画ファイルを再生するときは、次のようにします。

**1** **ムービープレーヤーの［ファイル］メニューを左クリックします。**
再生する動画ファイルを選択するためのファイルウィンドウが表示されます。

**2** **再生する動画ファイル（拡張子がMVE）を選び、［実行］を左クリックします。**
再生画面が表示され、読み込まれた動画ファイルの最初の絵が表示されます。

**3** **▶（再生）を左クリックします。**
動画ファイルの再生が始まります。再生が終わると最初の状態に戻り、停止します。

# 8 アニメプレーヤーを使う

アニメプレーヤーは、別売の『LiveAnimation』で作成、編集したアニメーションファイル（拡張子がMMM）を再生するためのソフトウェアです。
TownsシステムソフトウェアのCD-ROMには、アニメーションファイルのサンプルが入っています。
サンプルは「¥MVDEMO¥MA_DEMO」にあります。

**注意**

本体のメモリが2MBのときは、ファイル容量の大きなアニメーションファイルを再生できないことがあります。

## 起動する

**1** TownsMENUのファイル表示ウィンドウを表示します。

**2** 再生するアニメーションファイルを選びます。
ファイル表示ウィンドウから、再生するアニメーションファイル（拡張子がMMM）をダブルクリックします。
アニメプレーヤーが起動し、選択したアニメーションファイルが読み込まれ、再生できる状態になります。

## 終了する

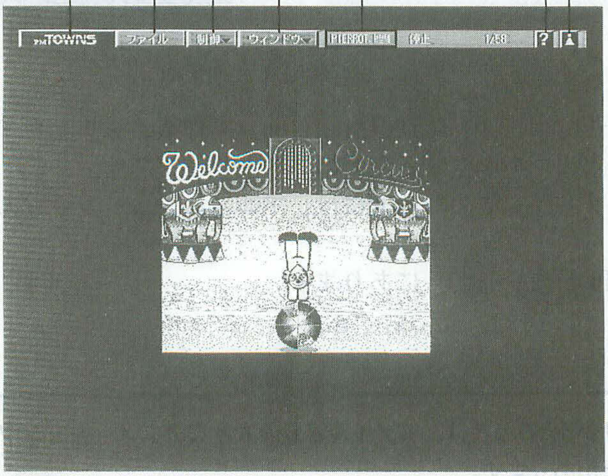
**1** （終了ボタン）を左クリックします。
アニメプレーヤーが終了してTownsMENUに戻ります。

『ディクショナリをお読みになる前に』

# 各部の名称と役割

ここでは、アニメプレーヤーの各部の名称と役割を説明します。

(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)




## (1)[FMTOWNS]メニュー

サイドワーク機能を使うときに選びます。

サイドワーク機能については、「Towns MENUディクショナリ 第2章 1.サイドワークの操作」をご覧ください。

## (2)［ファイル］メニュー

別のアニメーションファイルを選択するときに選びます。

## (3)［制御］メニュー

アニメーションファイルの再生や停止などを制御します。

## (4)［ウィンドウ］メニュー

メニューバーを消したり、アニメーションの再生を制御するためのパネルを表示します。

## (5)ファイル名

読み込んでいるアニメーションファイルのファイル名が表示されます。

## (6)ヘルプボタン

オンラインヘルプを表示するときに選びます。

## (7)終了ボタン

アニメプレーヤーを終了するときに選びます。

➡『ディクショナリをお読みになる前に』

# アニメプレーヤーの基本操作

ここでは、アニメプレーヤーを起動したあとに、表示されているアニメーションを再生する方法と、別のアニメーションを再生する方法を説明します。

## アニメーションを再生する

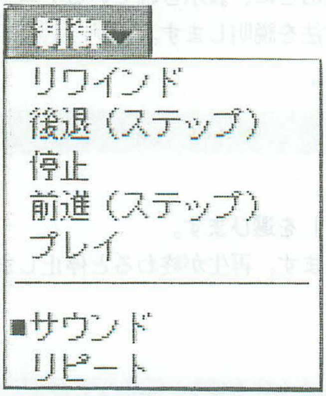
1. ［制御］メニューから［プレイ］を選びます。
   アニメーションの再生が始まります。再生が終わると停止します。

## 別のアニメーションを再生する

1. アニメプレーヤーの［ファイル］メニューを左クリックします。
   再生するアニメーションファイルを選択するためのファイルウィンドウが表示されます。
2. 再生するアニメーションファイル（拡張子がMMM）を選び、［実行］を左クリックします。
   読み込まれたアニメーションファイルの最初の絵が表示されます。
3. ［制御］メニューから［プレイ］を選びます。
   アニメーションの再生が始まります。再生が終わると停止します。

## アニメーションの再生を制御する

アニメーションの再生を制御（停止や巻戻しなど）するときは、［制御］メニューを使います。
アニメーションファイルの再生、停止、繰り返しの設定などができます。




**◆リワインド**

アニメーションファイルの先頭に戻します。

**◆後退（ステップ）**

1フレーム前に戻します。

**◆停止**

再生を停止します。

**◆前進（ステップ）**

1フレーム先に進めます。

**◆プレイ**

アニメーションを再生します。

**◆サウンド**

音声を出したり、消したりします。
アニメプレーヤーを起動した直後は、音が出る状態になっています。

**◆リピート**

再生を繰り返し行うか設定します。
リピートを設定してからプレイを行うと、停止させるまで何回も再生を繰り返します。

## その他の便利な機能

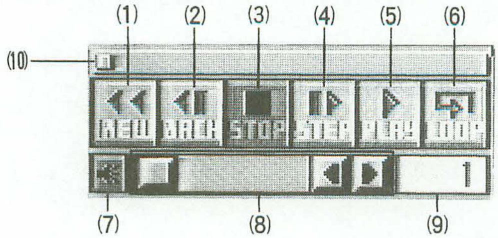
［ウィンドウ］メニューには、アニメーションを再生するときに便利な機能があります。

◆［フルステージ］

フルステージを設定すると、アニメーションを再生するときに、メニューバーやパネルが自動的に消えます。
フルステージを設定して再生しているときに、右クリックすることでメニューバーを表示することができます。

◆［パネル］

アニメーション制御パネルが表示されます。




(1)  REW…………［制御］メニュー⇨［リワインド］と同じです。
(2)  BACK………［制御］メニュー⇨［後退（ステップ）］と同じです。
(3)  STOP………［制御］メニュー⇨［停止］と同じです。
(4)  STEP………［制御］メニュー⇨［前進（ステップ）］と同じです。
(5)  PLAY………［制御］メニュー⇨［プレイ］と同じです。
(6)  LOOP………［制御］メニュー⇨［リピート］と同じです。
(7)  音声スイッチ…［制御］メニュー⇨［サウンド］と同じです。
(8)スクロールバー……アニメーションファイルの全体量（画面量）のうち、現在どの部分を表示しているのかを表します。
スクロールバーの操作により、表示する位置を変えることができます。また、とを使って、1コマごとに戻したり、進めたりできます。
(9)ステップ表示………現在表示しているアニメーションファイルのフレーム数を表示します。
(10)終了ボタン…………パネルを消します。

## 再生中のマウス操作

アニメーションファイルを再生している最中には、次のマウス操作が可能です。

**◆左クリック**

再生中に左クリックすると再生が一時停止します。
もう一度左クリックすると再生が再開されます。

**◆右クリック**

再生中に右クリックするとメニューバーおよび操作パネルが消えます。
［ウィンドウ］メニューの［フルステージ］を設定したのと同じです。
もう一度右クリックするとメニューバーおよび操作パネルが表示されます。

**◆ダブルクリック**

再生中にダブルクリックすると再生が停止します。

➡『ディクショナリをお読みになる前に』

# 9　HDインストールを使う

HDインストールは、CD-ROMに入っているTownsシステムソフトウェアをハードディスクや光磁気ディスクに複写するためのソフトウェアです。ハードディスクや光磁気ディスクに複写しておけば、CD-ROMから起動する必要がありません。
また、別売の日本語Microsoft®Windows™ V3.0 With Multimedia Extensions V1.0（以下、Windows MMEと呼ぶ）をハードディスクや光磁気ディスクに複写する機能も持っています。
HDインストールには、次の３つの機能があります。

- TownsシステムソフトウェアV2.1 L20を新規に複写する
- 既にあるTownsシステムソフトウェアV2.1 L10のドライブに複写する（レベルアップ）
- Windows MMEを新規に複写する

**確認**

- HDインストールを使うときは、TownsシステムソフトウェアをCD-ROMから起動してください。
- HDインストールは、ハードディスクや光磁気ディスクに対してTownsシステムソフトウェアを複写するもので、フロッピィディスクには複写できません。
- HDインストールでTownsシステムソフトウェアを複写すると、インストール状態保存ファイル“INSTDATA.INS”が作成されます。このファイルは、HDリフォームの実行時に使用されます。
- Windows MMEのインストールには、Windows MME V1.0 L20 が必要です。また、OSとしてMS-DOS V3.1（L33以上）、またはMS-DOS V5.0が必要です。

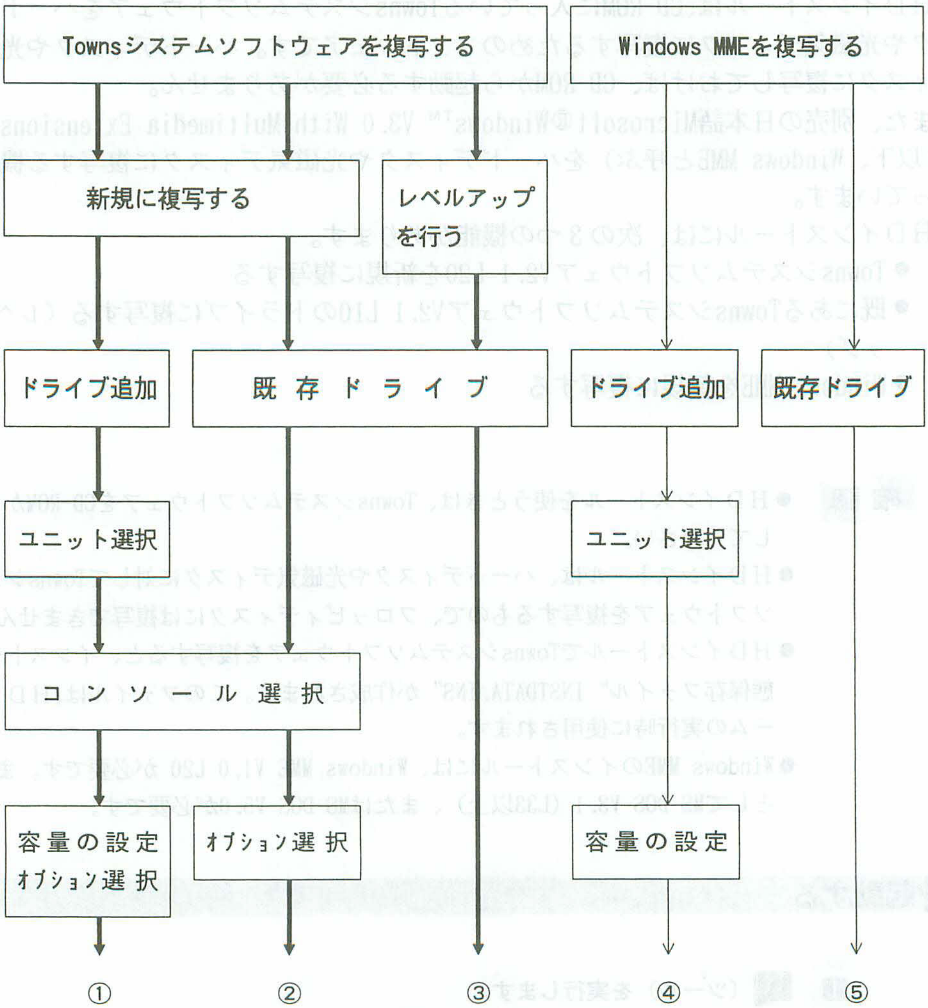
## 起動する

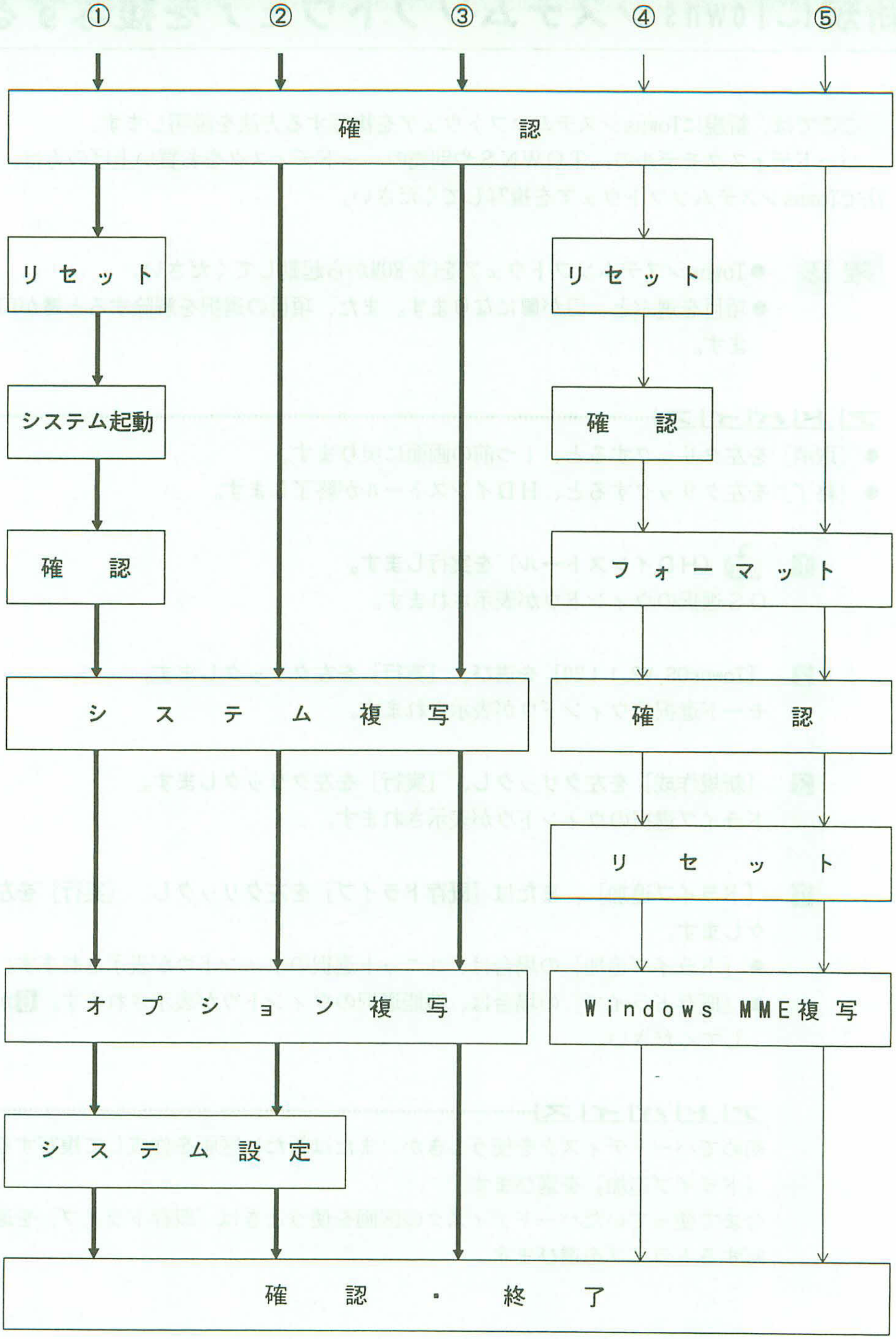
**1** （ツール）を実行します。
ツールのアイテム表示ウィンドウが表示されます。

**2** （HDインストール）を実行します。
「ハードディスクインストール」ウィンドウが表示されます。

# HDインストールの操作の流れ

ここでは、新規にTownsシステムソフトウェアを複写する方法、Townsシステムソフトウェア V2.1 のレベルアップを行う方法、Windows MMEを複写する方法、それぞれの操作の流れを示します。




①
②
③
④
⑤
確　認
リセット
システム起動
確　認
システム複写
オプション複写
システム設定
リセット
確　認
フォーマット
確　認
リセット
Windows MME複写
確認・終了

# 新規にTownsシステムソフトウェアを複写する

ここでは、新規にTownsシステムソフトウェアを複写する方法を説明します。

ハードディスクモデルのFMＴＯＷＮＳや別売のハードディスクをお買い上げの方は、この方法でTownsシステムソフトウェアを複写してください。

**確認**

- Townsシステムソフトウェアを CD-ROMから起動してください。
- 項目を選ぶと、□が■になります。また、項目の選択を解除すると■が□になります。

**アドバイス**

- ［取消］を左クリックすると、1つ前の画面に戻ります。
- ［終了］を左クリックすると、ＨＤインストールが終了します。

**1** **（ＨＤインストール）を実行します。**

ＯＳ選択のウィンドウが表示されます。

**2** **［TownsOS V2.1 L20］を選び、［実行］を左クリックします。**

モード選択のウィンドウが表示されます。

**3** **［新規作成］を左クリックし、［実行］を左クリックします。**

ドライブ選択のウィンドウが表示されます。

**4** **［ドライブ追加］、または［既存ドライブ］を左クリックし、［実行］を左クリックします。**

- ［ドライブ追加］の場合は、ユニット選択のウィンドウが表示されます。
- ［既存ドライブ］の場合は、機能選択のウィンドウが表示されます。6から操作してください。

**アドバイス**

初めてハードディスクを使うときか、または新たに区画を作成して複写するときは［ドライブ追加］を選びます。

今まで使っていたハードディスクの区画を使うときは［既存ドライブ］を選び、複写するドライブを選びます。

**注意**

- ［ドライブ追加］では、ドライブ選択ができません。
- ［既存ドライブ］を選ぶと、今まで使っていたドライブの内容が失われます。

**5** ハードディスクのユニット番号を選び、［実行］を左クリックします。

機能選択のウィンドウが表示されます。

**アドバイス**

- 内蔵ハードディスクは、ユニット番号0です。
- 外付けハードディスクは、スイッチなどの設定によりユニット番号0～4になります。

**6** 項目を選び、［実行］を左クリックします。

複写する機能を選択するためのウィンドウが表示されます。

［コンソールモード］
　コマンドモードが使えるようになります。

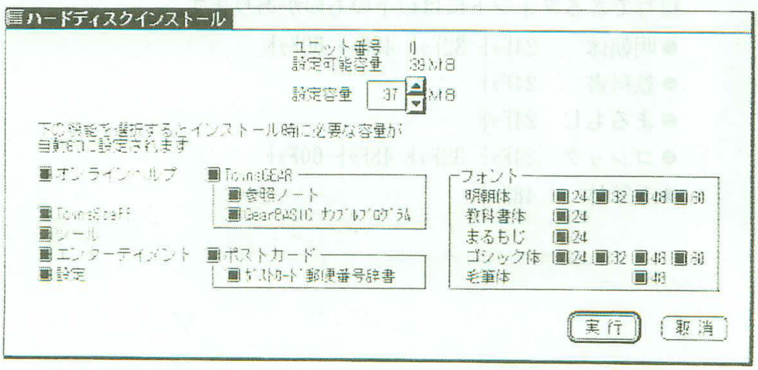
［コンソールレスモード］
　コマンドモードが使えなくなります。その分、使用できるメモリが増えます。

**アドバイス**

1度、コンソールモードまたはコンソールレスモードで複写をすると、あとで変更することはできません。

**7** ハードディスクに複写する機能を選びます。

項目を選ぶと、そのソフトウェアを複写するために必要な容量が自動的に設定されます。



[オンラインヘルプ]
オンラインヘルプを複写するための容量を追加します。

[TownsStaff]
TownsStaffの機能を複写するための容量を追加します。

[ツール]
ツールの機能を複写するための容量を追加します。

[エンターテイメント]
エンターテイメントの機能を複写するための容量を追加します。

[設定]
設定の機能を複写するための容量を追加します。

[TownsGEAR]
TownsGEARを複写するための容量を追加します。
- 参照ノート …………………… TownsGEARの参照ノートを複写します。
- GearBASICサンプルプログラム … GearBASICのサンプルプログラムを複写します。

[ポストカード]
ポストカードの機能を複写するための容量を追加します。
- ポストカード郵便番号辞書 …… ポストカードの郵便番号辞書を複写します。

[フォント]
Townsシステムソフトウェアに含まれている文字フォントを複写するための容量を追加します。
複写できるフォントには以下のものがあります。
- 明朝体　24ドット 32ドット 48ドット 60ドット
- 教科書　24ドット
- まるもじ　24ドット
- ゴシック　24ドット 32ドット 48ドット 60ドット
- 毛筆体　48ドット

**アドバイス**

- ［ドライブ追加］のときは、「設定可能容量」内で機能を選ぶことができます。
- 区画に空きを作っておきたいときは、複写する機能を選んだあとに設定容量の▲▼（上下ボタン）を使って追加してください。
- ［既存ドライブ］のときは、「区画容量」内で機能を選ぶことができます。

**8** **設定が終わったら、［実行］を左クリックします。**
確認のウィンドウが表示されます。

**9** **今までの設定内容を確認し、［実行］を左クリックします。**
**3**で［ドライブ追加］を選んでいる場合は、自動的にリセットされTownsMENUが表示されます。
**3**で［既存ドライブ］を選んでいる場合は、**11**から操作してください。

**10** **もう一度、（HDインストール）を実行します。**
複写先ドライブの確認のウィンドウが表示されます。

**11** **［実行］を左クリックします。**
「システムインストール中」というメッセージが表示され、システムの複写が始まります。しばらくすると、**7**で選択した機能の複写が始まります。
すべての複写が終了すると、「システム設定」ウィンドウが表示されます。

**12** **システム設定をします。**
「正常終了しました」というメッセージが表示されます。
➡詳しくは、「第6章 6.システムの設定をする」(P.283) をご覧ください。

**13** **［確認］を左クリックします。**
ＨＤインストールが終了し、TownsMENUに戻ります。

# Townsシステムソフトウェアをレベルアップする

ここでは、現在ハードディスクに複写されているTownsシステムソフトウェアV2.1 L10をTownsシステムソフトウェアV2.1 L20にレベルアップする方法を説明します。
この操作を行っても、V2.1 L10のときのアイテムの情報はそのまま残ります。

**確認** 項目を選ぶと、□が■になります。また、項目の選択を解除すると■が□になります。

**注意**
Townsシステムソフトウェア V1.1 からV2.1へのバージョンアップはできません。

**アドバイス**
- ［取消］を左クリックすると、1つ前の画面に戻ります。
- ［終了］を左クリックすると、HDインストールが終了します。

1. （HDインストール）を実行します。
OS選択のウィンドウが表示されます。

2. ［TownsOS V2.1L20］を選び、［実行］を左クリックします。
モード選択のウィンドウが表示されます。

3. ［レベルアップ］を左クリックし、［実行］を左クリックします。
ドライブ選択のウィンドウが表示されます。

4. ［既存ドライブ］を選び、L10が複写されているドライブを選択して、［実行］を左クリックします。
選択したドライブの内容が表示されます。

**アドバイス**
レベルアップのときは、［ドライブ追加］を選ぶことはできません。

**5** 表示されたドライブをレベルアップしてもよければ、［実行］を左クリックします。
「システムインストール中」というメッセージが表示され、システムの複写が始まります。システムの複写が終了すると、各機能の複写が始まります。
すべての複写が終わると、「正常終了しました」というメッセージが表示されます。

**6** ［確認］を左クリックします。
ＨＤインストールが終了し、TownsMENUに戻ります。

**アドバイス**

レベルアップすると、複写したドライブに「レベルアップ」というタイトルのグループアイテムが作られ、その中にV2.1 L20のアイテムが登録されます。

# Windows MMEを複写する

ここでは、ドライブを追加してWindows MMEを複写する方法を説明します。

**確認** Windows MMEを複写するには､別売のWindows MME V1.0L20が必要です。また、OSとしてMS-DOS V3.1(L33以上)またはMS-DOS V5.0が必要です。

**注意**

ＨＤインストールを使ってWindows MMEを複写すると、指定した区画のもとの内容が失われます。
すでにMS-DOSのある区画にWindows MME を複写する場合は、Windows MMEのインストールプログラムを使ってインストールしてください。

**アドバイス**

- ［取消］を左クリックすると、１つ前の画面に戻ります。
- ［終了］を左クリックすると、ＨＤインストールが終了します。

**1** （ＨＤインストール）を実行します。
ＯＳ選択のウィンドウが表示されます。

**2** ［WindowsMME］を左クリックし、［実行］を左クリックします。
ドライブ選択のウィンドウが表示されます。

**3** ［ドライブ追加］、または［既存ドライブ］を左クリックし、［実行］を左クリックします。

- ［ドライブ追加］のときは、ユニット選択のウィンドウが表示されます。
- ［既存ドライブ］のときは、確認のウィンドウが表示されます。**8**から操作してください。

**アドバイス**

初めてハードディスクを使うときか、または新たに区画を作成して複写するときは［ドライブ追加］を選びます。
今まで使っていたハードディスクの区画を使うときは［既存ドライブ］を選び、複写するドライブを選びます。

**注意**

- ［ドライブ追加］では、ドライブ選択ができません。
- ［既存ドライブ］を選ぶと、今まで使っていたドライブの内容が失われます。

**4** ハードディスクのユニットを選び、［実行］を左クリックします。
区画容量設定のウィンドウが表示されます。

**5** 区画容量を▲▼（上下ボタン）を使って設定し、［実行］を選びます。
確認のウィンドウが表示されます。

**アドバイス**
区画容量の最低容量は、30MBです。

**注意**

「設定可能容量」より区画容量を大きく設定することはできません。

**6** 表示された内容を確認し、［実行］を左クリックします。
自動的にリセットされ、TownsMENUが表示されます。

**7** もう一度（HDインストール）を実行します。
複写先ドライブの確認ウィンドウが表示されます。

**8** ［実行］を左クリックすると、ハードディスクが初期化されます。
初期化が終了すると、ドライブ作成確認のウィンドウが表示されます。

**9** ドライブＡにWindows MME のインストールディスクをセットして、［実行］を左クリックします。
自動的にリセットされWindows MME のインストールプログラムが起動します。

➡この後の操作およびメッセージについては、別売のWindows MMEに添付のマニュアルをご覧ください。

➡『ディクショナリをお読みになる前に』

# 10 HDリフォームを使う

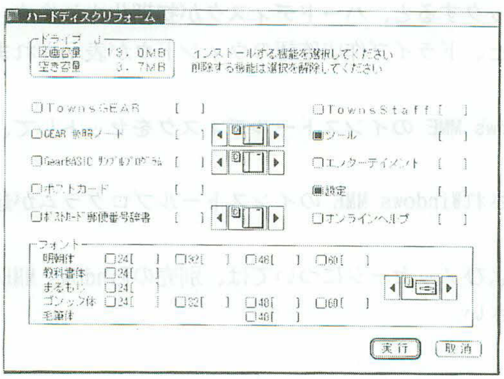
HDリフォームを使うと、HDインストールで1度複写したTownsシステムソフトウェアV2.1L20の各機能の追加や削除ができます。
複写した機能を使わなくなったときや、複写しなかった機能が必要になったときなどにHDインストールをやり直す必要がありません。

**確 認**
- HDリフォームを使うときは、TownsシステムソフトウェアV2.1L20が複写されているドライブから起動してください。
- CD-ROMドライブにTownsシステムソフトウェアV2.1L20のCD-ROMをセットしてください。

## HDリフォームの操作方法

**1** （ツール）を実行します。
ツールのアイテム表示ウィンドウが表示されます。

**2** （HDリフォーム）を実行します。
「ハードディスクリフォーム」ウィンドウが表示されます。




すでに複写されている項目は、■になっています。

**3** 追加、または削除する項目（機能）を選びます。

- 追加のときは、□になっている項目を選びます。■になり［　］内に「追加」と表示され、空き容量からアプリケーションが必要とする容量だけ減ります。
- 削除のときは、■になっている項目を選びます。□になり［　］内に「削除」と表示され、削除するアプリケーションの容量分だけ空き容量が増えます。

➡項目の詳細については「新規にTownsシステムソフトウェアを複写する」(P.218)をご覧ください。

**アドバイス**

機能を追加しようとして容量不足になった場合は、使わなくなった機能を先に削除してから追加してください。先に削除すると空き容量が増えます。

**確認**

- 機能を追加すると、起動ドライブに「追加機能」というタイトルのグループアイテムが作られ、その中に追加した機能のアイテムが登録されます。
- 機能を削除しても登録されているアイテムは削除されません。

**アドバイス**

「ドライブ選択」の項目がある機能は、複写先ドライブを先に選んでください。
先に□を左クリックすると複写先ドライブが選べなくなります。

**4** ［実行］を左クリックします。

選んだ項目が追加または削除され、TownsMENUに戻ります。
機能を削除する場合は確認のウィンドウが表示されます。

# 第5章 エンターテイメント



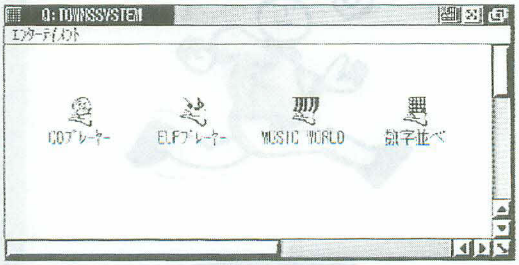


**注意**

TownsMENUからメニューを選んだり、アイテムを実行するときは、Townsパッドのボタンを押さないように気をつけてください。FMＴＯＷＮＳが正しく動作しないことがあります。

# エンターテイメントについて

Townsシステムソフトウェアを起動し、アイテム表示ウィンドウから（エンターテイメント）を選ぶと、次のようなアイテム表示ウィンドウが表示されます。




エンターテイメントのアイテム表示ウィンドウには、次の 4 つのソフトウェアがアイテムとして登録されています。それぞれの使いかたは、参照先をご覧ください。

ＣＤプレーヤー……………➡ (P.231)
ＥＵＰプレーヤー…………➡ (P.245)
ＭＵＳＩＣ　ＷＯＲＬＤ…➡ (P.257)
数字並べ…………………➡ (P.267)

# 1　CDプレーヤーを使う

ＣＤプレーヤーは、FMＴＯＷＮＳで音楽ＣＤを聴くためのソフトウェアです。普通の音楽ＣＤの他に、ＣＤカラオケやＣＤグラフィックスにも対応しています。

## 起動する

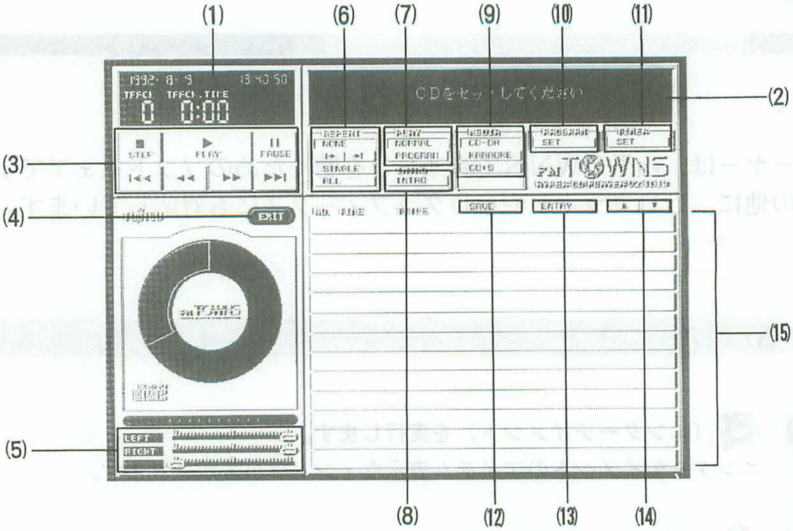
1. （エンターテイメント）を実行します。
   エンターテイメントのアイテム表示ウィンドウが表示されます。
2. （ＣＤプレーヤー）を実行します。
   ＣＤプレーヤーの画面が表示されます。

## 終了する

1. EXIT（EXITボタン）を左クリックします。
   画面の右上に「ＣＤプレーヤーを終了します．よろしいですか．」というメッセージが表示されます。
2. 「はい」を左クリックします。
   ＣＤプレーヤーが終了して、TownsMENUに戻ります。

# 各部の名称と役割

ここでは、CDプレーヤーの各部の名称と役割を説明します。



## (1)日付時刻表示部

現在の西暦、日付、曜日、時刻、トラック番号、演奏時間、DATA/AUDIO情報が表示されます。

**アドバイス**

日付・時刻表示部を左クリックすると、演奏時間の表示が『1曲の演奏時間⇨1曲の残り演奏時間⇨全曲の演奏時間⇨全曲の残り演奏時間』の順に変わります。

## (2)CD情報表示部

CDのタイトル、演奏者、総トラック数、総演奏時間が表示されます。
CDのタイトルと演奏者は、登録しないと表示されません。

## (3)操作部

スタート、ストップ、早送りなどCD演奏の基本的な操作をするところです。

- [■ STOP]…………演奏を停止します。
- [▶ PLAY]……演奏を開始します。
- [❚❚ PAUSE]…………演奏を一旦停止したり、停止した演奏を再開します。
- [|◀◀]…………曲の最初に戻って演奏を始めます。
- [◀◀]…………演奏を巻き戻しします。
- [▶▶]…………演奏を早送りします。
- [▶▶|]…………次の曲を演奏します。

## (4) [EXIT] ボタン

CDプレーヤーを終了し、TownsMENUに戻ります。

## (5)音量調節部

スピーカーやヘッドホンの左右の音量とマイク入力の音量を調節します。
左右のボタンを同時にドラッグして、左右の音量を同時に調節することもできます。

## (6)リピート設定部

区間リピート、１曲リピート、全曲リピート、またはリピートなしを設定します。

[NONE]…………リピートなし
→|→　………区間リピート
[SINGLE]………１曲リピート
[ALL]……………全曲リピート

## (7)演奏状態の設定部

トラック番号順に演奏するか、またはプログラム順に演奏するか設定します。

[NOMAL]……トラック順に演奏するときに選びます。
[PROGRAM]…プログラム順に演奏するときに選びます。プログラムが設定されているときのみ選べます。

## (8)イントロ演奏設定部

イントロ演奏を行うときに選びます。

## (9)ＣＤの種類の設定部

演奏するＣＤの種類を設定します。

[CD-DA]……普通の音楽ＣＤ
[KARAOKE]…ＣＤカラオケ対応のＣＤ
[CD+G]………ＣＤグラフィックス対応のＣＤ

## (10)プログラムの設定部

プログラム設定パネルを表示します。

## (11)タイマーの設定部

タイマー設定パネルを表示します。

## (12)［SAVE］ボタン

ＣＤのタイトルや演奏者、曲のタイトルをディスクに保存するときに選びます。

## (13)［ENTRY］ボタン

ＣＤのタイトルや演奏者、曲のタイトルを入力するときに選びます。

## (14)タイトル表示部のスクロールボタン

画面に表示しきれない曲のタイトルをスクロールさせて、表示させるときに選びます。

## (15)タイトル表示部

曲のタイトルをディスクに保存するときに文字を入力します。
タイトル登録後は、１枚のＣＤ内の曲のタイトルをすべて一覧表示します。

# CDを演奏する

CD演奏の方法を普通の演奏、リピート演奏、イントロ演奏にわけて説明します。

## 普通に演奏する

CDの演奏の方法を説明します。

1. 音楽CDをセットします。
2. 演奏を始めるために、操作部の［▶ PLAY］を左クリックします。
3. 演奏を停止するために、操作部の［■ STOP］を左クリックします。

## 曲の中の聴きたい区間を繰り返し演奏する

曲の中の聴きたい区間を指定して、繰り返し演奏するための設定方法を説明します。

1. 演奏を始めます。
2. 繰り返し聴きたい区間の始めのところで、リピート設定部の中の［↦ ↤］を左クリックします。左の矢印が赤くなります。
3. 繰り返し聴きたい区間の終わりのところで、もう一度同じボタンを左クリックします。右の矢印が赤くなります。
   聴きたい区間が繰り返し演奏されます。
4. 繰り返しをやめるときには、リピート設定部の［NONE］を左クリックします。

**アドバイス**

- 1曲だけ繰り返し演奏するには、［SINGLE］を左クリックし、［▶ PLAY］を左クリックします。
- 全曲繰り返し演奏するには、［ALL］を左クリックし、［▶ PLAY］を左クリックします。

## 曲の先頭だけ演奏する

最初の曲から最後の曲まで、曲の最初の10秒間だけ演奏されます。

**1** イントロ設定部の［INTRO］を左クリックします。
［INTRO］の字が赤くなります。

**2** 操作部の［▶ PLAY］を左クリックします。
各曲の最初の10秒間だけ演奏されます。

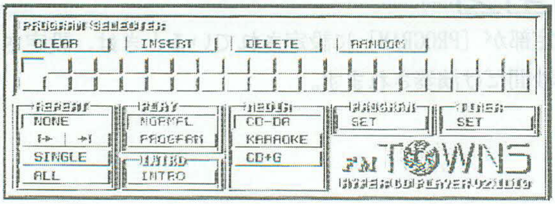
**アドバイス**

演奏状態の設定部が［PROGRAM］に設定されているときは、設定されている曲順で曲の最初の10秒間だけ演奏されます。

# 設定した曲順で演奏する

好きな曲順で演奏したり、自動的に曲順を選ばせて演奏する方法を説明します。

**1** プログラム設定部から［SET］を左クリックします。
［SET］ボタンの字が赤くなり、画面の右上の部分に「PROGRAM SELECTER」（プログラム設定パネル）が表示されます。




**アドバイス**
「PROGRAM SELECTER」（プログラム設定パネル）を消すには、もう一度［SET］を左クリックします。

**2** タイトル表示部を、設定したい曲の順番に左クリックしていきます。
「PROGRAM SELECTER」（プログラム設定パネル）の所に、選んだ曲の番号が表示されます。

**3** 演奏状態の設定部の［PROGRAM］を左クリックします。
［PROGRAM］の字が赤くなります。

**4** 操作部の［PLAY］を左クリックします。
設定した曲順で演奏されます。

**アドバイス**

- 選曲した曲の途中に曲を追加したい場合は、追加したい場所を選んで［INSERT］を左クリックします。
- 選曲した曲の途中の曲を削除したい場合は、削除したい場所を選んで［DELETE］を左クリックします。
- 選曲した曲を変更したい場合は、変更したい場所を選んで、別の曲をタイトル表示部から選びます。
- ［RANDAM］を左クリックすると、自動的に選曲されます。
- プログラムを解除したいときは、［CLEAR］を選びます。
- 演奏中にプログラムを設定して、演奏状態の設定部から［PROGRAM］を左クリックすると、［▶ PLAY］を選ばなくても演奏が最初の曲から始まります。

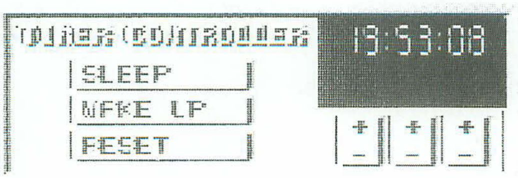
# 時刻に合わせて演奏する

設定した時刻にＣＤの演奏を始めたり、止めたりすることができます。

## 設定した時刻に演奏を始める／止める

タイマーの機能を使って、演奏を始めたり、止めたりする方法を説明します。

**1** **タイマー設定部の［SET］を左クリックします。**
日付時刻表示部に「TIMER CONTROLLER」（タイマー設定パネル）が表示されます。




**2** **「TIMER CONTROLLER」（タイマー設定パネル）から［SLEEP］または［WAKE UP］を左クリックします。**
［SLEEP］……演奏を止める時刻を設定します。
［WAKE UP］…演奏を始める時刻を設定します。

**3** **で時刻を設定します。**
赤い数字のところに設定時刻が設定されます。

**4** **時刻の設定が終了したら、タイマー設定部から［SET］を左クリックします。**
［SET］の字が黒くなり、「TIMER CONTROLLER」（タイマー設定パネル）が消えます。

**5** **［SLEEP］を設定したときは、設定した時刻になると、演奏が止まります。**
［WAKE UP］を設定したときは、設定した時刻になると、演奏が始まります。

**アドバイス**

- ［:］は、3つあります。左から「時」、「分」、「秒」の設定になっています。時刻を進めるときは、［+］側を選びます。時刻を戻すときは、［−］側を選びます。
- タイマーの設定を解除するときは、［RESET］を選びます。
- ［SLEEP］時刻になったとき、演奏が止まっていれば、［SLEEP］機能は起動しません。
- ［WAKE UP］時刻になったとき、演奏が行われていれば、［WAKE UP］機能は起動しません。

# 曲のタイトルを登録する

曲のタイトルを登録する方法を説明します。

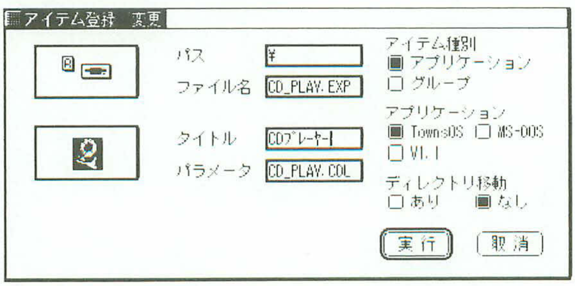
## 曲のタイトルを登録する準備

ＣＤプレーヤーで曲のタイトルを登録する場合は、登録用のファイルが必要です。その準備をします。

**1** TownsMENUを起動します。

**2** CD-ROMの¥T_TOOLディレクトリ中にあるＣＤプレーヤーのファイル「CD_PLAY.EXP」と「CD_PLAY.CDL」をフロッピィディスクまたはハードディスクに複写します。
HDインストールで「エンターテイメント」をハードディスクに複写してあるときは、ＣＤプレーヤーのファイルも複写されます。

**3** 「CD_PLAY.EXP」ファイルをアイテム登録します。
設定は以下のようにします。
➡「TownsMENUディクショナリ 第１章 2.アイテム/ファイル/ディレクトリの操作」



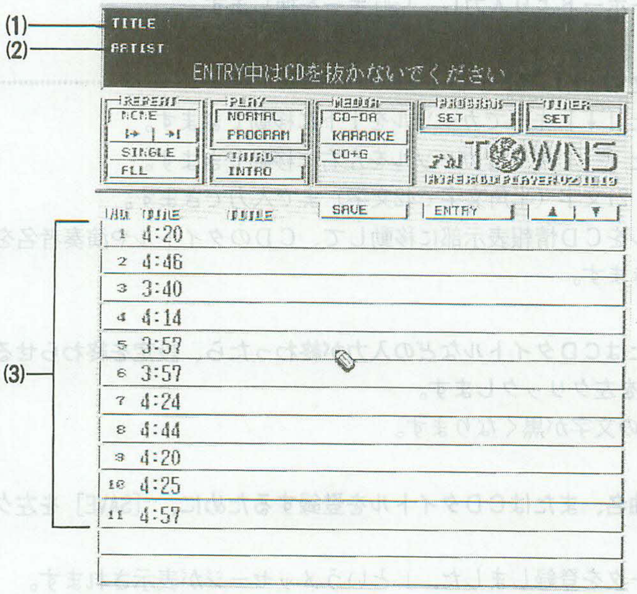

**アドバイス**

- ＣＤプレーヤーのファイルがサブディレクトリにある場合は、「ディレクトリ移動」を“あり”に設定してください。
- パラメータ指定を、CD_PLAY.CDL Vとすると、[KARAOKE]、[CD+G]のグラフィックスの表示モードを指定したことになります。ビデオカードが装着してあれば、ビデオ出力ができます。

**4** アイテム登録したＣＤプレーヤーを起動します。

## 曲名／CDの題名／演奏者などを登録する

曲名、CDの題名、演奏者などの登録方法を説明します。




(1) アルバム名……アルバム名を入力する場所です。

(2) アーティスト…アーティストを入力する場所です。

(3) 曲名……………曲名を登録する場所です。

**1** タイトルを設定するために、［ENTRY］を左クリックします。

［ENTRY］の文字が赤くなり、タイトル表示部にカーソルが表示されます。

**2** 曲名をキーボードより入力し、[↵]キーを押します。

**アドバイス**

- [↑]と[↓]キーでカーソルを上下に移動できます。
- [←]と[→]キーでカーソルを左右に移動できます。
- 曲名は、21文字（半角文字で42文字）まで入力できます。
- カーソルをＣＤ情報表示部に移動して、ＣＤのタイトルや演奏者名を入力することができます。

**3** 曲名、またはＣＤタイトルなどの入力が終わったら、設定を終わらせるために、［ENTRY］を左クリックします。

［ENTRY］の文字が黒くなります。

**4** 入力した曲名、またはＣＤタイトルを登録するために、［SAVE］を左クリックします。

「ＣＤデータを登録しました．」というメッセージが表示されます。

**5** ［確認］を左クリックします。

# ＣＤグラフィックスのチャンネルを設定する

ＣＤグラフィックスの再生方法を説明します。

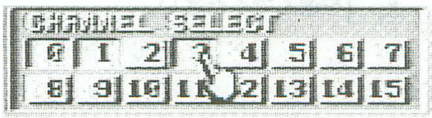
**確 認** ＣＤがＣＤグラフィックスに対応しているか確認してください。

**1** **ＣＤの種類の設定部から［CD+G］を左クリックします。**
［CD+G］の字が赤くなり、右横のFMTOWNSという文字が消え、「CHANNEL SELECT」（チャンネル設定パネル）が表示されます。

**アドバイス**

「CHANNEL SELECT」（チャンネル設定パネル）を消すには、［CD-DA］または［KARAOKE］を左クリックします。

**2** **「CHANNEL SELECT」（チャンネル設定パネル）から、ＣＤに登録されているチャンネルを選びます。**




選んだチャンネルが赤い文字になります。

**3** **操作部から［▶PLAY］を左クリックします。**
ＣＤグラフィックスの画面が表示されます。

**アドバイス**

- ＣＤによって、各チャンネルの内容（画像、文字など）は違います。表示したいチャンネルを選んでください。
- 各チャンネルの内容については、ご使用になるＣＤの説明書をご覧ください。
- ＣＤグラフィックスの映像画面からＣＤ演奏の画面に戻るときは、右クリックしてください。
- ＣＤグラフィックス再生中にＣＤプレーヤーの画面に戻ると、再びＣＤグラフィックスの映像画面に戻ることはできません。再びＣＤグラフィックスの映像画面に戻るときは、一度実行をやめてから［▶PLAY］を左クリックしてください。

# CDカラオケを演奏する

CDカラオケ演奏の方法を説明します。

**確認** CDグラフィックス対応のカラオケCDを使用してください。

1. CDの種類の設定部から［KARAOKE］を左クリックします。
   ［KARAOKE］の文字が赤くなります。

2. 操作部から［PLAY］を左クリックします。
   画面がカラオケの映像画面に変わります。

**アドバイス**

- カラオケの映像画面からCD演奏の画面に戻るときは、右クリックしてください。
- カラオケの曲を演奏している途中でCDプレーヤーの画面に戻ると、再びカラオケの映像画面に戻ることはできません。再びカラオケの映像画面に戻るときは、一度演奏を止めてから［PLAY］を選んでください。

# 2 EUPプレーヤーを使う

EUPプレーヤーでは、FM音源、PCM音源、MIDI音源を使ったEUPファイル（EUPHONYファイル）およびMIDファイル（標準MIDIファイル）を演奏することができます。
ここでは、EUPプレーヤーの操作方法について説明します。

**注意**

EUPプレーヤーでMIDI音源を用いた曲を演奏する場合、MIDI音源カード以外では正しく演奏できないことがあります。

## 起動する

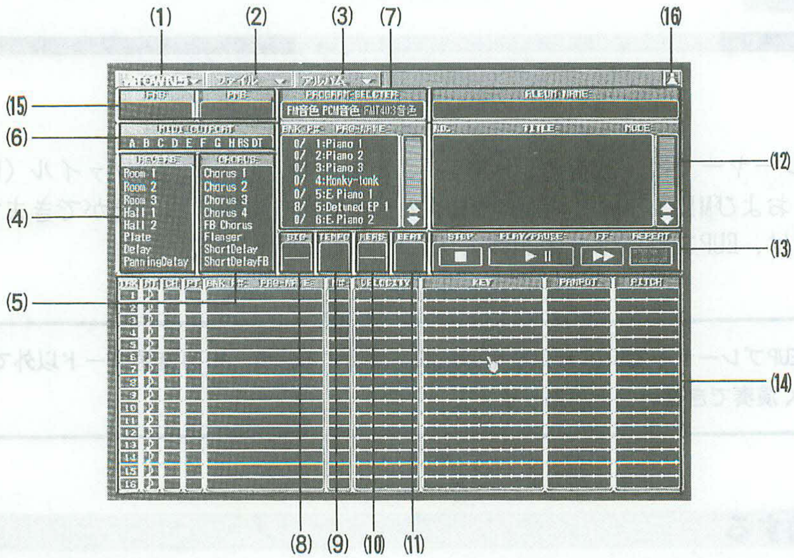
1. （エンターテイメント）を実行します。
   エンターテイメントのアイテム表示ウィンドウが表示されます。
2. （EUPプレーヤー）を実行します。
   EUPプレーヤーの画面になります。

## 終了する

1. （終了ボタン）を左クリックします。
   EUPプレーヤーが終了し、TownsMENUに戻ります。

# 各部の名称と役割

ここでは、EUPプレーヤーの各部の名称と役割を説明します。



## (1)[FMTOWNS]メニュー

プロフィールを表示するときに選びます。

## (2)［ファイル］メニュー

EUPファイルや音色ファイルを読み込むときに選びます。

## (3)［アルバム］メニュー

アルバムの選択や登録、削除などをするときに選びます。

## (4)REVERB

MIDI音源の音の響きの度合い（残響）を設定するときに選びます。

- Room 1~3…室内で聴いているような音の広がりを設定するときに選びます。
- Hall 1~2…ホールで聴いているような残響感を設定するときに選びます。
- Plate ……プレートエコー（金属板の振動を利用したリバーブ）を設定するときに選びます。
- Delay ……ディレイを設定するときに選びます。
- Panning Delay …ディレイ音がランダムに左右に振られるディレイです。

## (5)CHORUS

MIDI音源の音の広がりや厚みの度合いを設定するときに選びます。

- Chorus1~4 ………一般的なコーラスを設定するときに選びます。
- FBChorus…………フランジャーを設定するときに選びます。
- Flanger …………ジェット機の上昇下降音のような響きを設定するときに選びます。
- Short Delay ……ショートディレイを設定するときに選びます
- ShortDelayFB……Delay音が繰り返されるShortDelayです。

**アドバイス**

- REVERBとCHORUSは、MIDI音源カード（またはSC55、SC155)のみ有効です。
- REVERBとCHORUSは、すべてのチャンネルに対して同じ効果がかかります。

## (6)MIDI-OUTPORT

MIDIの出力ポートを設定します。
MIDIカードのときは[A]~[H]、RS-MIDIのときは[RS]、演奏する曲データに依存するときは[DT]を選びます。

## (7)PROGRAM-SELECTER

音色を変更するときに選びます。

## (8)SIG

曲の拍子が表示されます。

## (9)TEMPO

曲のテンポが表示されます。

## (10)MEAS

曲の小節が表示されます。

## (11)BEAT

曲の拍数が表示されます。

## (12)アルバム表示部

アルバムのタイトルおよびアルバムに登録されている曲が表示されます。

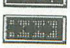
## (13)操作部

音楽の停止や演奏、休止、繰り返しなど、EUPプレーヤーを操作するときに選びます。

……演奏を停止します。

………演奏を開始、一時停止、再開します。

……演奏を早送りします。

……アルバムに登録されている曲を演奏するときの、リピート方法を選びます。ボタンを左クリックするごとに、全曲演奏⇨1曲繰り返し⇨全曲繰り返し⇨1曲演奏の順に変わります。

## ⒁各種パラメータ

演奏されている曲のさまざまなパラメータをリアルタイムで表示します。

・TRK ……演奏トラックが表示されます。
・MT………♪を左クリックすることにより、各チャンネルの発音の有無を設定します。（ミュート機能）
・CH………出力チャンネルが表示されます。
・PT………出力ポートが表示されます。
・BNK ……CC0#（バンク・ナンバー）が表示されます。
・P#………プログラムナンバー（音色番号）が表示されます。
・PRG-NAME…プログラムネーム（楽器名）が表示されます。
・N#………ノートナンバーが表示されます。
・VELOCITY…ベロシティ（音量）が表示されます。
・KEY ……音程の位置が表示されます。
・PANPOT…パンポットの位置が表示されます。
・PITCH …ピッチベンドのかかり具合いが表示されます。

## ⒂ファイル名表示部

FMBファイル名およびPMBファイル名が表示されます。

## ⒃終了ボタン

EUPプレーヤーを終了するときに選びます。

# 音楽を演奏する

ここでは、EUPファイルまたはMIDファイルを直接指定して、音楽を演奏する方法を説明します。

## EUPファイルを演奏する

1. ［ファイル］メニューから［EUP選択］を選びます。




読み込むファイルを指定するための、ファイルウィンドウが表示されます。

2. 聴きたい曲（EUPファイル）を選び、［実行］を左クリックします。



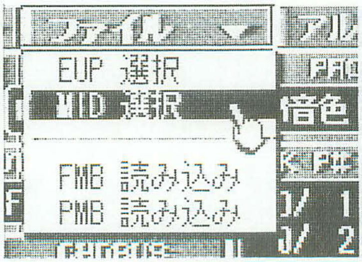

アルバム表示部に、選んだ曲が表示されます。

3 アルバム表示部にある聴きたい曲を左クリックします。
曲が読み込まれ、演奏が始まります。

4 演奏を停止するときは、■ (STOP) を左クリックします。

## MIDファイル（標準MIDIファイル）を演奏する

1 ［ファイル］メニューから［MID選択］を選びます。




読み込むファイルを指定するための、ファイルウィンドウが表示されます。

2 聴きたい曲（MIDファイル）を選び、［実行］を左クリックします。
アルバム表示部に、選んだ曲が表示されます。

3 アルバム表示部にある聴きたい曲を左クリックします。
曲が読み込まれ、演奏が始まります。

4 演奏を停止するときは、■ (STOP) を左クリックします。

# 音色ファイルを変更する

EUPファイルで設定されている音色ファイルを変更します。

音色ファイルを変更できるのは、FM音色ファイル（拡張子がFMB）とPCM音色ファイル（拡張子がPMB）です。

1 ［ファイル］メニューを選びます。
サブメニューが表示されます。

2 FM音源部の音色を変えたいときは［FMB読み込み］を、PCM音源部の音色を変えたいときは［PMB読み込み］を選びます。
読み込むファイルを指定するための、ファイルウィンドウが表示されます。

3 希望する音色ファイルを選び、［実行］を左クリックします。




音色ファイルが読み込まれ、音色ファイル名がファイル名表示部に表示されます。

# 音色を変更する

FM、PCM、MIDIの各トラックごとに音色を変更します。

1. 音色を変更したいトラックのPRG-NAME内を左クリックします。




選んだPRG-NAMEが点灯表示になります。
PROGRAM-SELECTER内に選べる音色のリストが表示されます。




2. ▲▼を使って希望する音色をPROGRAM-SELECTERに表示し、左クリックします。
点灯表示していた音色が希望する音色に変更されます。

# アルバムの使いかた

複数の曲ファイルを1つのアルバムとして登録することにより、曲の連続演奏やリピートが可能となります。

ここでは、アルバムの使いかたについて説明します。

## アルバムを使う前に

EUPプレーヤーをCDから起動したときには、アルバムの登録、更新、削除はできません。これらの機能を使用するときは、EUPプレーヤーをフロッピィディスクあるいはハードディスクなどにコピーしてください。以下にその方法を説明します。

**1** **TownsシステムソフトウェアのCD-ROMの¥T_TOOLディレクトリ中の「EUP_PLAY.EXP」をフロッピィディスクあるいはハードディスクなどに複写します。**

HDインストールで「エンターテイメント」をハードディスクに複写してあるときは、EUPプレーヤーのファイルも複写されます。

**2** **「EUP_PLAY.EXP」ファイルをアイテム登録します。このときパラメータとしてアルバムファイル名（拡張子がEUL）と、出力ポート先を必ず設定してください。**

出力ポート先は、MIDI音源ボードまたはMIDIボードをお使いの方は「A（A~H）」、RS-MIDIをお使いの方は「R」、内蔵音源のみの方は「O（オー）」と設定します。

例　ドライブAの¥TOOLにEUP_PLAY.EULというアルバムファイルを作り、出力ポートをAに設定するとき。

A:¥TOOL¥EUP_PLAY.EUL A

とパラメータに設定します。




**アドバイス**

出力ポートを「O」に設定した場合、出力ポートは演奏する曲データに依存します。

# アルバムを作成／編集する

アルバムを作成するときに必要な、曲の登録、削除、並べかえなどを説明します。

## アルバムに曲を登録する

**1** ［ファイル］メニューから［EUP選択］または［MID選択］を選びます。

読み込むファイルを指定するための、ファイルウィンドウが表示されます。

**2** 登録したい曲を選び、［実行］を左クリックします。

アルバム表示部に、選んだ曲が表示されます。

**3** 選んだ曲がMIDI音源を使用しているときは、アルバム表示部内にある［MODE］部分を左クリックし、対応する音源を選びます。この操作を行うと、音楽の演奏を開始するときに、自動的にMIDI音源の初期化が行われます。




この操作を繰り返して、アルバムに登録したい曲を何曲か選びます。

**アドバイス**

対応するMIDI音源がないとき、または内蔵音源のみの曲のときは［MODE］を「…」にします。

## アルバムのタイトルを入力する

**1** アルバムタイトルの表示部を左クリックします。




アルバムタイトルの表示部にカーソルが表示されます。

**2** キーボードからタイトルを入力します。

## アルバムを登録する

作成、更新したアルバムを登録します。

**1** 作成、編集したアルバムを新しいアルバムとして登録するときは、［アルバム］メニューから［新規登録］を選びます。また、読み込んだアルバムを再編集し、前の内容と置き換えるときは、［アルバム］メニューから［更新登録］を選びます。

## アルバムを選択する

聴きたいアルバムを選び、読み込みます。

**1** ［アルバム］メニューから［アルバム選択］を選びます。
登録されているアルバムのタイトル一覧が表示されます。

**2** 聴きたいアルバムを選び、［実行］を左クリックします。
アルバム表示部に選んだアルバムのタイトルと曲が表示されます。

## アルバムの曲順を変える

1. ［アルバム］メニューから［曲順変更］を選びます。
マウスカーソルが緑色になります。

2. 曲を左クリックすると、指定した曲はリストの最後に移動します。

3. 終了するときは、右クリックします。

## アルバムに登録されている曲を削除する

1. ［アルバム］メニューから［曲削除］を選びます。
マウスカーソルが赤くなります。

2. 削除したい曲を左クリックします。
指定した曲が削除されます。

3. 終了するときは、右クリックします。

## アルバムをクリアする

1. ［アルバム］メニューから［リストクリア］を選びます。
登録されている曲がすべてクリアされます。

## アルバムを削除する

1. ［アルバム］メニューから［アルバム削除］を選びます。
登録されているアルバムのタイトル一覧が表示されます。

2. 削除したいアルバムを選び、［実行］を左クリックします。
アルバムが削除されます。

# 3 MUSIC WORLDを使う

MUSIC WORLDは、画面に表示された世界地図から地域を選ぶと、世界各地の民俗音楽の解説が表示され、実際にその音楽を聞くことができるソフトウェアです。
また、画面の鍵盤をマウスを使って演奏したり、FM TOWNSのキーボードから演奏することができます。自分の演奏を録音したり、再生することもできます。
また、思いついたメロディを演奏しながら、作曲を楽しむこともできます。

**確認**　録音した演奏をフロッピィディスクに保存するときは、空き容量が十分にあるフロッピィディスクか、初期化したフロッピィディスクを用意してください。

## 起動する

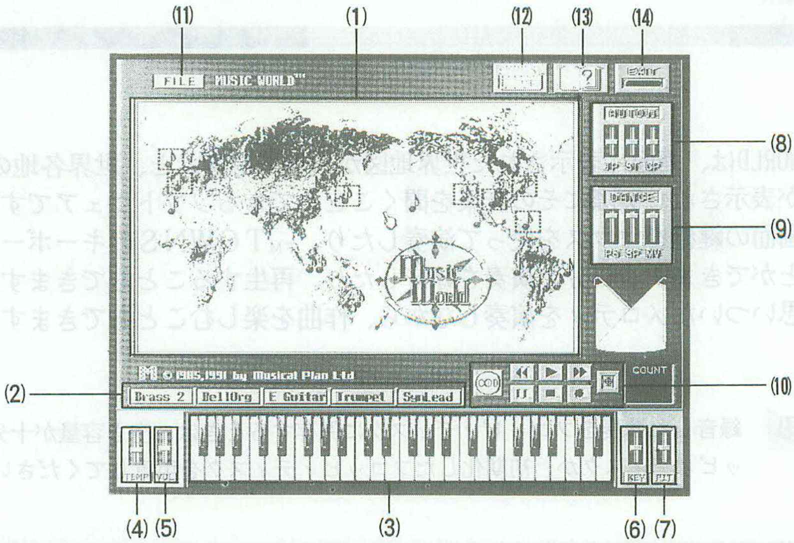
1. （エンターテイメント）を実行します。
   エンターテイメントのアイテム表示ウィンドウが表示されます。
2. （MUSIC WORLD）を実行します。
   MUSIC WORLDの画面になります。

## 終了する

1. （終了ボタン）を左クリックします。
   終了のウィンドウが表示されます。
2. [END] を左クリックします。
   MUSIC WORLDを終了し、TownsMENUに戻ります。

# 各部の名称と役割

ここでは、MUSIC WORLDの画面の各部の名称と役割を説明します。




## (1)世界地図

地図上の[♪]を左クリックすると、世界の音楽を聞くことができます。

## (2)サウンドセレクトボタン

ミュージックキーボードで使用する楽器の音を選びます。

## (3)ミュージックキーボード

この鍵盤を左クリックすると、演奏することができます。

## (4)テンポスライド

曲のテンポを変えることができます。
上に設定するほどテンポが速くなります。

## (5)ボリュームスライド

ミュージックキーボードで演奏する音の音量を調整します。
上に設定するほど音が大きくなります。

## (6)キースライド

ミュージックキーボードで演奏する音の音程を変えることができます。
上に設定するほど音が高くなります。

## (7)ピッチスライド

ミュージックキーボードで演奏する音の音程を微調整できます。
キースライドより音の高低の差は小さく、音程を微妙に調整するときに使います。
上に設定するほど音が高くなります。

## (8)ジェネレートコントローラ

自動作曲するときのメロディを調整します。
JP…メロディの飛躍の幅を調整します。
ST…フレーズの細かさを調整します。
CP…メロディの斬新さの度合いを調整します。

## (9)ダンスコントローラ

曲の中にはダンスのアニメーションが出るものがあります。このダンスを調整します。
PS…場所を変えます。
SP…スピードを変えます。
MV…振り付けを変えます。

## (10)レコーディングパネル

（再生ボタン）…曲の演奏を開始します。
（録音ボタン）…（再生ボタン）と一緒に使うことにより、演奏を録音します。
（停止ボタン）…演奏、録音している曲を停止します。
（巻き戻しボタン）…曲を巻き戻します。
（早送りボタン）…曲を早送りします。
（一時停止ボタン）…曲を一時停止します。
（一時停止ボタン）または、（再生ボタン）を押すと、再び曲の演奏を開始します。
（コーダボタン）…曲の途中から、曲の最後に進めます。
（CD演奏ボタン）…CDを演奏するときに使用します。
このボタンを使うと、レコーディングパネル内の各ボタンがCD演奏用のボタンに変わります。
と　は、前の曲や次の曲にスキップするボタンに変わります。
（録音ボタン）と（コーダボタン）は使えません。

## (11)［FILE］ボタン

録音した演奏を保存したり、読み込むときに選びます。

## (12)ソフトウェアキーボード表示ボタン

ソフトウェアキーボードを表示するときに選びます。

## (13)ヘルプボタン

オンラインヘルプを表示するときに選びます。

## (14)終了ボタン

MUSIC WORLDを終了するときに選びます。

# 演奏を聴く

MUSIC WORLDに収録されている音楽を演奏したり、音楽に合わせてダンスをするアニメーションの、ダンスの振り付けを変える方法を説明します。

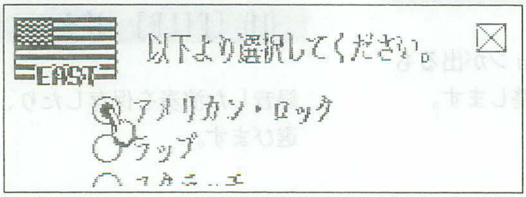
## 演奏を始める

世界地図で場所を選び、音楽の演奏を始めます。

1. 聴きたい地域の[♪]を左クリックします。
   曲の種類を選択するためのウィンドウが表示されます。

   **アドバイス**
   点線で囲まれていない音符を左クリックしたときは、手順3に進みます。

2. 聴きたい曲の種類の先頭にある［○］を左クリックします。

   選択した曲について、説明のウィンドウが表示されます。

   **アドバイス**
   説明のウィンドウを消すときは、☒を左クリックします。

3. 演奏を始めるために、[▶]（再生ボタン）を左クリックします。

   **アドバイス**
   テンポスライドをドラッグして曲の速さを変えることができます。

4. 演奏を終了するときは、[■]（停止ボタン）を左クリックします。

## ダンスの振り付けや位置を変える

PS、SP、MVのつまみを動かして、音楽に合わせて踊るアニメーションの、ダンスの振り付けや位置を変えます。

**アドバイス**

曲によっては、ダンスがないものもあります。

1. **演奏を始めます。**
   ダンスのアニメーションが始まります。

2. **それぞれのダンスコントローラをドラッグします。**
   - PS…ダンスをする位置を変えます。下に設定するほど、画面の左上の位置となります。
   - SP…ダンスのスピードを変えます。上に設定するほど速くなります。
   - MV…ダンスの振り付けを変えます。

# ミュージックキーボードを使う

マウスやキーボードを使って、ミュージックキーボードを演奏します。特殊効果を使ったり、演奏した内容を録音、再生することもできます。




## ミュージックキーボードで演奏する

マウスやキーボードを使って、ミュージックキーボードを演奏します。

**1** 世界の音楽の演奏を始めます。

**2** サウンドセレクトボタンで楽器を選びます。
選んだ楽器の音で、ミュージックキーボードの演奏ができます。

アドバイス

- 楽器の種類は、地域によって違います。
- 曲のテンポが速くて演奏しにくいときは、テンポスライドでテンポを遅くします。
- 音楽CDをセットして (CD演奏ボタン) を左クリックすると、音楽CDを演奏できます。
  このとき、レコーディングパネルでCDを操作でき、ミュージックキーボードで演奏に参加できます。ただし、このときの演奏内容は録音できません。

**3** ミュージックキーボードの任意の鍵盤にマウスカーソルを移動して、左クリックします。
その鍵盤の音がFM TOWNSのスピーカから聞こえます。

アドバイス

- キーボードで演奏するときは、上から２段目のキー（英字のＱ～Ｐ）と数字キー（２、３、５～７、９、10）を押します。数字キーは黒鍵です。
- キーボードの上２段は固定音階で、下２段は、曲の調に合わせて音階が変わる、スケール音階になっています。
- 和音を演奏することはできません。

## エフェクトをつける

ミュージックキーボードの音に、チョーキング、コーラス、アルペジオなどのエフェクト（特殊効果）をつけることができます。

1 エフェクトを設定するウィンドウを表示するために、マウスの右ボタンを押し続けます。

2 指定するエフェクトにマウスカーソルを合わせ、右ボタンを離します。




**アドバイス**

- チョーキングは、キーボードで [PF 1] キーを押しても選べます。
- アルペジオは、キーボードで [PF 2] キー～ [PF10] キーを押しても選べます。全部で9種類選べます。

3 ミュージックキーボードを演奏中に、左ボタンを押したまま、右ボタンを押します。エフェクトが働きます。

**アドバイス**

- キーボードで演奏中にエフェクトを使うときは、キーを押したまま [SHIFT] キーを押します。
- アルペジオは音楽が演奏されているときのみ働きます。

## 自動作曲する

MUSIC WORLDに自動的に作曲させることができます。

1. エフェクトを設定するウィンドウを表示するために、マウスの右ボタンを押し続けます。

2. [RND（ランダム）フレーズ］にマウスカーソルを合わせ、右ボタンを離します。




3. ミュージックキーボードを演奏中に、左ボタンを押したまま、右ボタンを押し続けます。
   自動的にメロディが作成され、演奏されます。

   **アドバイス**
   先に自分でメロディを演奏しておくと、その内容を元にして自動作曲されます。

4. メロディの飛躍の幅、フレーズの細かさ、メロディの斬新さの度合いを変えるには、それぞれのジェネレートコントローラをドラッグします。
   JP…メロディの飛躍の幅を調整します。
   上に設定するほど飛躍が大きくなります。
   ST…フレーズの細かさを調整します。
   上に設定するほど細かくなります。
   CP…メロディの斬新さの度合いを調整します。
   上に設定するほど変わったメロディになります。

## 演奏を録音する／再生する

世界の音楽を演奏中に、ミュージックキーボードで演奏し、それを録音して再生します。

1. 演奏を録音するために、[●]（録音ボタン）を左クリックします。
2. 世界の音楽の演奏を始めます。
3. ミュージックキーボードでメロディーを演奏します。

**アドバイス**

自動作曲の状態にしておいても録音できます。

4. 録音を停止するために、[■]（停止ボタン）を左クリックします。
   停止ボタンを左クリックしたところまでが録音されます。
5. 録音した内容を再生するために、[▶]（再生ボタン）を左クリックします。

**アドバイス**

- 演奏を失敗した部分をやり直すときは、失敗した部分の直前で[●]（録音ボタン）を左クリックし演奏をやり直します。演奏が終わったら、[■]（停止ボタン）を左クリックします。
- 録音した内容を再生すると、ミュージックキーボードで演奏していない部分も全曲演奏されます。
- ミュージックキーボードの音のみを録音することはできません。

## 録音した演奏をファイルに保存する

録音した内容をファイルに保存します。
ここでは、演奏が録音されているものとして説明します。

1. 保存するファイル名を指定するために、［FILE］ボタンから、［SAVE RECORD］を選びます。
   ファイルウィンドウが表示されます。

   **アドバイス**
   ［SAVE EUP］を選ぶと、録音した内容をTownsGEARで再生できるEUP形式のファイルとして保存できます。なお、［SAVE EUP］で保存したファイルはMUSIC WORLDで読み込むことはできません。

2. 保存するドライブを選び、ファイル名を入力します。

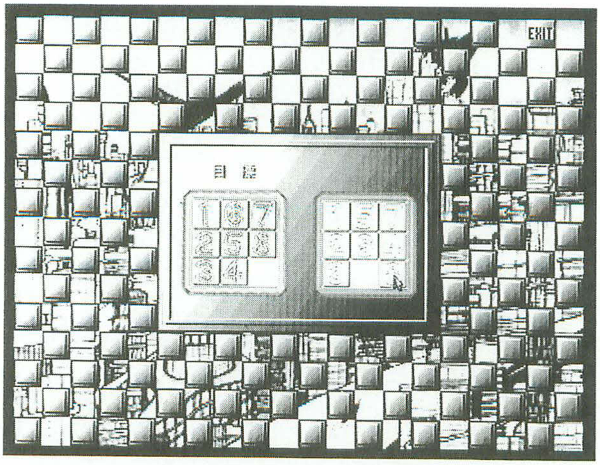
   **アドバイス**
   拡張子はRECにします。

3. ［実行］を左クリックします。
   ファイルが保存されます。

   **アドバイス**
   保存したファイルを演奏するには、［FILE］ボタンから［LOAD RECORD］を選び、ファイル名（拡張子がREC）を指定し、［実行］を左クリックします。

# 4 数字並べゲームをする

数字並べは、右側のパネルの数字を、左側にある目標のパネルと同じ配列に並べ換えるゲームです。
数字を左クリックすると、左クリックした数字が空いている部分に移動します。
目標のパネルと同じように並べ換えることができると、背景に隠されている絵が少しずつ見えてきます。パネルを3回並べ換えることができると、完全な絵を見ることができます。




## 起動する

**1** （エンターテイメント）を実行します。
エンターテイメントのアイテム表示ウィンドウが表示されます。

**2** （数字並べ）を実行します。
数字並べの画面になります。

**3** ［ゲーム画面へ］を左クリックすると、ゲームが始まります。

## 終了する

**1** 画面の右上にある EXIT を左クリックします。
数字並べが終了してTowmsMENUに戻ります。

# 第6章

# 設定



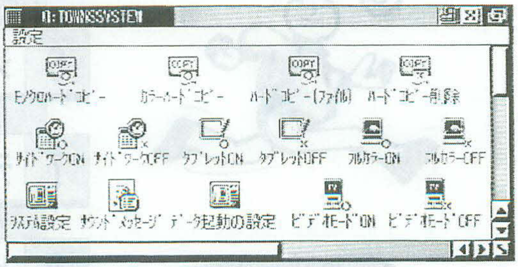


**注意**

TownsMENUからメニューを選んだり、アイテムを実行するときは、Townsパッドのボタンを押さないように気をつけてください。FM TOWNSが正しく動作しないことがあります。

# 設定について

Townsシステムソフトウェアを起動し、アイテム表示ウィンドウから （設定）を選ぶと、次のようなアイテム表示ウィンドウが表示されます。




設定のアイテム表示ウィンドウには、次の13個のソフトウェアがアイテムとして登録されています。それぞれの使いかたは、参照先をご覧ください。

- モノクロハードコピー………➡（P.271）
- カラーハードコピー…………➡（P.271）
- ハードコピー（ファイル）…➡（P.271）
- ハードコピー削除……………➡（P.271）
- サイドワークＯＮ……………➡（P.274）
- サイドワークＯＦＦ…………➡（P.274）
- タブレットＯＮ………………➡（P.275）
- タブレットＯＦＦ……………➡（P.275）
- フルカラーＯＮ………………➡（P.276）
- フルカラーＯＦＦ……………➡（P.276）
- システム設定…………………➡（P.283）
- サウンドメッセージ…………➡（P.277）
- データ起動の設定……………➡（P.297）
- ビデオモードＯＮ……………➡（P.303）
- ビデオモードＯＦＦ…………➡（P.303）

# 1 ハードコピーの設定をする

ここでは、ハードコピーを出力するための準備を行います。
ハードコピーを使うと、画面に表示されている内容をそのままプリンタで印刷したり、TIFFファイルとして保存することができます。

**確 認** プリンタへのハードコピーを設定する前に「システム設定」でプリンタを選ぶ必要があります。

**1** （設定）を実行します。
設定のアイテム表示ウィンドウが表示されます。

**2** 各ハードコピーのアイコンを実行します。

◆モノクロハードコピー
モノクロでハードコピーを出力するための準備をします。

◆カラーハードコピー
カラーでハードコピーを出力するための準備をします。

**確 認** カラープリンタとカラーリボンが必要です。

◆ハードコピー（ファイル）
画面イメージをTIFFファイルとして保存するための準備をします。

◆ハードコピー削除
ハードコピーを使わない状態にします。

# ハードコピーの使いかた

ここでは、ハードコピーの使いかたを説明します。

**確認**

- ハードコピー（ファイル）を選んだときは、ドライブAに初期化したフロッピィディスクをセットしてください。
- ＣＤ運用時にハードコピーをプリンタに出力するときは、CD-ROMドライブにTownsシステムソフトウェアのCD-ROMをセットしてください。

**1** ハードコピーしたい画面を表示します。

**2** プリンタ出力の場合は、［COPY］キーを押します。
ファイル出力の場合は、［CTRL］キーを押しながら［COPY］キーを押します。
ハードコピーが出力されます。

**アドバイス**

ハードコピーを中断するときは、［BREAK］キーを押します。

**コラム**

- ハードコピーをファイルに出力するときの出力先は、ドライブAになります。
- 最初に出力されるファイル名は、「IMAGE00.TIF」です。
- ファイル名は６文字までです。あとの２文字は、システムが自動的につける通し番号で、１ずつ加算されます。
- ハードディスク運用の場合は、［ハードコピー（ファイル）］をアイテム登録しなおすことで、出力先のドライブやファイル名を変えることができます。このとき、パラメータにファイル名を含むパス名で指定してください。

  例　E:¥HCOPYDAT¥IMAGE.TIF

  これは、ドライブＥのHCOPYDATディレクトリに、IMAGE.TIFというファイル名で登録するということです。
- 同一ファイル名があるときは、上書きをします。
- 表示されている画面が２つの画面データの合成により表示されているときは、それぞれ別のファイルに保存されます。

# カラー複写機へのハードコピーの出力

FM TOWNSに対応しているカラー複写機にハードコピーを出力することができます。

**1** ディレクトリ"¥HCOPY"内の"PHCOPY.BAT"を実行します。
ハードコピーをとるための準備が完了します。

**2** ハードコピーしたい画面を表示します。

**3** [SHIFT] キーを押しながら [COPY] キーを押します。
ハードコピーが出力されます。

# 2 サイドワークの設定をする

サイドワーク機能を使用するか、しないかを設定します。
サイドワーク機能を使用可（ON）にすると、アプリケーションのメモリ領域の一部を使います。サイドワーク機能を使用不可(OFF）にすると、メモリ領域の一部を使用しないので、その分メモリを多く使用できます。メモリサイズは、「HDインストール」または「システム設定」時に設定した値によって変わります。

**確認** ここで設定したサイドワーク機能のON、OFFは、リセットするか、電源を切るまで有効です。次に起動したときには、設定した内容が無効になります。「HDインストール」または「システム設定」時に設定した内容が有効になります。

➡「第4章 9.HDインストールを使う」(P.215)
➡「第6章 6.システムの設定をする」(P.283)

**1** （設定）を実行します。
設定のアイテム表示ウィンドが表示されます。

**2** （サイドワークON）または、（サイドワークOFF）を実行します。

**◆サイドワークON**
サイドワーク機能を使用できるようにします。

**◆サイドワークOFF**
サイドワーク機能を使用できないようにします。
その分メモリを多く使用できます。

**アドバイス**
CD-ROMから起動した場合は、サイドワーク機能がONの状態になります。

# 3 タブレットの設定をする

タブレット機能を登録すると、別売のTownsタブレットをマウスの代わりに利用できるようになります。
TownsタブレットをFMTOWNS本体のPAD&MOUSEコネクタに接続します（PADコネクタ側に接続することをお勧めします）。Townsタブレットの上で、ペンを動かすことによってマウスカーソルが移動します。ペン先のボタンがマウスの左ボタンに、ペン横のボタンがマウスの右ボタンに対応しています。

**確 認**　タブレット機能は、FMTOWNSのメモリを4KB使用します。

**1** （設定）を選びます。
設定のアイテム表示ウィンドウが表示されます。

**2** タブレット機能を使用する場合は、（タブレットON）を、タブレット機能を終了したい場合は、（タブレットOFF）を選びます。

# 4 フルカラーの設定をする

この機能を使用すると、従来の画面表示に加えて、640×480ドット、約1600万色の表示ができるようになります。

**確認**
- フルカラー機能を使用して自然画を表示するには、別売のフルカラーカードが必要です。
- フルカラー機能は、FMＴＯＷＮＳのメモリを16KB使用します。

**1** （設定）を実行します。
設定のアイテム表示ウィンドウが表示されます。

**2** フルカラー機能を使用する場合は、（フルカラーON）を、フルカラー機能を使用しない場合は、（フルカラーOFF）を実行します。

➡『ディクショナリをお読みになる前に』

# 5 サウンドメッセージの設定をする

コントロールパネルの「サウンドメッセージ」がONになっているときに、操作の有効、無効や、警告などをBEEP音やPCM音声で知らせてくれるのがサウンドメッセージです。サウンドメッセージの音は、あらかじめ決められていますが、「サウンドメッセージ設定」を使って、自分の好きな音に設定し直すことができます。

## 起動する

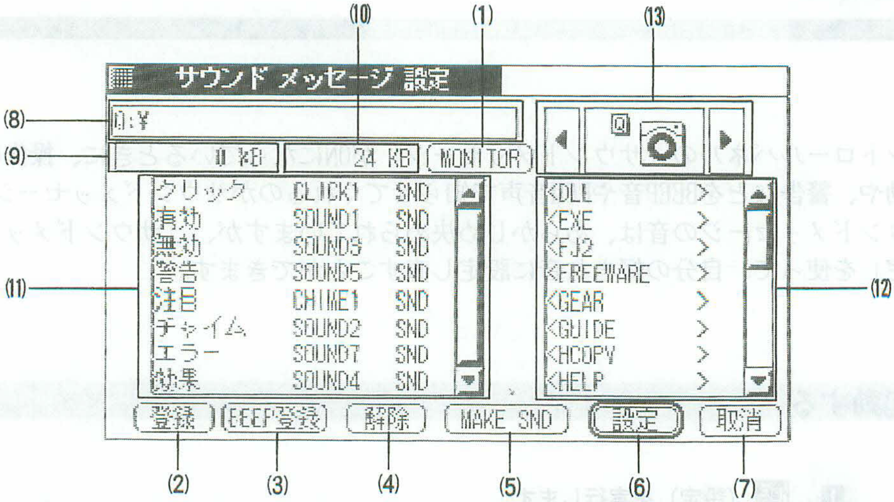
1. （設定）を実行します。
   設定のアイテム表示ウィンドウが表示されます。
2. （サウンドメッセージ）を実行します。
   「サウンドメッセージ設定」ウィンドウが表示されます。

## 終了する

1. ［取消］を左クリックします。
   または、キーボードの 取消 キーを押します。
   確認のメッセージが表示されます。
2. ［確認］を左クリックします。
   TownsMENUに戻ります。

# 各部の名称と役割

ここでは、「サウンドメッセージ設定」ウィンドウの各部の名称と役割を説明します。




## (1)MONITOR

サウンドメッセージ一覧、またはサウンドファイル一覧で選択されているサウンドファイル（拡張子がSND）またはBEEPを再生します。

**アドバイス**

- 再生中にマウスの右ボタンを押すと再生が終了します。
- サウンドメッセージ一覧、サウンドファイル一覧の両方が選択されている場合は、サウンドファイル一覧が優先されます。

## (2)登録

サウンドファイル一覧で選択されたサウンドファイルをサウンドメッセージ一覧で選択された項目に登録します。

## (3)BEEP登録

サウンドメッセージ一覧で選択された項目に、項目を表現したBEEP音を登録します。

**アドバイス**

BEEP音は、サウンドファイルよりメモリが少なくて済みます。メモリが足りないときに使用してください。

## (4)解除

すでに項目に登録されているサウンドファイルを解除し、未登録にします。

## (5)MAKE SND

SYSTEM.MSGからサウンドデータを取り出し、別のサウンドファイルを作成します。

## (6)設定

項目を設定し終わったらこのボタンを選びます。または、キーボードの [実行] キーを押します。
自動的にSYSTEM.MSGファイルをSYSINITディレクトリに作成します。
CD-ROM運用時の場合は、項目の設定はできません。

## (7)取消

設定していたものをすべてキャンセルして、「サウンドメッセージの設定」を終了します。
キーボードの [取消] キーでも終了します。

## (8)パス名

ドライブ名、ディレクトリ名、ファイル名を表示します。どのドライブのどのディレクトリのどのファイルを選択したか確認できます。
また、パス名の入力域を左クリックし、キーボードからパス名を入力することもできます。
入力できるパス名は、最大80文字です。
入力中にパス名を取り消したい場合は、[ESC] キーを押します。パス名を決定する場合は、[実行] キーを押します。

## (9)ディスク空き容量

ディスクの空き容量を表示します。

## (10)使用メモリ

サウンドファイルを登録した時に必要とするメモリ量を表示します。

## (11)サウンドメッセージ一覧

動作項目とその項目に設定されているファイル名を表示します。

## (12)サウンドファイル一覧

サウンドファイル名のみを表示します。

## (13)ドライブ選択ボタン

サウンドファイルのあるドライブを選択できます。

# 動作項目の説明

ここでは、サウンドメッセージ一覧にある動作項目の説明をします。

◆クリック
マウスクリック時に鳴る音です。
ただし、Townsシステムソフトウェア V2.1 L20では対応していません。

◆有効
処理が正常に実行されたときに鳴る音です。
例えば、[編集] メニューでの [カット]、[コピー]、[ポケットイン/アウト]、または [ファイル] メニューでの [同名保存] などを選んだときに鳴ります。
テキスト編集では、この音は対応していません。

◆無効
Townsシステムソフトウェアが処理を受け付けないときに鳴る音です。
例えば、サブメニューの横の棒、または灰色表示されているアイテムなどを押したときに鳴ります。

◆警告
Townsシステムソフトウェアが処理を行うための確認メッセージをだすときに鳴る音です。
例えば、ディスクの初期化を行うとき、ファイルの上書きを行うとき、ファイルの削除を行うときなどの確認メッセージをだしたときに鳴ります。

◆注目
次の動作を開始することを知らせるときに鳴る音です。
例えば、シングルドライブオペレーションのときのフロッピィ交換の要求、プリンタに用紙を手差しでいれるときの要求などのときに鳴ります。

◆チャイム
処理する時間が長くかかるアプリケーションが終了したときに鳴る音です。
例えば、ファイルのダウンロード、印刷の終了、検索の終了などのときになります。

◆エラー

なにかのエラーが発生したときにエラーメッセージと共に鳴る音です。
例えば、自動補給のプリンタの用紙切れ、データがポケットにないのにポケットアウトしたときなどに鳴ります。

◆効果

上記には該当しない、自由に使える音です。主に、効果音として使用してください。ただし、Townsシステムソフトウェア V2.1 L20では対応していません。

# サウンドメッセージを設定する

サウンドメッセージの設定方法を説明します。

1. 設定する項目をサウンドメッセージ一覧から選びます。
2. 項目に設定するサウンドファイルをサウンドファイル一覧から選びます。
3. サウンドファイルを動作項目に設定するために、［登録］を左クリックします。
4. 設定が終わったら、設定内容を登録するために、［設定］を左クリックします。
   メッセージが表示されます。
5. ファイル書き込みを確認するために、［確認］を左クリックしてください。

**アドバイス**

- 他のドライブにあるサウンドファイルを選ぶ場合は、ドライブ選択ボタン（◀ ▶）を選んでサウンドファイルのあるドライブを選んでください。
- サウンドファイルの音を確認したい場合は、サウンドファイルを選んで［MONITOR］を左クリックします。
- 項目にどんな音が設定してあるか確認する場合は、確認したい項目を選んで［MONITOR］を左クリックします。

コラム

自分で作成したサウンドファイルを設定することができます。
サウンドファイルは、TownsGEARや別売のTownsSOUNDで作成できます。

# 6 システムの設定をする

Townsシステムソフトウェアの動作環境を変更できます。
ここで変更した内容は、リセットしたり、電源を切っても有効です。
システム設定については、「TownsMENUディクショナリ 第3章 Townsシステムソフトウェアを使いこなす」も併せてご覧ください。

**アドバイス**

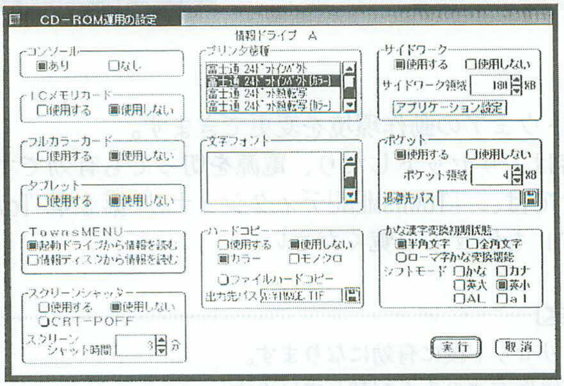
- 設定した内容は、リセット後に有効になります。
- なお、ここでは、操作方法のみを記載しています。

ここでは、次の項目に分けて説明しています。

『ディクショナリをお読みになる前に』

# 変更できる動作環境

システム設定で変更できる、Townsシステムソフトウェアの動作環境の項目を説明します。




## コンソール

コンソール機能を使うか、使わないかを設定します。
使うときは「あり」、使わないときは「なし」を選びます。

**アドバイス**

CD運用の設定のときだけコンソール、またはコンソーレス機能の選択が可能です。
ハードディスク運用のときは、HDインストールで設定します。

## ICメモリカード

ICメモリカードスロットを使うか、使わないかを設定します。
ここで、「使用する」を設定しないと、ICメモリカードは使えません。

## フルカラーカード

別売の「フルカラーカード」をFM TOWNSに装着して、利用するときに設定します。

## タブレット

別売のFM TOWNSタブレットを使うときに設定します。

## TownsMENU

TownsMENUの情報ファイルを読み込む場所を設定します。
情報ファイルとは、特定の拡張子を選ぶとアプリケーションが起動するように設定してあるファイル（TMENU.IF2)、TownsMENUの画面に表示されている内容を保存しているファイル（TMENU.WIN)、TownsMENU背景画のファイル（TMENU.TIF)の３つです。

**アドバイス**
CD-ROM運用の設定のときだけ設定可能です。

**注意**
- ハードウェアを直接制御して画面を表示しているアプリケーションでは、正常に動作しないことがあります。
- 画面が再表示されるときに、画面がおかしくなることがあります。そのときは、正常な画面になるまで [CTRL] キーを押しながら [PF12] キーを押してください。
- ディスプレイの電源を切断する機能は、FMTOWNSに直接ディスプレイを接続したときだけ有効です。

## スクリーンシャッター

スクリーンシャッターを使うか、使わないかを設定します。
スクリーンシャッターを使う指定をしておくと、FMTOWNSのキーボードとマウスを一定の時間使わなかったときに、画面の表示を消したり、CRTの電源を切ることができます。

### ◆CRT－POFF

FMTOWNSを約１時間使わなかったとき、ディスプレイの電源を切ります。
時間の変更はできません。

### ◆スクリーンシャット時間（1～42分内で指定）

FMTOWNSを一定の時間使わなかったとき、画面の表示を消します。
時間は [▲] [▼] で指定します。

**アドバイス**
ディスプレイの機種によっては、CRT-POFFができないものがあります。

## プリンタ機種

FMTOWNSにつなげて使うプリンタの種類を設定します。
プリンタの種類は、スクロールさせて選びます。

## 文字フォント

Townsシステムソフトウェアで使う文字フォントを指定します。
➡「フォントファイルの登録」(P.292)

**アドバイス**
ハードディスク、または光磁気ディスク運用のときだけ選べます。

## ハードコピー

ハードコピーを使うか、使わないかを設定します。

◆カラー
画面の表示内容を、カラーで印刷するときに設定します。

◆モノクロ
画面の表示内容を、モノクロで印刷するときに設定します。

◆ファイルハードコピー
画面の表示内容を、TIFFファイルとして出力するときに設定します。

◆出力先パス
ファイルハードコピーを設定したときのファイルを保存するドライブ名とパス名を指定します。

## サイドワーク

サイドワーク機能を使うか、使わないかを設定します。

◆サイドワーク領域
サイドワークのプログラムで使用するメモリ領域を▲▼で指定します。
180KB以上の領域が必要です。
サイドワーク領域を増やすと、たくさんの種類のサイドワーク用アプリケーションを使用することができますが、メモリが減ります。

◆アプリケーション設定
サイドワーク用のアプリケーションを登録することができます。
➡「サイドワーク用アプリケーションを設定する」(P.293)

**アドバイス**
メモリが2MBのとき、サイドワーク領域として設定できるのは180KBまでです。
メモリを増やすと、その分設定できるサイドワーク領域も増えます。

## ポケット

ポケット機能を使うか、使わないかを設定します。

◆ポケット領域
ポケット機能がデータを一時保存しておくポケット領域を▲▼で指定します。
4KB以上の領域が必要です。
この領域を大きく設定すると、メモリに一時保存できるデータが増えますので、処理が速くなりますが、メモリが減ります。

**アドバイス**
メモリが2MBのとき、ポケット領域として設定できるのは4KBまでです。メモリを増やすと、その分設定できるポケット領域も増えます。

◆退避先パス
ポケット領域に入りきらないデータを一時保存するファイルのドライブ名とパス名を指定します。

**アドバイス**
ハードディスク運用の設定時に指定可能です。

## かな漢字変換初期状態

文字の入力状態を選びます。

◆半角文字／全角文字
文字を半角文字で入力するか、または全角文字で入力するかを指定します。

◆ローマ字かな変換機能
設定すると、ローマ字読みで文字を入力することができます。

◆シフトモード
入力する文字を選びます。なお、「ＡＬ」、「ａ１」は、親指シフトキーボードをお使いのかたのみ使えます。
「かな」は、ひらがなを入力できます。
「カナ」は、カタカナを入力できます。
「英大」「ＡＬ」は、英大文字を入力できます。
「英小」「ａ１」は、英小文字を入力できます。

# CD－ROM運用時の設定方法

Townsシステムソフトウェアをお使いのかたの動作環境を変えることができます。変更した動作環境情報は、フロッピィディスクに保存されます。これを情報ディスクといい、この情報ディスクとTownsシステムソフトウェアのCD-ROMを組み合わせて、Townsシステムソフトウェアを起動すると、設定した環境に変えることができます。

**確認** システム設定をするには、フロッピィディスクが必要です。

**1** （設定）を実行します。
設定のアイテム表示ウィンドウが表示されます。

**2** （システム設定）を実行します。
「システムの設定」ウィンドウが表示されます。

**3** ［CD-ROM運用の設定］を選び、［実行］を左クリックします。
ドライブを選択するためのウィンドウが表示されます。




**4** フロッピィディスクをフロッピィディスクドライブにセットします。
すでに情報ディスクを作成してある場合は、情報ディスクをセットします。

**アドバイス**
情報ディスクをセットするのは、どのフロッピィディスクドライブ（内蔵のフロッピィディスクドライブ、別売の外付けフロッピィディスクドライブ）でも構いません。

5 フロッピィディスクをセットしたドライブを選び、［実行］を左クリックします。
セットしたフロッピィディスクが情報ディスクのときは、7から操作を行ってください。

**アドバイス**
- ［取消］を左クリックすると、「システムの設定」ウィンドウに戻ります。
- ［起動情報解除］を指定すると、情報ディスクとTownsシステムソフトウェアのCD-ROMでの運用をやめます。

6 確認するためのメッセージが表示されます。［実行］を左クリックすると情報ディスクを作成します。
情報ディスクの作成が終わると、「CD-ROM運用の設定」ウィンドウが表示されます。

**注意**
- 情報ディスクを作成すると、ディスクは初期化されます。
- 情報ディスクを作成するときは、Townsシステムソフトウェア V2.1 L20をCD-ROMドライブにセットしてください。

**アドバイス**
［取消］を左クリックするとドライブ選択の画面に戻ります。5からやり直してください。

7 「CD-ROM運用の設定」ウィンドウが表示されますので各項目を指定し、［実行］を左クリックします。
➡「変更できる動作環境」(P.284)

**アドバイス**
［取消］を左クリックすると、「システムの設定」ウィンドウに戻ります。

**8** 情報ディスクを更新するか、確認するためのメッセージが表示されます。
[実行] を左クリックします。
動作環境が更新され、「システムの設定」ウィンドウに戻ります。

**アドバイス**

情報ディスクを更新する前の設定内容（AUTOEXEC.BAT、CONFIG.SYS、SYSINIT.SYS、SIDEWORK.SYS、TMENU.BAT、FONTINFO.SYS）は、情報ディスクに“¥CSTM_BAK”というファイル名で保管されます。

**9** [終了] を左クリックすると、TownsMENUに戻ります。

**10** TownsシステムソフトウェアのCD-ROMをセットして、FM TOWNSをリセットします。
これで、設定した内容でTownsシステムソフトウェアを使うことができます。

# ハードディスク運用時の設定方法

ハードディスクに複写したTownsシステムソフトウェアの動作環境を変更します。

**1** （設定）を実行します。
設定のアイテム表示ウィンドウが表示されます。

**2** （システム設定）を実行します。
「システムの設定」ウィンドウが表示されます。

**3** ［ハードディスク運用の設定］を選び、［実行］を左クリックします。




Townsシステムソフトウェアがインストールされているドライブを選択するためのウィンドウが表示されます。
TownsシステムソフトウェアV2.1 L20 が複写されているハードディスクドライブが1つしかない場合は、「ハードディスク運用の設定」ウィンドウが表示されます。
**5**から操作を行ってください。

**注意**

ハードディスクにTownsシステムソフトウェアをインストールしていないときは、［ハードディスク運用の設定］は選べません。

**4** ドライブを選び、［実行］を左クリックします。
「ハードディスク運用の設定」ウィンドウが表示されます。

**5** 各項目を指定します。
➡「変更できる動作環境」（P.284）

**6** 文字フォントを選ぶと、「フォントファイル登録」ウィンドウが表示されます。
各項目を指定し［実行］を左クリックします。




ハードディスクに複写されているTownsシステムソフトウェアの動作環境を更新するか、確認するためのメッセージが表示されます。

◆**登録／解除**

ハードディスクに複写した文字フォントを登録して使えるようにするか、登録を解除するかを指定します。

**アドバイス**

［解除］を選ぶと、自動的にCD-ROMのフォントファイルを使うようになります。

◆**フォントファイルパス**

フォントファイルが入っているドライブ名とパス名を入力します。

**7** ［実行］を左クリックします。
動作環境が更新され、「システムの設定」ウィンドウに戻ります。

**アドバイス**

情報ディスクを更新する前の設定内容（AUTOEXEC.BAT、CONFIG.SYS、SYSINIT.SYS、SIDEWORK.SYS、TMENU.BAT、FONTINFO.SYS）は、“¥CSTM_BAK”に保管されます。

**8** ［終了］を左クリックすると、TownsMENUに戻ります。

**9** FMTOWNSをリセットして設定したハードディスクドライブから起動します。
これで、設定した内容でTownsシステムソフトウェアを使うことができます。

# サイドワーク用アプリケーションを設定する

サイドワークとして呼び出すアプリケーションを設定します。
ここでは、アプリケーションの追加、変更、移動、削除の方法に分けて説明します。




## サイドワーク一覧

登録済のサイドワーク用アプリケーションのタイトルが表示されます。
変更、移動、削除を行うときは、このタイトルを選んでから操作します。

## タイトル

登録するサイドワーク用アプリケーションのタイトル名を入力します。

## ショートカットキー

登録するサイドワーク用アプリケーションを呼び出すショートカットキーを入力します。

## 起動プログラムパス

登録するサイドワーク用アプリケーションのファイル名を含むパス名を入力します。

## パラメータ

サイドワーク用アプリケーションを起動するときの、パラメータを入力します。

## 編集ボタン（[追加] [変更] [移動] [削除]）

サイドワーク用アプリケーションを、追加（登録）、変更（場所の変更）、移動、削除をするときに使います。

## アプリケーションの追加

サイドワーク用のアプリケーションを登録して使えるようにします。

**確認** 登録できるアプリケーションは、サイドワーク用に作られたものだけです。

1. 「ハードディスク運用の設定」または「CD-ROM運用の設定」ウィンドウで［アプリケーション設定］を左クリックします。
   サイドワーク用のアプリケーションを登録するウィンドウが表示されます。

2. サイドワーク一覧の一番下の、何も表示されていない部分までスクロールしたあと左クリックします。

3. 「タイトル」「ショートカットキー」「起動プログラムパス」を入力します。
   起動プログラムパスの右にあるアイコンを左クリックすると、ファイルウィンドウが表示され、起動プログラムを選ぶことができます。
   必要に応じて、パラメータを入力します。

4. ［追加］を左クリックします。
   設定した内容が一時的に保存され、サイドワーク一覧に表示されます。

5. ［終了］を左クリックします。
   設定の画面に戻ります。

6. ［実行］を左クリックします。
   「システム設定」ウィンドウに戻ります。

7. ［終了］を左クリックします。
   TownsMENUに戻ります。これで、サイドワーク用のアプリケーションが登録されます。

**アドバイス**

Townsシステムソフトウェアのメ CD-ROMには、あらかじめ［FMTOWNS］メニューに登録されているサイドワーク機能の他に、次のサイドワーク用アプリケーションが用意されています。
サイドワーク用アプリケーションは、CD-ROMの¥SIDEWORKディレクトリにありますので、必要に応じて登録してお使いください。

| タイトル | ファイル名 | サイドワーク領域 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 16色モード | 256色モード | 32K色モード |
| スクリーンカッター<br>テキストエディタ<br>ファイル操作 | STIFF.EXP<br>SEDIT.EXP<br>SMENU.EXP | 256KB以上 | 296KB以上 | 376KB以上 |

※サイドワーク領域は、サイドワークを呼び出すアプリケーションが16色、256色、32768色のどの画面モードで動作するかによって異なります。

## アプリケーションの変更

登録したサイドワーク用のアプリケーションの登録内容を変えます。

1. 「ハードディスク運用の設定」または「CD-ROM運用の設定」ウィンドウで［アプリケーション設定］を左クリックします。
2. サイドワーク一覧の中の、変更するアプリケーションのタイトルを左クリックします。
   タイトルに対応した設定内容が表示されます。
3. 変更したい項目を入力し直し［変更］を左クリックします。
   設定した内容が一時的に保存されます。
4. ［終了］を左クリックします。
   設定の画面に戻ります。
5. ［実行］を左クリックします。
   「システム設定」ウィンドウに戻ります。
6. ［終了］を左クリックします。
   TownsMENUに戻ります。
   これで、サイドワーク用のアプリケーションが変更されます。

## アプリケーションの移動

サイドワーク用のアプリケーションの表示位置を変えます。

1. 「ハードディスク運用の設定」ウィンドウまたは「CD-ROM運用の設定」ウィンドウで［アプリケーション設定］を左クリックします。
2. サイドワーク一覧の中の、移動するサイドワーク用のアプリケーションのタイトルを左クリックします。
   タイトルに対応した設定内容が表示されます。
3. 内容を確認して［移動］を左クリックします。

4 サイドワーク一覧の中の、移動したい場所を左クリックします。
タイトルが左クリックした位置の前に移動します。

5 ［終了］を左クリックします。
設定の画面に戻ります。

6 ［実行］を左クリックします。
「システム設定」ウィンドウに戻ります。

7 ［終了］を左クリックします。
TownsMENUに戻ります。
これで、サイドワーク用のアプリケーションの表示位置が移動されます。

## アプリケーションの削除

登録したサイドワーク用のアプリケーションを消します。

1 「ハードディスク運用の設定」または「CD-ROM運用の設定」ウィンドウで［アプリケーション設定］を左クリックします。

2 サイドワーク一覧の中の、削除するサイドワーク用のアプリケーションのタイトルを左クリックします。
タイトルに対応した設定内容が表示されます。

3 内容を確認して［削除］を左クリックします。

4 ［終了］を左クリックします。
設定の画面に戻ります。

5 ［実行］を左クリックします。
「システム設定」ウィンドウに戻ります。

6 ［終了］を左クリックします。
TownsMENUに戻ります。
これで、サイドワーク用のアプリケーションが削除されます。

# 7 データ起動の設定をする

TownsMENUのファイル表示ウィンドウで、データファイルを実行することにより、拡張子に応じたアプリケーションを起動するための設定をします。
通常、アプリケーションを起動するには、アプリケーションのプログラムを実行するか、またはアイテム表示ウィンドウでアプリケーションのアイテムを実行します。
これと同様に、「データ起動の設定」では、データファイルの種別（拡張子）と、起動するアプリケーションのファイル名を登録しておくと、ファイル表示ウィンドウでデータファイルを選択するだけで、アプリケーションを起動できるようになります。
例えば、拡張子がTXTのファイルを選ぶとテキスト編集が起動するなどの設定ができます。ここで登録したデータファイルの種別（拡張子）は、TownsMENUのファイル表示ウィンドウのワイルドカード指定でも利用できます。

**アドバイス**

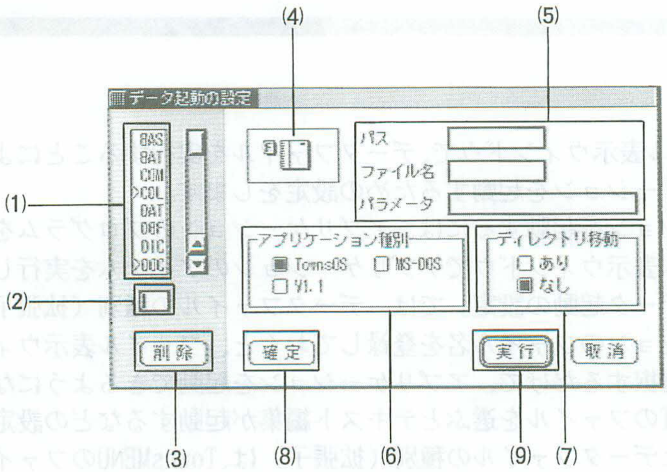
- データ起動の設定により登録した情報は、TMENU.IF2というファイル（以下、IF2ファイルと呼びます）に保存されます。
- ハードディスク運用の場合、起動ドライブのルートディレクトリに設定されます。
- CD-ROM運用の場合、「システム設定」の「TownsMENU」で指定したドライブに設定されます。

IF2ファイルの初期値は、以下のように設定されています。

| | | | |
|---|---|---|---|
| CDL | ……………CDプレーヤー | JPG、TIF | …イメージ表示 |
| DOC | ……………テキスト表示 | LMD、LMI | …住所録 |
| DOT | ……………外字編集 | MMM | ………アニメプレーヤー |
| EUP、MID | ………EUP プレーヤー | MVE | ………ムービープレーヤー |
| ICN | ……………アイコン編集 | PTR | ………スプライト編集 |
| IF2、TXT、IF2 | …テキスト編集 | | |

# 各部の名称と役割

ここでは、「データ起動の設定」ウィンドウの各部の名称と役割について説明します。




## (1)拡張子一覧

現在、IF2ファイルに登録されている拡張子の一覧が表示されます。起動されるアプリケーション名が登録されている場合は、拡張子の左に「>」が表示されます。

## (2)拡張子名の入力域

登録や削除の対象となる拡張子が表示されます。
拡張子を新しく登録するときは、この入力域を左クリックしてから拡張子を入力します。
登録されている拡張子を変更したり、削除したりするときは、「拡張子一覧」から選ぶと、対象となる拡張子が表示されます。

## (3)削除

登録されている拡張子を一時的に削除します。拡張子名の入力域に表示されている拡張子が削除の対象になります。同時に拡張子一覧の表示からも削除されます。

## (4) ﾌｧｲﾙｳｨﾝﾄﾞｳ表示ボタン

拡張子に対応づけるアプリケーション（実行ファイル）を選択するためのファイルウィンドウを表示します。
ファイルを選ぶと、パス名、ファイル名の入力域に選んだ実行ファイルの情報が表示されます。

### (5)パス、ファイル名、パラメータ

ファイルウィンドウ表示ボタンを使って選んだ実行ファイルの情報が表示されます。
入力域を左クリックし、直接入力することもできます。

**アドバイス**
パラメータは、アプリケーションによって、指定する必要があるものと、ないものがあります。

### (6)アプリケーション種別

実行ファイルが動作するOSを1つ選択します。
初期値は、［TownsOS］です。

［TownsOS ］
Townsシステムソフトウェア V2.1用のアプリケーションを登録するときに選びます。

［MS-DOS］
MS-DOS用のアプリケーションを登録するときに選びます。
ただし、コンソールレスモードでは選べません。

［V1.1］
Townsシステムソフトウェア V1.1上で動作していたアプリケーションを登録するときに選びます。

### (7)ディレクトリ移動

通常、TownsMENUからアプリケーションを実行した場合、カレントディレクトリは移動しません。しかし、アプリケーションの中には、動作の上で必要なファイルが実行ファイルと同一のディレクトリにないと動作しないものがあります。
このようなアプリケーションを登録するときは、［あり］に設定します。
実行ファイルが単独で動作するようなアプリケーションの場合は、カレントディレクトリがどこにあってもかまいませんので［なし］に設定します。

### (8)確定

設定した内容を一時的に保存し、拡張子一覧に追加します。

**確 認**
- 拡張子名の入力域が空白の場合は確定できません。
- パス、ファイル名、パラメータの入力域のうち、ファイル名が入力されていない場合は拡張子のみの登録となります。

### (9)実行

［確定］や［削除］で、一時的に登録されている拡張子一覧の内容をTMENU.IF2 に登録します。

# 操作手順

ここでは、拡張子起動アプリケーションソフトの設定内容を登録、変更、削除する方法について説明します。

**確認**
- Townsシステムソフトウェアを CD-ROMのみで起動したときは、IF2ファイルの設定はできません。ただし、情報ディスクをセットしているときは設定できます。
  ➡情報ディスクについて「CD-ROM運用時の設定方法」(P.288)
- 起動ドライブのルートディレクトリにIF2ファイルがないときデータ起動を設定をすると、自動的にIF2ファイルが作成されます。
- データ起動の設定をすると、起動ドライブに作業用ファイルが一時的に作成されるため、空き容量が足りないときは、データ起動の設定はできません。

## データ起動アプリケーションの登録

IF2ファイルに拡張子、およびアプリケーションを登録します。

1. （設定）を実行します。
   設定のアイテム表示ウィンドウが表示されます。
2. （データ起動の設定）を実行します。
   「データ起動の設定」ウィンドウが表示されます。
3. 拡張子名の入力域を左クリックします。
4. 新規に登録する拡張子を入力します。

> **注意**
> 拡張子及びアプリケーションのファイル名やパス名に、以下の文字は使用できません。
> ‘?’ ‘*’ ‘;’ ‘:’ ‘<’ ‘>’ ‘|’ ‘”’ ‘=’ ‘/’ ‘+’ ‘ ’
> ‘¥’(パス名には使用可能)

5. ファイルウィンドウ表示ボタンを左クリックします。
   ファイルウィンドウが表示されます。

**5** アプリケーションのファイル名を選択します。

**アドバイス**

［パス］［ファイル名］［パラメータ］の入力域をそれぞれ左クリックして、直接入力することもできます。

**注意**

アプリケーションのファイル名やディレクトリ名に、以下の文字列は使用できません。

AUX、AUX1、AUX2、AUX3、AUX4、CON、PRN、TOWNS_CD 、CLOCK、NUL

**6** ［アプリケーション種別］を選択します。
実行ファイルが動作するOSを１つ選択します。

**7** ［ディレクトリ移動］を選択します。
アプリケーション実行時にディレクトリを移動するか、しないかを設定します。

**8** ［確定］を左クリックします。
拡張子とそれに対する設定内容が一時的に保存されます。

**9** ［実行］を左クリックします。
設定した内容がIF2ファイルに登録され、TownsMENUに戻ります。

## データ起動アプリケーションの変更

IF2ファイルに登録した内容を変更します。

**1** （設定）を実行します。
設定のアイテム表示ウィンドウが表示されます。

**2** （データ起動の設定）を実行します。
「データ起動の設定」ウィンドウが表示されます。

**3** 拡張子一覧に現在登録されている拡張子の一覧が表示されます。

**4** 変更したい拡張子を左クリックします。
拡張子名の入力域に拡張子が表示され、各項目に設定内容が表示されます。

**5** 項目を変更します。
入力域を変更するときは、左クリックしてから変更します。

**6** ［確定］を左クリックします。
拡張子とそれに対する変更内容が一時的に保存されます。

**7** ［実行］を左クリックします。
変更した内容がIF2ファイルに登録され、TownsMENUに戻ります。

## データ起動アプリケーションの削除

登録した拡張子をIF2ファイルから消します。

**1** （設定）を実行します。
設定のアイテム表示ウィンドウが表示されます。

**2** （データ起動の設定）を実行します。
「データ起動の設定」ウィンドウが表示されます。

**3** 拡張子一覧に現在登録されている拡張子の一覧が表示されます。

**4** 削除したい拡張子を左クリックします。
拡張子名の入力域に拡張子が表示され、各項目に設定内容が表示されます。

**5** ［削除］を左クリックします。
拡張子名の入力域に表示されている拡張子が削除され、拡張子一覧の表示からも消えます。

**アドバイス**
ファイル名を空白にし［確定］を左クリックすると、拡張子のみを残してアプリケーションを削除することができます。

**6** ［実行］を左クリックします。
削除した拡張子がIF2ファイルから削除され、TownsMENUに戻ります。

# 8 ビデオモードの設定をする

ビデオモードにすると、別売のビデオカードを使用して、ビデオプロジェクタなどの市販のビデオ機器にFMTOWNSの画面を出力することができます。この機能を使用すると、ご家庭の大画面テレビでアプリケーションを動作させたり、ビデオ録画などができます。

**確認**

- ビデオモード機能は、FMTOWNSのメモリを12KB使用します。
- 別売のビデオカード、ビデオカードIIなどが必要です。

**1** **（設定）を実行します。**

設定のアイテム表示ウィンドウが表示されます。

**2** **ビデオモードにしたい場合は、（ビデオモードON）を、通常の画面表示に戻したい場合は、（ビデオモードOFF）を実行します。**

◆ （ビデオモードON）

FMTOWNSの画面をビデオモードにします。別売のビデオカードを使用して、ビデオ機器にFMTOWNSの画面を出力することができます。なお、ディスプレイに出力される画面もビデオモード（水平周波数15KHz）になります。このとき、表示の上下が切れることがあります。

◆ （ビデオモードOFF）

FMTOWNSの画面を通常の表示状態にします。

# 第7章

# コマンドモード



**注意**

TownsMENUからメニューを選んだり、アイテムを実行するときは、Townsパッドのボタンを押さないように気をつけてください。FM TOWNSが正しく動作しないことがあります。

# 1 コマンドモードを使う

コマンドモードでは、MS-DOSのコマンドを使用することができます。

**注意**

**コマンドモードをハードディスクで使用するときは、ＨＤインストールで「コンソールモード」にして、インストールする必要があります。**
**また、日本語MS-DOS®V3.1と比べ、使用できるメモリ容量が少なくなっています。中には、メモリ不足のため使用できないコマンドがあります。**
**この場合は、コマンドモードを起動後、「DOS」と入力し、⏎キーを押すことで、使用できるメモリを増やすことができます。**

➡MS-DOSのコマンドについては、別売の「日本語MS-DOS®V3.1」に添付のマニュアルを参照してください。

## 起動する

**アドバイス**

コマンドモードを使う前に、TownsMENUの［設定］メニューから［辞書管理］を選んでかな漢字変換用領域を設定すると、コマンドモードで使えるメモリが約128KB増えます。
１回だけ行えば、毎回やる必要はありません。

**1** （コマンドモード）を実行します。
MS-DOSのプロンプト状態になります。



## 終了する

1. カレントドライブをTownsシステムソフトウェアがインストールされているドライブにして、カレンドディレクトリをルートディレクトリにしてください。

2. プロンプト状態で「TMENU」と入力し、⏎キーを押してください。

## TownsMENUから引き継がれる環境

TownsMENUからコマンドモードに移ったときには、次の環境が引き継がれます。

- キーボードのクリック音あり、なし
  コントロールパネルで設定したキーボートの「キークリック音」
- キーボードのキーリピート間隔
  コントロールパネルで設定したキーボードの「キーリピート間隔」
- 電子ボリュームの音量
  ＣＤプレーヤーなどで設定したボリュームレベル

**注意**

TownsMENUで登録した外字は、コマンドモードを起動すると使えなくなります。

# 付　録

## 1　メッセージ一覧



➡『ディクショナリをお読みになる前に』

付録 1

# メッセージ一覧

## ◆アプリケーション共通のメッセージ

各アプリケーションを使っているときに、共通に出てくるメッセージです。

### 入力パラメータに異常があります

原因：指定すべきデータが正しく設定されていません。
対処：正しいデータを設定してください。

### 指定したファイルまたはディレクトリが見つかりません

対処：正しいファイルまたはディレクトリを指定してください。

### アクセスできませんでした

原因：「属性変更」で書き込み禁止に設定したファイルか、CD-ROMに書き込みをしようとしています。
対処：書き込み禁止のファイルは、属性を変更してください。

### ディスクは書き込み禁止になっています

対処：フロッピィディスクまたは光磁気ディスクの書き込み禁止を解除してください。

### ドライブの準備ができていません

対処：フロッピィディスクまたは光磁気ディスクを正しくセットしてください。
また、外付けしている装置の電源を入れてください。

### TownsOSでは取り扱えないディスクです

対処：ディスクの内容を確認してください。

## ディスクの容量が不足しています

対処：別のディスクを用意するか、ディスク内の不用なファイルを削除してください。

## 入出力エラー（nnH)が発生しました

それぞれのコードに対する意味は下表のとおりです。

| コード | 意味 | コード | 意味 |
|---|---|---|---|
| 13H | ディスクが書き込み禁止になっています | 19H | シークエラーです |
| | | 1AH | MS-DOSのディスクではありません |
| 14H | ディスクユニットが不良です | 1BH | セクタが見つかりません |
| 15H | ディスクが準備されていません | 1CH | 紙切れです |
| 16H | 無効なディスクコマンドです | 1DH | 書き込みに失敗しました |
| 17H | CRCエラーです | 1EH | 読み出しに失敗しました |
| 18H | 無効な長さです | 1FH | 入出力に関するエラーです |

対処：ディスクを正しくセットし直すか、別のディスクをセットしてください。

## システムエラー（nnH)です

それぞれのコードに対する意味は下表のとおりです。

| コード | 意味 | コード | 意味 |
|---|---|---|---|
| 01H | 無効なファンクションコードです | 0BH | 無効な書式です |
| 02H | ファイル名が見つかりません | 0CH | 無効なアクセスコードです |
| 03H | パス名が見つかりません | 0DH | 無効なデータです |
| 04H | オープンファイルが多すぎます | 0FH | 無効なドライブ名です |
| 05H | アクセスできません | 10H | カレントディレクトリを削除しようとしています |
| 06H | 無効なハンドルです | | |
| 07H | メモリコントロールブロックが破損しています | 11H | 同じデバイスはありません |
| | | 12H | これ以上ファイルはありません |
| 08H | メモリ不足です | 20H | シェアリング違反です |
| 09H | 無効なメモリブロックアドレスです | 21H | ロック違反です |
| | | 22H | ディスク指定の失敗です |
| 0AH | 無効な環境です | 23H | FCB使用不可能です |

| コード | 意味 | コード | 意味 |
|---|---|---|---|
| 32H | ネットワークリクエストが準備されていません | 41H | アクセスできません |
| 33H | リモートコンピュータがlistenしていません | 42H | ネットワークデバイスのタイプが不当です |
| 34H | ネットワーク名の2重定義です | 43H | ネットワーク名が見つかりません |
| 35H | ネットワーク名が見つかりません | 44H | ネットワーク名の限界を超えました |
| 36H | ネットワークビジーです | 45H | ネットワークBIOSセッションの限界を超えました |
| 37H | ネットワークデバイスはこれ以上ありません | 46H | 一時休止です |
| 38H | ネットワークBIOSの限界を超えました | 47H | ネットワークの要求が受けつけられません |
| 39H | ネットワークアダプタのハードエラーです | 48H | プリンタ、ディスクのリディレクション休止です |
| 3AH | ネットワークからの不当な応答です | 50H | ファイルが存在します |
| | | 52H | 作成不能です |
| 3BH | 予期できないネットワークエラーです | 53H | 割り込みタイプ24Hの失敗です |
| | | 54H | ストラクチャの不良です |
| 3CH | リモートアダプタが合致しません | 55H | 割り当て済みです |
| 3DH | プリント待ち行列が一杯です | 56H | 無効なパスワードです |
| 3EH | 待ち行列は一杯ではありません | 57H | 無効なパラメータです |
| 3FH | プリントファイルのためのスペースが不十分です | 58H | ネットワークへの書き込み禁止です |
| 40H | ネットワーク名はすでに削除されています | | |

## ファイル／ディレクトリ名を正しく指定してください

原因：ファイル名とディレクトリ名に使用してはならない文字が含まれている、または規定の文字数を超えています。

対処：ファイルとディレクトリ名を正しく指定してください。

### ヘルプデータが見つかりません

原因：オンラインヘルプのデータが存在しません。

### メモリ不足です

原因：メモリが不足しています。

対処：メモリの増設、サイドワークの解除、またはＲＡＭディスクの容量を減らしてください。

### 印刷できません

原因：プリンタで回復不能なエラーが発生しています。

対処：エラー原因を取り除き、プリンタの電源を入れ直してください。

### プリンタ待ちしています

原因：プリンタが動作中（BUSY）です。

対処：プリンタの動作が完了するまで待ってください。

### プリンタの準備ができていません

原因：プリンタがオフラインになっています。

対処：プリンタをオンラインにしてください。

### 用紙がありません

対処：用紙をセットしてください。

## ◆テキスト編集のメッセージ

### メモリが足りません

原因：メモリ不足です。

対処：編集中にこのメッセージが表示された場合は、すぐにテキスト編集を終了してください。

保存を行うとファイルを破壊するおそれがありますので、［破棄］を選んで終了してください。

### ファイル名が正しくありません

原因：ファイル指定時のファイル名が違います。
対処：正しいファイル名を指定してください。

### 同一ファイル名が存在します

原因：同じファイル名がすでに存在しています。
対処：ファイル名を変更するか、「強行」または「取消」を選択してください。

### これ以上のファイルは開くことができません

原因：編集対象ファイルの最大数を超えています。
対処：どれかファイルの編集を終了し、再度ファイルを開いてください。

### ファイルを開くことができません

原因：システム障害です。
対処：すぐにテキスト編集を終了してください。

### 作業ファイルが確保できません

原因：CONFIG.SYS中にある環境変数EDITWORKで定義された作業ファイルディレクトリの容量不足です。
対処：EDITWORK変数で定義された作業ファイルディレクトリを変更してください。

### 編集ファイルが保存できません

原因：保存しようとしたフロッピィディスク、または光磁気ディスクが書き込み禁止になっています。
対処：フロッピィディスクを書き込み可能にしてください。

原因：システム障害です。
対処：すぐにテキスト編集を終了してください。

### ディスク障害が発生しました

原因：システム障害です。
対処：すぐにテキスト編集を終了してください。

## 作業ファイル容量が限界です

原因：CONFIG.SYS中にある環境変数EDITWORKで定義された作業ファイルディレクトリの容量が足りません。
対処：テキスト編集を終了し、環境変数EDITWORKで指定している作業ファイルディレクトリを変更してください。

## ディスク容量が足りません

原因：編集結果保存時にディスクの空き容量が足りません。
対処：空き容量あるディスクを指定して、編集したファイルを保存してください。

原因：「カット」や「コピー」を行うときにディスクの空き容量が足りません。
対処：「カット」や「コピー」の範囲を小さくして再実行してください。

## 矩形が崩れるのでカットしません

対処：矩形が崩れるような「カット」の操作は行わないでください。

## 矩形が崩れるのでペーストしません

対処：矩形が崩れるような「ペースト」の操作は行わないでください。

## バイナリファイルを保存するとファイルを破壊します

原因：バイナリファイルを読み込んで保存しようとしています。
対処：［取消］を選び、保存を中止してください。

## 検索文字列が指定されていません

対処：検索文字列を指定してください。

## 検索文字列が見つかりません

原因：検索文字列が検索範囲内にありません。

## 対応する括弧が見つかりません

原因：指定された括弧に対応する括弧がありません。

## すでに編集対象となっています

原因：すでに編集対象になっているファイルを開こうとしています。
対処：［再編集］を選んで編集対象となっているファイルを元の内容に戻してください。

## これ以上の編集を行うことができません

原因：テキストが大きいので、これ以上の編集作業を行うことができません。
対処：ファイルを保存して終了してください。その後、ファイルを分割するなどの操作が必要です。

## ファイル読み込みを中断します

原因：［挿入読み込み］でテキストを挿入しようとして失敗しました。

## 数値の指定に誤りが有ります

原因：指定した数値に間違いがあります。
対処：数値を正しく入力してください。

## 読込み専用ファイルなので保存できません

対処：保存するのをやめ、テキスト編集を終了してください。

## 変更点があります

原因：保存せずにテキスト編集を終了しようとしています。
対処：保存する場合は、［保存］を選んでください。
保存せずに終了する場合は、［保存しない］を選んでください。

## カットを中断します

原因：メモリが不足していて、カットが使用できません。
対処：メモリを増やすか、編集を終了してください。

## コピーを中断します

原因：メモリが不足していて、コピーが使用できません。
対処：メモリを増やすか、編集を終了してください。

### ペーストを中断します

原因：メモリが不足していて、ペーストが使用できません。
対処：メモリを増やすか、編集を終了してください。

### クリアを中断します

原因：メモリが不足していて、クリアが使用できません。
対処：メモリを増やすか、編集を終了してください。

### ディスクがセットされていません

原因：作業ファイルとして作成していたフロッピィディスクや光磁気ディスクがセットされていません。
対処：フロッピィディスクや光磁気ディスクをセットしてください。

原因：書き込み禁止のフロッピィディスクや光磁気ディスクに保存しようとしています。
対処：フロッピィディスクや光磁気ディスクのライトプロテクタを書き込み可能にしてください。

### ディスクのフォーマットが違います

原因：ディスクのフォーマット形式が違います。
対処：ディスクのフォーマット形式を同じにするか、フォーマット形式の同じディスクをセットしてください。

### 種別が異なるか，領域が空きです

原因：文字列、行、矩形などのカットバッファにデータが存在していないときに、ショートカットによって、コピーやペーストを行おうとしています。

### プログラムが見つかりません

原因：指定したプログラムがドライブまたはディレクトリに存在していません。

### プログラムが起動できません

原因：子プロセスとしてのＣＤ辞書検索の実行プログラムがありません。

## 再起動情報を待避できません

原因：ＣＤ辞書検索を起動するときに、再起動情報を保存するためのメモリが不足しています。

対処：メモリを増やすか、編集を終了してください。

## 子プロセス起動を中断します

原因：子プロセスとしてのＣＤ辞書検索の実行プログラムを起動しようとしましたが、エディタの再起動情報をファイルに待避できません。

## 範囲指定中や罫線モード中にはファイル変更はできません

原因：範囲指定中や罫線モード中にファイルの変更をしようとしています。

対処：ファイルの変更を中止してください。

## 検索文字列が正しくありません

原因：検索文字列が正しく指定されていません。

## ◆ＣＤ辞書検索のメッセージ

### ＣＤアクセス異常

原因：ＣＤ辞書以外のCD-ROMをセットしています。
対処：正しいＣＤ辞書をセットしてください。

原因：ＣＤアクセス中に読み込みエラーが発生しました。
対処：CD-ROMの汚れ等を拭き取ってセットしてください。

### ファイル出力ができませんでした

原因：ディスクが書き込み禁止になっています。
対処：ディスクのライトプロテクトを書き込み可能にしてください。

原因：書き込み中にエラーが発生しました。
対処：他のドライブにあるファイルを指定するか、またはフロッピーディスクを交換してください。

### 空きスペースが足りません

原因：ディスクの空き容量が少ししかありません。
対処：不要なファイルを消すか、他のドライブを指定してください。

### ファイル名に誤りがあります

原因：ファイル名が誤っています。
対処：正しいファイル名を入力してください。

### このディスクは使用できません

原因：サポートしていないＣＤ辞書をセットしています。
対処：他のＣＤ辞書をセットしてください。

## 動作環境が正しくありません　・・・・　ＸＡ版のみ

原因：CD-ROM XAドライバ(cdxabios.nsd)が常駐していない状態でＸＡ版(cddicxa.exp)を起動しています。
対処：CD-ROM XAドライバを常駐させた後、ＸＡ版を起動するか、またはバッチファイル(cddic.bat)を起動してください。

原因：メモリ不足でCD-ROM XAドライバが常駐できません。
対処：メモリの増設、サイドワークの解除、またはRAMディスクの容量を減らしてください。

## ADPCM再生カードを装着してください　・・・　ＸＡ版のみ

対処：ADPCM再生カードを装着してください。

# ◆アイコン編集/スプライト編集/外字編集共通のメッセージ

## ディスクがいっぱいになりました

原因：保存時にディスクがいっぱいになって保存できません。
対処：フロッピィディスクまたは光磁気ディスクを使用しているときは、空き容量が十分あるフロッピィディスクまたは光磁気ディスクをセットしてください。
ハードディスクを使用しているときは、空き容量が十分ある区画に換えてください。

## ファイル名が正しく設定されていません

原因：ファイル名を指定せずに保存しようとしています。
対処：保存するファイルを正しく入力してください。

## ファイルの形式が違います

原因：各ソフトウェアで扱えるファイル以外のファイルを読み込もうとしています。
対処：各ソフトウェアが扱えるファイルを指定してください。

### データがありません

原因：データが存在しない状態で保存しようとしています。
対処：データを作成してから保存してください。

## ◆アイコン編集のメッセージ

### ワークファイルが作成できません

対処：ディスクの空き容量や書き込み禁止状態を確認してください。

### 読み込み専用ファイルです

原因：読み込み専用のファイルを変更しようとしています。

### 作成限界です

原因：アイコン作成時のメモリが不足しています。
対処：RAMディスクを設定している場合は、RAMディスクの設定を解除するなどしてアプリケーション領域を拡大してください。

### 作成限界のため読み込めません

原因：アイコン作成時のメモリが不足しています。
対処：RAMディスクを設定している場合は、RAMディスクの設定を解除するなどしてアプリケーション領域を拡大してください。

### 16色以外はサポートしていません

原因：2/16色以外のアイコンデータを読み込もうとしています。
対処：2/16色のアイコンデータを指定してください。

### ファイルの二重化はできません

原因：現在登録済アイコンウィンドウに表示してあるアイコンファイルを読み込もうとしています。

対処：現在登録済アイコンウィンドウに表示してあるファイル以外を指定してください。

### システムアイコンファイルが設定されていません

原因：システムで共通のアイコンファイルが見つかりません。

対処：環境変数ICNで指定した位置に正しくファイルを設定してください。

### このTIFFファイルは読み込めません

原因：TIFF読み込みで2/16色以外のTIFFファイルを読み込もうとしています。

対処：2/16色のTIFFファイルを選択してください。

## ◆外字編集のメッセージ

### FTM.DLLが見つかりません

原因：フォント参照を選択した場合にシステムを起動したドライブの¥DLLの中にFTM.DLLが存在しなかったためフォント参照が実行できません。

対処：システム起動ドライブの¥DLLにFTM.DLLが存在するか確認してください。
システム起動デバイスがCD-ROM、または光磁気ディスクならシステムをセットしてください。

### フォントデータをセットしてください

原因：フォント参照でデータを参照しようとしましたがシステム設定で設定した場所にフォントデータが存在しませんでした。
CD-ROM、または光磁気ディスクの交換可能媒体に対してのみこのエラーが発生します。

対処：Townsシステムソフトウェアをセットしてください。

### フォントデータをシステム設定で指定してください

原因：フォント参照でデータを参照しようとしましたが、システム設定で設定した場所にフォントデータが存在しませんでした。またはシステム設定でフォントのディレクトリが指定されていませんでした。

対処：システム設定のフォントで正しいディレクトリを指定してください。

## ◆イメージ表示のエラーメッセージ

### TIFF形式が正しくありません

原因：TIFFデータの形式が異常か、またはファイルが壊れています。

### サポートしないTIFF形式です

原因：このツールでサポートしていない形式のTIFFのため表示できません。
TOWNS以外で作成したTIFFデータの場合、このメッセージが出ることがあります。

### JPEG形式が正しくありません

原因：JPEGデータの形式が異常か、またはファイルが壊れています。

### サポートしないJPEG形式です

原因：このツールでサポートしていない形式のJPEGのため表示できません。
TOWNS以外で作成したJPEGデータの場合、このメッセージが出ることがあります。

### 読み込みに失敗しました

原因：ファイルが途中で切れている、または途中でディスクエラーのために読み込めなかった場合におこります。
このエラーが出たあとは、以前のデータも表示されなくなります。

### 再表示できません

原因：メモリ不足のため、メニュー表示のために一旦消したデータを再表示できない場合に表示されます。

対処：同じファイルを再びファイルダイアログで選択して表示するか、またはメモリを増設することによって、再び読み込むことなく再表示ができます。

### メモリが足りません

原因：標準状態(2MB)よりもメモリが不足している場合に表示されます。

対処：RAMディスク、サイドワーク領域、デバイスドライバなどを削除してメモリを増やすか、またはメモリを増設してください。

## ◆HDインストールのメッセージ

### ディスクを確認してください

原因：CD-ROM、ハードディスク、または光磁気ディスクに何らかの異常が発生しました。

対処：CD-ROM、ハードディスク、または光磁気ディスクを確認してください。

### CDを確認してください

原因：CD-ROMドライブにV2.1 L20のCD-ROMがセットされていません。

対処：CD-ROMドライブにV2.1 L20のCD-ROMを正しくセットしてください。

### CDから起動してください

原因：TownsシステムソフトウェアがCD-ROM以外から起動されています。

対処：TownsシステムソフトウェアをCD-ROMから起動してください。

### ドライブと区画が対応していません

原因：Townsシステムソフトウェアで設定されている区画の数とドライブの数が一致していません。

対処：TownsMENUの区画設定、またはドライブ構成でドライブの数と区画の数を同じにしてください。

### ハードディスクが使用可能な状態になっていません

原因：ハードディスクの電源が入っていない、またはハードディスクが接続されていません。

対処：ハードディスクを使用可能な状態にしてください。

### 選択されたユニットは容量が不足しています

原因：選択されたユニットにシステムを複写できる空き容量がありません。

対処：ハードディスクドライブを新たに接続する、または不要な区画とドライブをTownsMENUで削除してください。

### 容量不足のためこの機能はインストールできません

原因：指定容量が設定可能容量をこえるような設定がされています。

対処：設定可能容量をこえないように機能を設定してください。

### ディスクがちがいます

原因：ドライブＡのディスクがWindows MMEのインストールディスクではありません。

対処：Windows MMEのインストールディスクを正しくセットしてください。

### 容量不足でインストールできません

原因：選択されたドライブのファイル構成が変更されているためレベルアップ中に容量不足になっています。

対処：必要なファイルをバックアップしておき、ＨＤインストールで新規に複写してください。

## ◆ＨＤリフォームのメッセージ

### ディスクを確認してください

原因：CD-ROMドライブにV2.1 L20のCD-ROMがセットされていません。

対処：CD-ROMドライブにV2.1 L20のCD-ROMを正しくセットしてください。

### ハードディスクが使用可能な状態になっていません

原因：ハードディスクの電源が入っていない、またはハードディスクが接続されていません。
対処：ハードディスクを使用可能な状態にしてください。

### 容量不足のためこの機能はインストールできません

原因：選択された機能を複写するために必要な容量が指定のドライブにありません。
対処：機能を複写するために必要な区画容量を確保してから複写してください。
ドライブが指定できる機能の場合は、他のドライブに複写してください。

## ◆システム設定のメッセージ

### V2.1 L20のシステムがありません

原因：ハードディスクにTownsシステムソフトウェアV2.1 L20がありません。
対処：TownsシステムソフトウェアV2.1 L20をハードディスクに複写するか、CD-ROMから起動してください。

### ドライブが選択されていません

原因：情報ディスク選択画面で情報ディスクを選択せずに実行しています。
対処：情報ディスクを選択して実行してください。

### ????????.???の記述が異常です(????????)

原因：カスタマイズするファイルの内容に異常があります。
対処：CD-ROM運用の場合は、情報ディスクを初期化して再び情報ディスクを作成してください。
ハードディスク運用の場合は、ＨＤインストールを使って新規作成で複写し直してください。
何らかのファイルを書き換えたときに、このメッセージが表示された場合は、そのファイルの記述内容を元に戻してください。

### パス名を正しく指定してください

原因：指定したパス名の記述に異常があります。
対処：パス名を正しく記述してください。

### ハードディスクドライブを指定してください

原因：ハードディスクのみ指定可能のパス入力フィールドでハードディスク（光磁気ディスク）以外のドライブが指定されています。
対処：ハードディスクを指定してください。

### これ以上追加できません

原因：サイドワークのアプリケーション設定画面ですでに22個のアプリケーションが設定されているときに追加しようとしています。
対処：サイドワークとして登録できるアプリケーションは、22個までです。不要なアプリケーションを削除してから登録してください。

### タイトルを入力してください

原因：サイドワークのアプリケーション設定画面でタイトルを入力しないで追加、または変更しようとしています。
対処：タイトルを入力してください。

### ショートカットキーを入力してください

原因：サイドワークのアプリケーション設定画面でショートカットキーを入力しないで追加、または変更しようとしています。
対処：ショートカットキーを入力してください。

### 起動プログラムパスを正しく指定してください

原因：サイドワークのアプリケーション設定画面で起動プログラムパスの指定が異常です。
対処：起動プログラムパスを正しく指定してください。

### ショートカットキーを変更してください(?,?,?,…)が使用可能です

原因：サイドワークのアプリケーション設定画面で指定したショートカットキーが他のアプリケーションですでに設定されています。
対処：設定されていないショートカットキーを設定してください。

### ポケットの退避先パスはハードディスクドライブを指定してください

原因：ポケットの退避先パスでハードディスク（光磁気ディスク）以外のドライブが指定されています。
対処：ハードディスク（光磁気ディスク）を指定してください。

### ????????.???のバックアップに失敗しました

原因：現情報ファイルをバックアップ中にエラーが発生しました。
対処：情報ドライブ、または対象ドライブの残り容量があるかを確認してください。

## ◆データ起動の設定のメッセージ

### 指定された拡張子は登録されていません

原因：登録されていない拡張子を削除しようとしています。

### メモリが不足しています

原因：メモリ不足でTMENU.IF2を読み込めません。
対処：メモリを増設してください。

### CD-ROMのため登録できません

原因：CD-ROM（情報ディスク未設定）起動のために設定した情報を登録できません。
対処：システム設定で情報ディスクを作成し、TownsMENUの情報読み込みドライブを設定したあとに、データ起動の設定を行ってください。

## ◆ポストカード（住所録）のメッセージ

### 最大編集ファイル数です

**原因**：読み込んでいる編集ファイルが最大数の10個を超えています。
**対処**：余分な住所録ファイルを閉じてください。

### データベースファイルのオープンに失敗しました

**原因**：データファイルを開くのに失敗しました。
**対処**：ディスクが書き込み禁止か、ケーブルの接続不良か、ディスクの不良かなどを確認してください。

**原因**：ファイルの内容が異常です。
**対処**：ポストカード用のファイルかどうかを確認してください。

### データベースファイルの読み込みに失敗しました

**原因**：データファイルの読み込みに失敗しました。
**対処**：ケーブルの接続不良か、ディスクの不良かを確認してください。

### データベースファイルの書き込みに失敗しました

**原因**：データファイルの書き込みに失敗しました。
**対処**：メモリのフリーサイズがあるかないか、ディスクが書き込み可能か禁止か、ケーブルの接続不良か、ディスクの不良かを確認してください。

### 指定ファイルは現在使用中です

**原因**：使用中のデータファイルを選択しました。
**対処**：使用中のデータファイルを閉じるか、その操作を中止してください。

### データベースファイルの作成に失敗しました

**原因**：データファイルの作成に失敗しました。
**対処**：メモリのフリーサイズがあるかないか、ディスクが書き込み可能か禁止か、ケーブルの接続不良か、ディスクの不良かを確認してください。

## 条件が未設定です

原因：処理を行うための条件が未設定です。
対処：条件を再設定してください。

## テンポラリファイルの作成に失敗しました

原因：作業用のテンポラリファイルのオープンに失敗しました。
対処：ディスクが書き込み可能か禁止か、ケーブルの接続不良か、ディスクの不良かを確認してください。

## 郵便番号辞書のオープンに失敗しました

原因：郵便番号辞書ファイルのオープンに失敗しました。
対処：パスを正しく設定してください。

原因：郵便番号辞書の内容が異常です。
対処：郵便番号辞書ファイルを確認してください。

## 原因条件ファイルの読み込みに失敗した

原因：条件ファイルの内容が異常です。
対処：条件ファイルを確認してください。

## 条件ファイルの書き込みに失敗しました

原因：条件ファイルの書き込みに失敗しました。
対処：メモリのフリーサイズがあるかないか、ディスクが書き込み可能か禁止か、ケーブルの接続不良か、ディスクの不良かを確認してください。

## 通信回線がオープンできません

原因：通信回線がオープンできません。
対処：通信回線（接続、ボーレート等の設定）を確認してください。

## 電話番号が未入力です

原因：オートダイアルの電話番号が未入力です。
対処：正しい電話番号を入力してください。

### 索引ファイルの復旧に失敗しました。

原因：索引ファイルの復旧に失敗しました。
対処：メモリのフリーサイズがあるかないか、ディスクが書き込み可能か禁止か、ケーブルの接続不良か、ディスクの不良かを確認してください。または、住所録ファイルの確認をしてください。

## ◆ポストカード（はがき作成）メッセージ一覧

### 文書メモリの空き容量が不足しています

原因：文書メモリが一杯になりこれ以上文字を入力する事ができません。
対処：文字を削除してください。

### ディスクの空き容量が不足しています

原因：ディスクの容量が一杯になり、これ以上ディスクにデータを書き込むことができません。
対処：別のディスクを用意するか、ディスク内の不要なファイルを削除してください。

### 環境ファイルの読み込みに失敗しました

原因：環境ファイルを読み込むことができません。
対処：環境ファイルが存在しているか確認してください。

原因：指定した環境ファイルが見つかりません。
対処：環境ファイルにファイルパスを通してください。

### 文書ファイルの読み込みに失敗しました

原因：文書ファイルの読み込みに失敗しました。
対処：文章ファイルの有無、ディスクドライブの接続、不良を確認してください。

### 文書ファイルの書き込みに失敗しました

原因：文書ファイルの書き込みに失敗しました。
対処：ディスクの残り容量、プロテクトノッチが書き込み禁止になっていないか確認してください。

### 文書ファイルの削除に失敗しました

原因：文書ファイルを削除することができません。
対処：フロッピィディスクが正しくセットされているか、書き込み禁止になっていないか、ドライブの接続、不良を確認してください。

### テキストファイルの読み込みに失敗しました

原因：テキストファイルの読み込みに失敗しました。
対処：テキストファイルの有無、ディスクドライブの接続、不良を確認してください。

### テキストファイルの書き込みに失敗しました

原因：テキストファイルの書き込みに失敗しました。
対処：ディスクの残り容量、プロテクトノッチが書き込み禁止になっていないか確認してください。

### イラストファイルの読み込みに失敗しました

原因：イラストファイルの読み込みに失敗しました。
対処：イラストファイルの有無、ディスクドライブの接続、不良を確認してください。

### イラストファイルの書き込みに失敗しました

原因：イラストファイルの書き込みに失敗しました。
対処：ディスクの残り容量、プロテクトノッチが書き込み禁止になっていないか確認してください。

### イラストファイルの削除に失敗しました

原因：イラストファイルの削除に失敗ました。
対処：フロッピィディスクが正しくセットされているか、書き込み禁止になっていないか、ドライブの接続、不良を確認してください。

### テンポラリファイルの削除に失敗しました

原因：テンポラリファイルの削除に失敗ました。
対処：フロッピィディスクが正しくセットされているか、書き込み禁止になっていないか、ドライブの接続、不良を確認してください。

### イラストファイルがありません。

原因：イラストファイル名が正しくても文書で指定してあるイラストデータではありません。またはイラストファイルがありません。
対処：一致する文書ファイルとイラストファイルを同じドライブ又はディレクトリ上に置いてください。

### メモリの空き容量が不足しています

原因：メモリが不足して、この先の処理が継続できません。
対処：メモリを増設するか、余分なドライバーをはずしてください。

## ◆ポストカードで印刷しているときのメッセージ

### 帳票ファイルが読めません　処理を中止します

原因：帳票ファイルのオープン、または読み込みに失敗しました。
対処：帳票ファイルがあるかないかの確認、ディスク不良の確認、帳票設定ミスの修正などを行ってください。

### 帳票ファイルの設定が異常です　処理を中止します

原因：帳票ファイルの中に解読できない物が存在しています。
対処：帳票設定ミスの修正を行ってください。

### メモリが足りません　処理を中止します

原因：メモリ不足です。
対処：メモリを増設するか、余分な住所録ファイルを閉じるか、余分なデバイスドライバをはずしてください。

### フォントファイルが読めません　処理を中止します

原因：フォントデータが見つかりません。
対処：FONTINFO.SYSのパスの設定を行うか、またはDLLが存在しているか確認してください。

印刷を中断しました　プリンタを初期化してください

原因：印刷を中断しました。

対処：プリンタの電源を入れ直してください。

# 索　引

目的別索引

語句索引



# 目的別索引

Ⓜ：TownsMENUディクショナリ
Ⓐ：アプリケーションディクショナリ

知りたい操作の説明が、どこに書いてあるかを探す索引です。ご活用ください。

## 英字

### C



### E



### F

## 50音

# 語句索引

## 数字



## 英字

## 50音

FM TOWNS
アプリケーション　ディクショナリ

81SP-0413-2-0

発 行 日　1994年2月
発行責任　富士通株式会社

Printed in Japan



㋐9403-3

FUJITSU

本マニュアルは、100%リサイクル可能な用紙を使用しています。

T4988618822046

81SP-0413-2